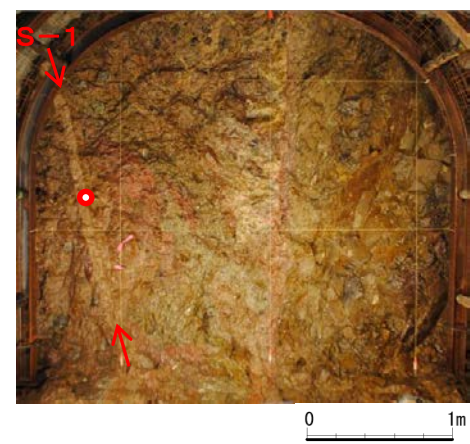
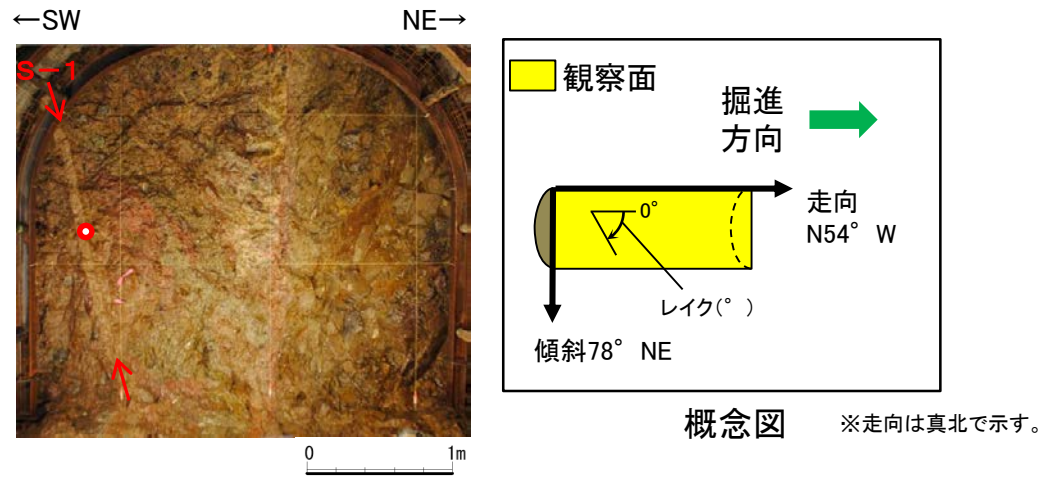
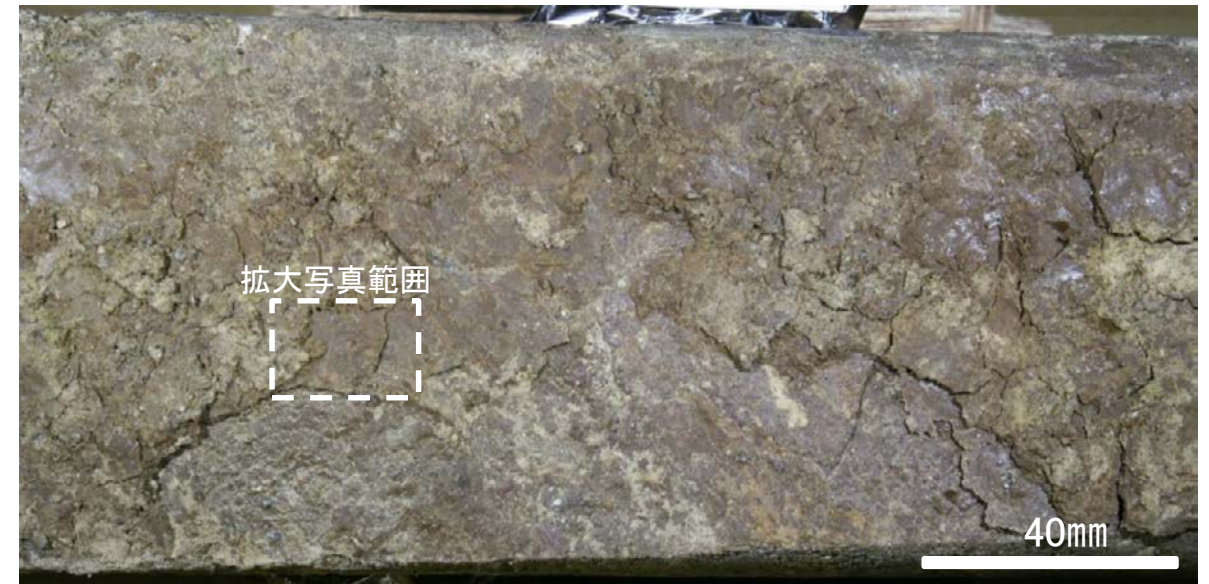


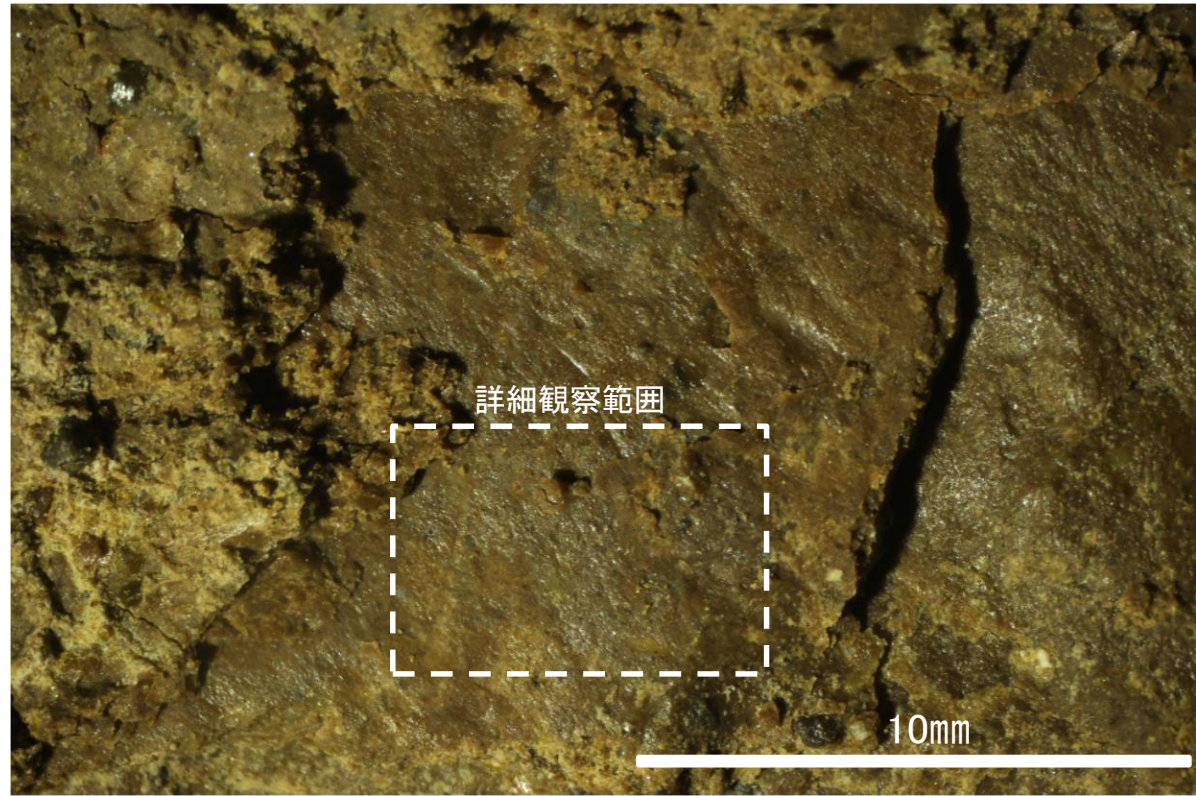
# 条線観察結果(岩盤調査坑)ボーリングNo.25-1孔(下盤側)①



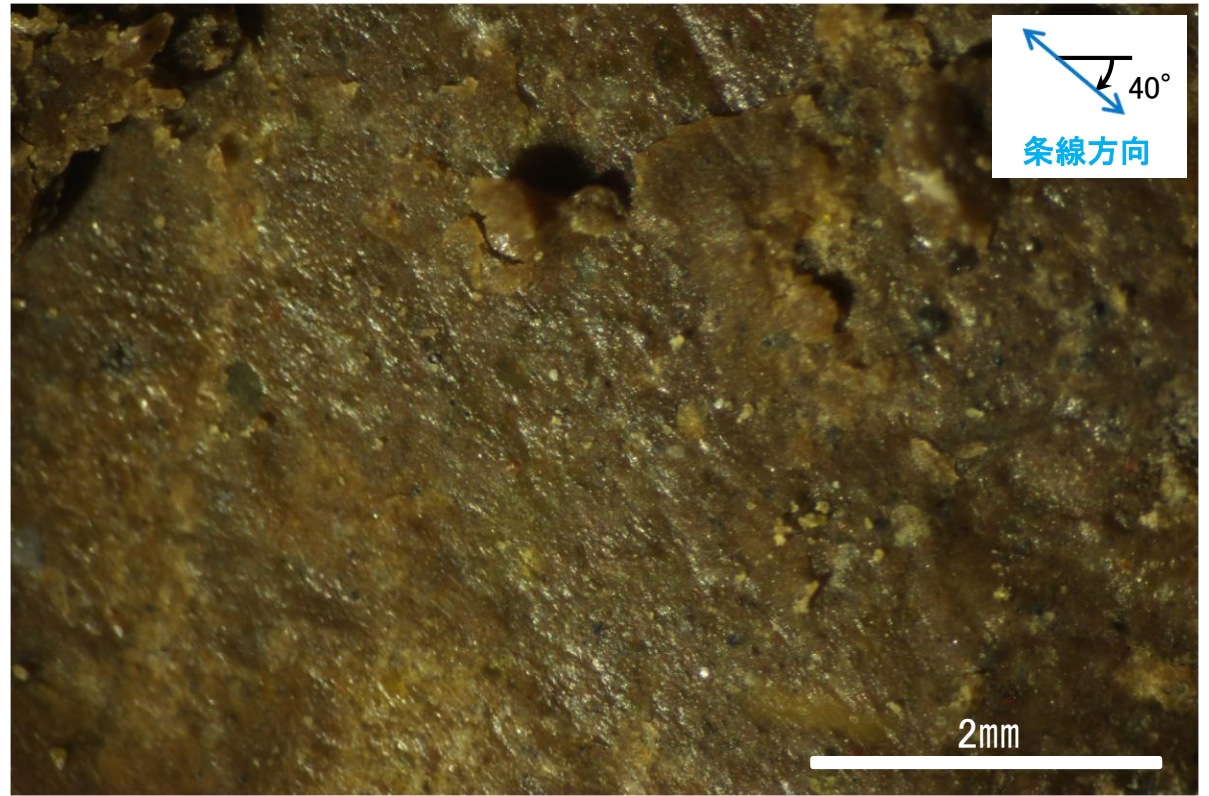
試料採取位置(No.25切羽)  
● ボーリング箇所(No.25-1孔)



観察面写真



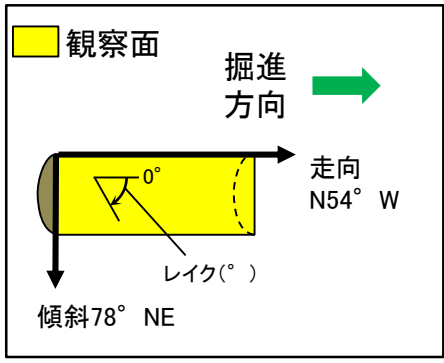
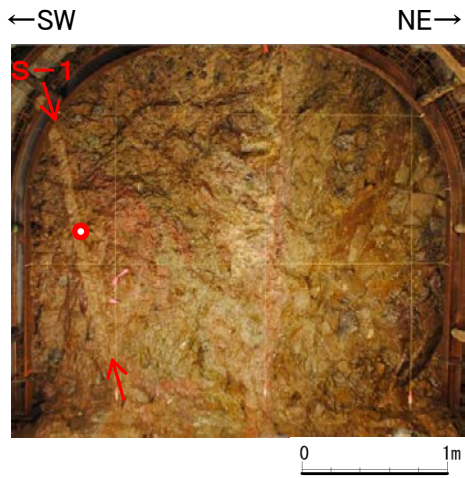
観察面拡大写真



詳細観察写真

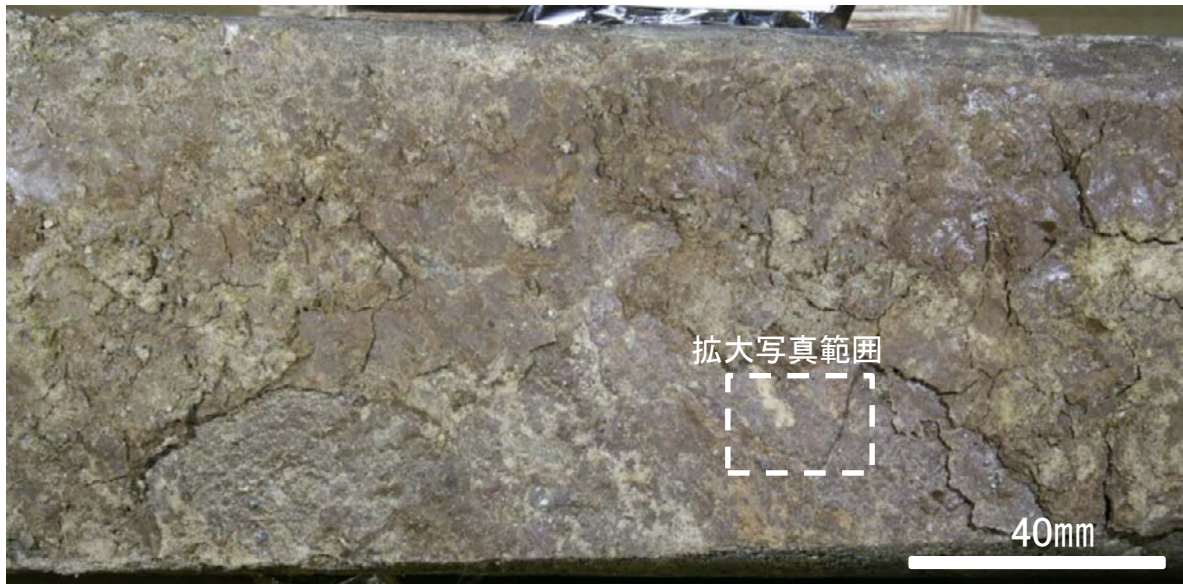
・条線のレイクは40° R, 変位センスは不明

# 条線観察結果(岩盤調査坑)ボーリングNo.25-1孔(下盤側)②

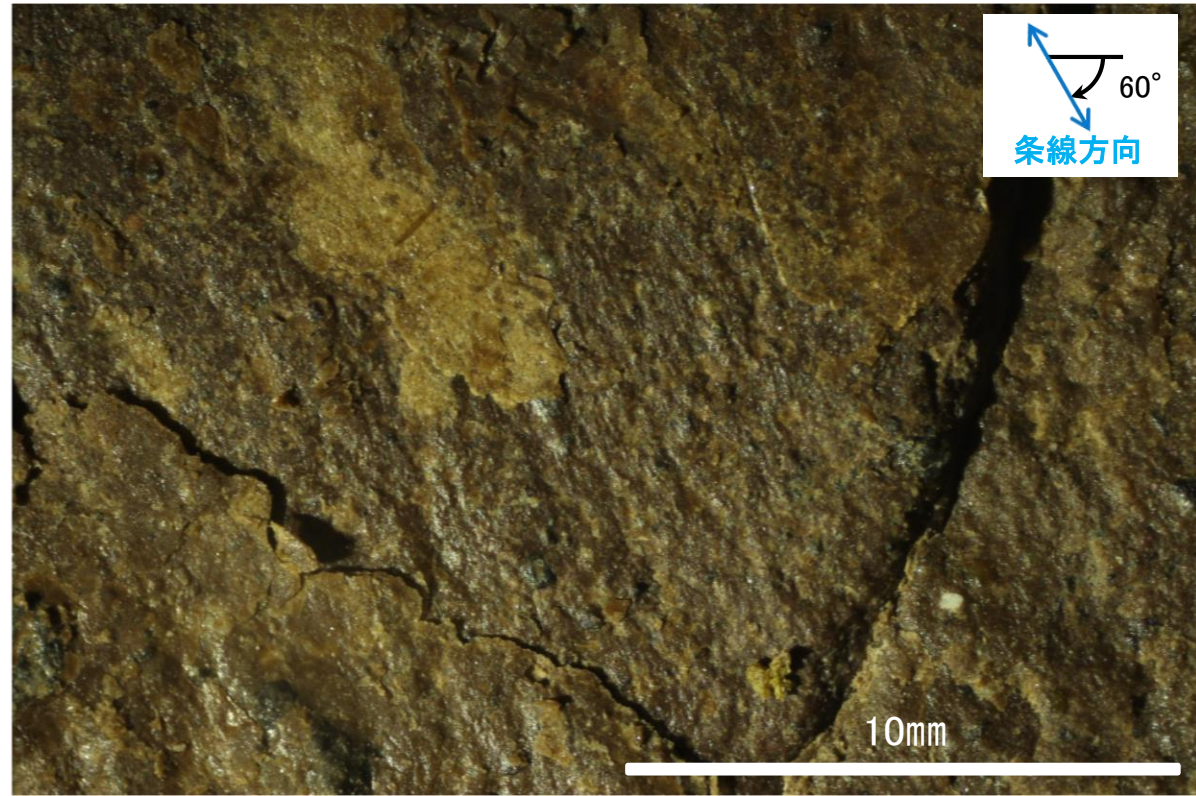


概念図 ※走向は真北で示す。

試料採取位置(No.25切羽)  
● ボーリング箇所(No.25-1孔)



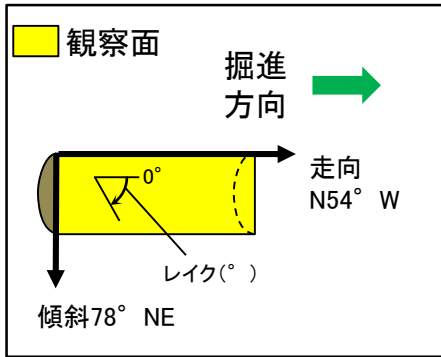
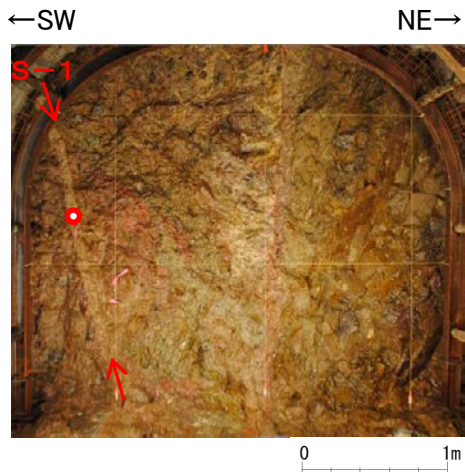
観察面写真



観察面拡大写真

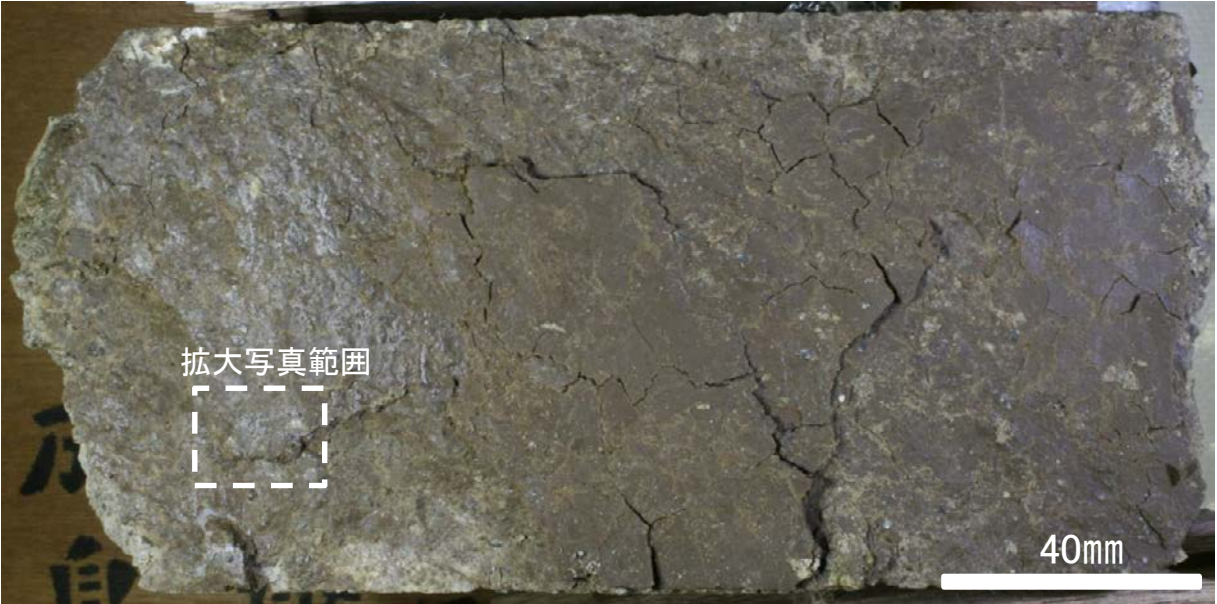
・条線のレイクは60° R, 変位センスは不明

# 条線観察結果(岩盤調査坑)ボーリングNo.25-2孔(下盤側)①

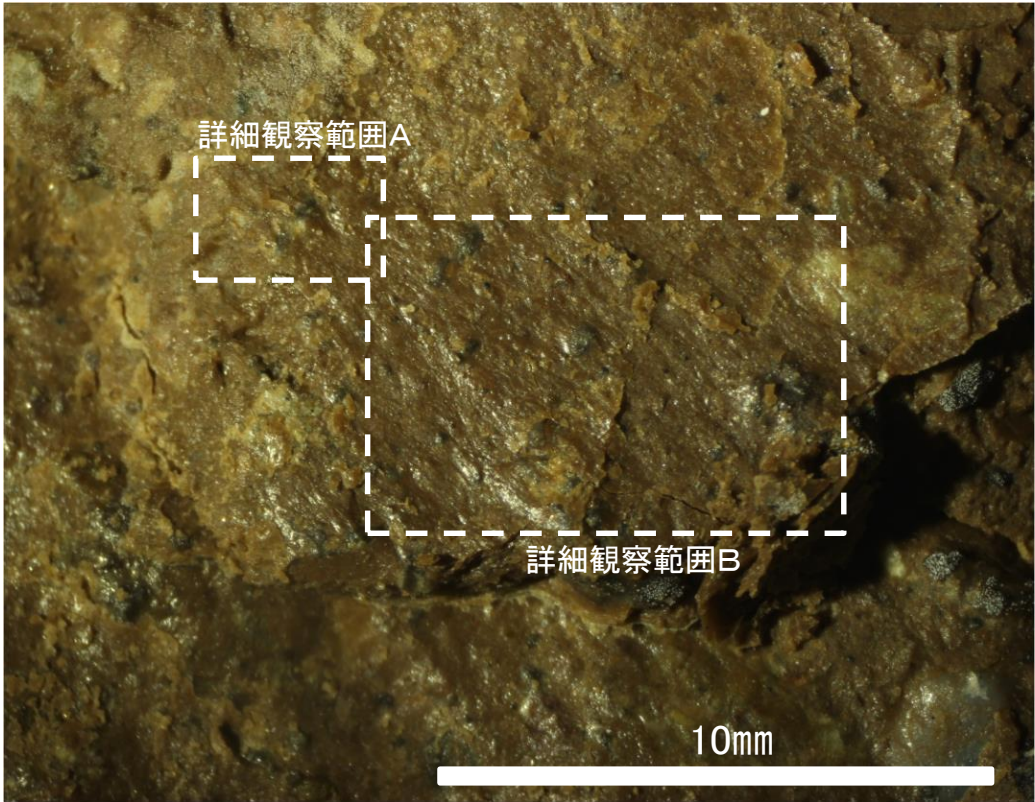


概念図 ※走向は真北で示す。

試料採取位置(No.25切羽)  
● ボーリング箇所(No.25-2孔)



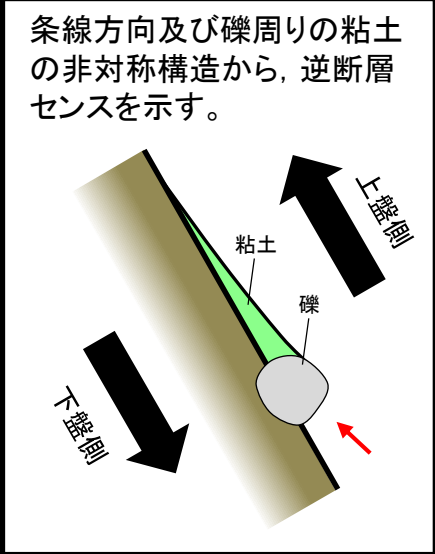
観察面写真



観察面拡大写真

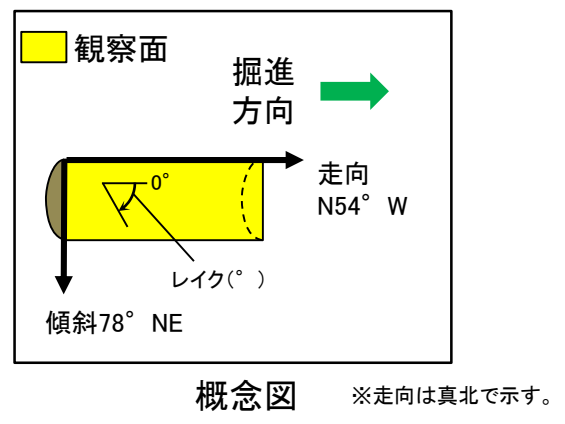
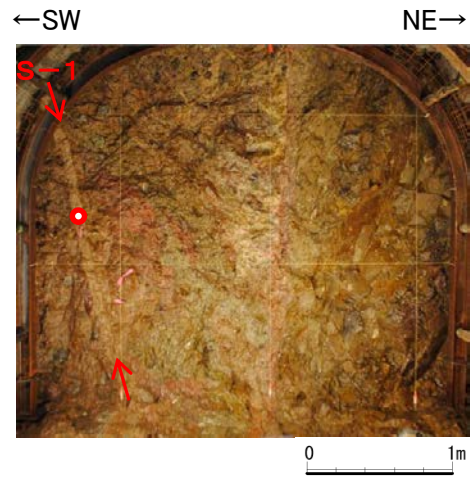


詳細観察写真A



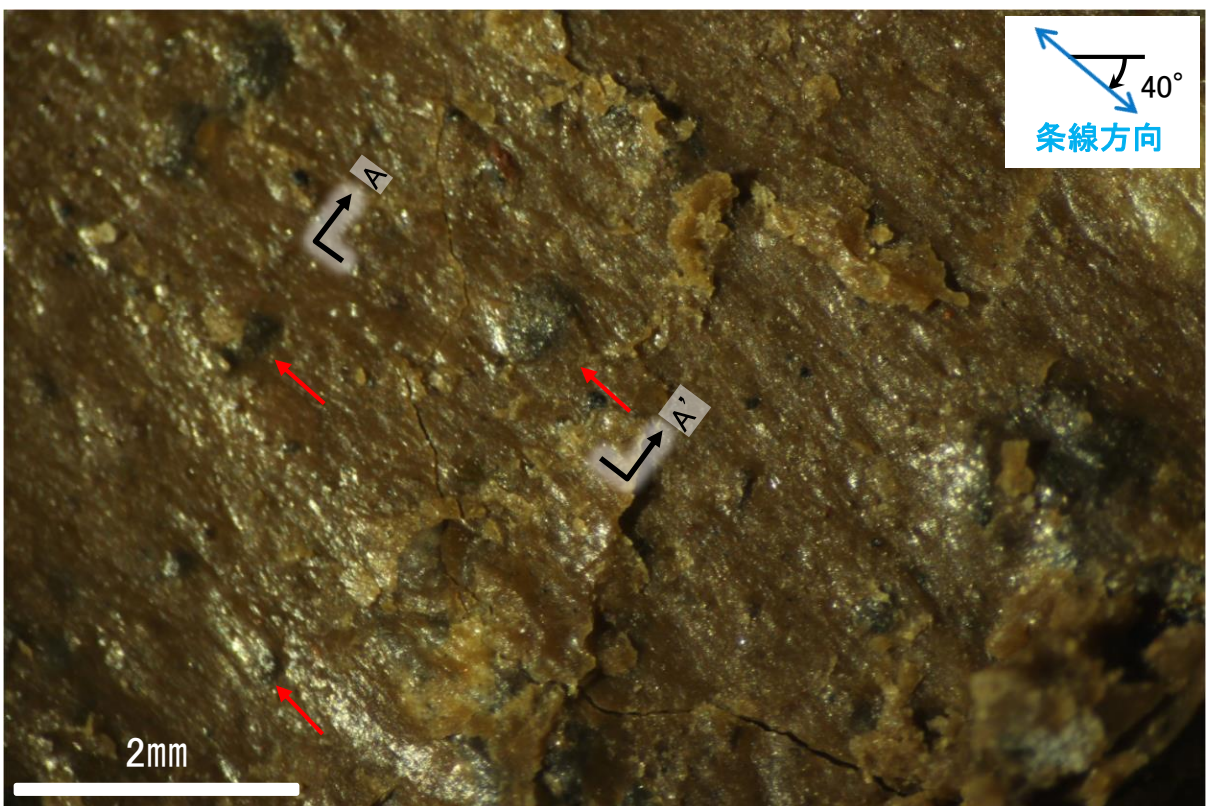
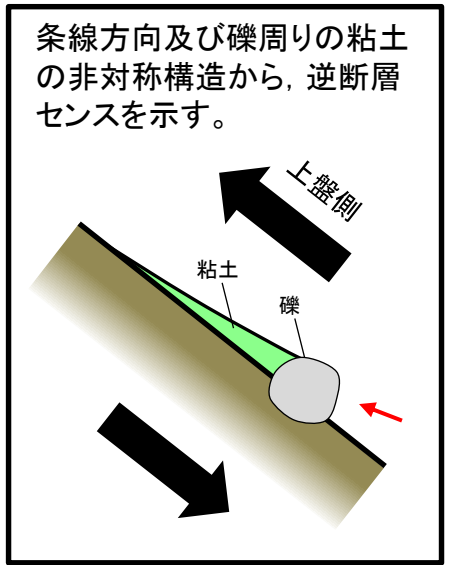
条線方向及び礫周りの粘土の非対称構造から、逆断層センスを示す。

# 条線観察結果(岩盤調査坑)ボーリングNo.25-2孔(下盤側)②

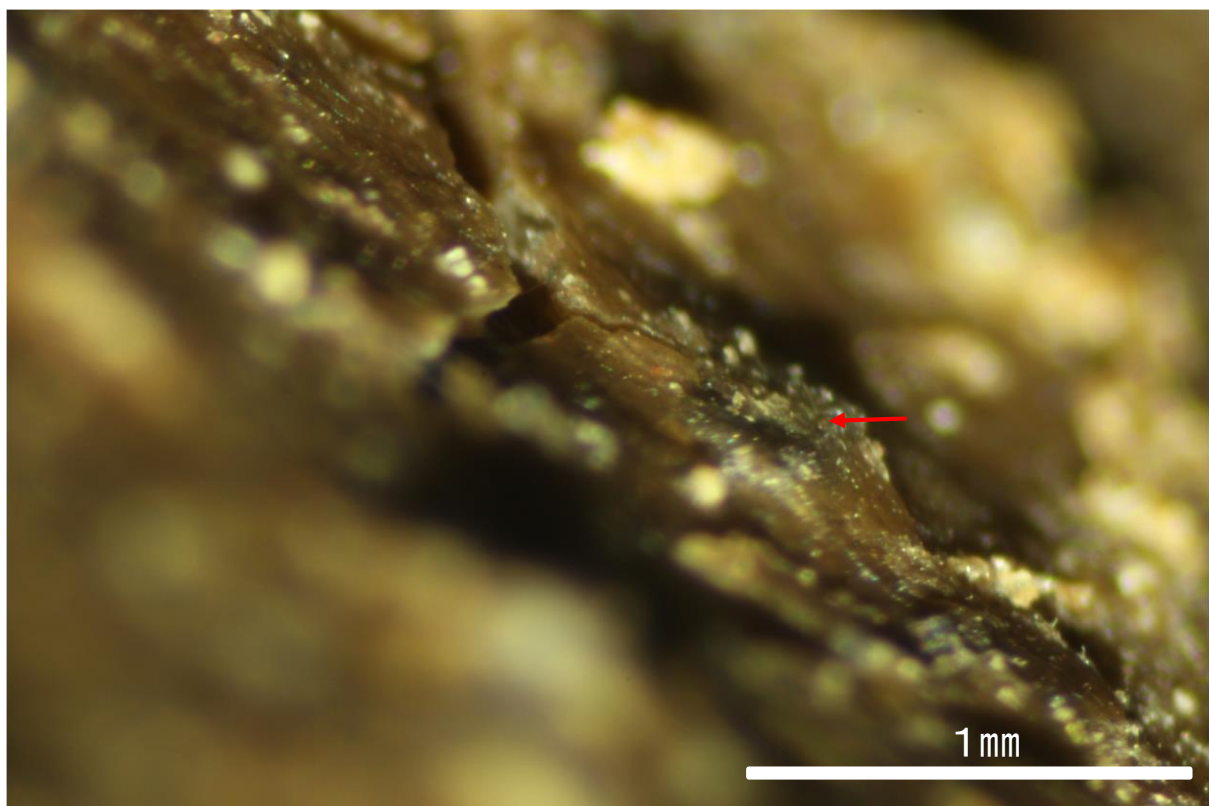


試料採取位置(No.25切羽)

- ボーリング箇所(No.25-2孔)



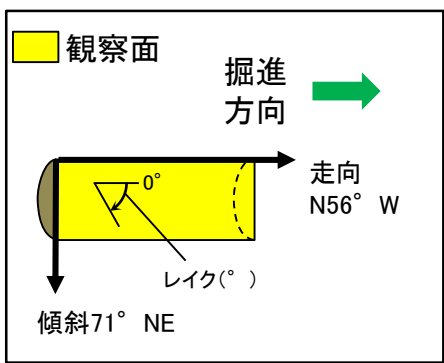
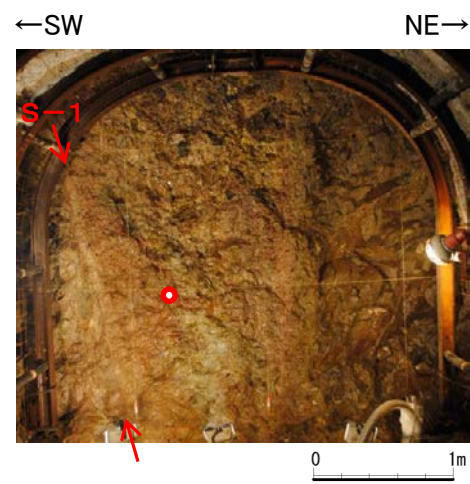
詳細観察写真B



詳細観察写真(A-A'断面)

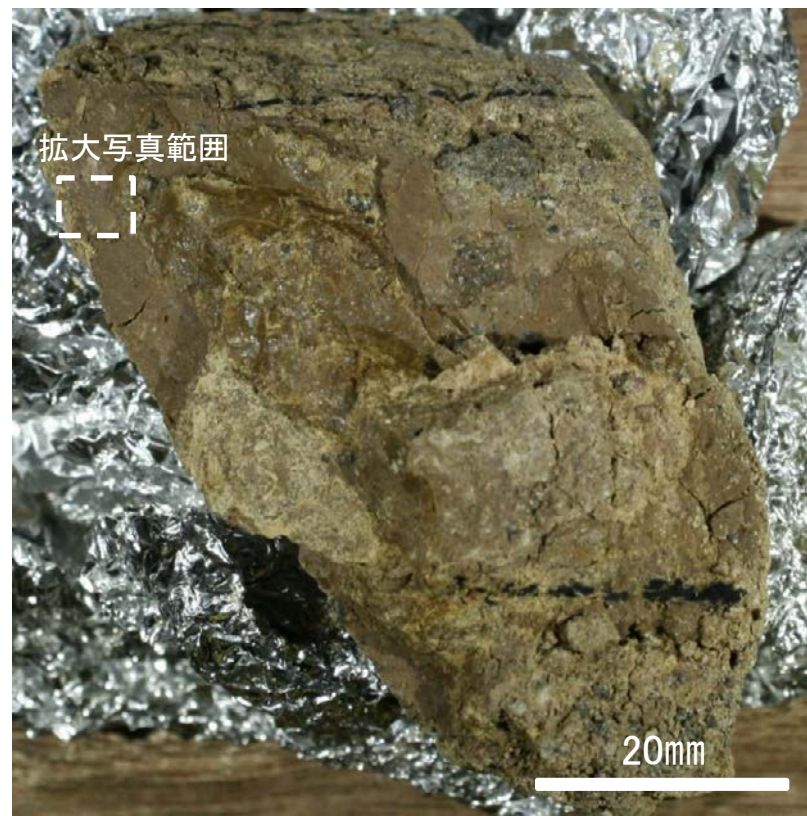
・条線のレイクは40° R, 変位センスは右横ずれ逆断層センス

# 条線観察結果(岩盤調査坑)ボーリングNo.26-1孔(下盤側)①

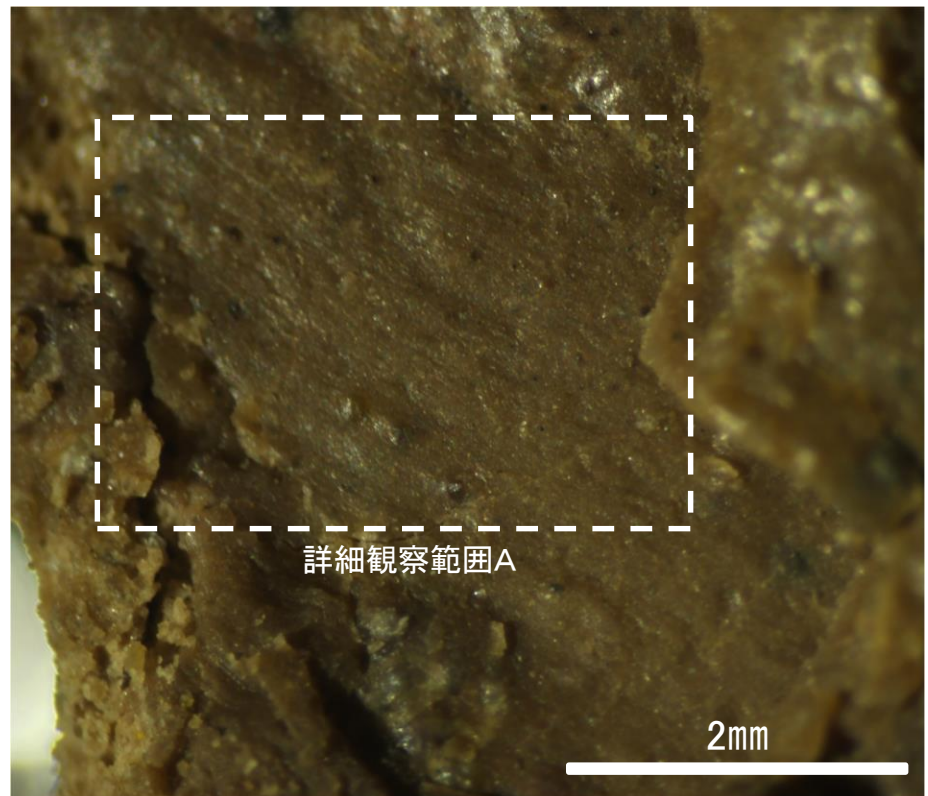


概念図 ※走向は真北で示す。

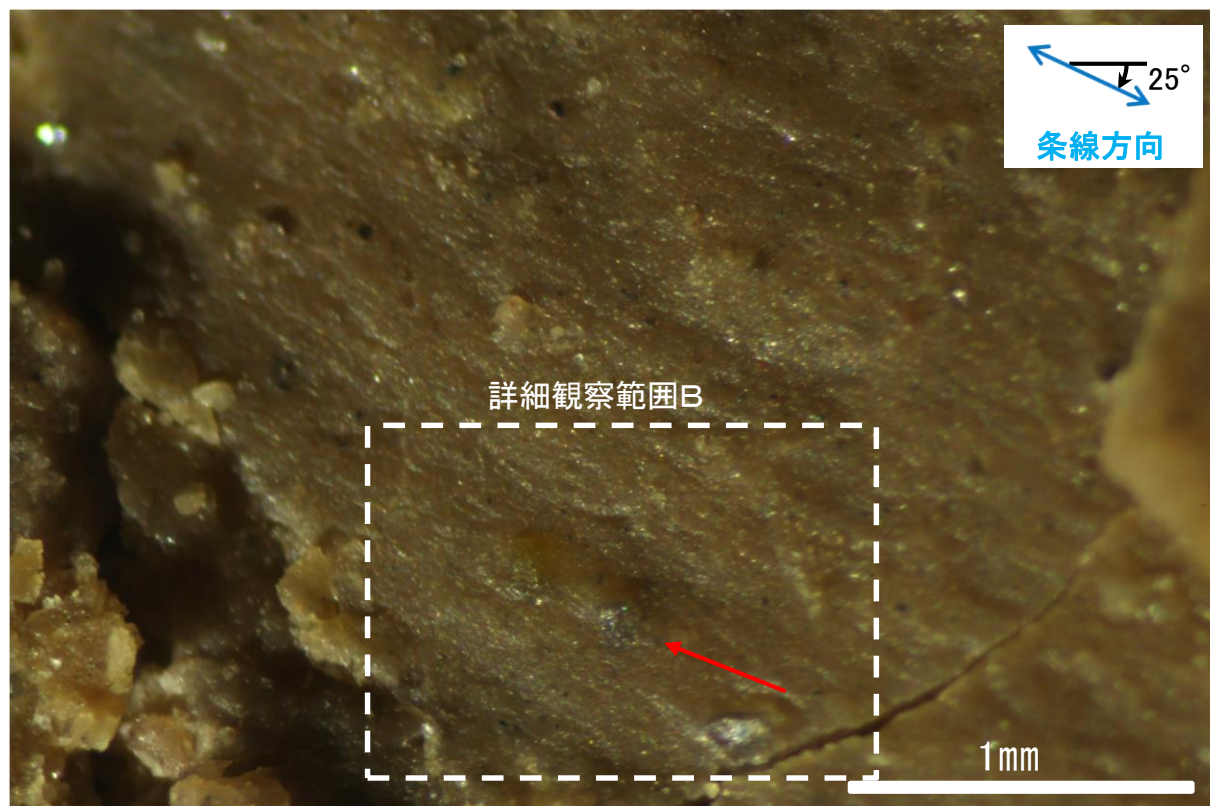
試料採取位置(No.26切羽)  
● ボーリング箇所(No.26-1孔)



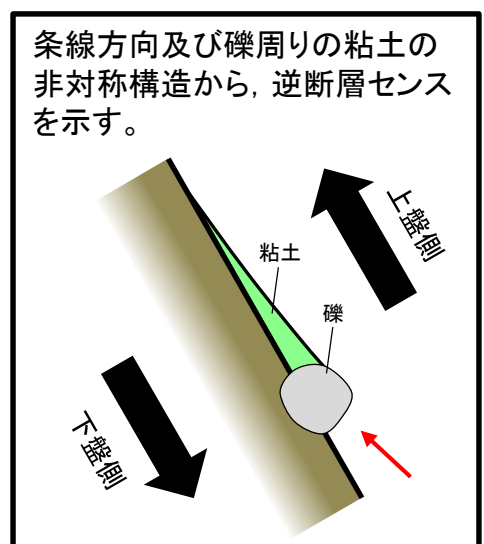
観察面写真



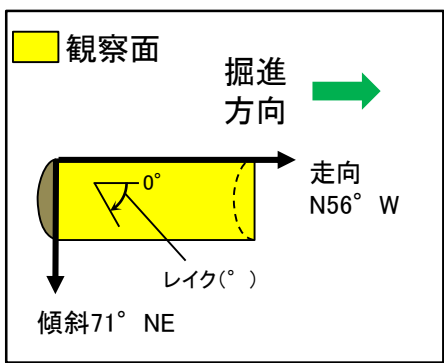
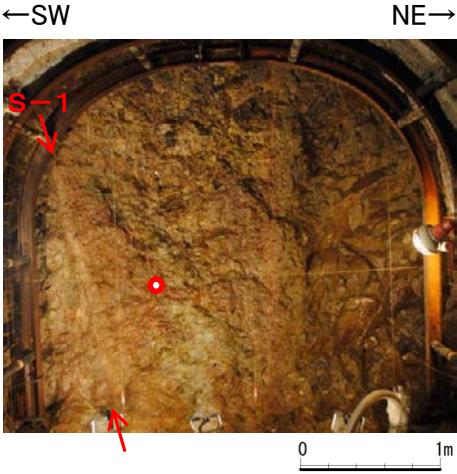
観察面拡大写真



詳細観察写真A



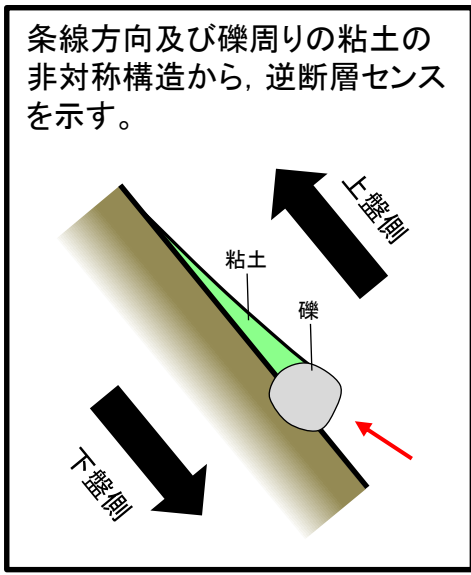
# 条線観察結果(岩盤調査坑)ボーリングNo.26-1孔(下盤側)②



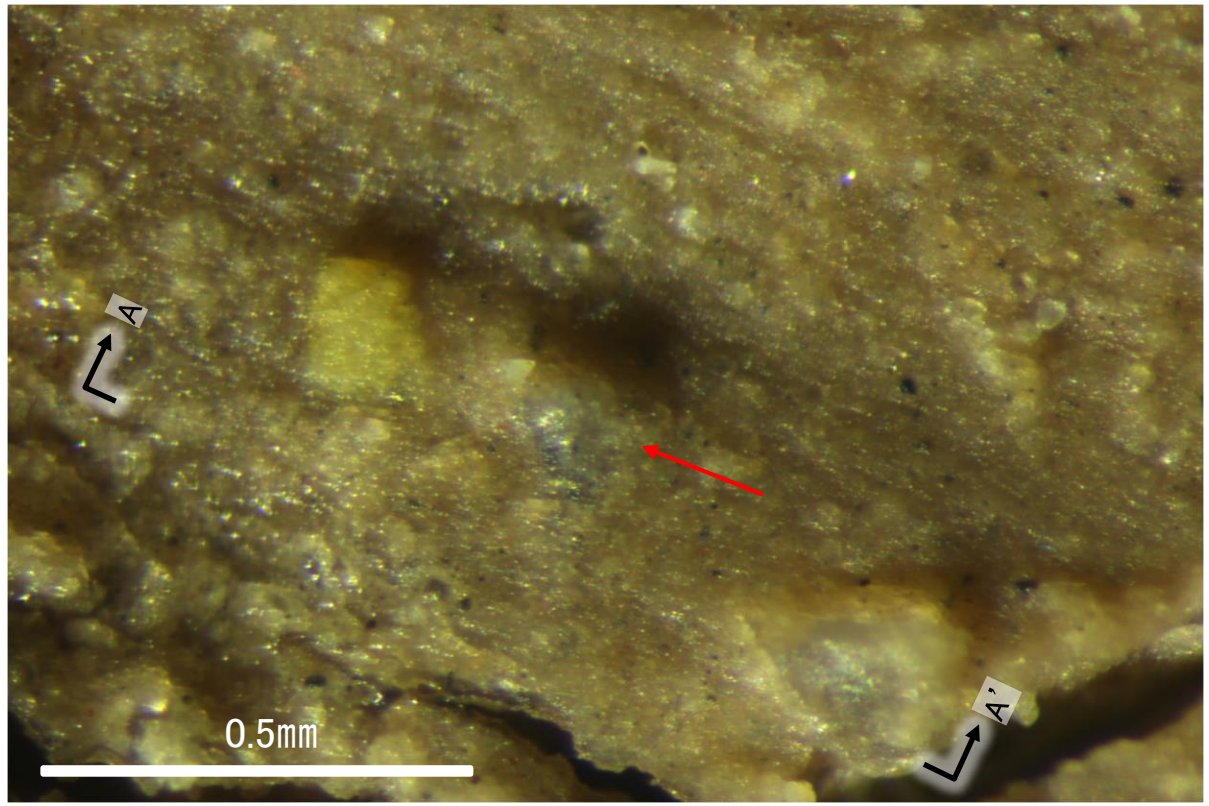
概念図 ※走向は真北で示す。

試料採取位置(No.26切羽)

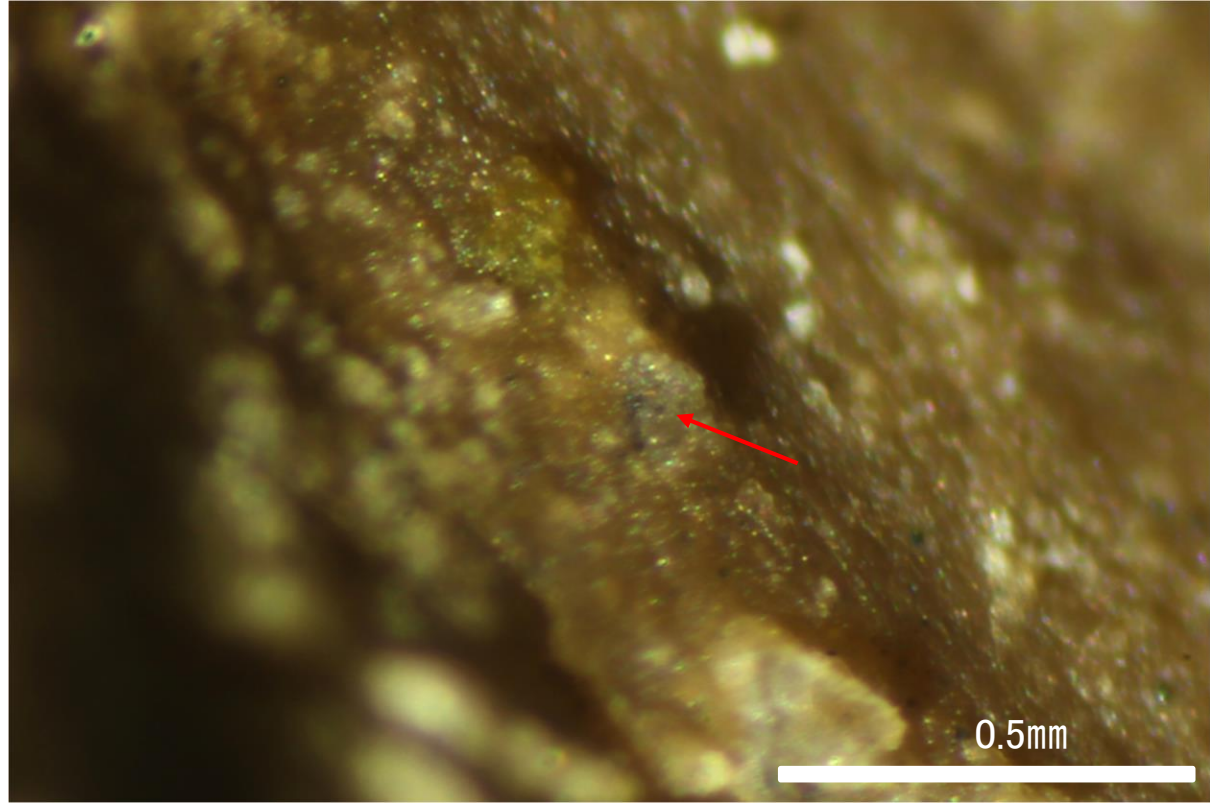
● ボーリング箇所(No.26-1孔)



条線方向及び礫周りの粘土の非対称構造から、逆断層センスを示す。



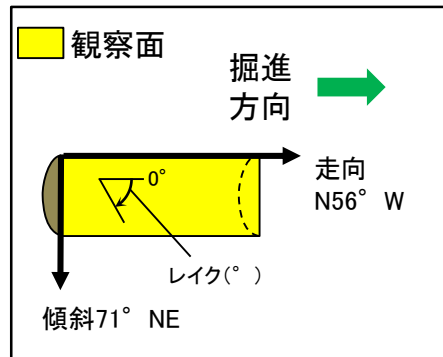
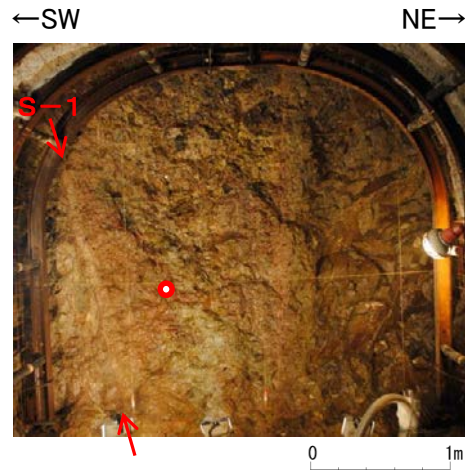
詳細観察写真B



詳細観察写真(A-A'断面)

・条線のレイクは25° R, 変位センスは右横ずれ逆断層センス

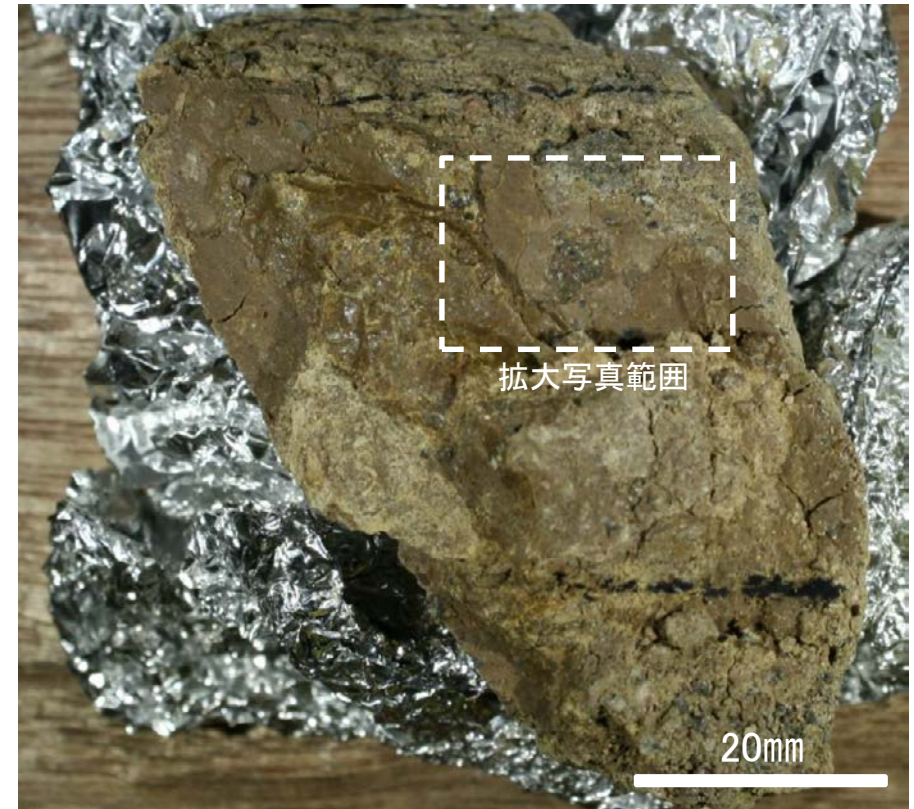
# 条線観察結果(岩盤調査坑)ボーリングNo.26-1孔(下盤側)③



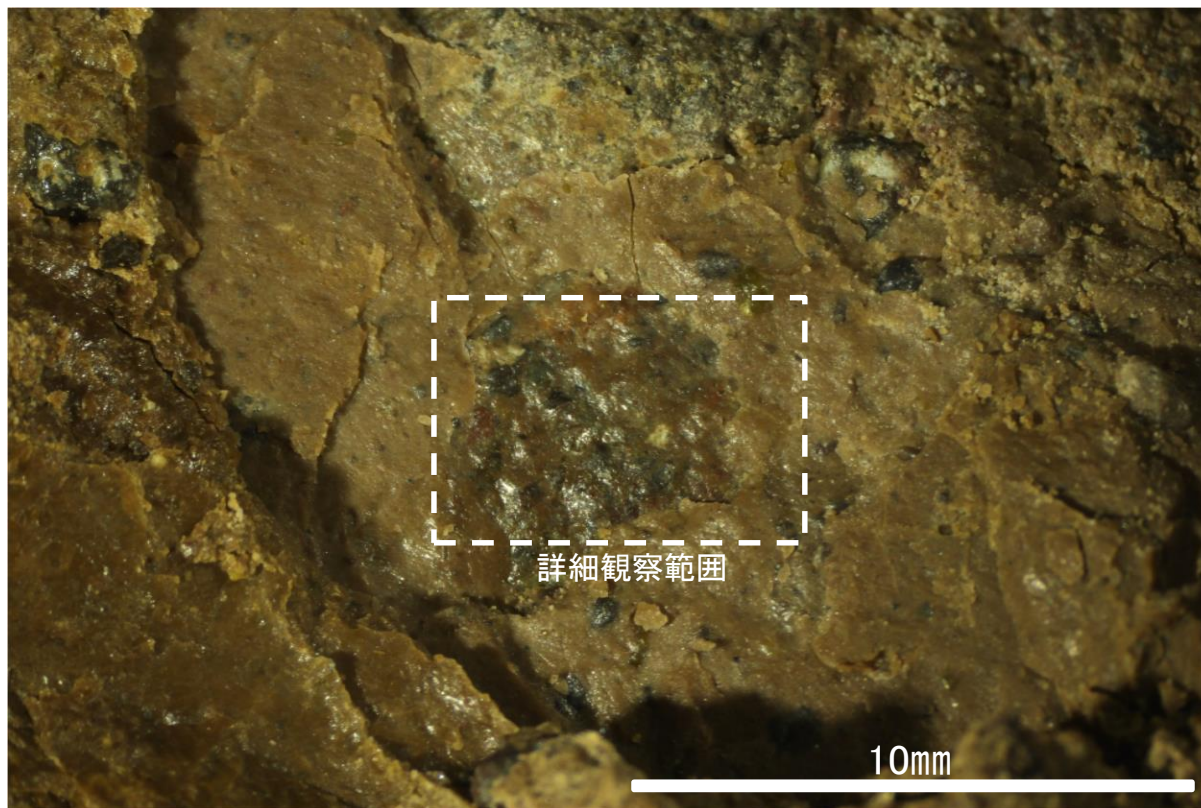
概念図 ※走向は真北で示す。

試料採取位置(No.26切羽)

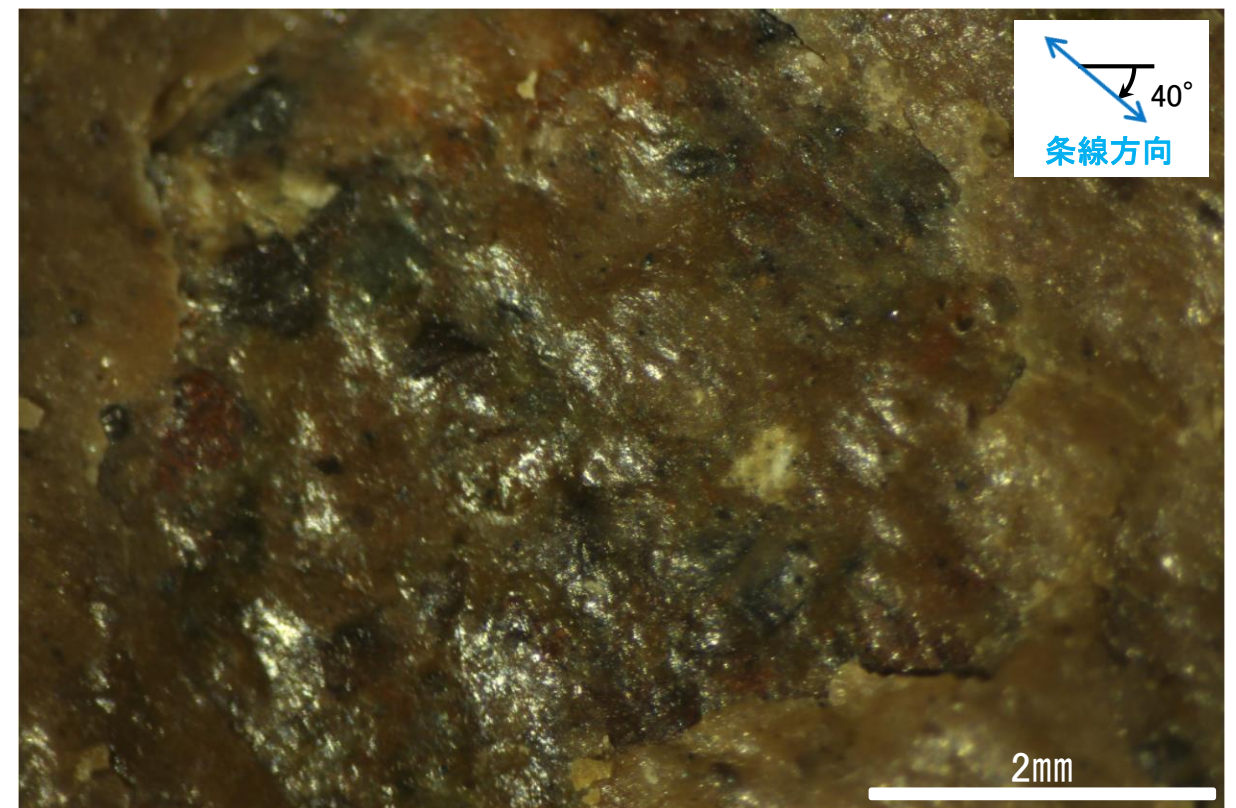
● ボーリング箇所(No.26-1孔)



観察面写真



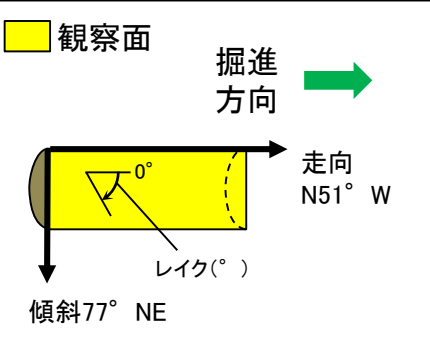
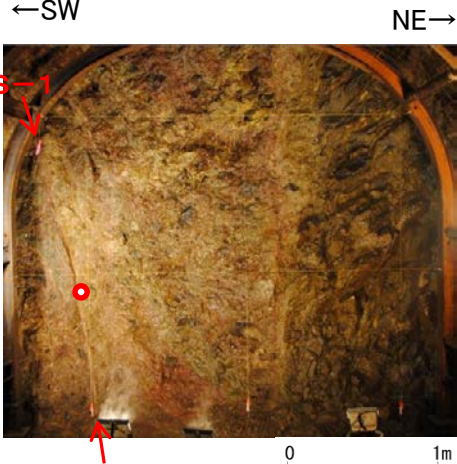
観察面拡大写真



詳細観察写真

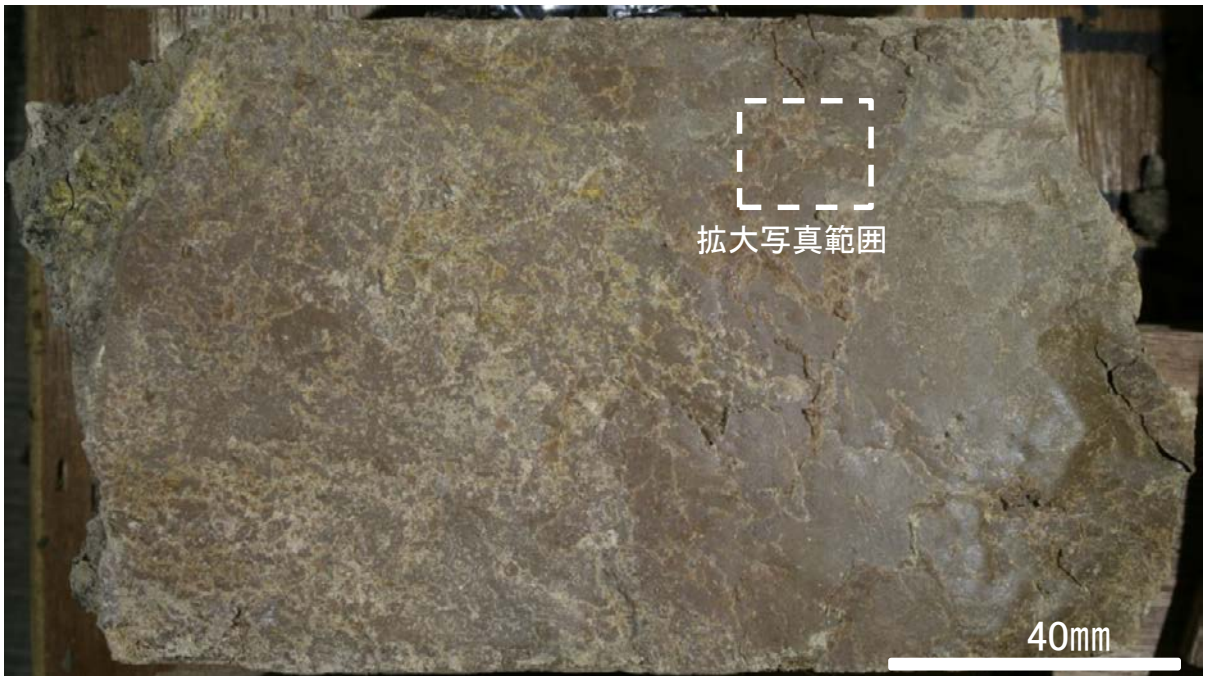
・条線のレイクは40° R, 変位センスは不明

# 条線観察結果(岩盤調査坑)ボーリングNo.27-1孔(下盤側)①

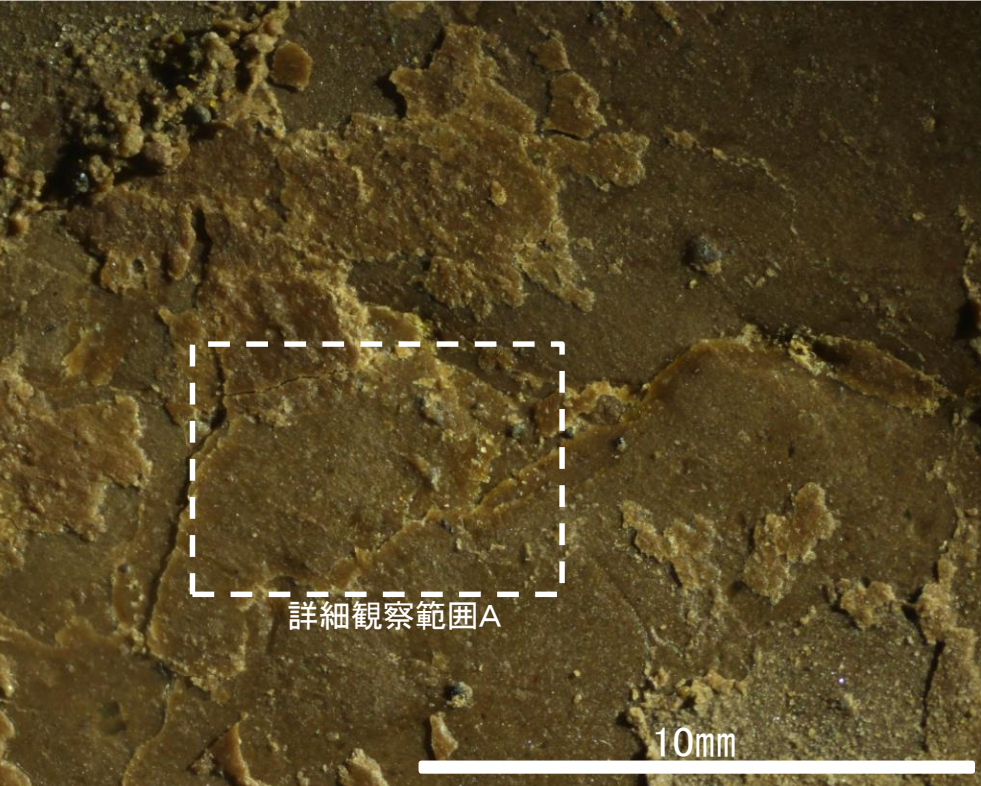


概念図 ※走向は真北で示す。

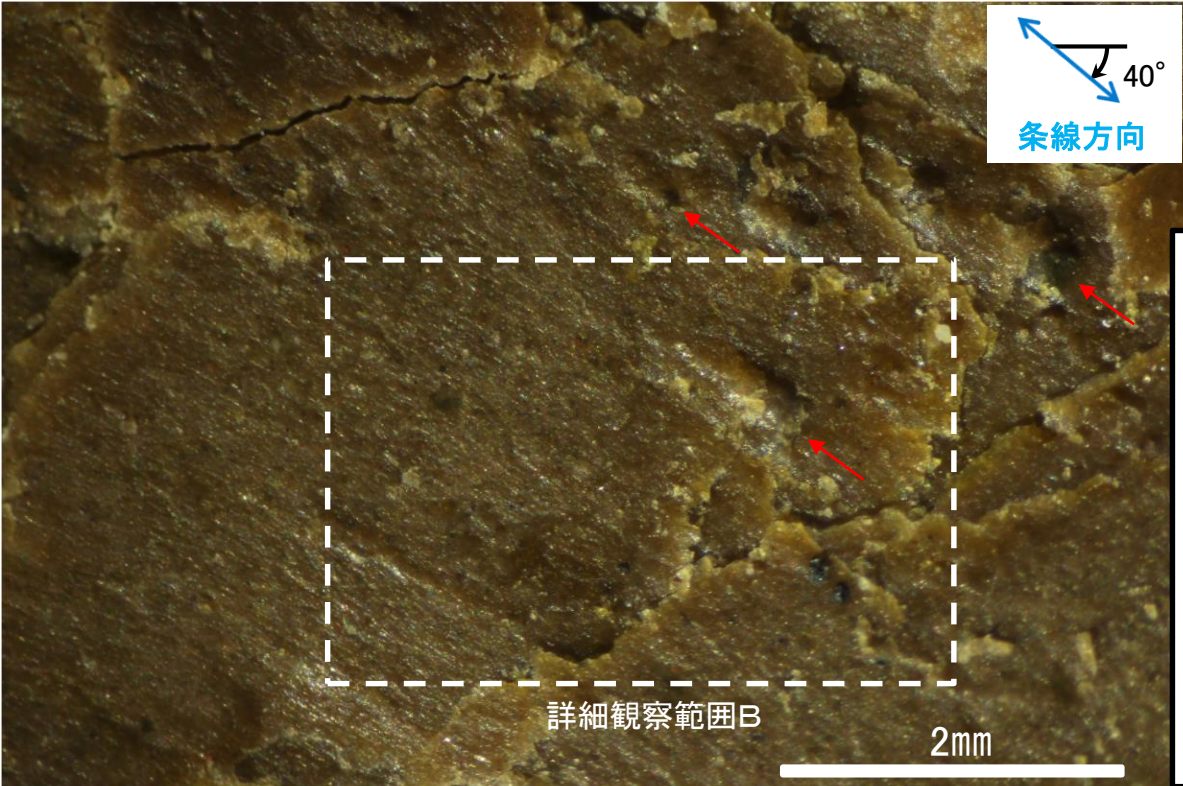
試料採取位置(No.27切羽)  
● ボーリング箇所(No.27-1孔)



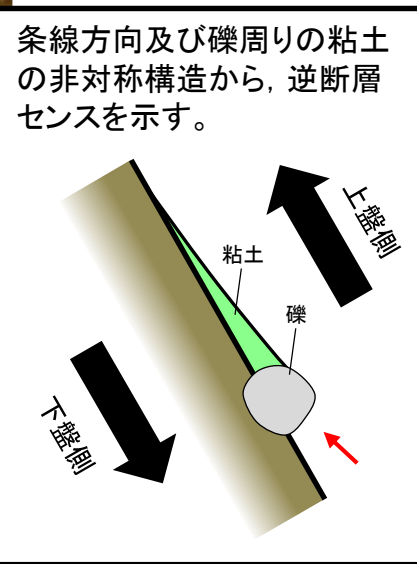
観察面写真



観察面拡大写真



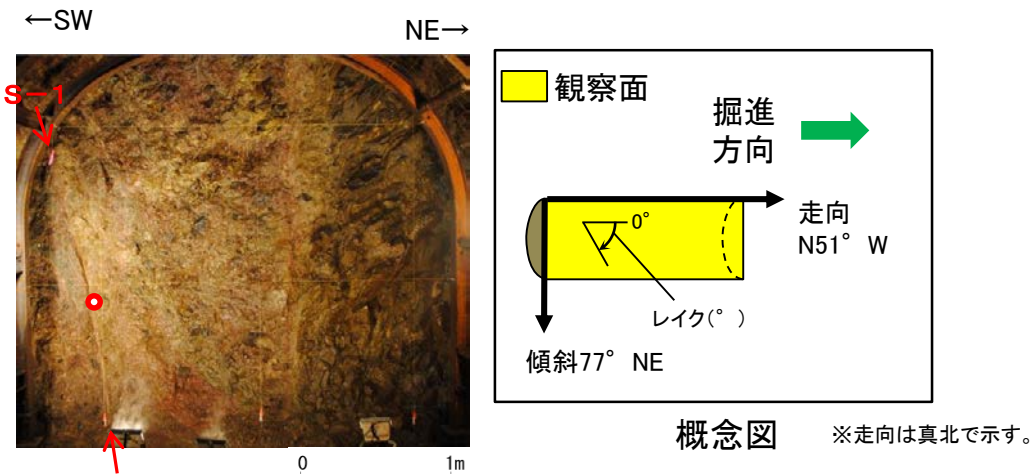
詳細観察写真A



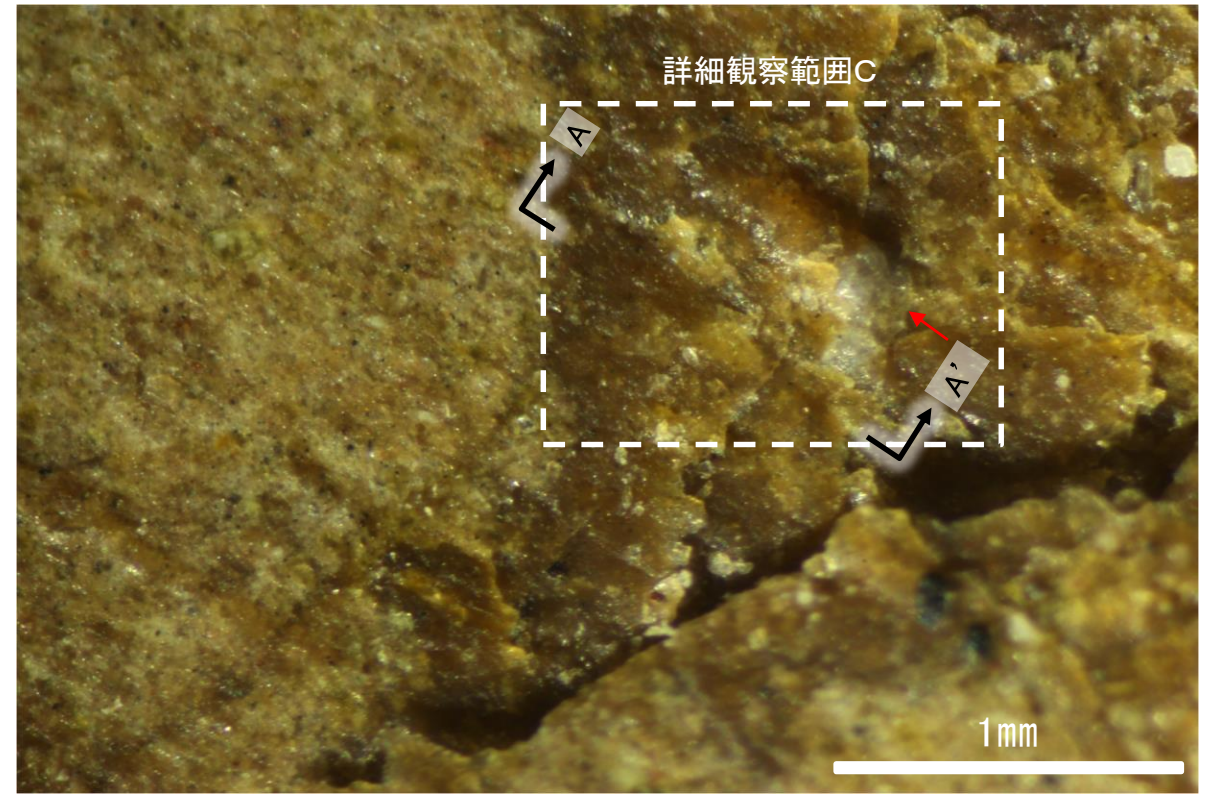
条線方向及び礫周りの粘土の非対称構造から、逆断層センスを示す。



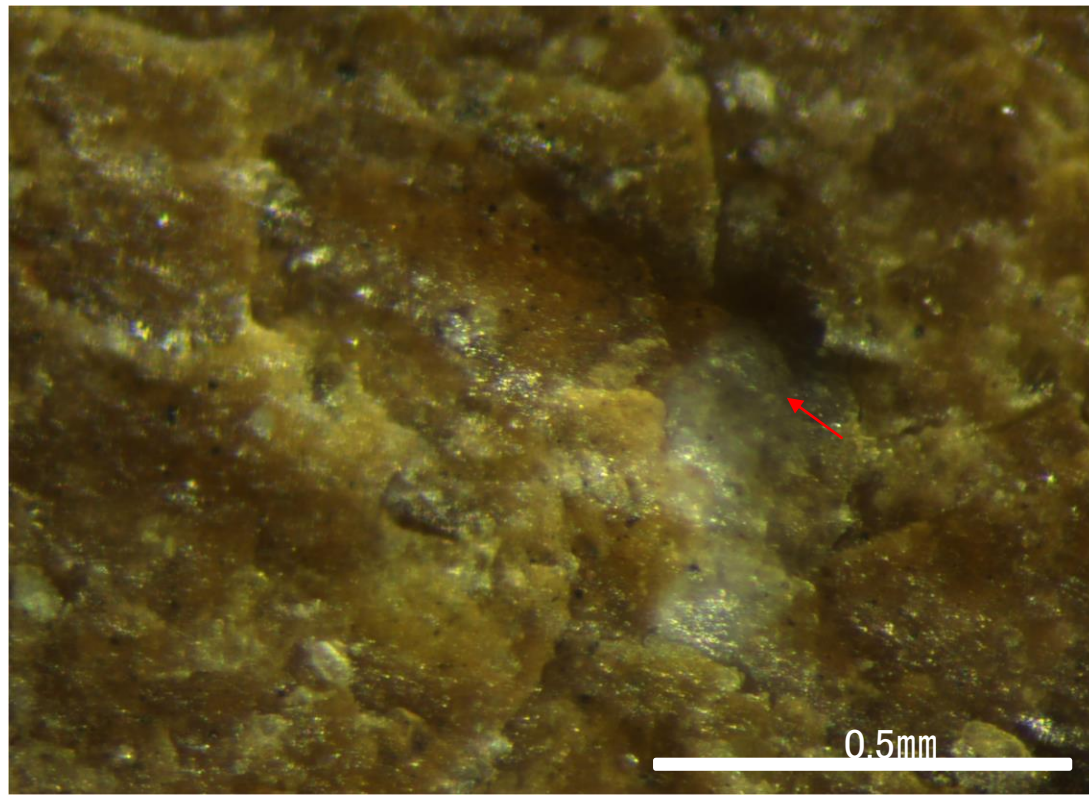
# 条線観察結果(岩盤調査坑)ボーリングNo.27-1孔(下盤側)②



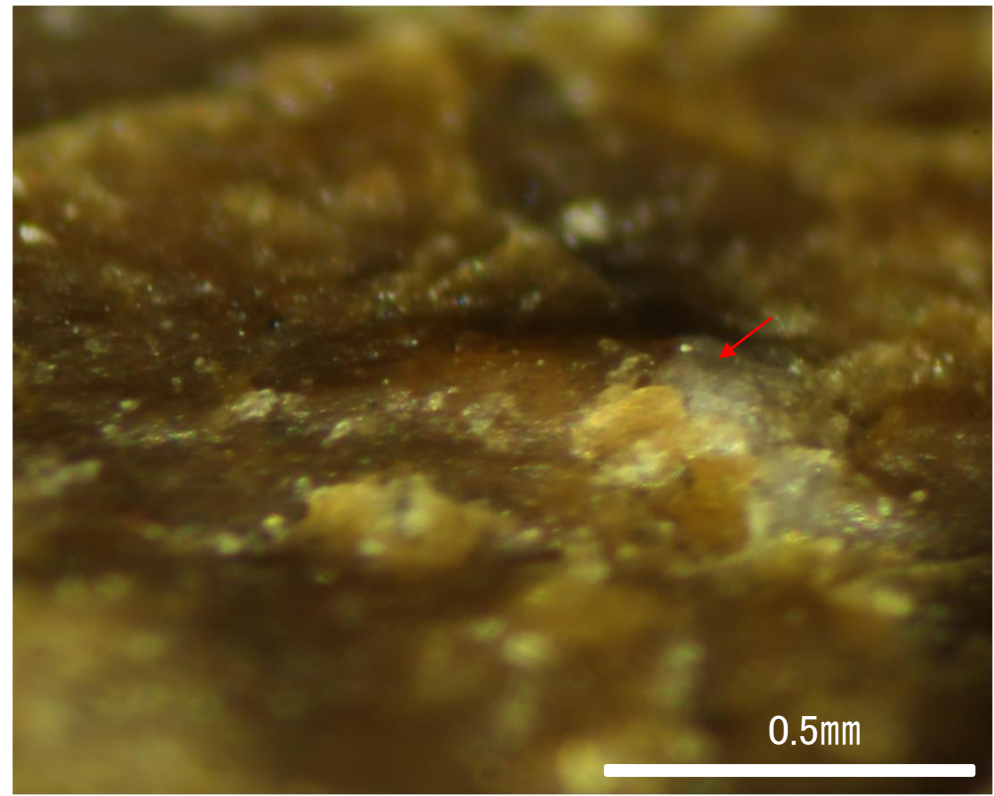
試料採取位置(No.27切羽)  
● ボーリング箇所(No.27-1孔)



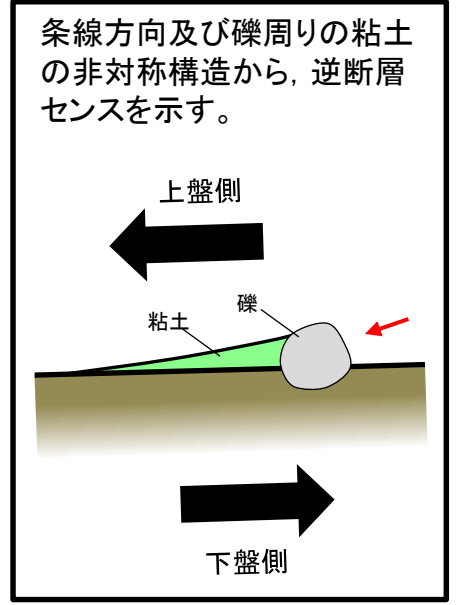
詳細観察写真B



詳細観察写真C

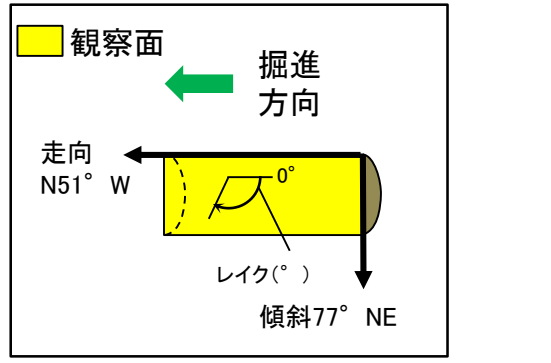
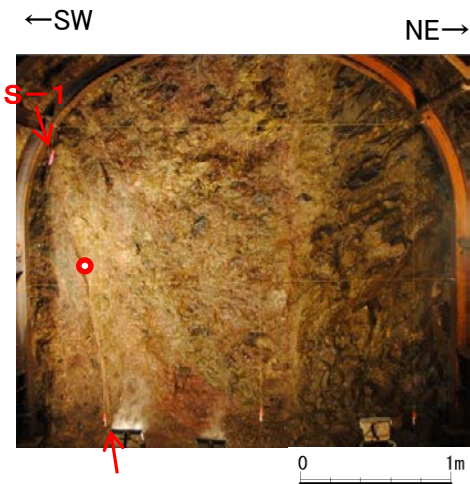


詳細観察写真(A-A'断面)



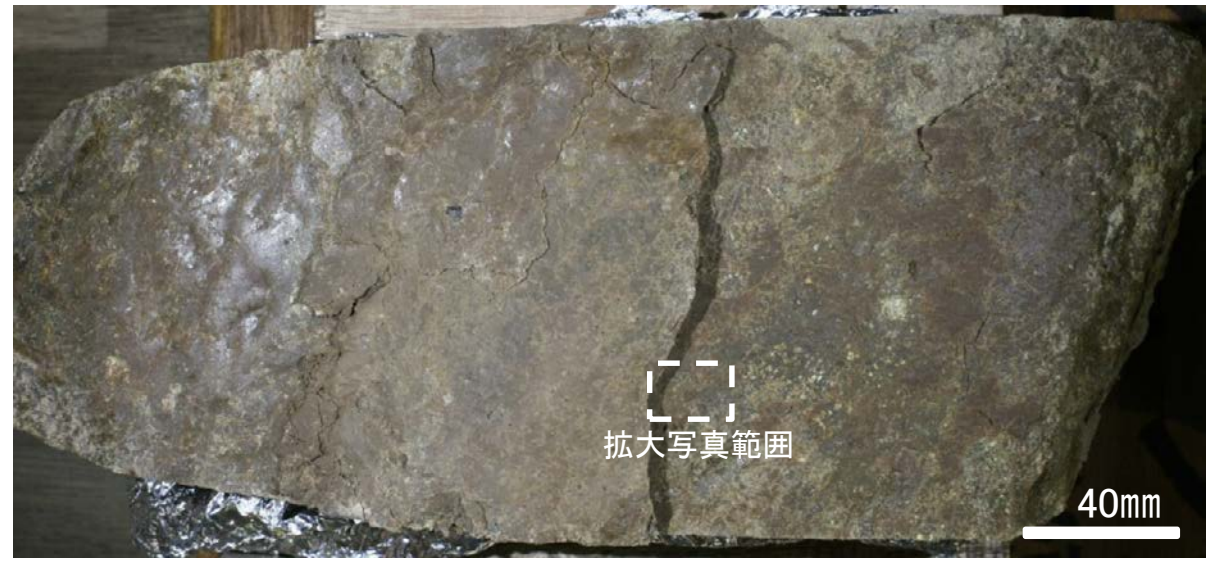
・条線のレイクは40° R, 変位センスは右横ずれ逆断層センス

# 条線観察結果(岩盤調査坑)ボーリングNo.27-2孔(上盤側)①

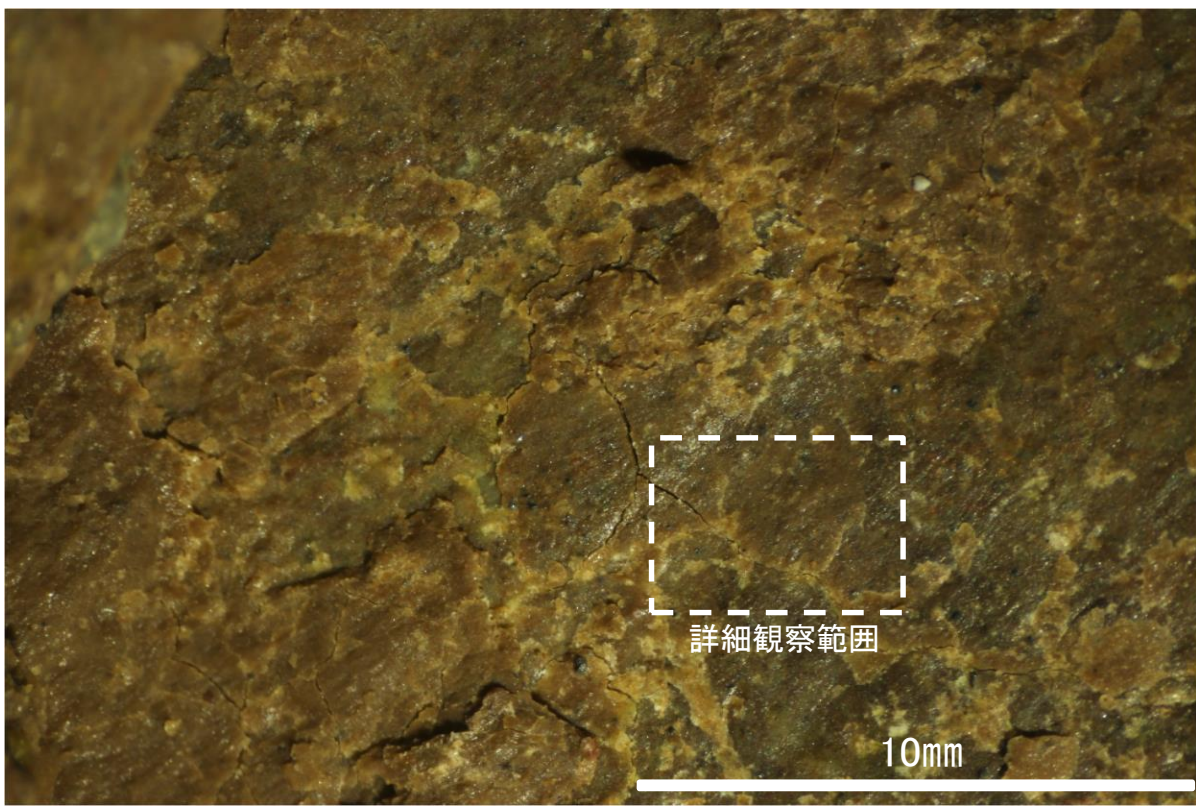


概念図 ※走向は真北で示す。

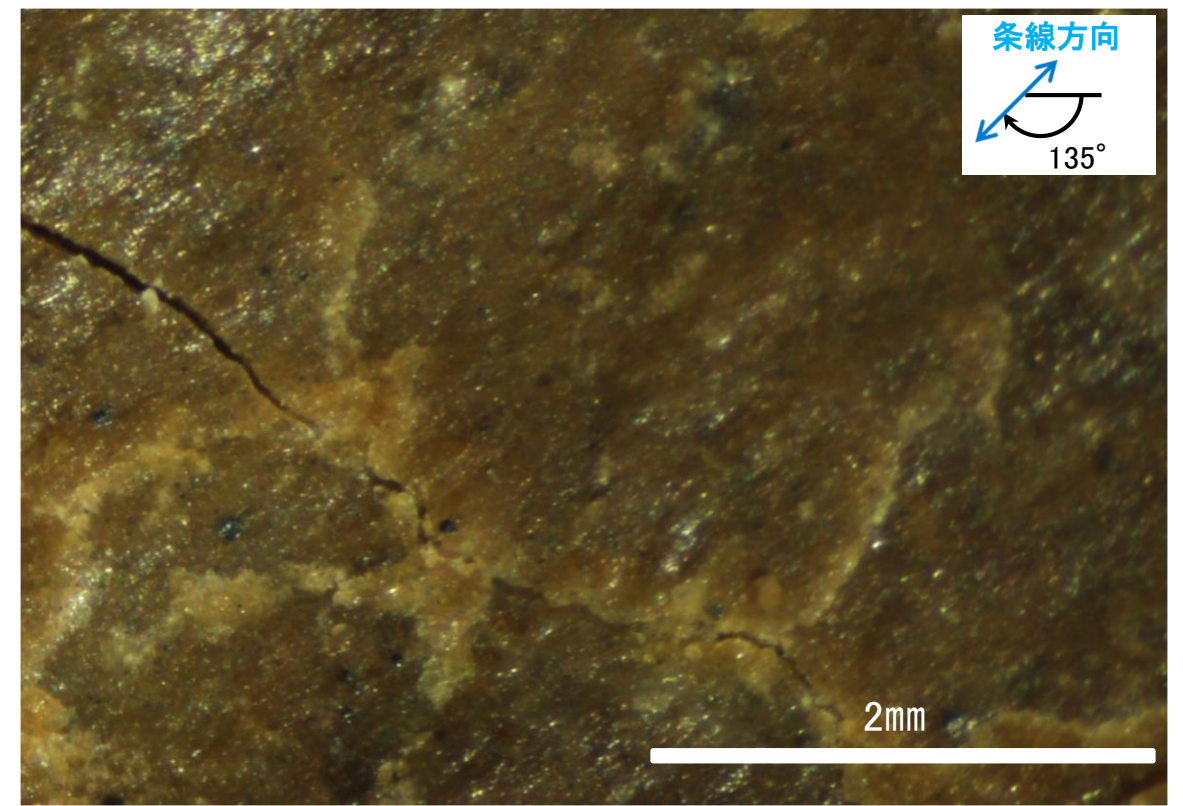
試料採取位置(No.27切羽)  
● ボーリング箇所(No.27-2孔)



観察面写真



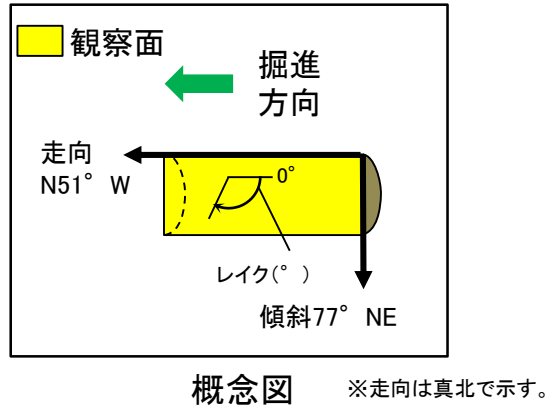
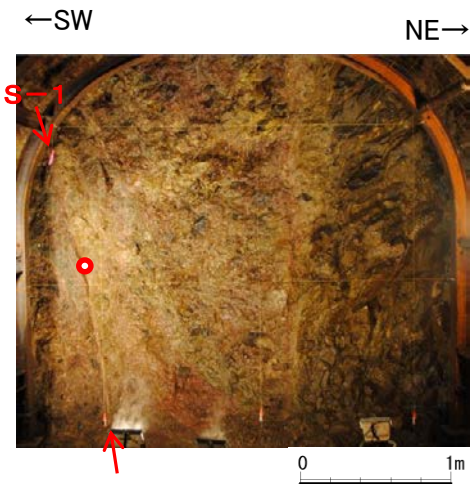
観察面拡大写真



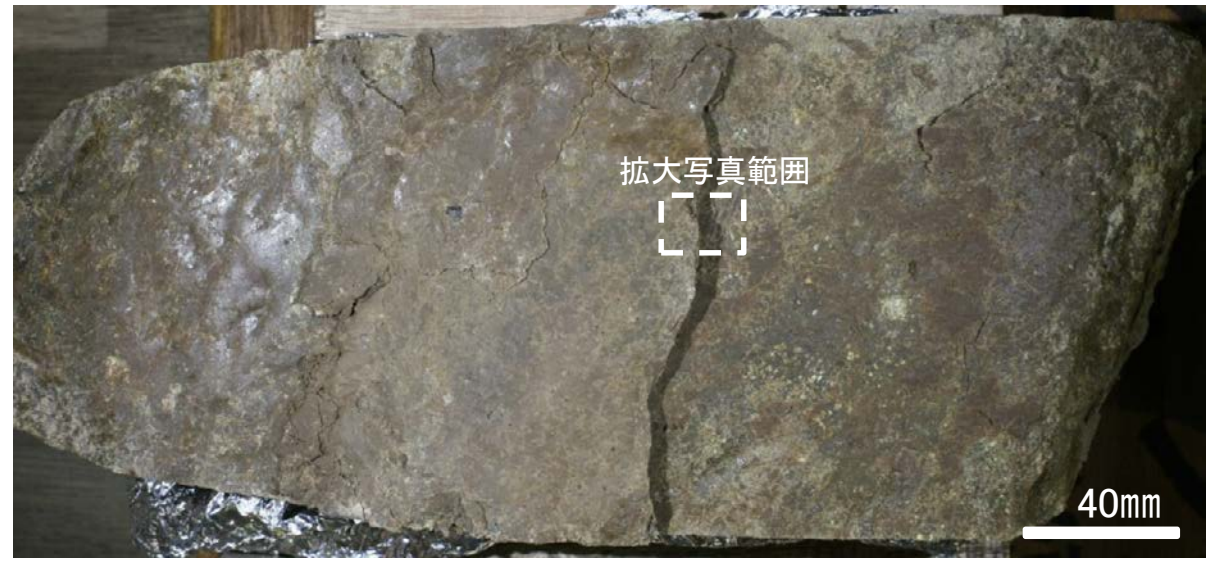
詳細観察写真

・条線のレイクは45° R(下盤側換算), 変位センスは不明

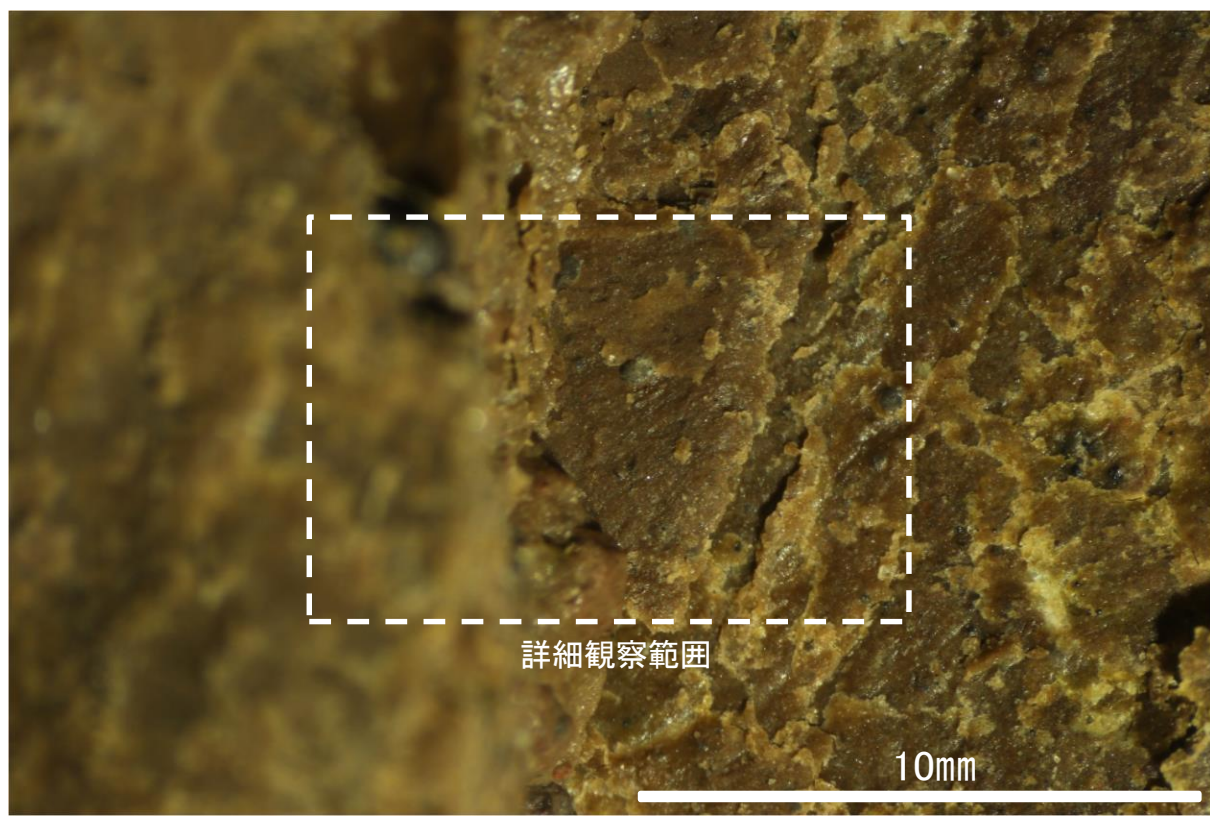
# 条線観察結果(岩盤調査坑)ボーリングNo.27-2孔(上盤側)②



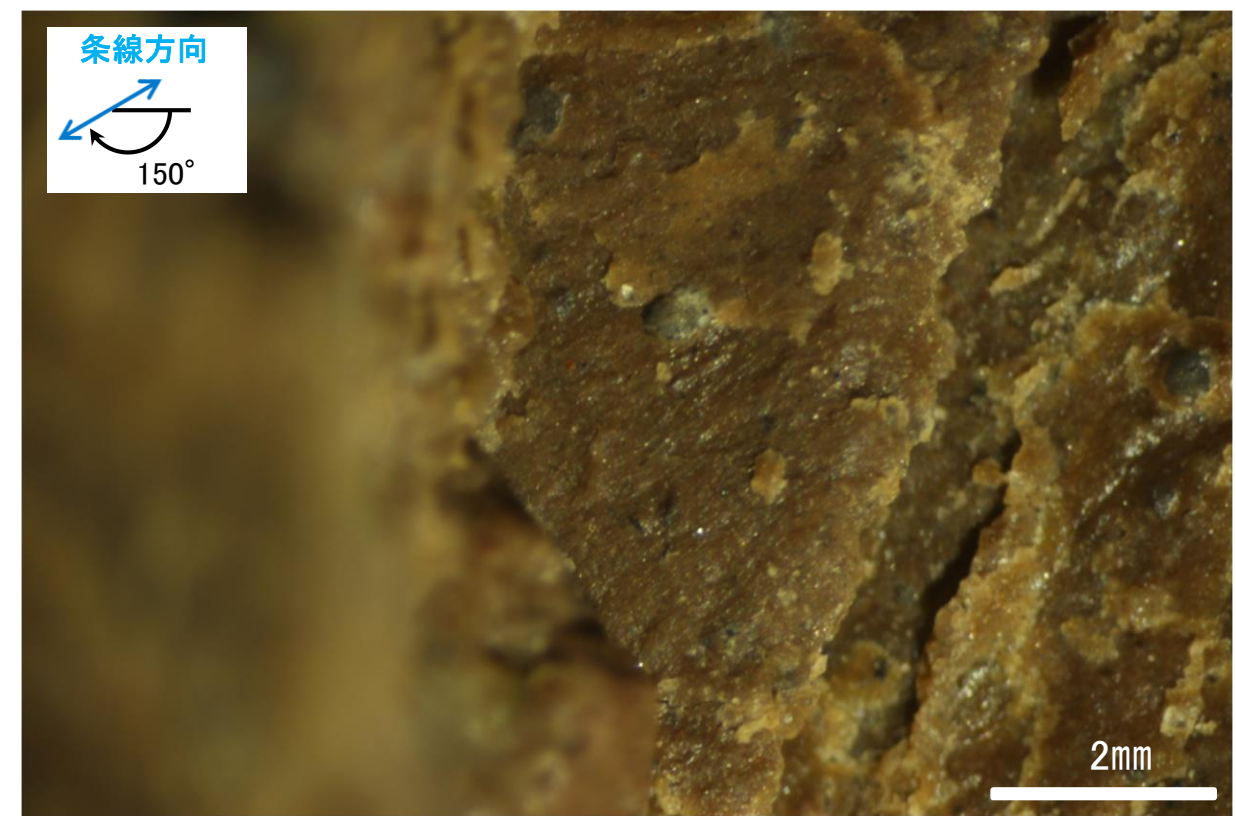
試料採取位置(No.27切羽)  
● ボーリング箇所(No.27-2孔)



観察面写真



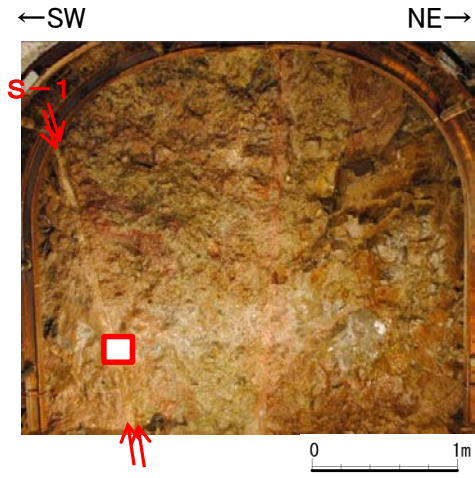
観察面拡大写真



詳細観察写真

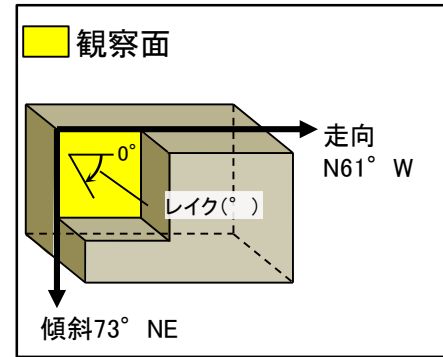
・条線のレイクは30° R(下盤側換算), 変位センスは不明

# 条線観察結果(岩盤調査坑)No.24-2ブロック(1)(下盤側)①

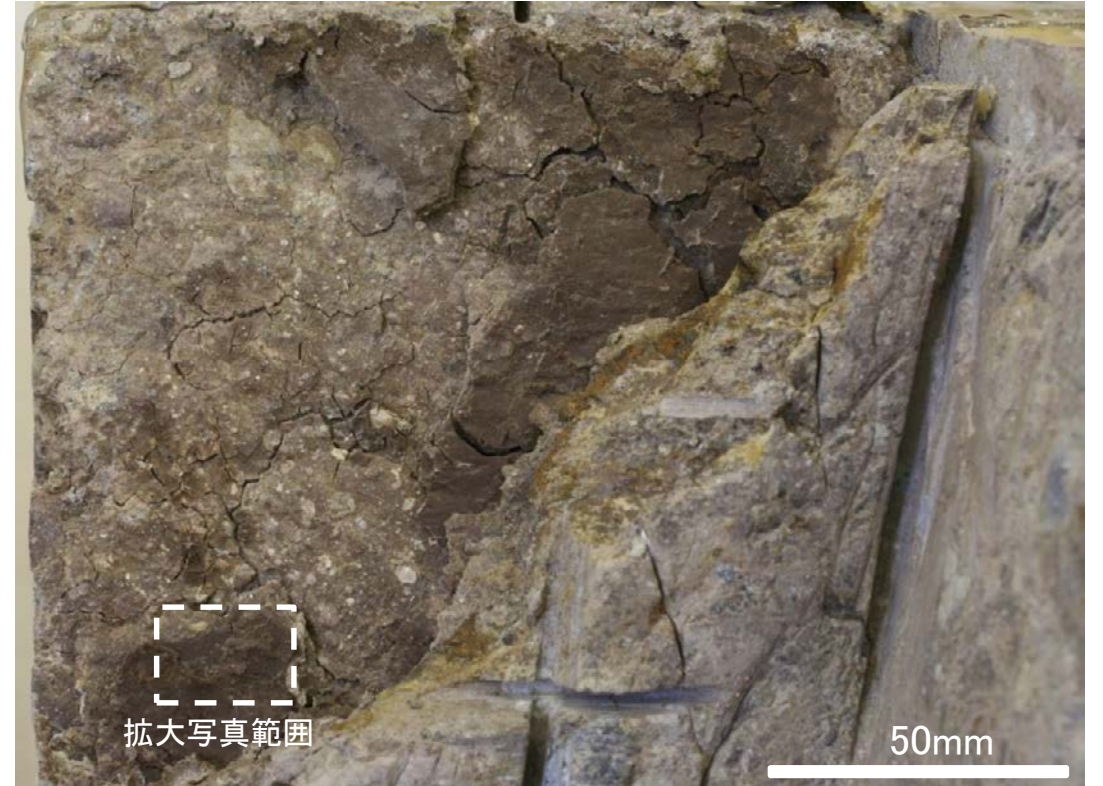


試料採取位置(No.24切羽)

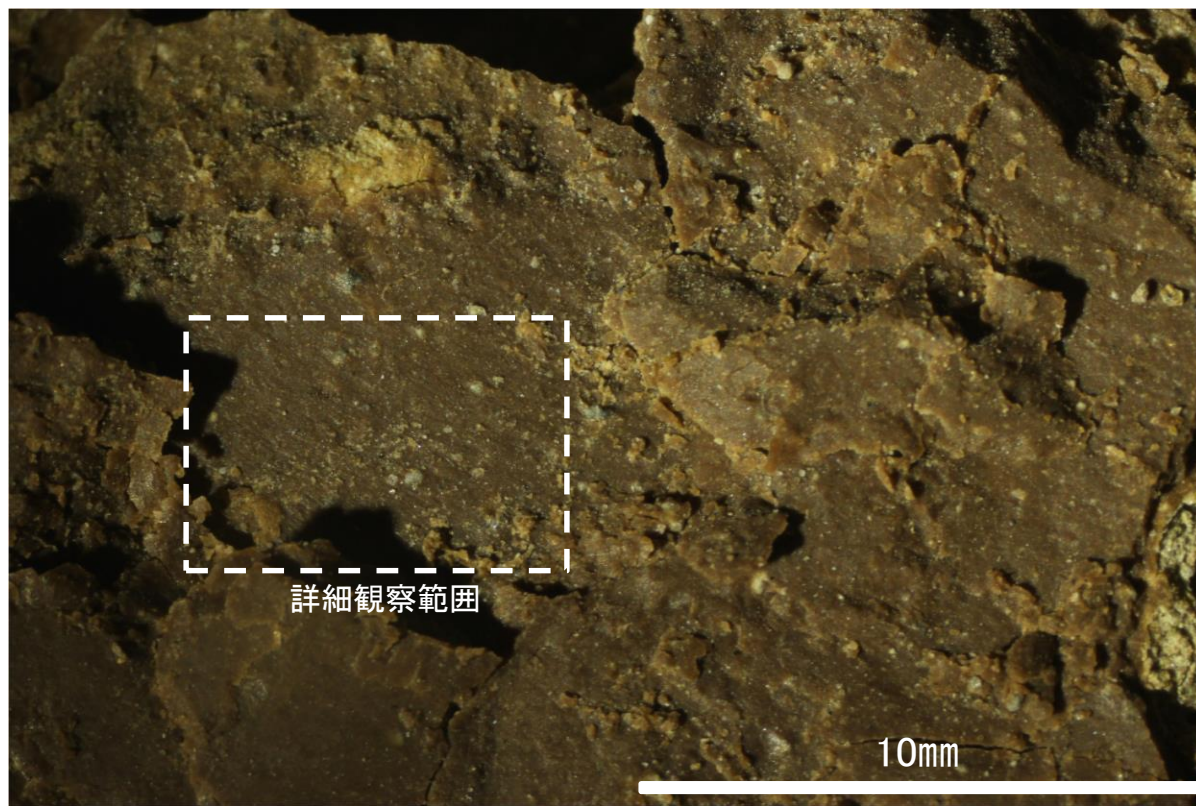
□ 試料採取箇所  
(No.24-2ブロック)



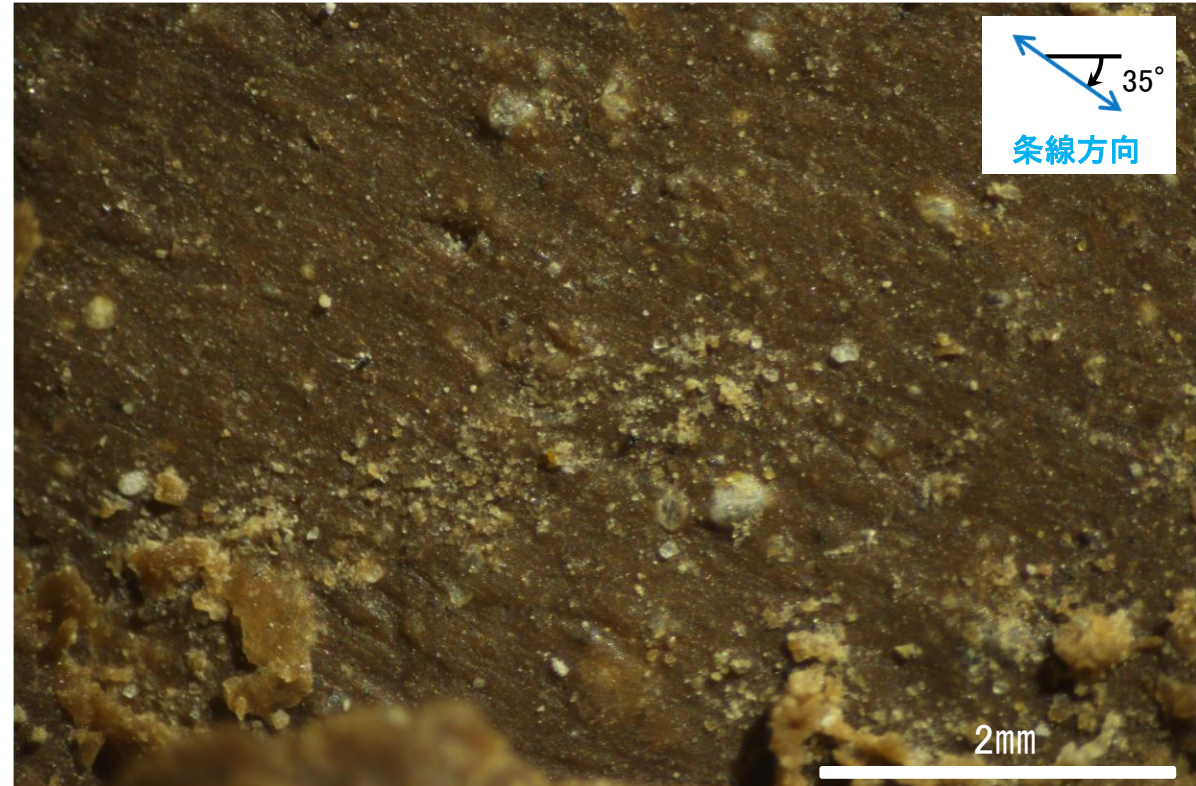
概念図 ※走向は真北で示す。



観察面写真



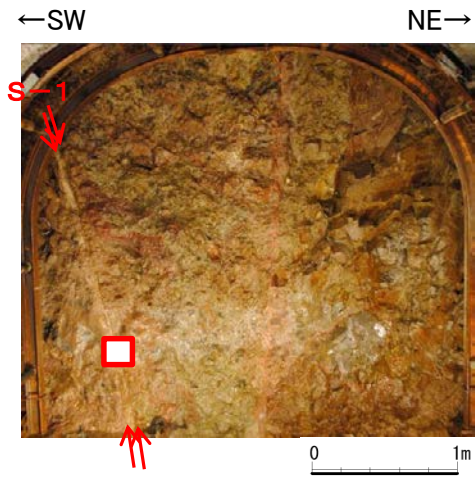
観察面拡大写真



詳細観察写真

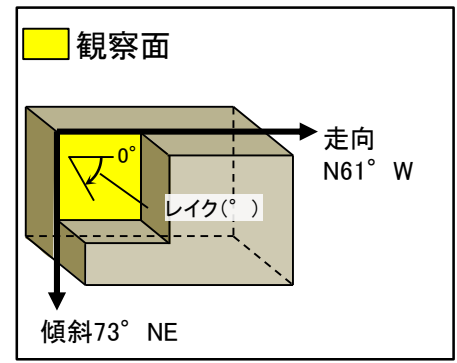
・条線のレイクは35° R, 変位センスは不明

# 条線観察結果(岩盤調査坑)No.24-2ブロック(1)(下盤側)②

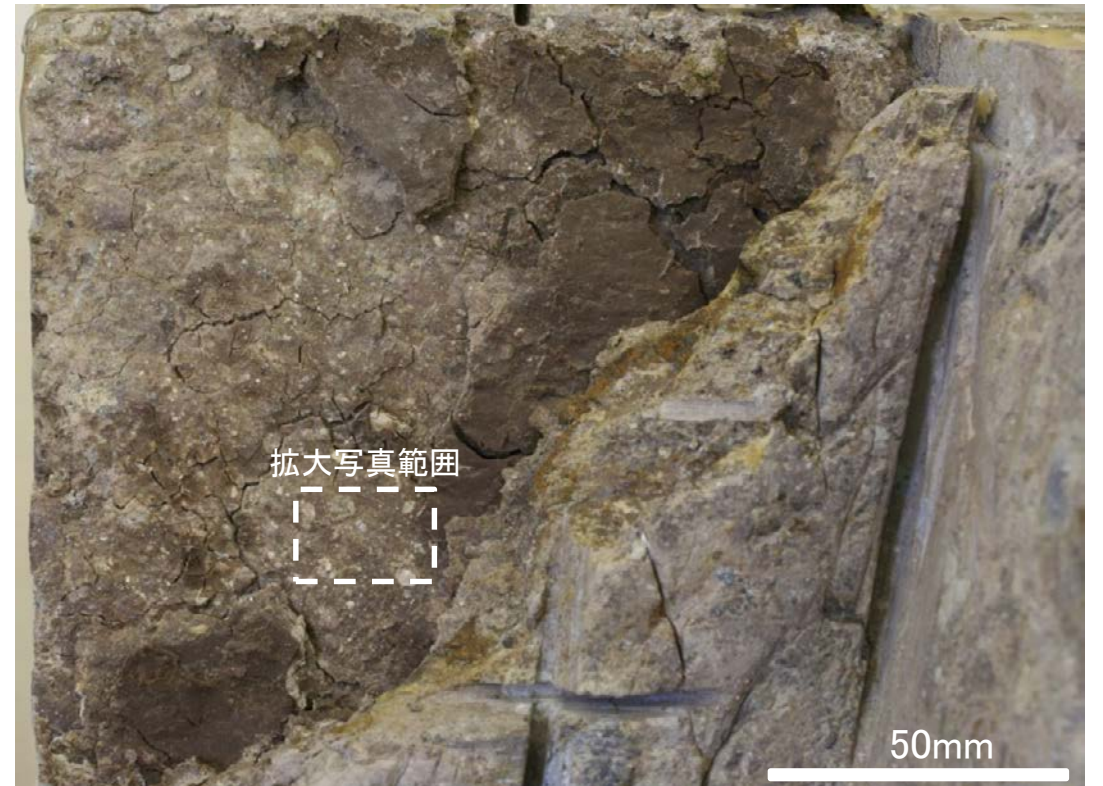


試料採取位置(No.24切羽)

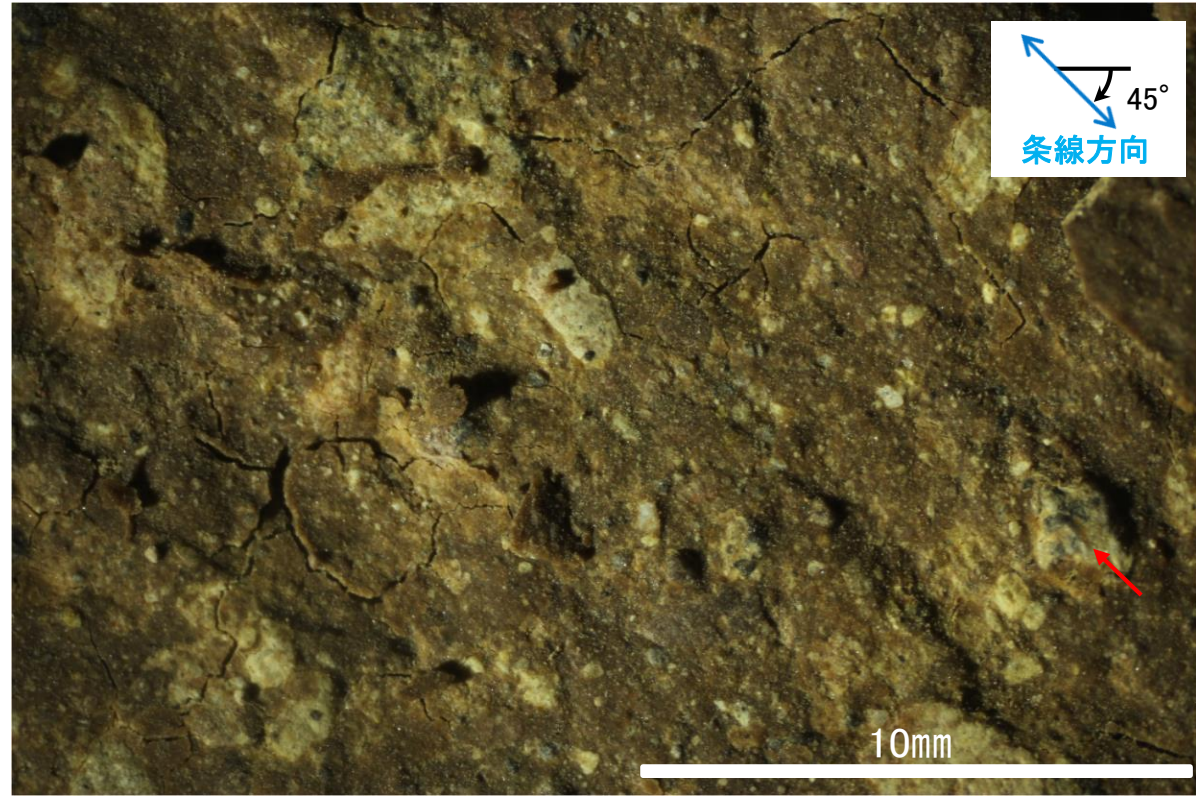
□ 試料採取箇所  
(No.24-2ブロック)



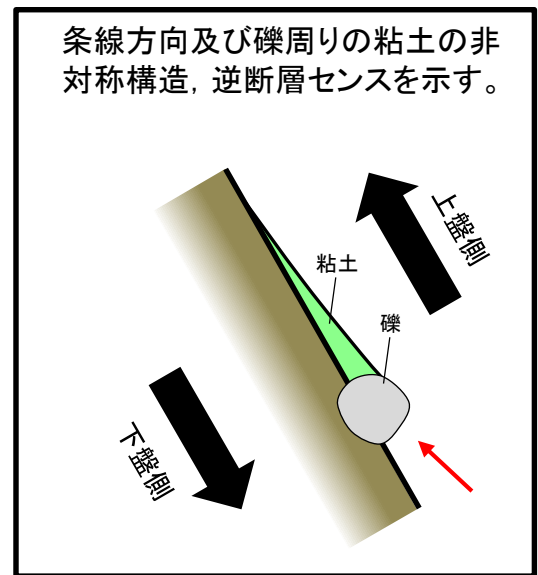
概念図 ※走向は真北で示す。



観察面写真



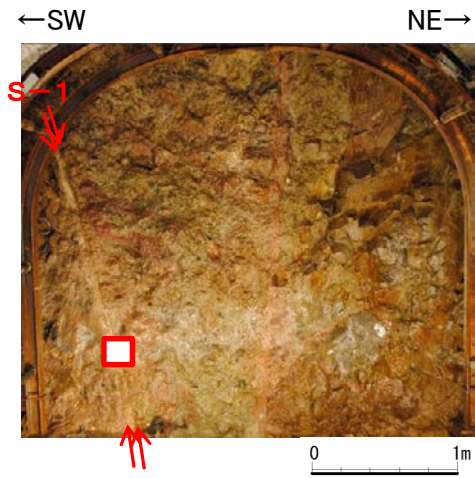
観察面拡大写真



条線方向及び礫周りの粘土の非対称構造, 逆断層センスを示す。

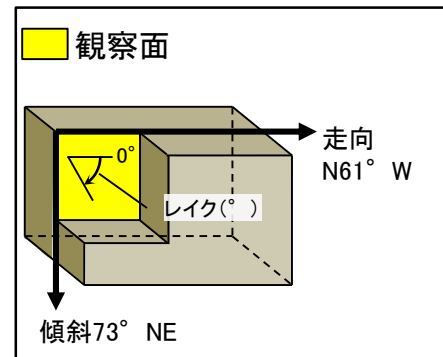
・条線のレイクは45° R, 変位センスは右横ずれ逆断層センス

# 条線観察結果(岩盤調査坑)No.24-2ブロック(2)(下盤側)



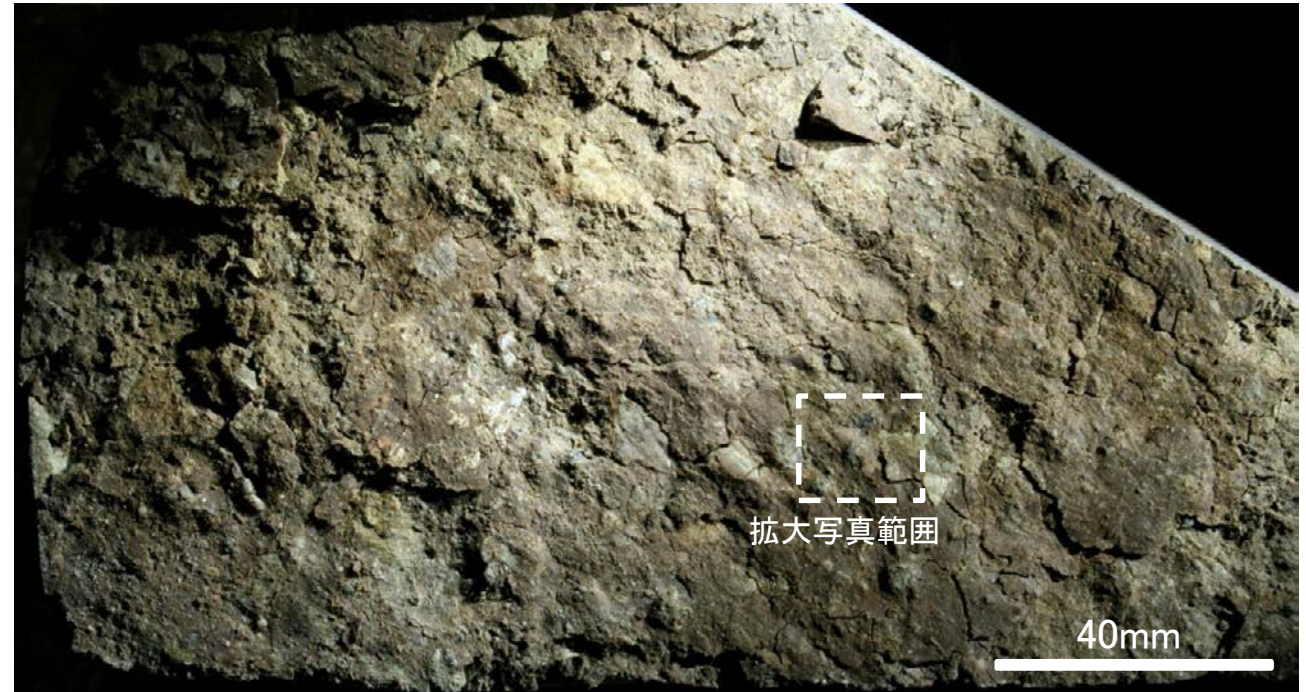
試料採取位置(No.24切羽)

試料採取箇所  
(No.24-2ブロック)

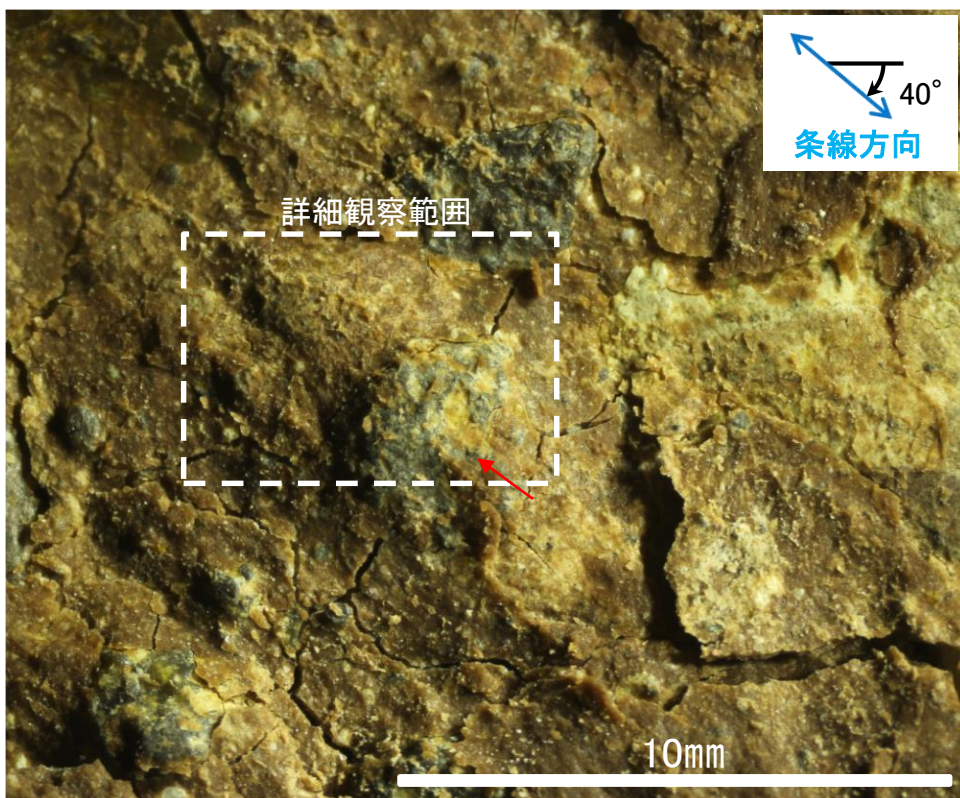


概念図

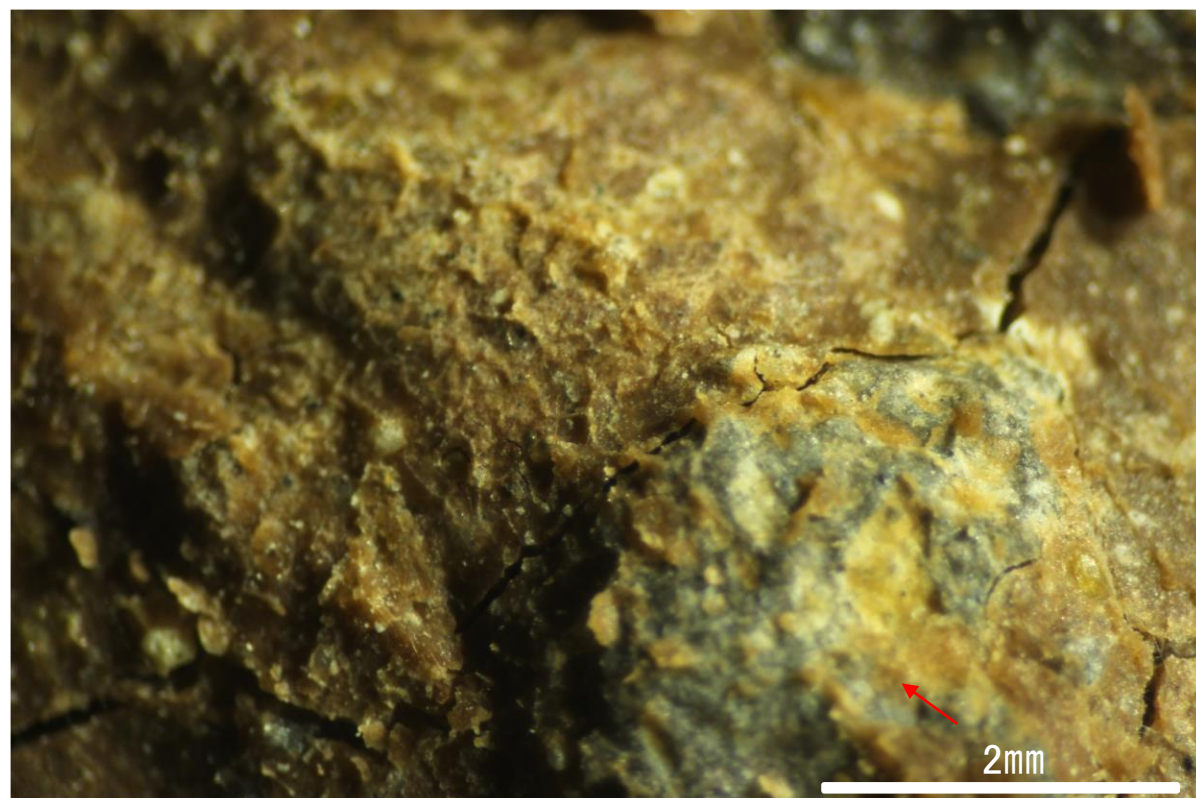
※走向は真北で示す。



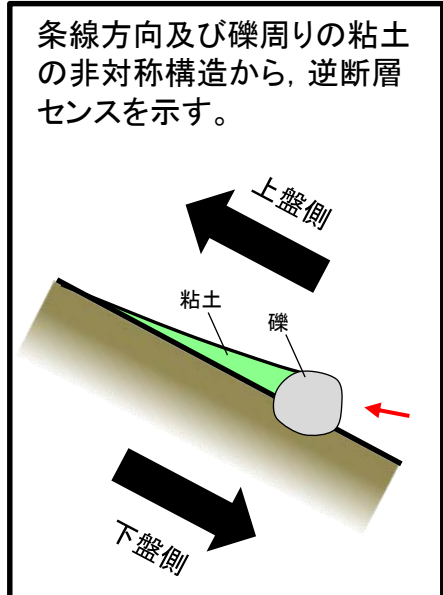
観察面写真



観察面拡大写真



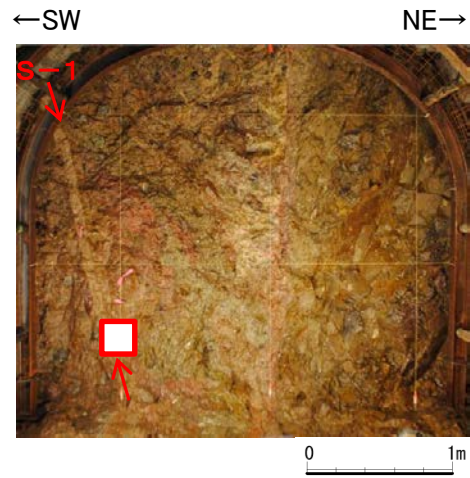
詳細観察写真



条線方向及び礫周りの粘土の非対称構造から、逆断層センスを示す。

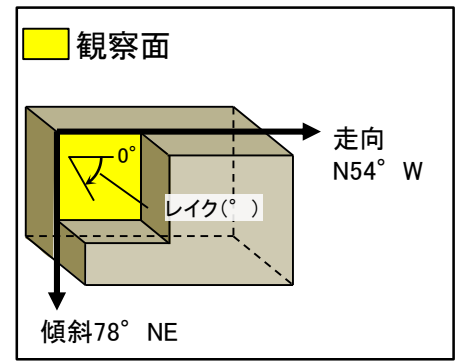
・条線のレイクは40° R, 変位センスは右横ずれ逆断層センス

# 条線観察結果(岩盤調査坑)No.25-2ブロック(1)(下盤側)

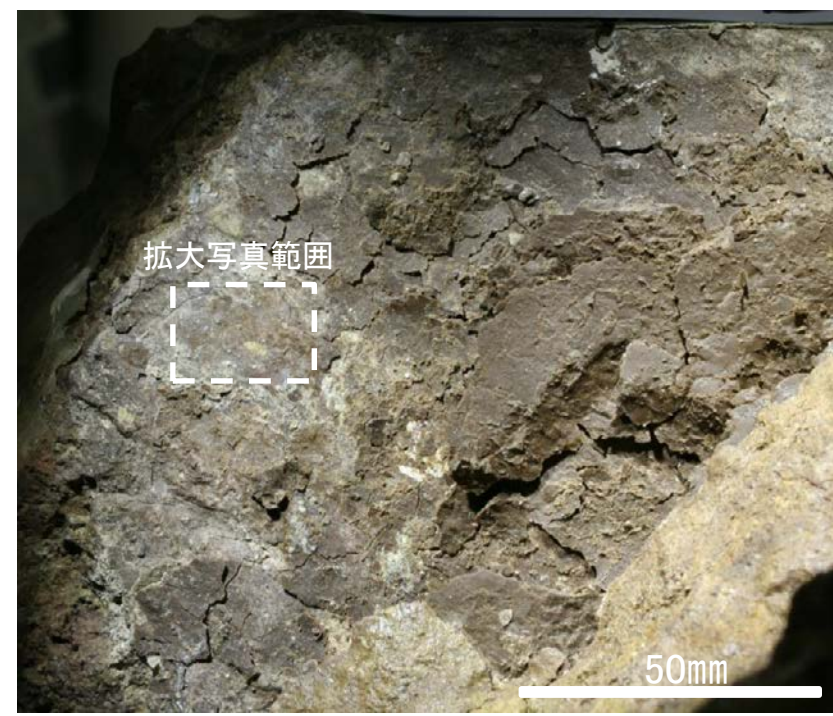


試料採取位置(No.25切羽)

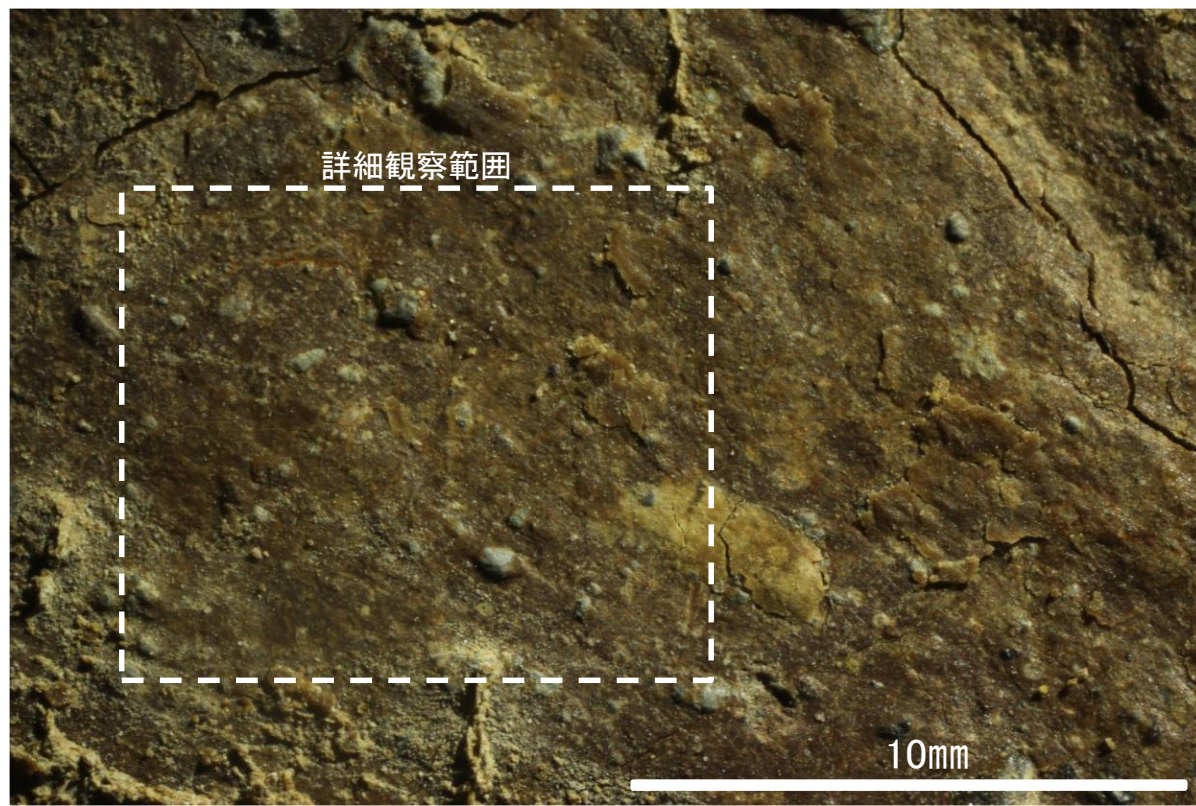
□ 試料採取箇所  
(No.25-2ブロック)



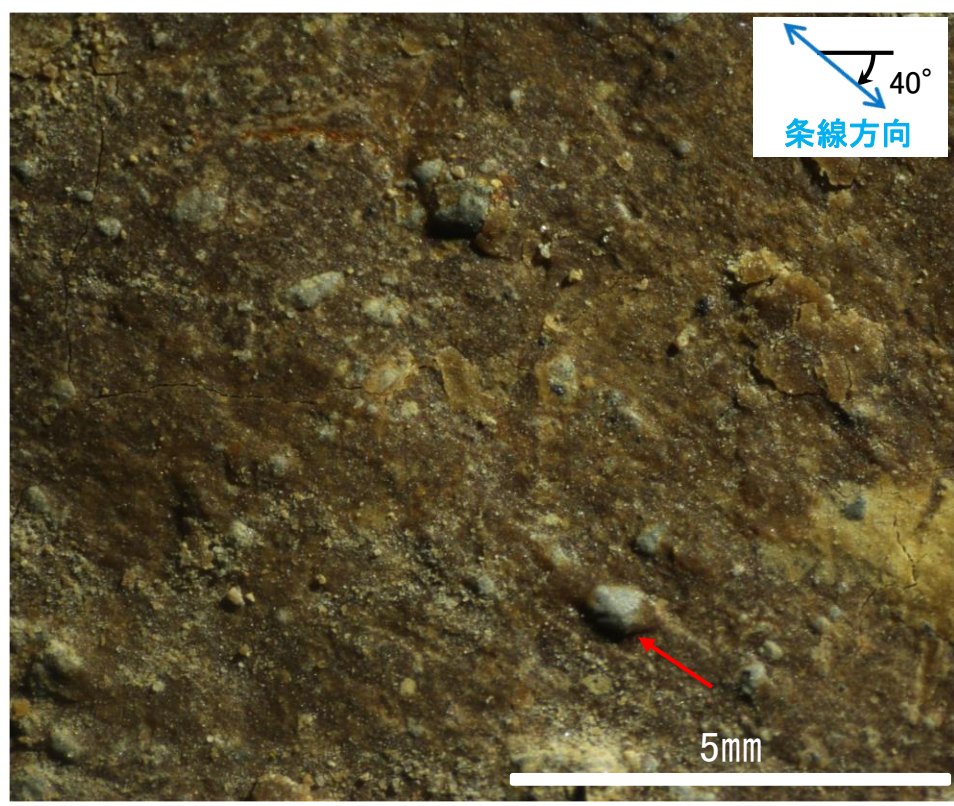
概念図 ※走向は真北で示す。



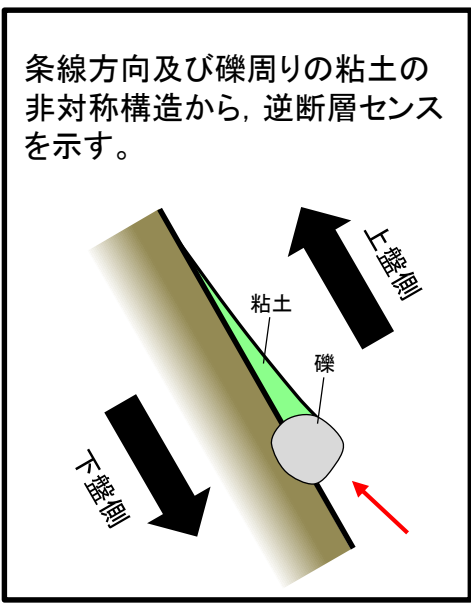
観察面写真



観察面拡大写真



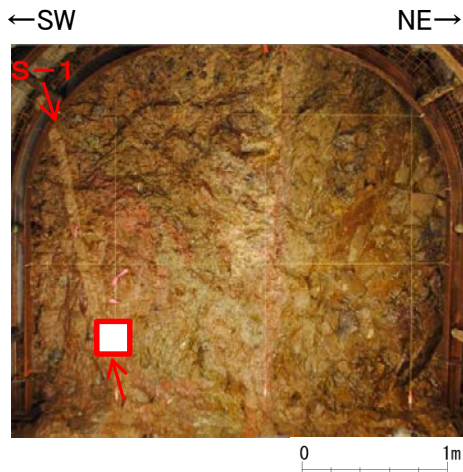
詳細観察写真



条線方向及び礫周りの粘土の非対称構造から、逆断層センスを示す。

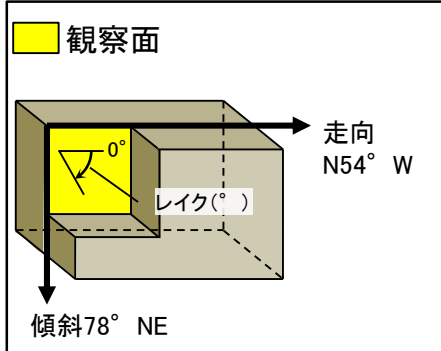
・条線のレイクは40° R, 変位センスは右横ずれ逆断層センス

# 条線観察結果(岩盤調査坑)No.25-2ブロック(2)(下盤側)①

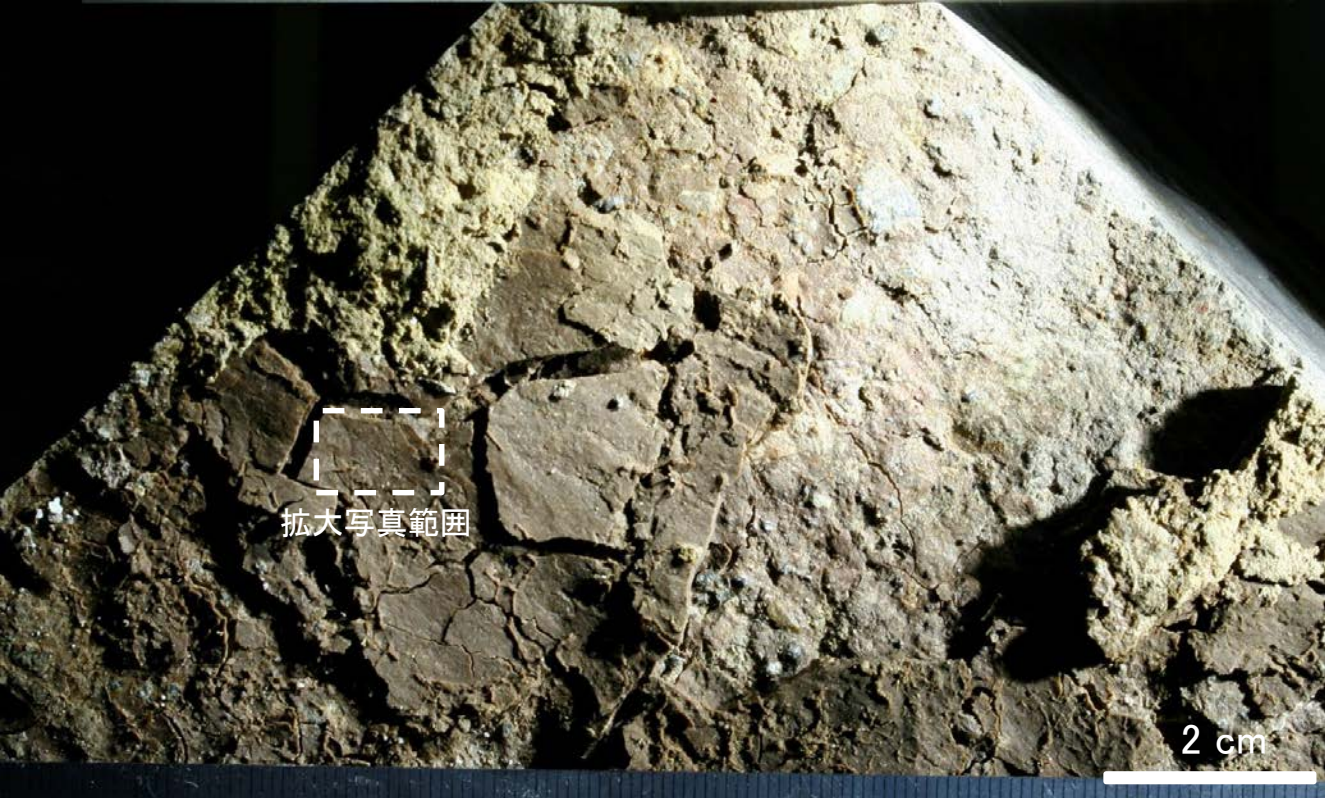


試料採取位置(No.25切羽)

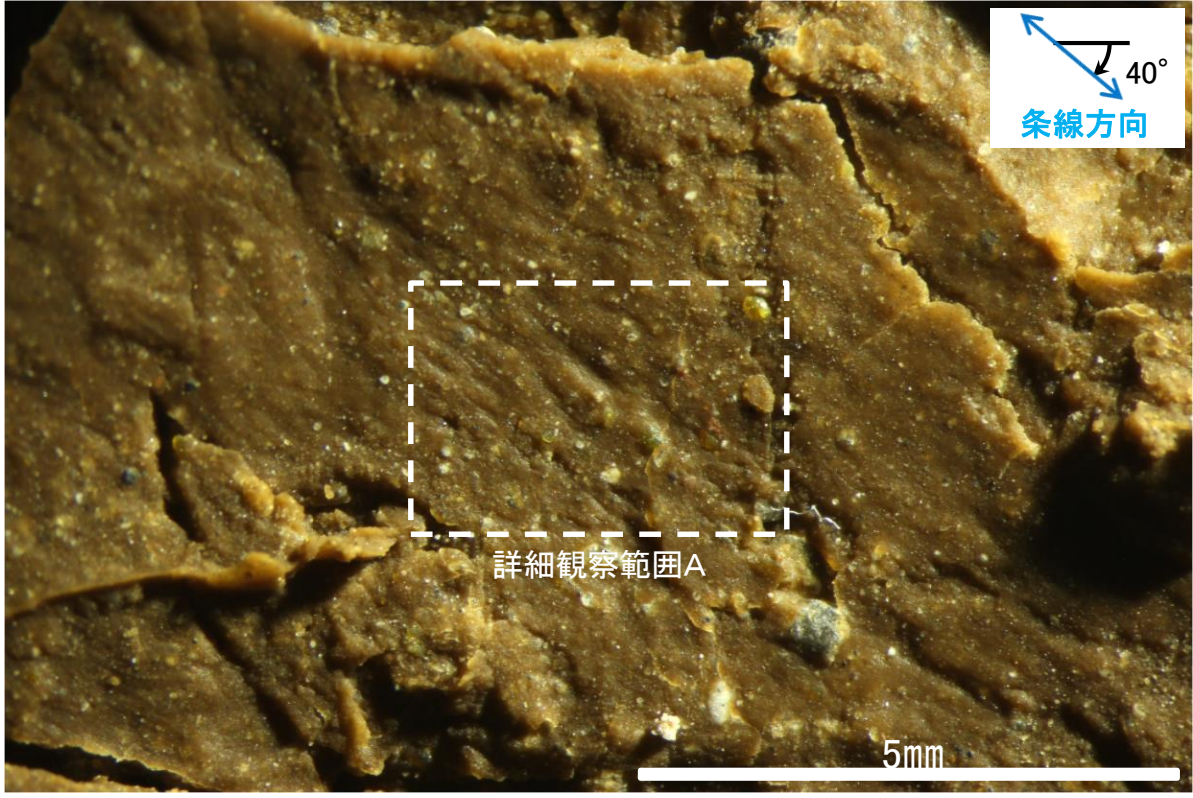
□ 試料採取箇所  
(No.25-2ブロック)



概念図 ※走向は真北で示す。



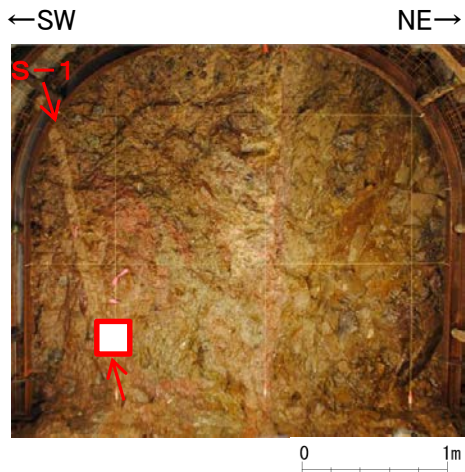
観察面写真



観察面拡大写真

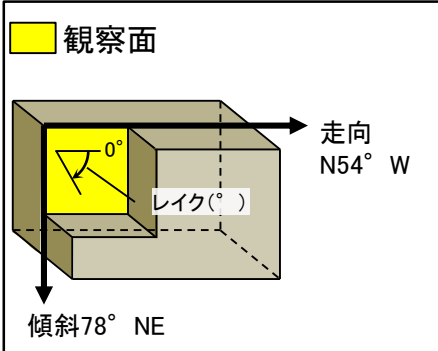


# 条線観察結果(岩盤調査坑)No.25-2ブロック(2)(下盤側)②

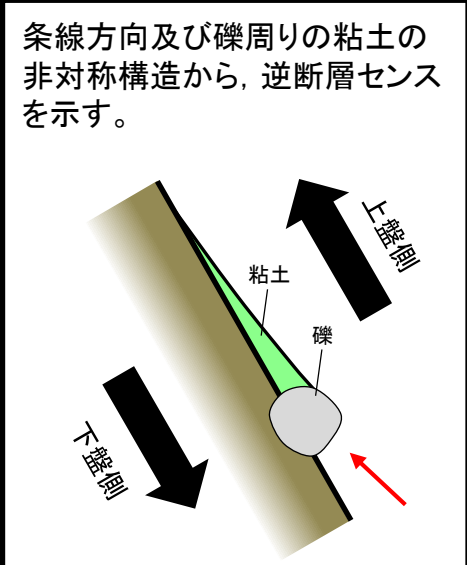


試料採取位置(No.25切羽)

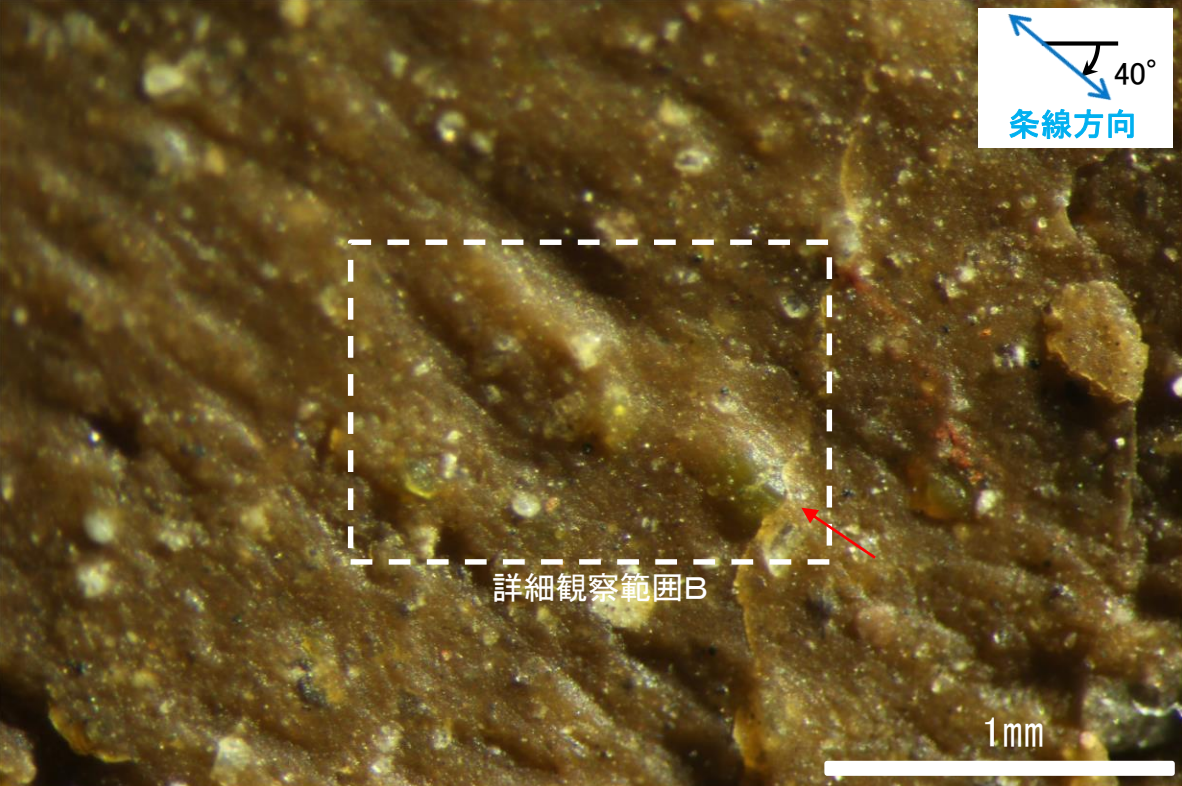
□ 試料採取箇所  
(No.25-2ブロック)



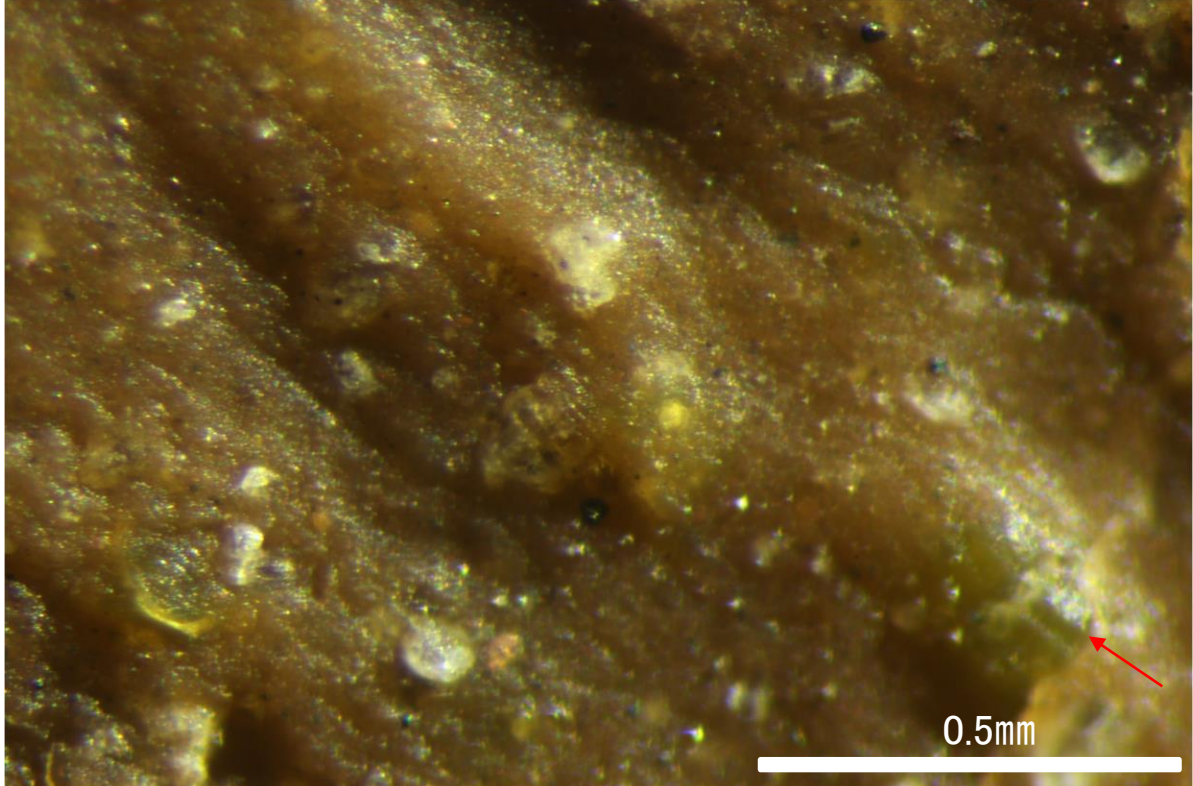
概念図 ※走向は真北で示す。



条線方向及び礫周りの粘土の非対称構造から、逆断層センスを示す。



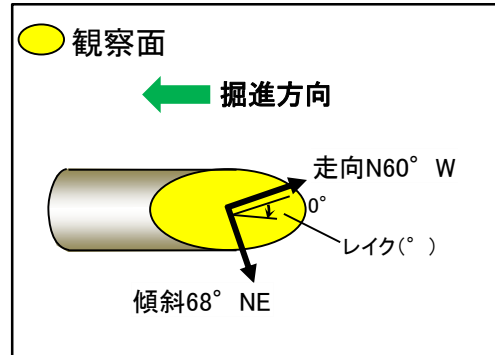
詳細観察写真A



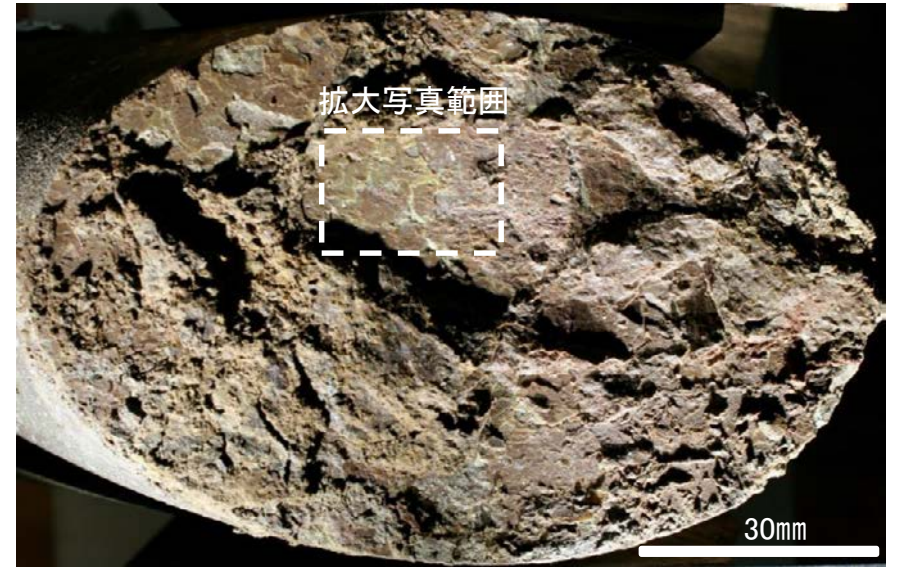
詳細観察写真B

・条線のレイクは40° R, 変位センスは右横ずれ逆断層センス

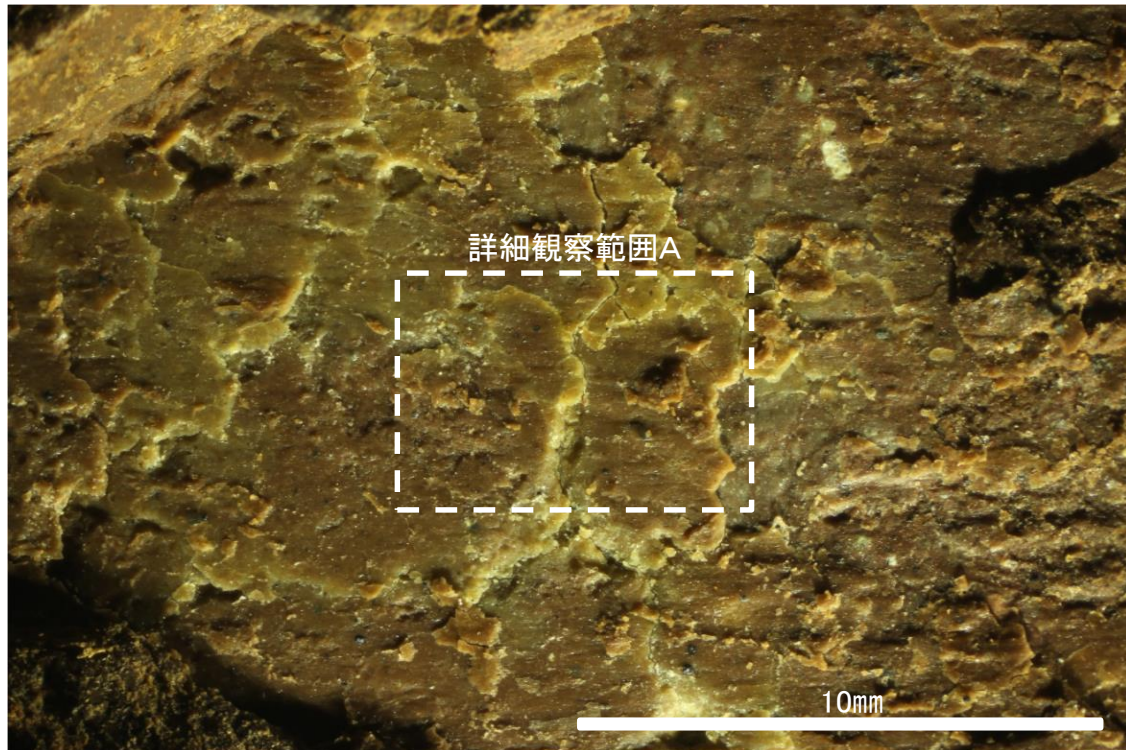
# 条線観察結果(岩盤調査坑)ボーリングT-1孔[深度3.34m](下盤側)①



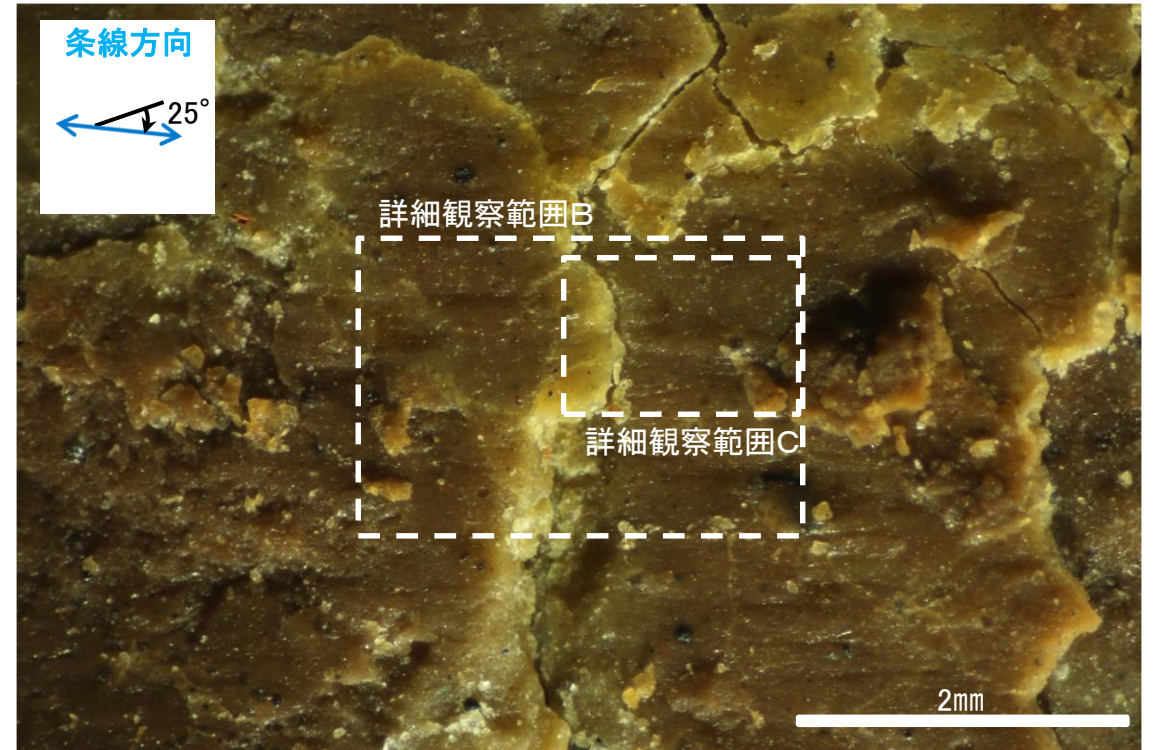
概念図  
※走向は真北で示す。



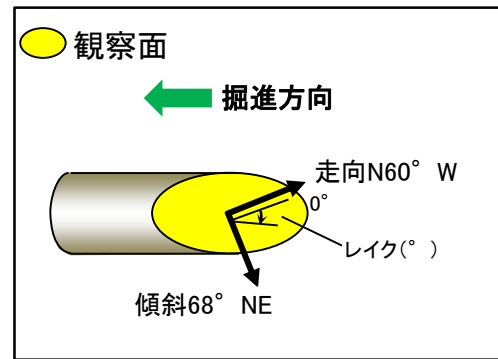
観察面写真



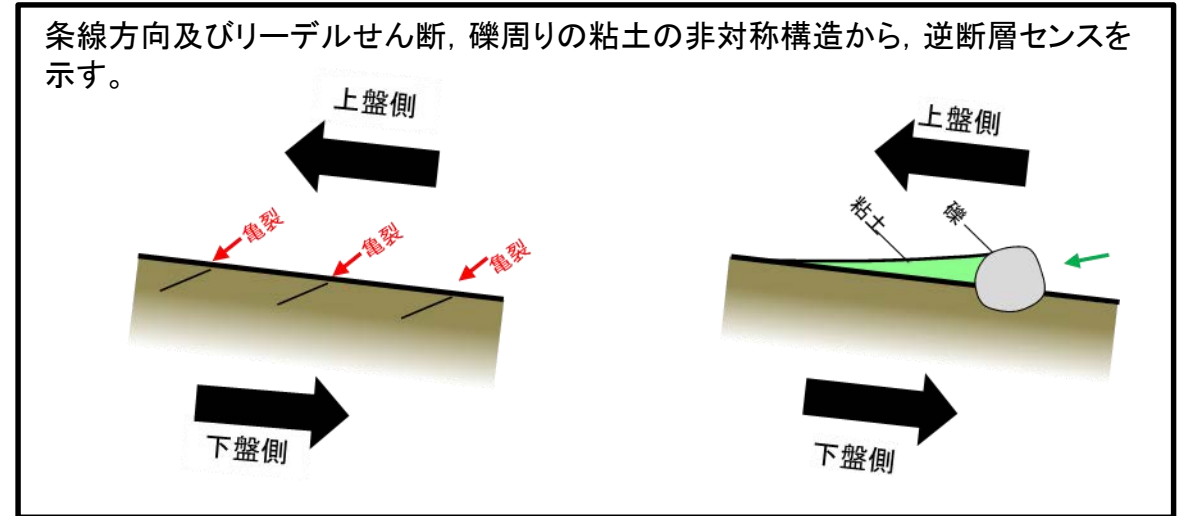
観察面拡大写真



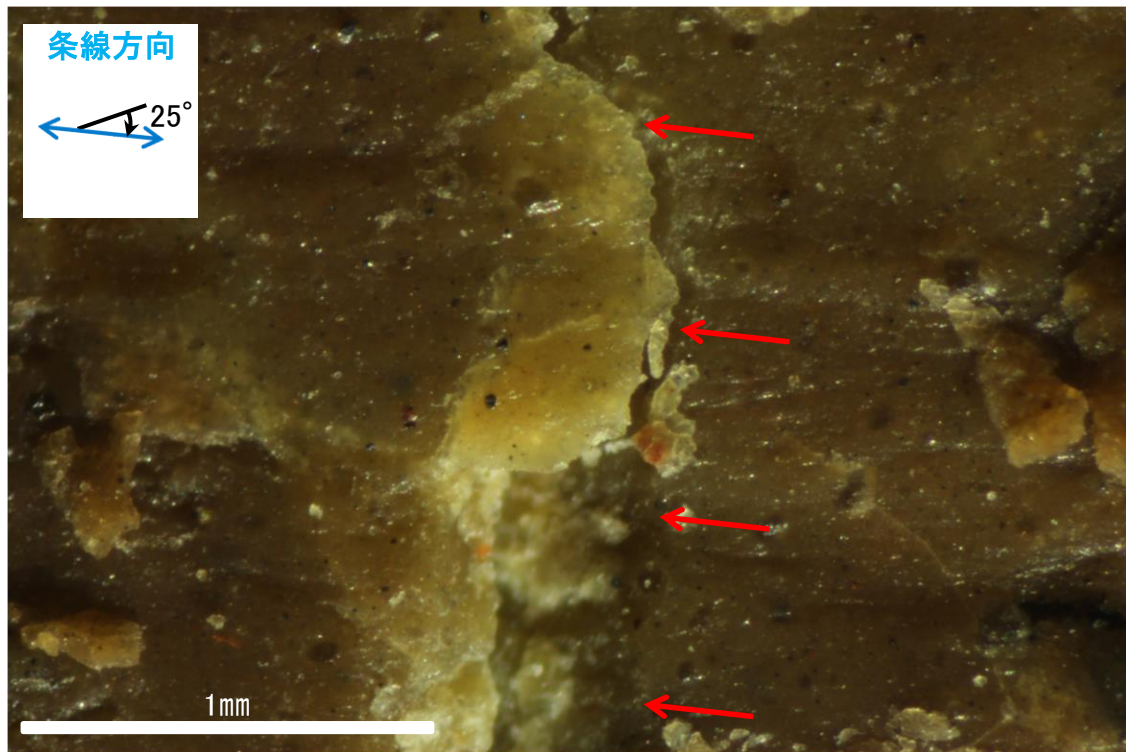
詳細観察写真A



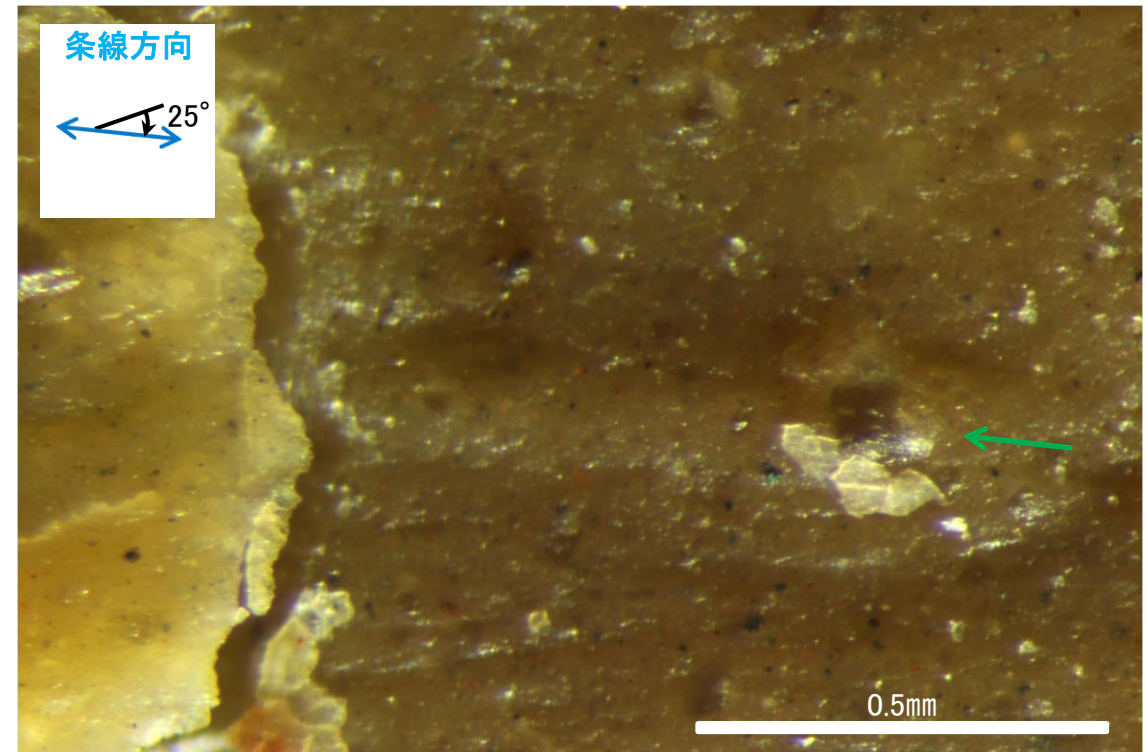
概念図  
※走向は真北で示す。



条線方向及びリーデルせん断, 礫周りの粘土の非対称構造から, 逆断層センスを示す。

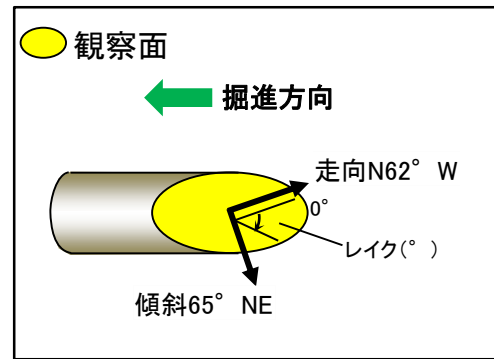


詳細観察写真B

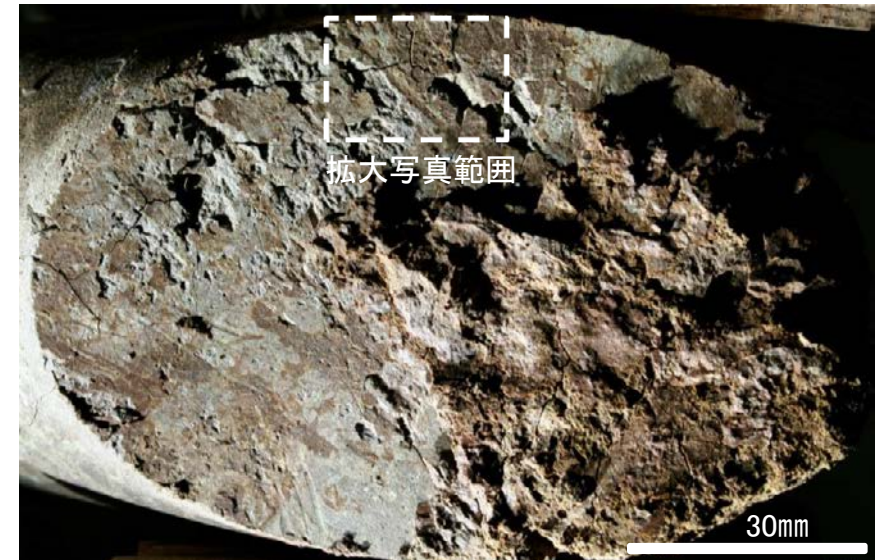


詳細観察写真C

・条線のレイクは25° R, 変位センスは右横ずれ逆断層センス

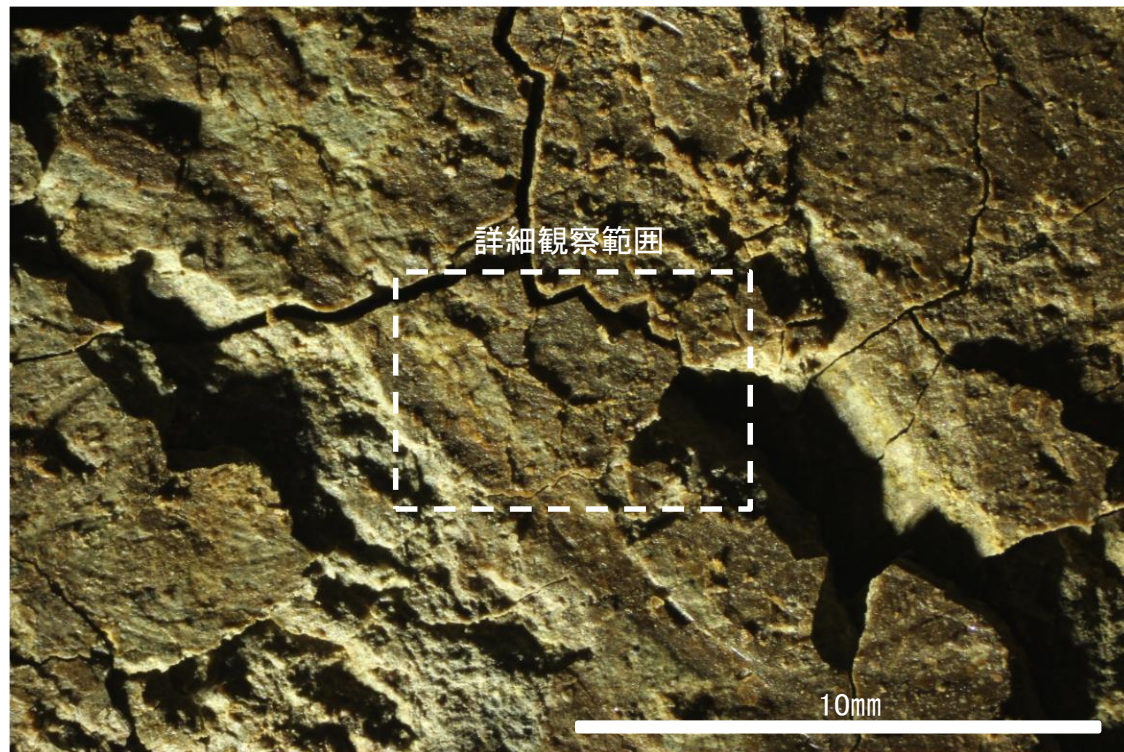


概念図  
※走向は真北で示す。

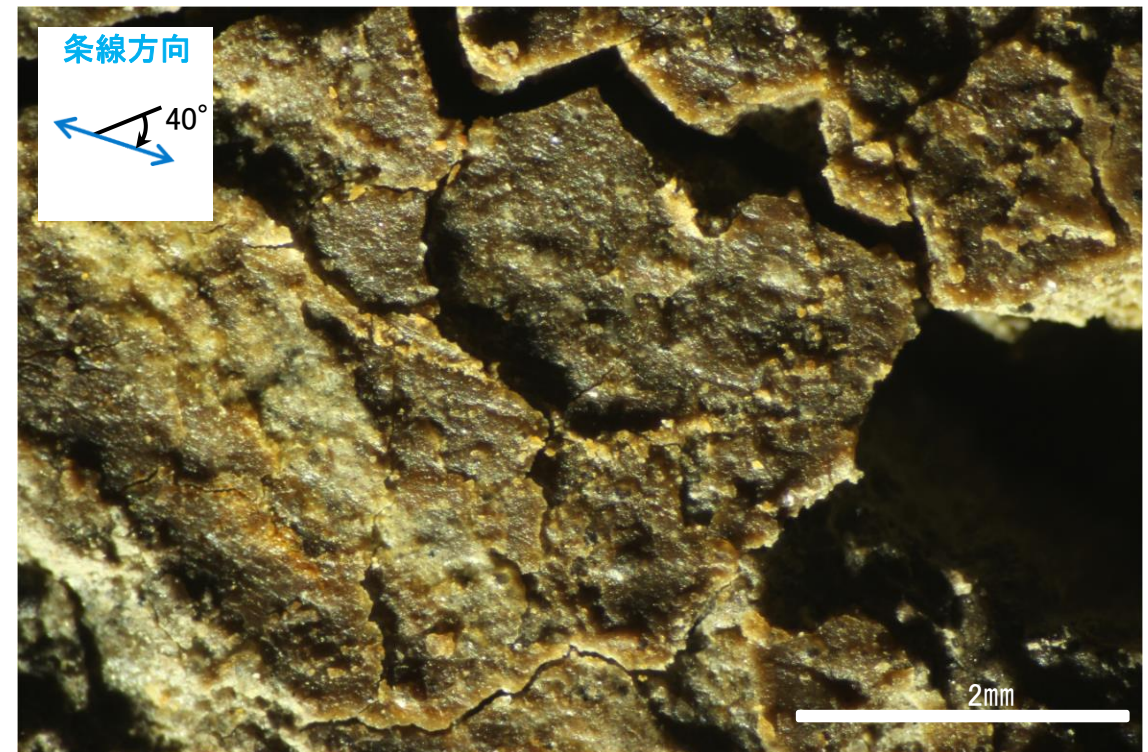


観察面写真

\* 高角度の条線が認められるものの、断続的であることから、人為的にできたものと考えられる。



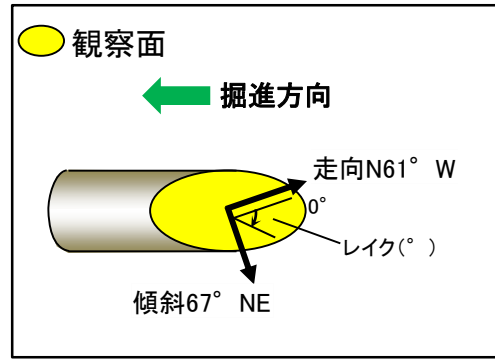
観察面拡大写真



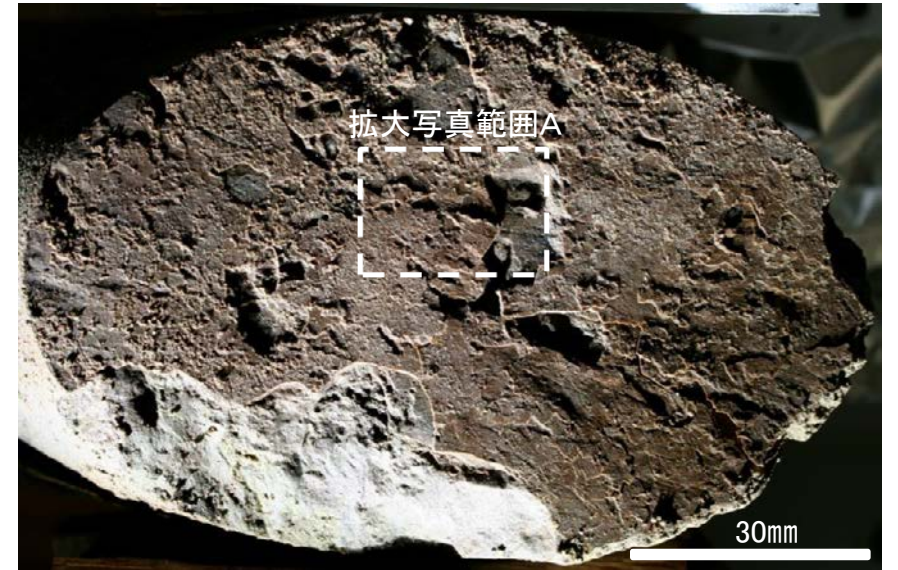
詳細観察写真

・条線のレイクは40° R, 変位センスは不明

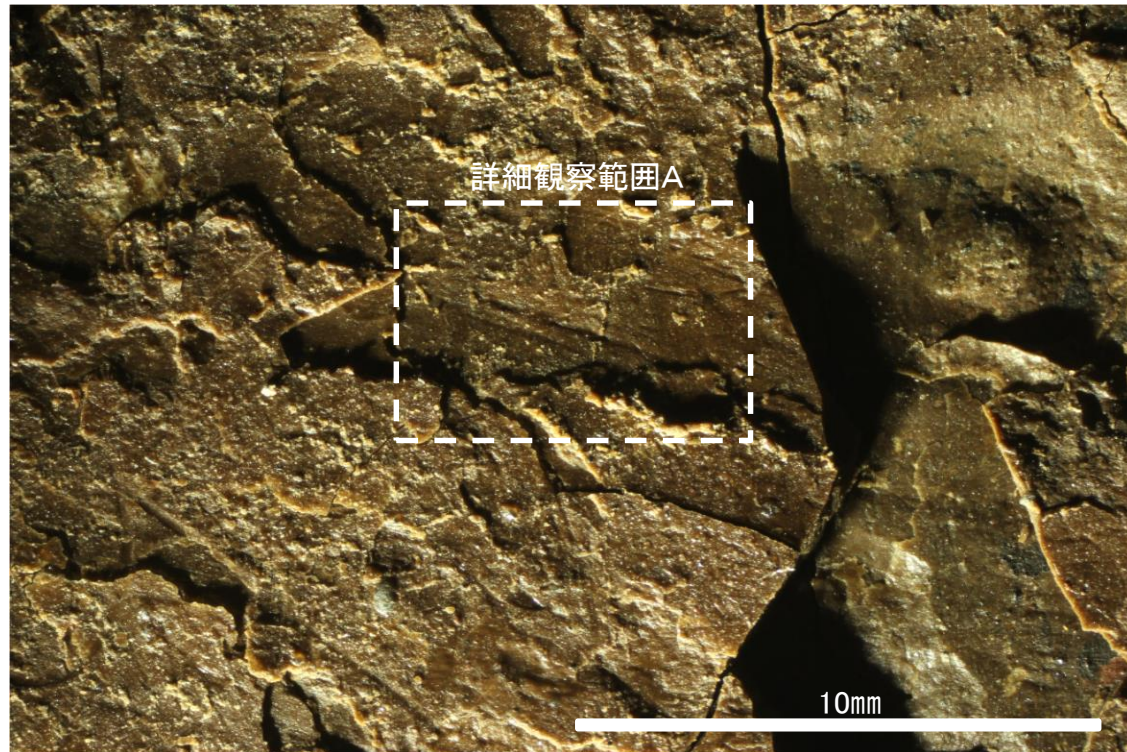
# 条線観察結果(岩盤調査坑)ボーリングT-3孔[深度2.55m](下盤側)①



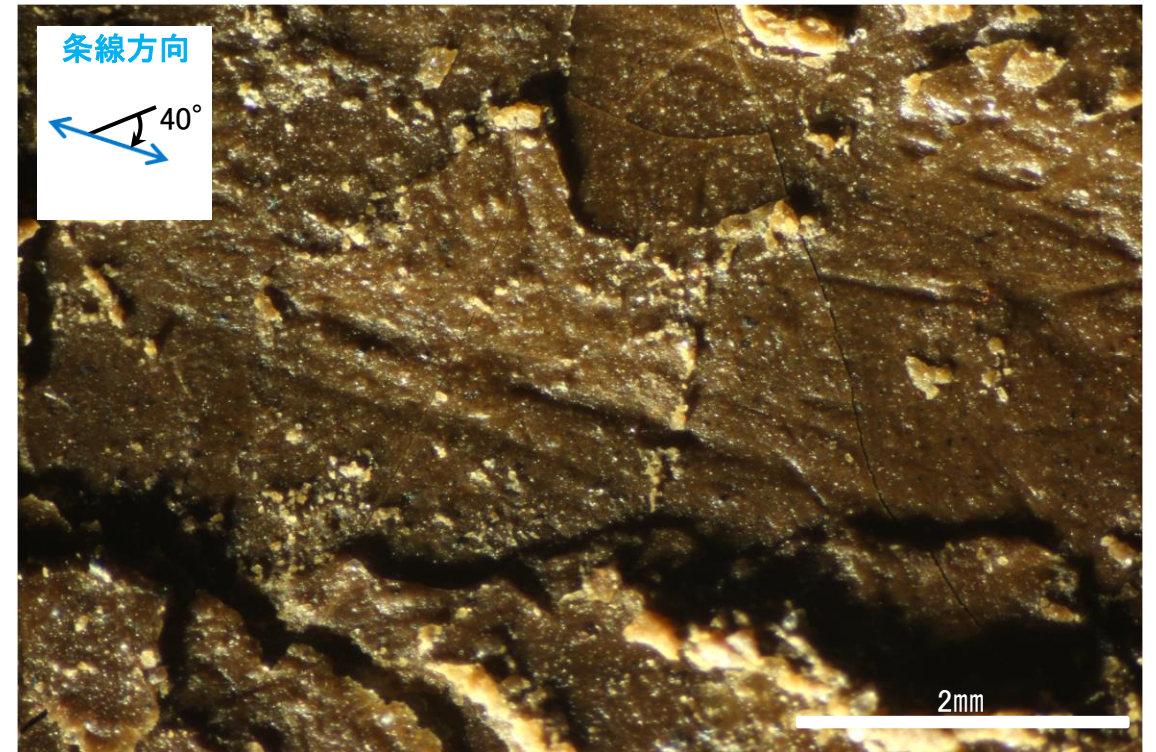
概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真



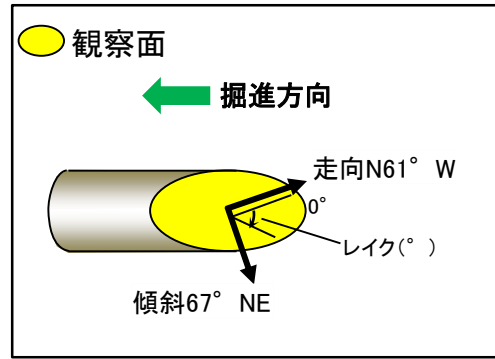
観察面拡大写真A



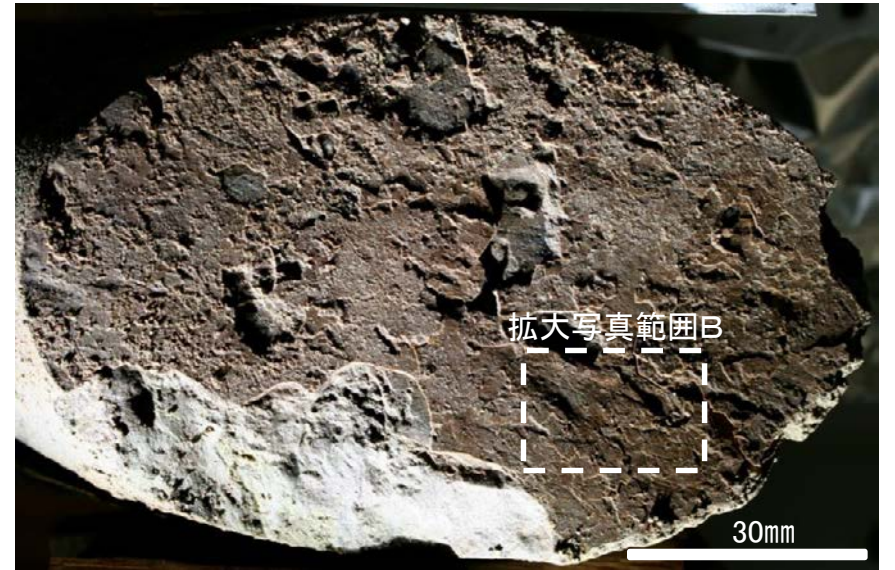
詳細観察写真A

・条線のレイクは40° R, 変位センスは不明

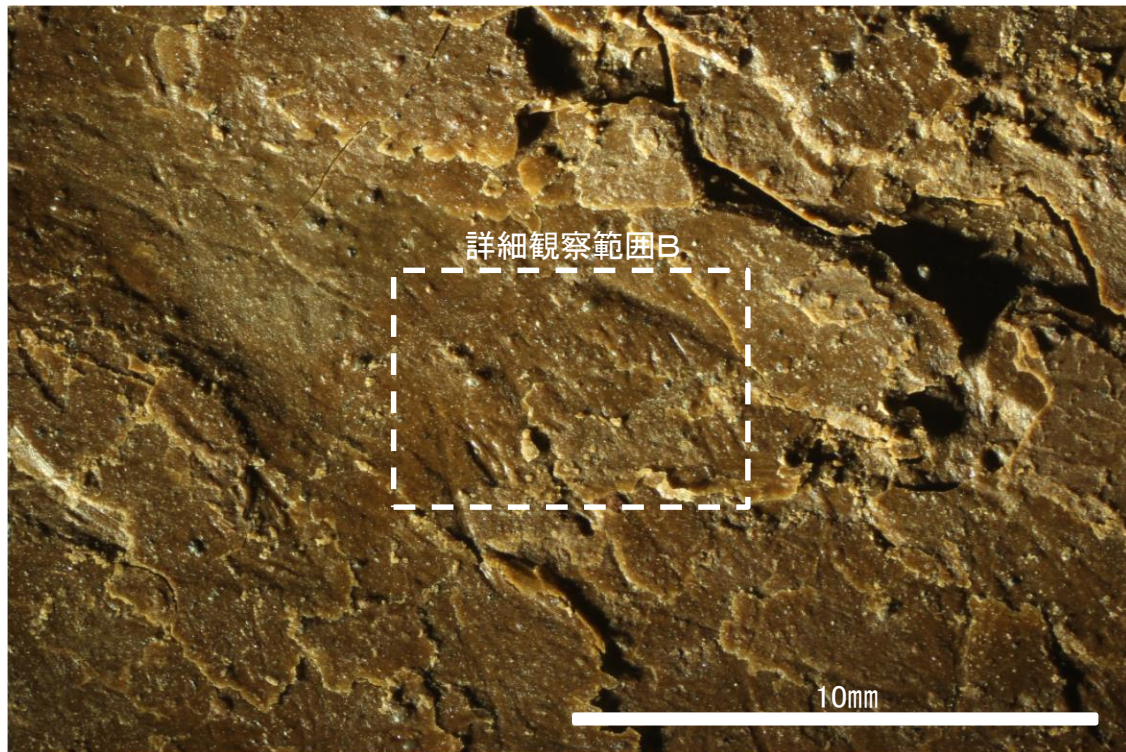
# 条線観察結果(岩盤調査坑)ボーリングT-3孔[深度2.55m](下盤側)②



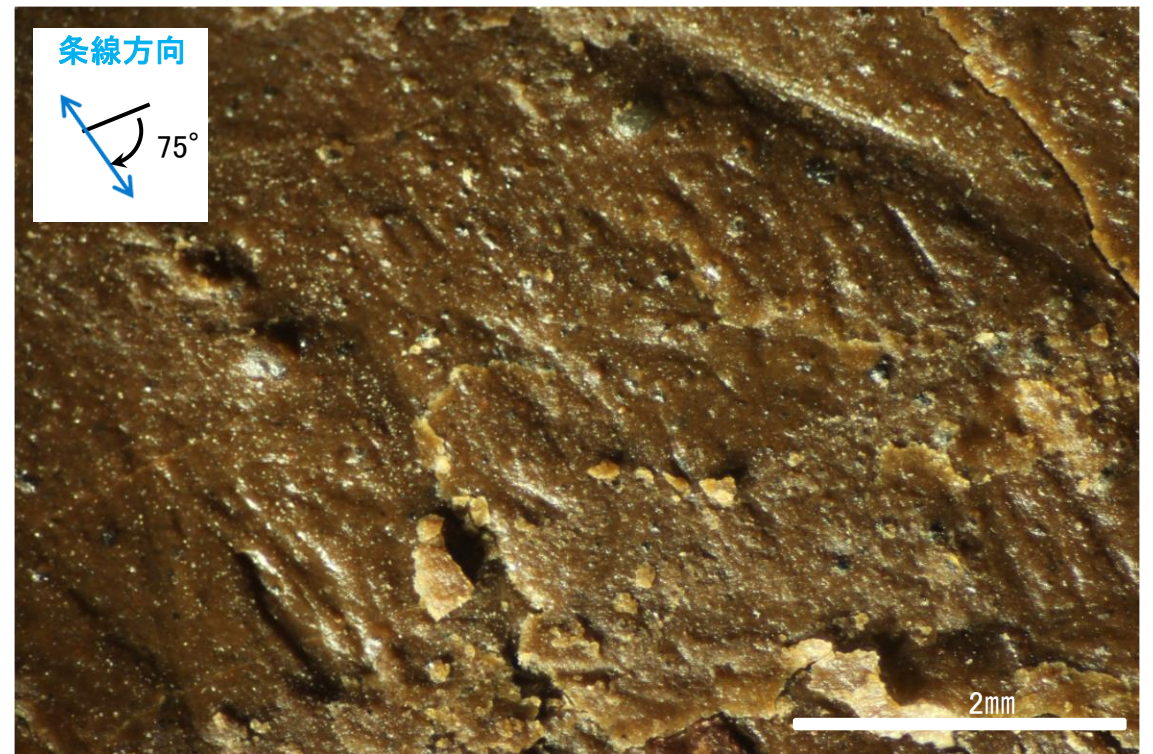
概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真



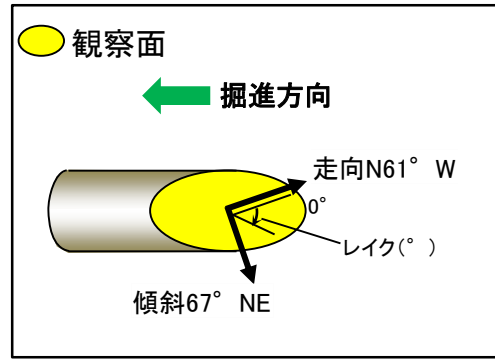
観察面拡大写真B



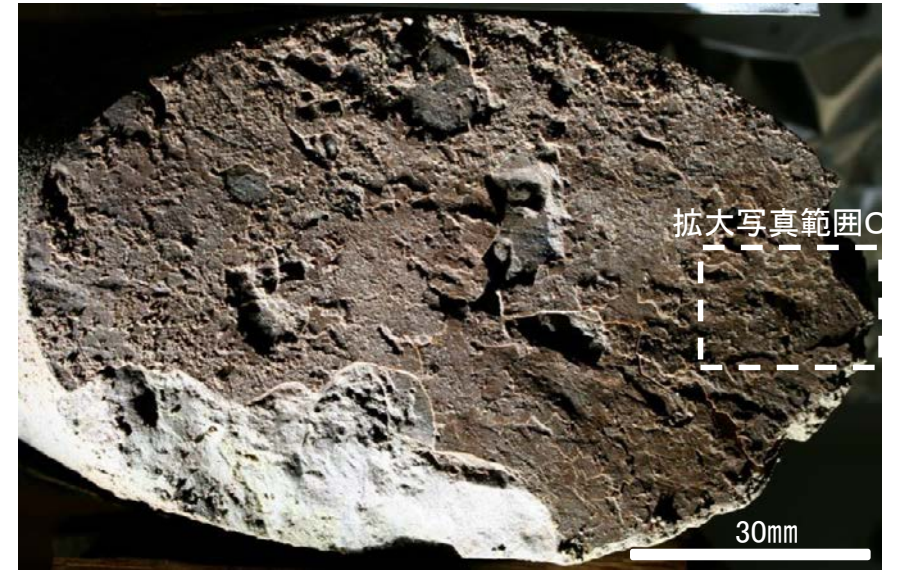
詳細観察写真B

・条線のレイクは75° R, 変位センスは不明

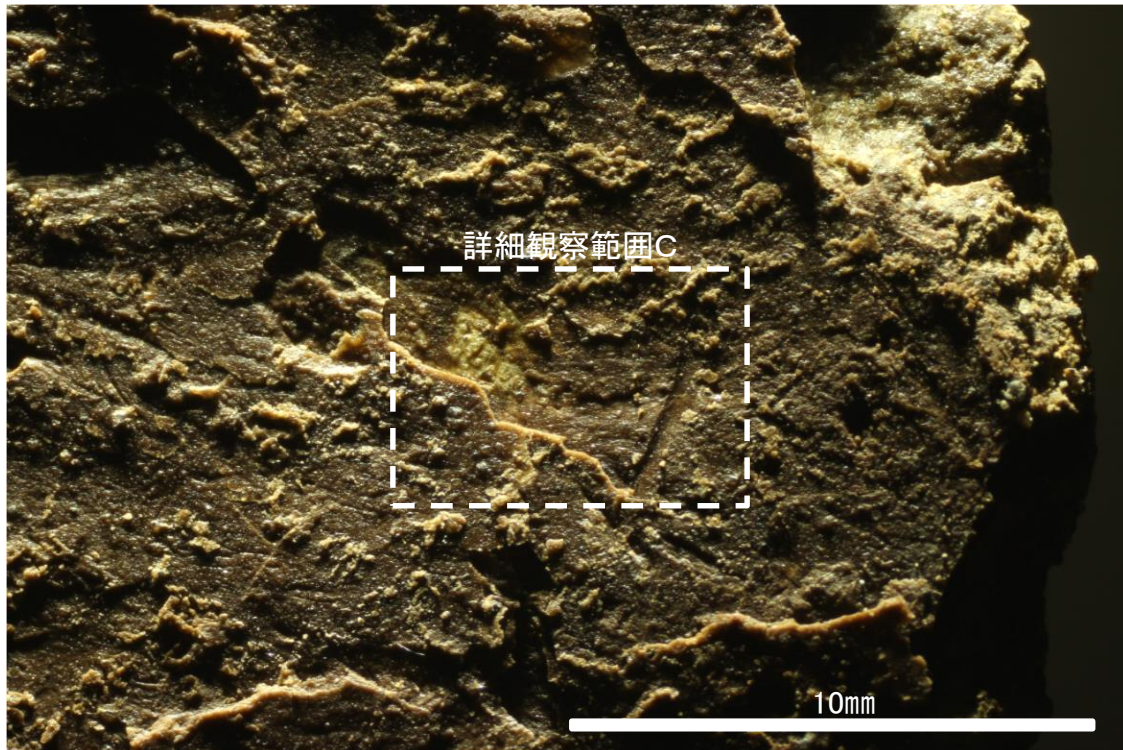
# 条線観察結果(岩盤調査坑)ボーリングT-3孔[深度2.55m](下盤側)③



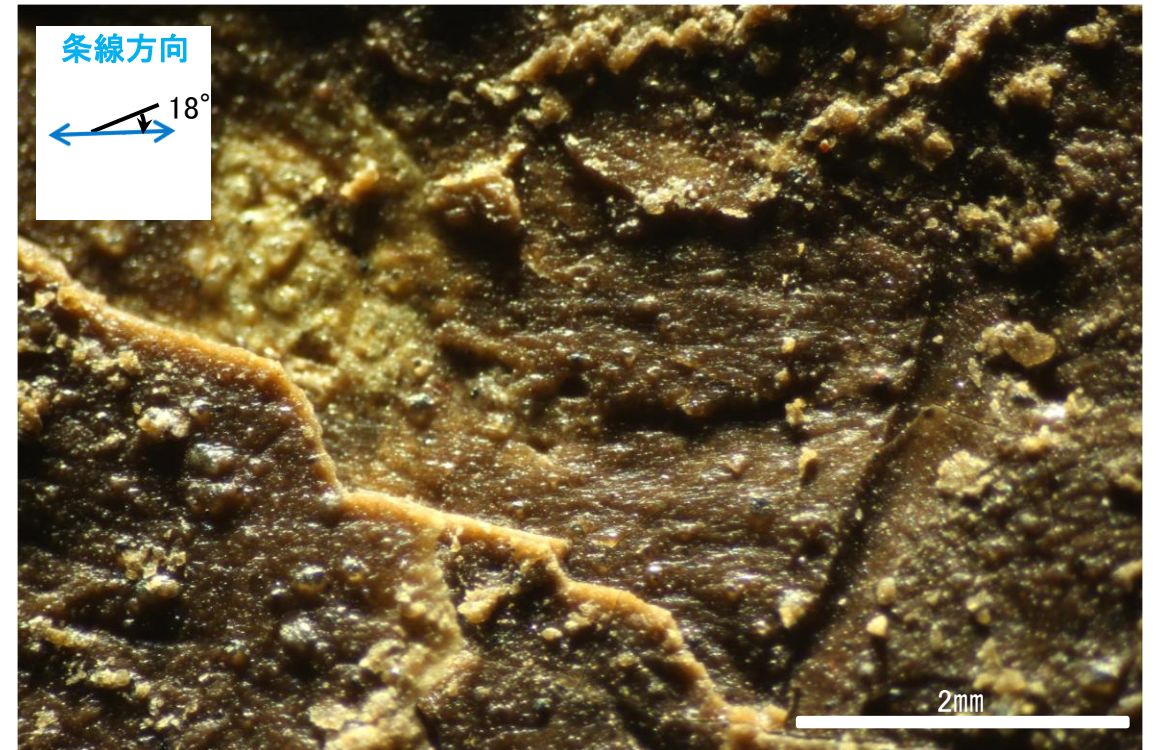
概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真



観察面拡大写真C



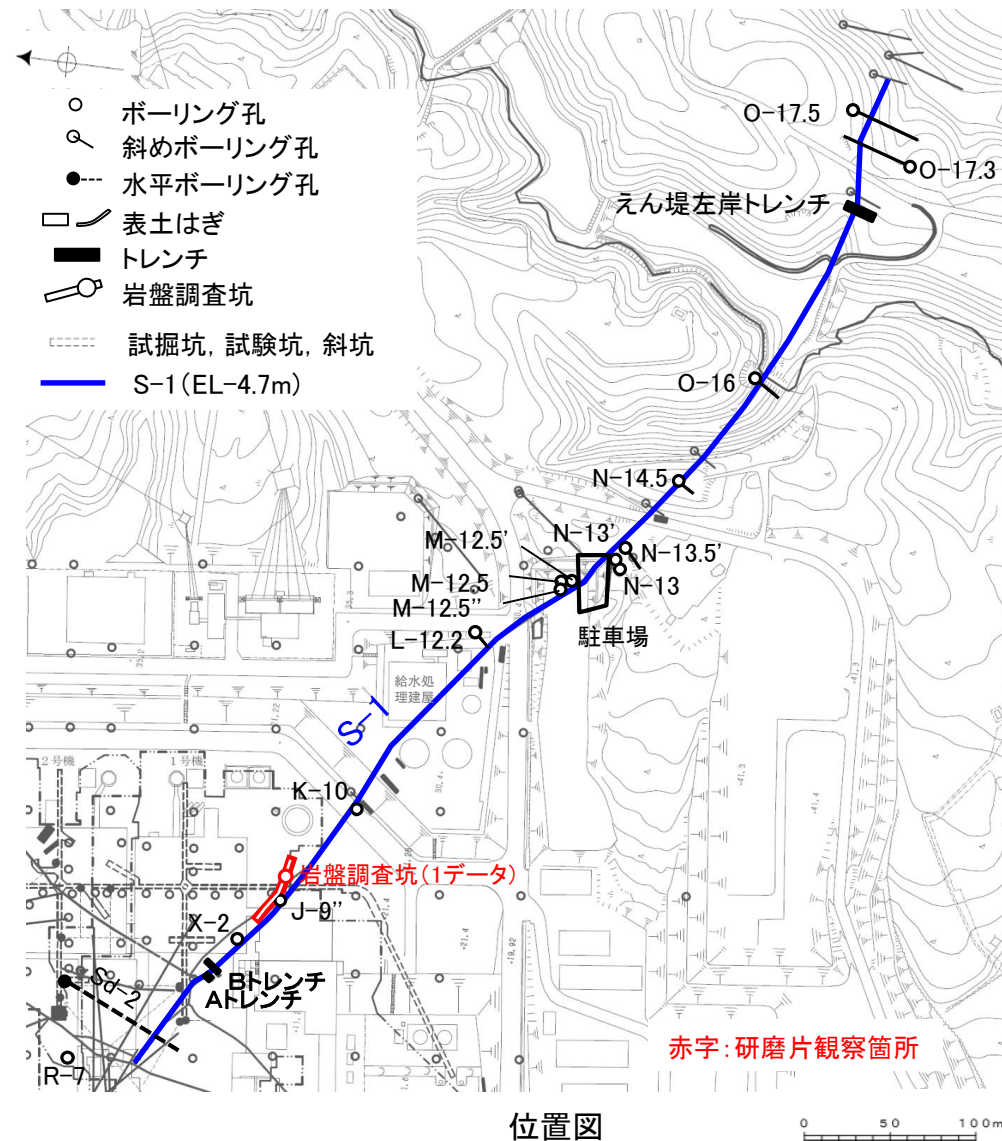
詳細観察写真C

・条線のレイクは18° R, 変位センスは不明

# S-1の研磨片観察結果

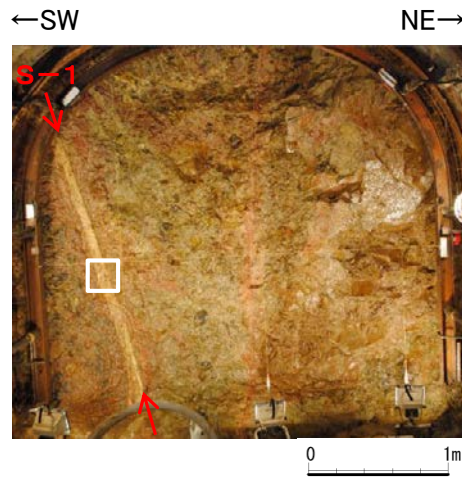
研磨片観察結果(固結した破碎部)	
研磨片番号	変位センス
岩盤調査坑No.23-1_60R	正断層

\* 各研磨片試料は、付近の断層の条線観察結果を踏まえたレイクで切断し、作成した。

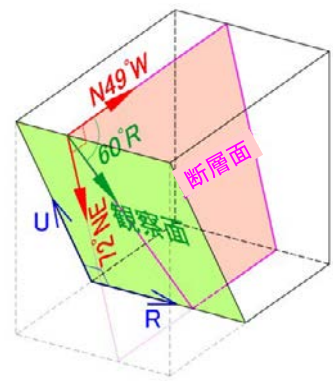




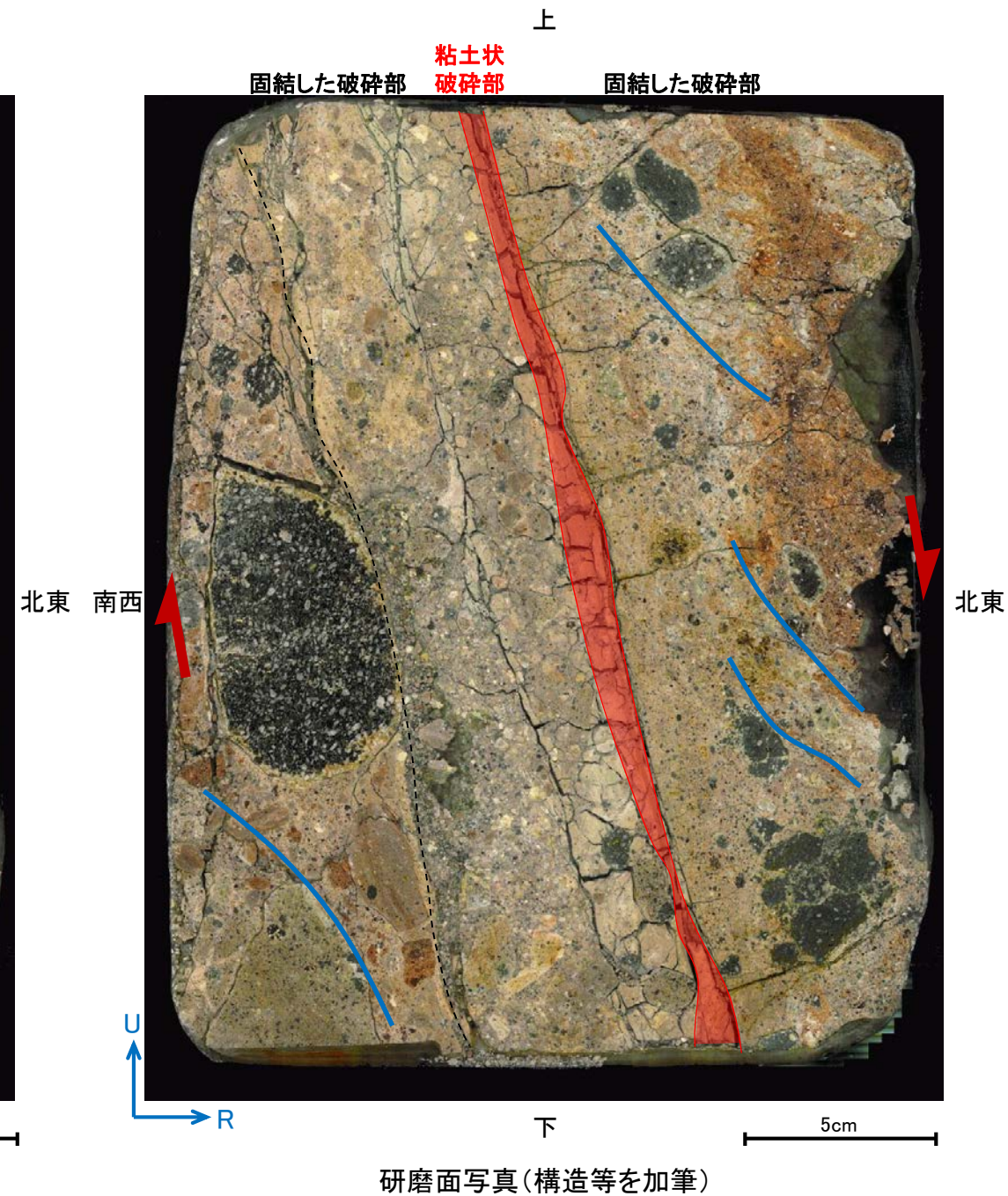
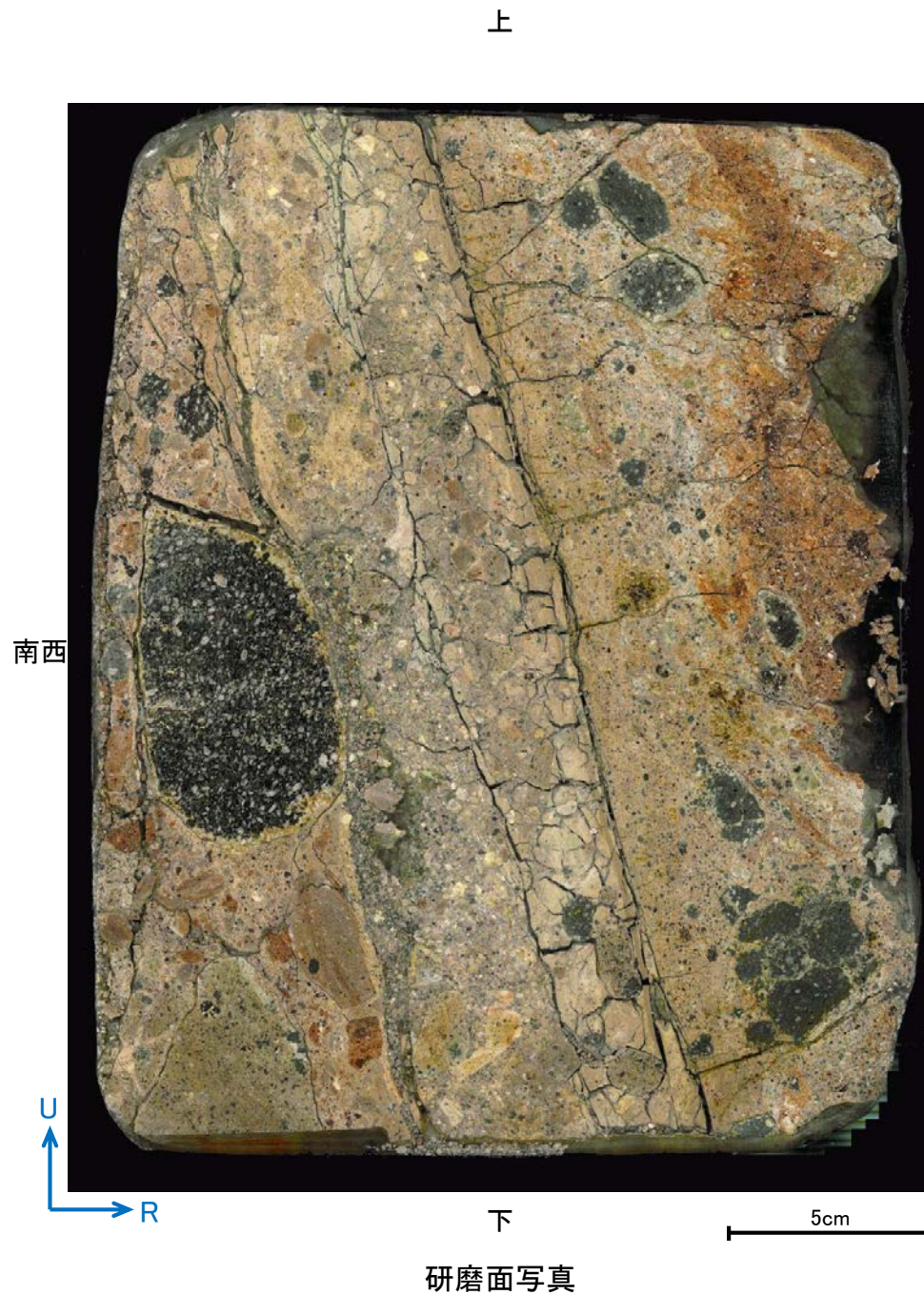
# 研磨片観察結果(岩盤調査坑No.23-1\_60R)



試料採取位置付近(No.23切羽)



観察面概念図  
(岩盤調査坑No.23-1\_60R)

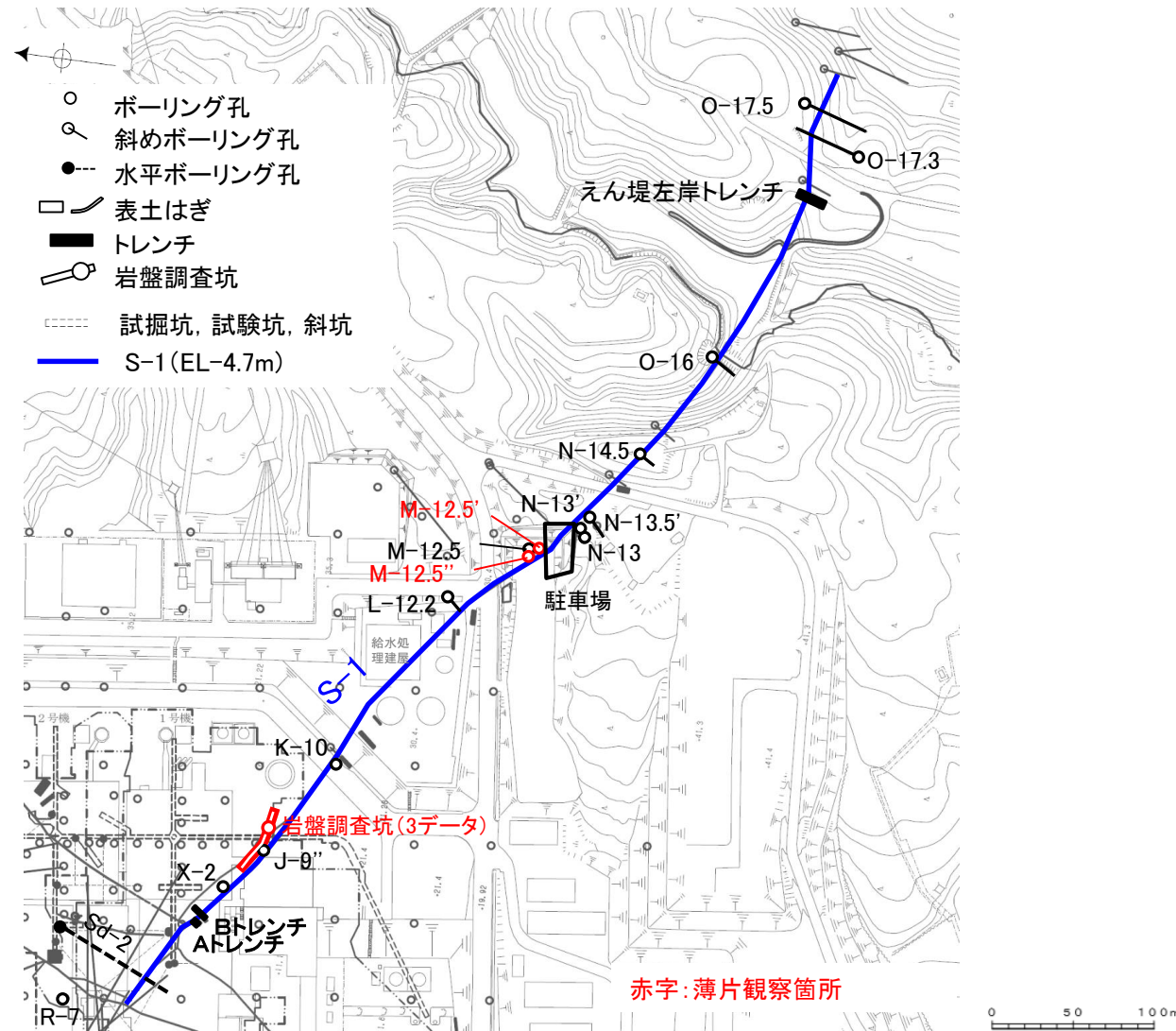


- 凡 例
- P面
  - ↔ 変位方向

・固結した破碎部中の変形構造から、見かけ上盤側下がりの変位が推定され、正断層センスが認定できる。

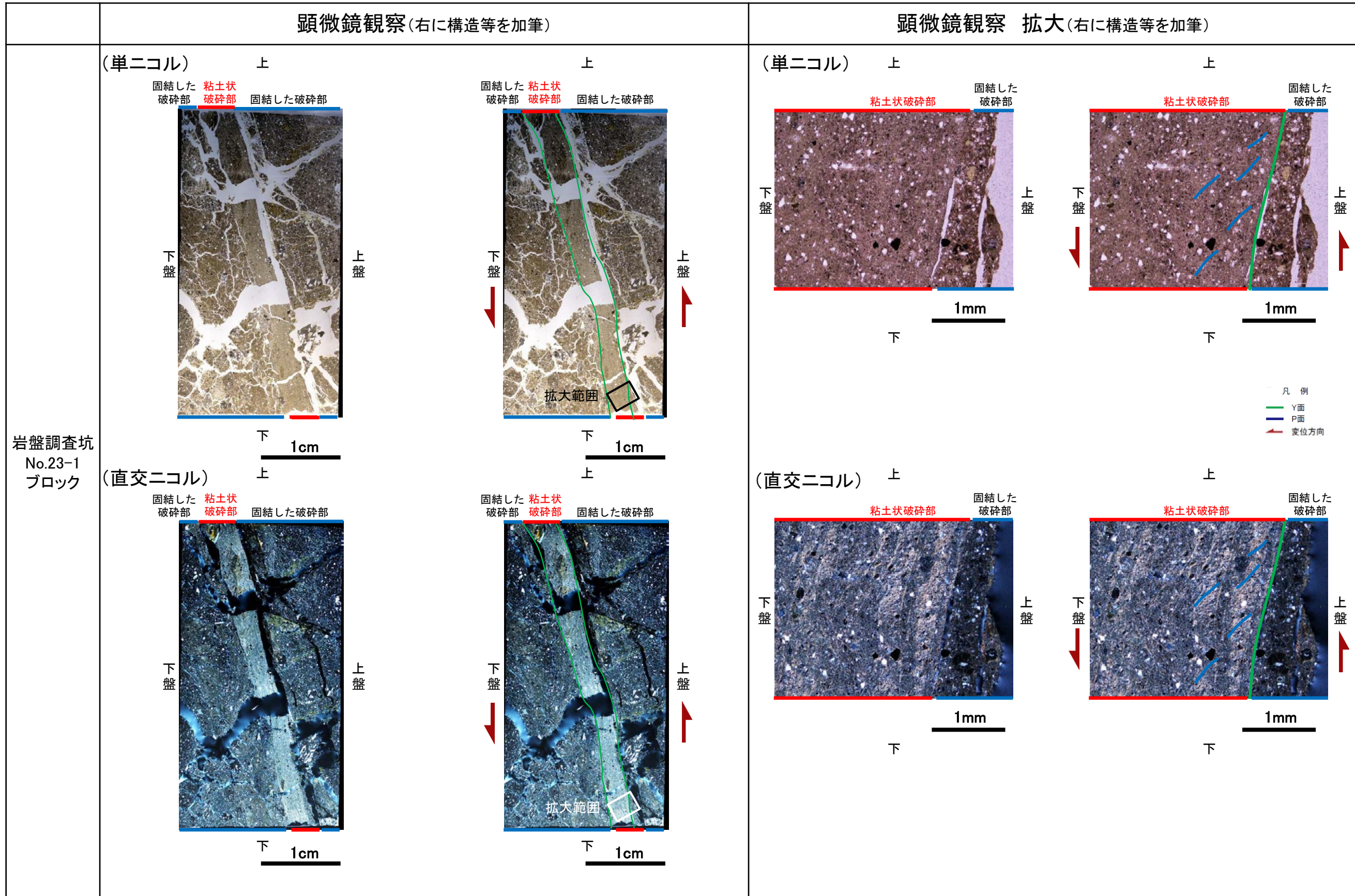
薄片観察結果(粘土状破碎部)	
薄片番号	変位センス
岩盤調査坑No.23-1_60R_2	逆断層
岩盤調査坑No.24-2_40R_2	逆断層
岩盤調査坑No.25-2_40R_1	逆断層
M-12.5'_40R	逆断層
M-12.5''_65R	逆断層

\* 各薄片試料は、付近の断層の条線観察結果を踏まえたレイクで切断し、作成した。



位置図

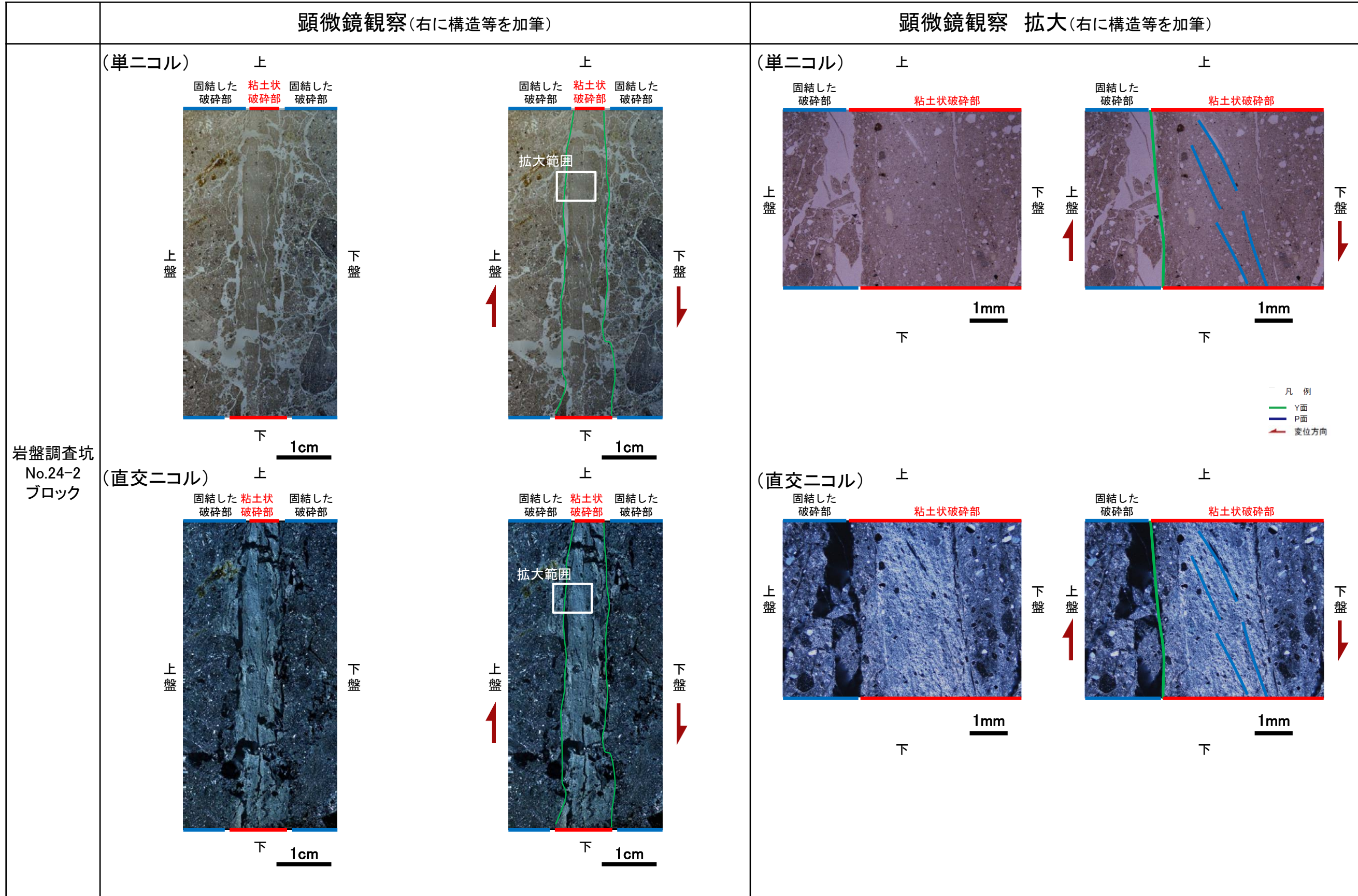
■条線観察結果を踏まえ、60° Rのレイクでブロックを切断して作成した薄片を観察した。



・粘土状破砕部中の変形構造から、見かけ上盤側上がりの変位が推定され、逆断層センスが認定できる。

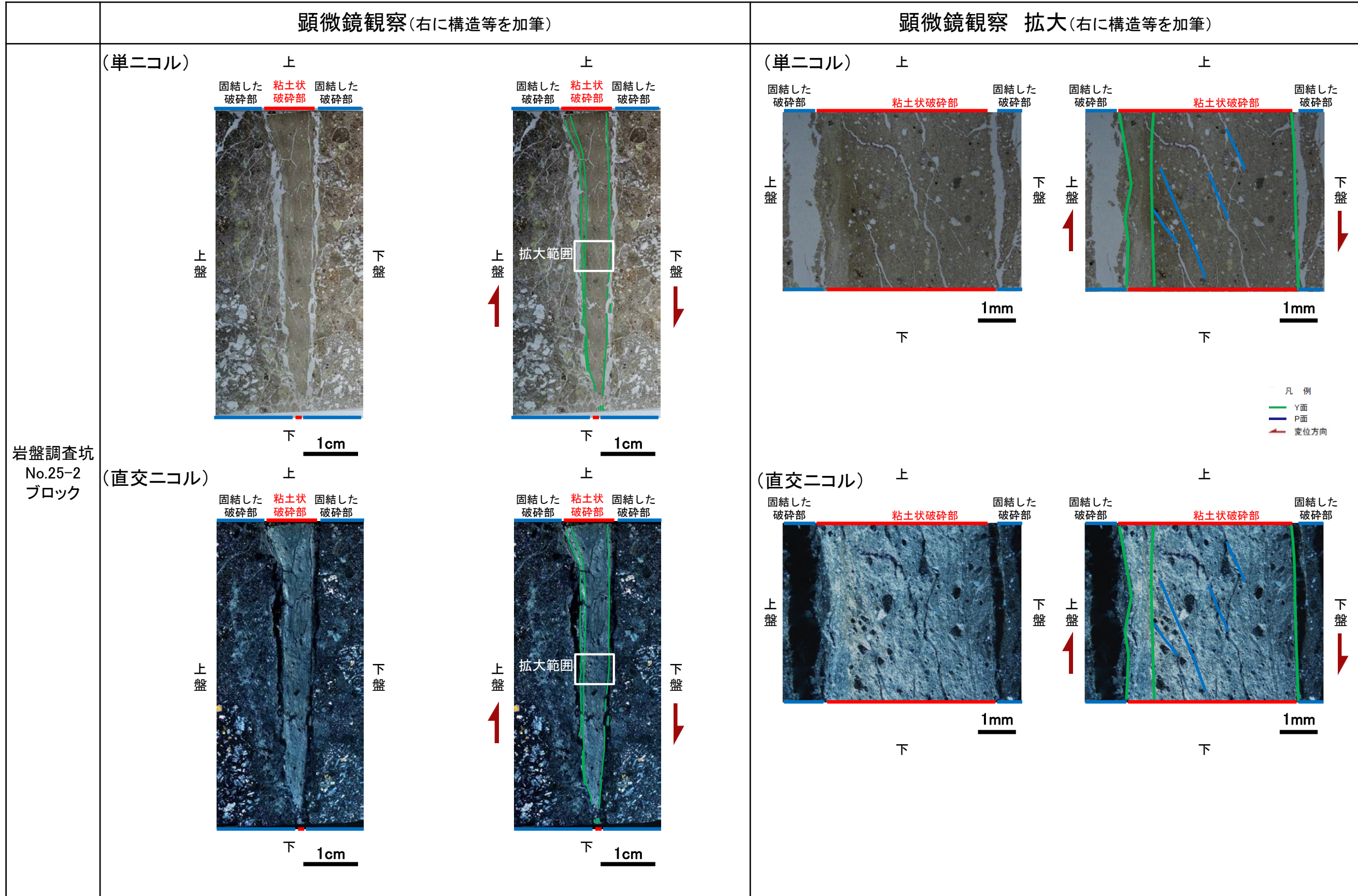
# 薄片観察結果(岩盤調査坑No.24-2\_40R\_2)

■ 条線観察結果を踏まえ、40° Rのレイクでブロックを切断して作成した薄片を観察した。



・粘土状破砕部中の変形構造から、見かけ上盤側上がりの変位が推定され、逆断層センスが認定できる。

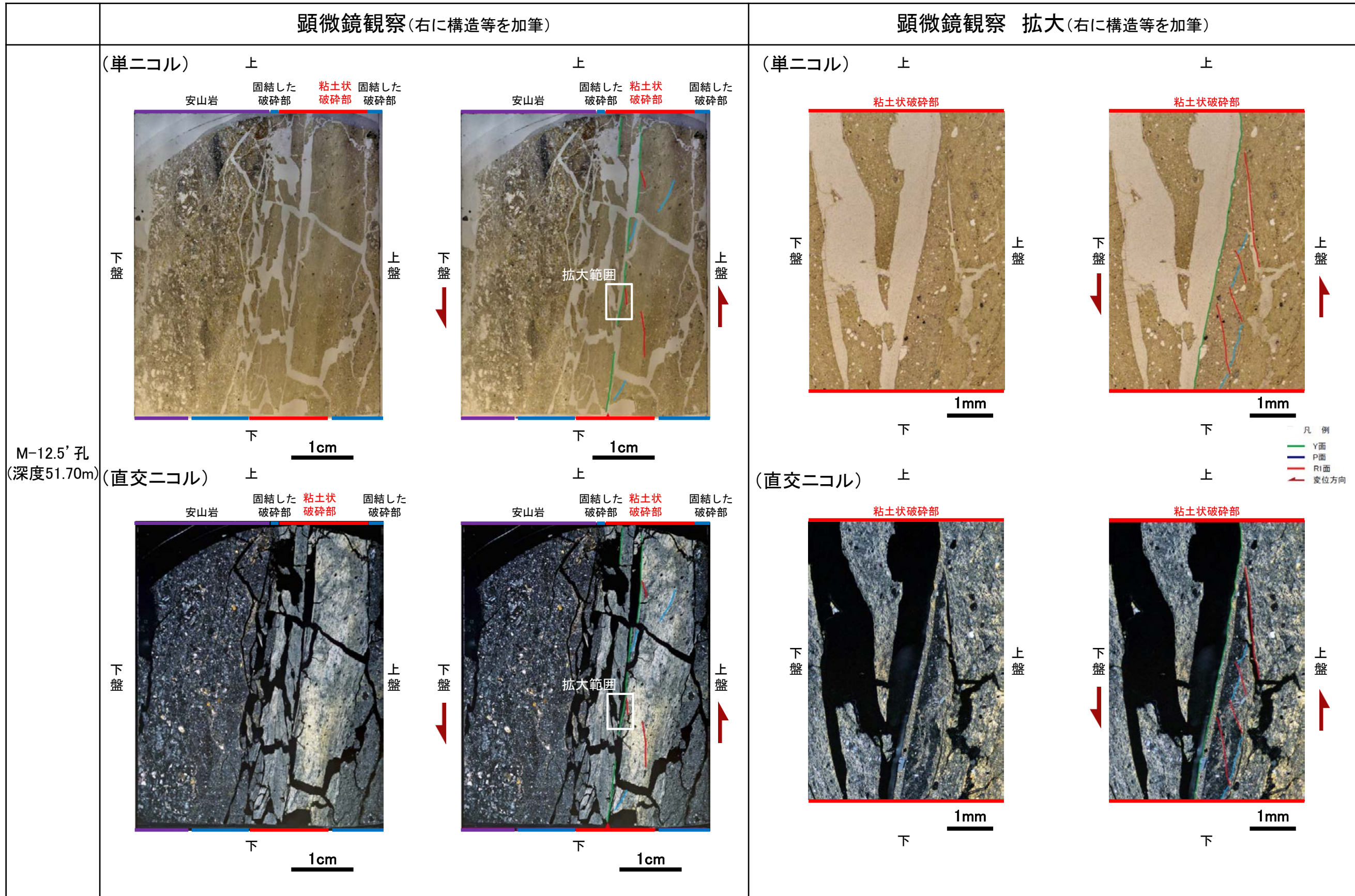
■条線観察結果を踏まえ、40° Rのレイクでブロックを切断して作成した薄片を観察した。



・粘土状破砕部中の変形構造から、見かけ上盤側上がりの変位が推定され、逆断層センスが認定できる。

# 薄片観察結果 (M-12.5'\_40R)

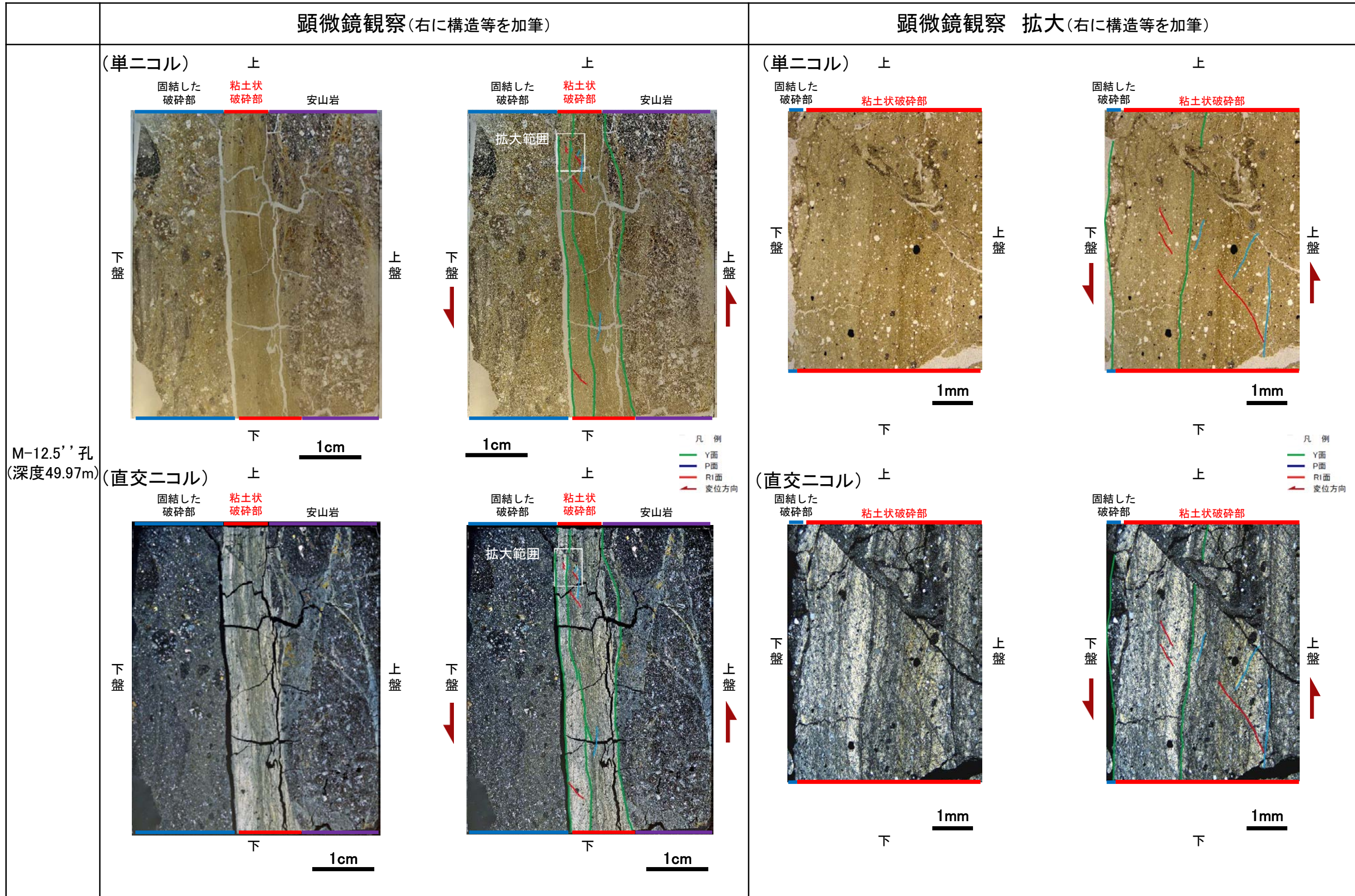
■ 条線観察結果を踏まえ、40° Rのレイクでボーリングコアを切断して作成した薄片を観察した。



・粘土状破砕部中の変形構造から、見かけ上盤側上がりの変位が推定され、逆断層センスが認定できる。

# 薄片観察結果 (M-12.5''\_65R)

■ 条線観察結果を踏まえ、65° Rのレイクでボーリングコアを切断して作成した薄片を観察した。



・粘土状破碎部中の変形構造から、見かけ上盤側上がりの変位が推定され、逆断層センスが認定できる。

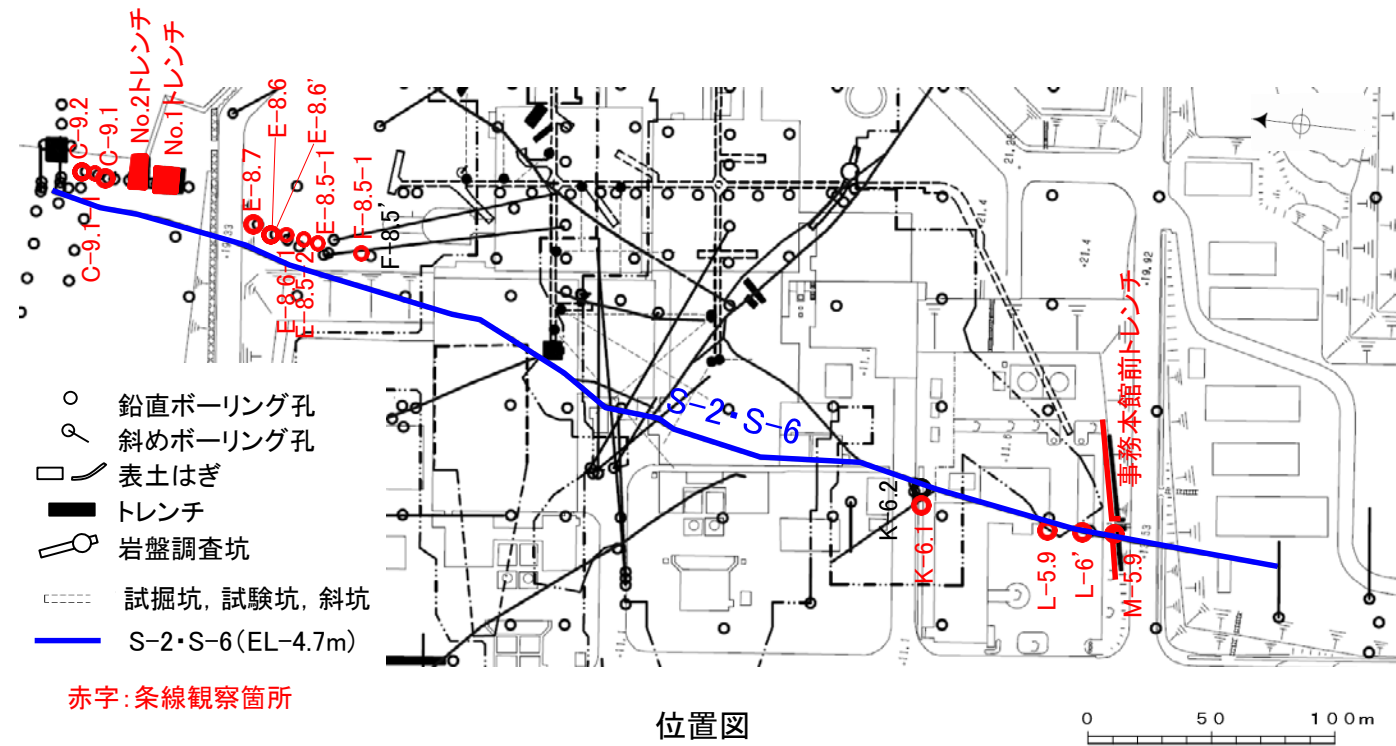
---

(3) S-2・S-6の運動方向調査結果



# S-2・S-6の条線観察結果

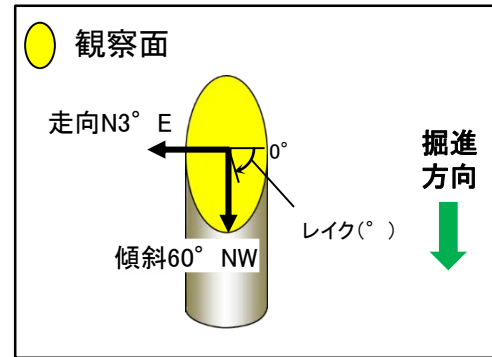
試料名		走向/傾斜 (走向は真北)	条線の レイク※1, 2	変位センス
ボーリングM-5.9孔 [深度7.80m]	下盤側	N3° E/60° NW	80° R	右横ずれ逆断層
事務本館前トレンチ	下盤側	N12° E/70° NW	140° R	(不明)
ボーリングL-6' 孔 [深度13.82m]	下盤側	N12° E/58° NW	120° R	左横ずれ逆断層
ボーリングL-5.9孔 [深度18.00m]	下盤側	N6° E/59° NW	125° R	左横ずれ逆断層
			35° R	(不明)
ボーリングK-6.1孔 [深度31.50m]	下盤側	N5° E/52° NW	100° R	(不明)
ボーリングF-8.5-1孔 [深度8.66m]	下盤側	N14° E/51° NW	150° R	左横ずれ逆断層
ボーリングE-8.5-1孔 [深度8.33m]	下盤側	N5° E/51° NW	140° R	左横ずれ逆断層
ボーリングE-8.5-2孔 [深度8.55m]	上盤側	N8° E/51° NW	105° R	(不明)
			160° R	(不明)
ボーリングE-8.6-1孔 [深度8.52m]	下盤側	N7° E/65° NW	145° R	(不明)
ボーリングE-8.6' 孔 [深度11.40m]	上盤側	N11° E/46° NW	100° R	(不明)
ボーリングE-8.6孔 [深度11.70m]	上盤側	NS/45° W	50° R	(不明)
ボーリングE-8.7孔 [深度10.09m]	下盤側	N10° E/56° NW	75° R	(不明)
No.1トレンチ-1	下盤側	N6° W/71° SW	100° R	(不明)
No.1トレンチ-2	下盤側	N6° W/71° SW	80° R	(不明)
			105° R	(不明)
			130° R	(不明)
No.1トレンチ	下盤側	N6° W/71° SW	120° R	(不明)
No.2トレンチ	下盤側	N25° W/68° SW	80° R	(不明)
No.2トレンチ-1	上盤側	N25° W/68° SW	100° R	(不明)
No.2トレンチ-2	下盤側	N25° W/68° SW	90° R	(不明)
ボーリングC-9.1孔 [深度10.82m]	下盤側	N27° E/57° NW	135° R	(不明)
ボーリングC-9.1-1孔 [深度10.67m]	下盤側	N11° E/59° NW	110° R	(不明)
ボーリングC-9.2孔 [深度10.56m]	下盤側	N12° E/56° NW	115° R	(不明)



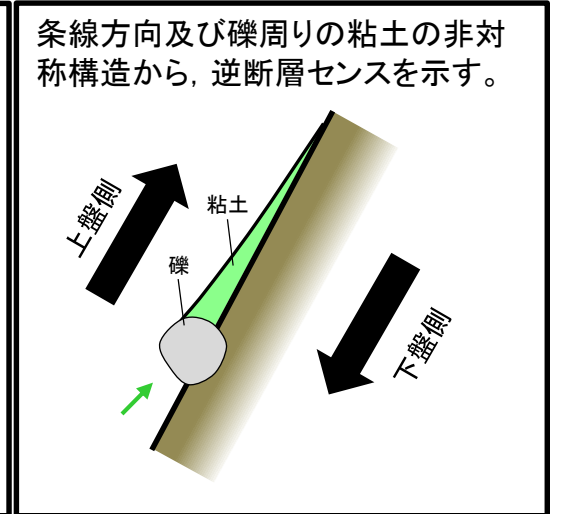
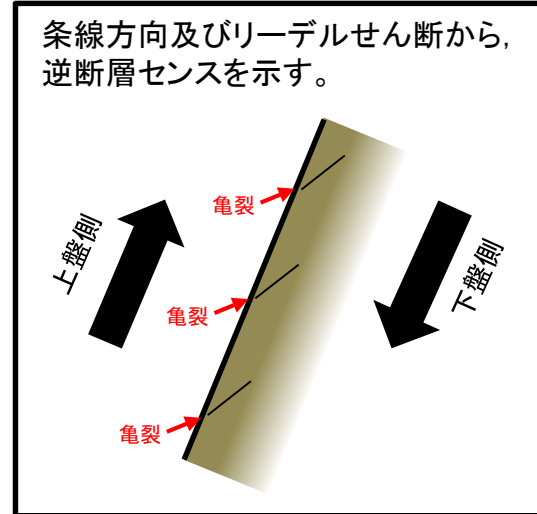
※1 上盤側で確認したレイクは下盤側に換算して示す。

※2 新旧対比ができる条線は最新のレイクのみ示す。

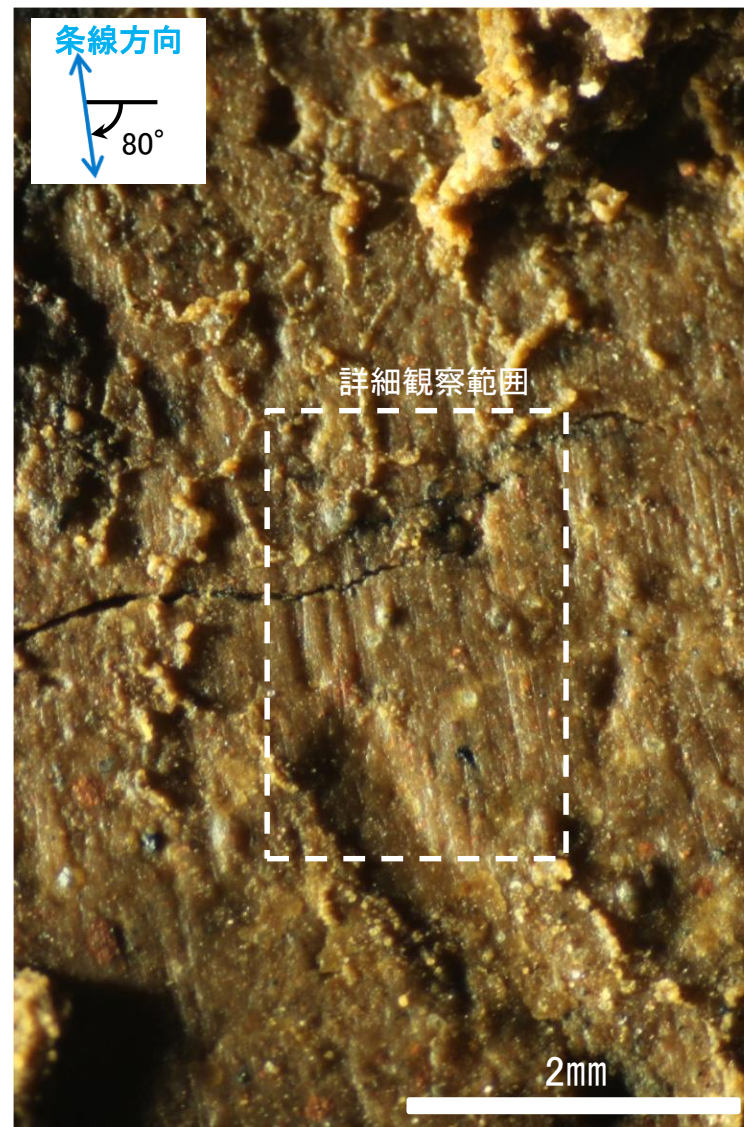
# 条線観察結果 ボーリングM-5.9孔[深度7.80m](下盤側)



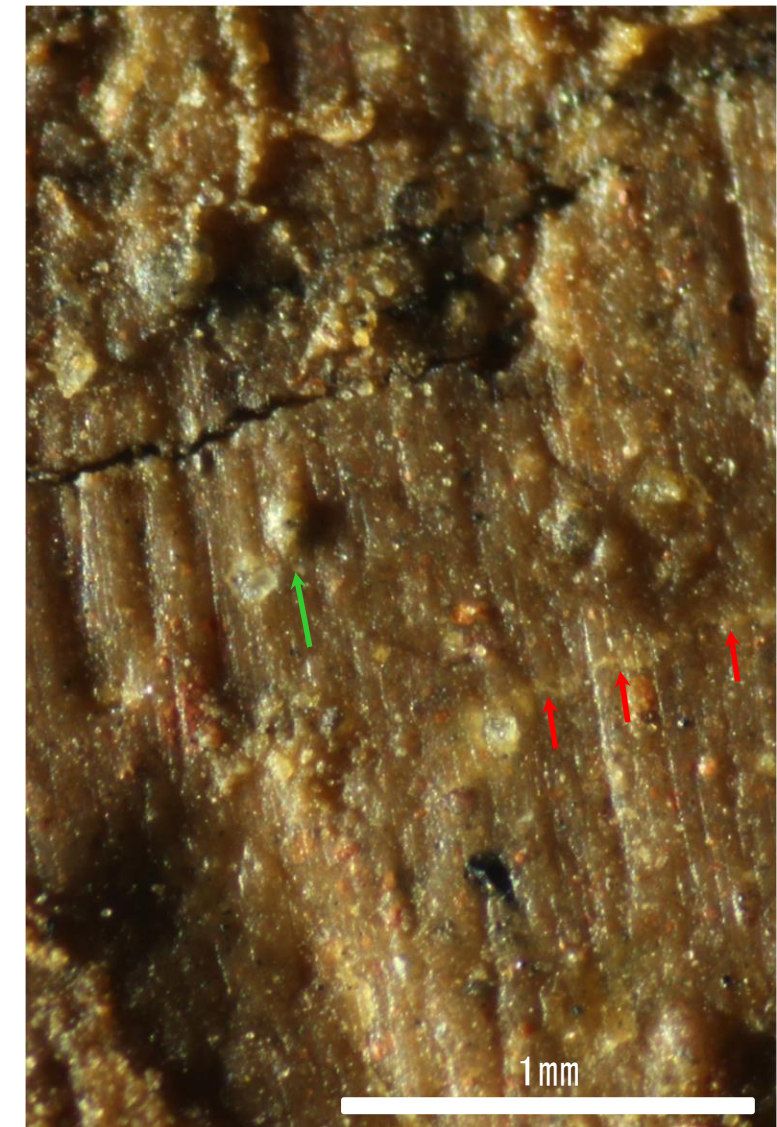
概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真



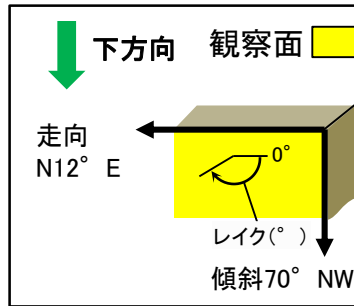
観察面拡大写真



詳細観察写真

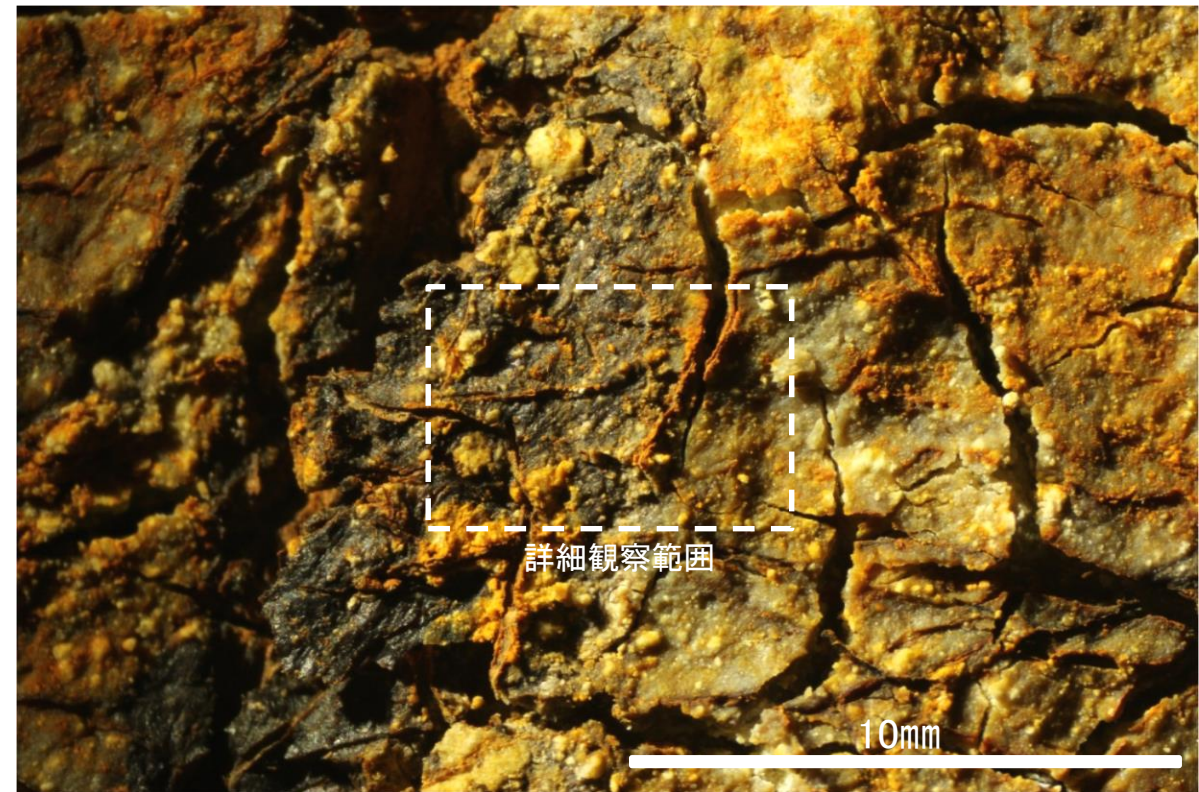
・条線のレイクは80° R, 変位センスは右横ずれ逆断層センス

# 条線観察結果 事務本館前トレンチ(下盤側)

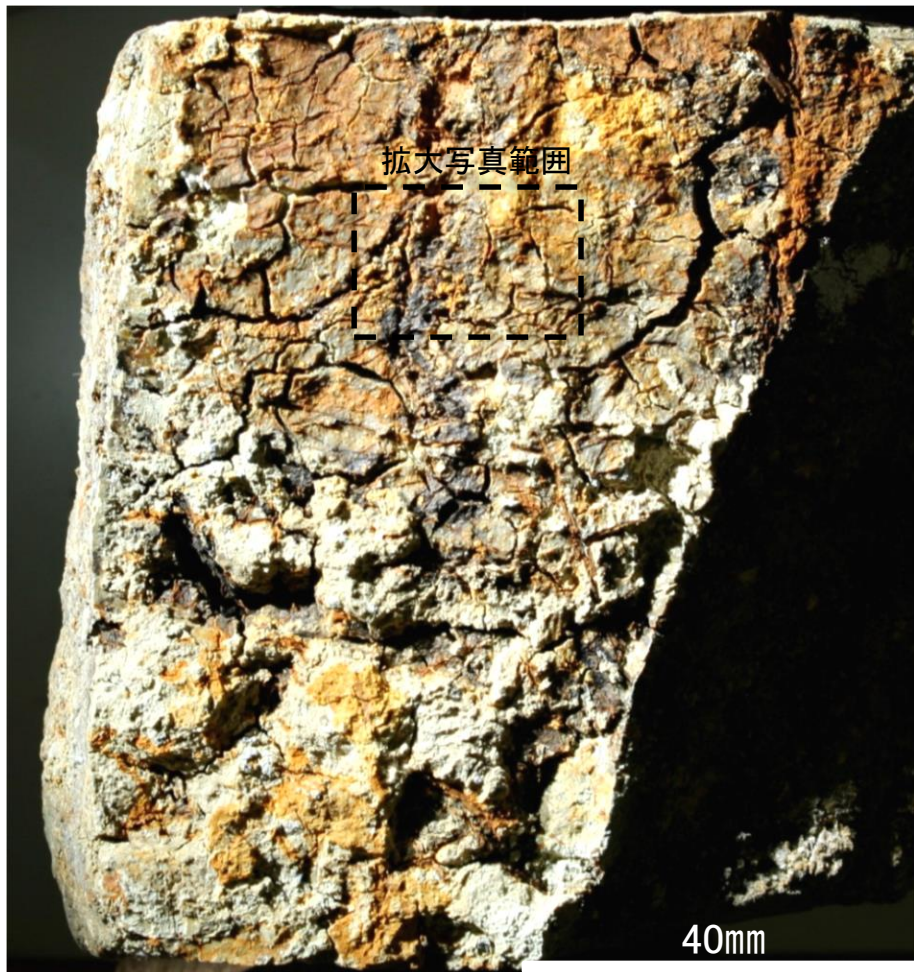


概念図

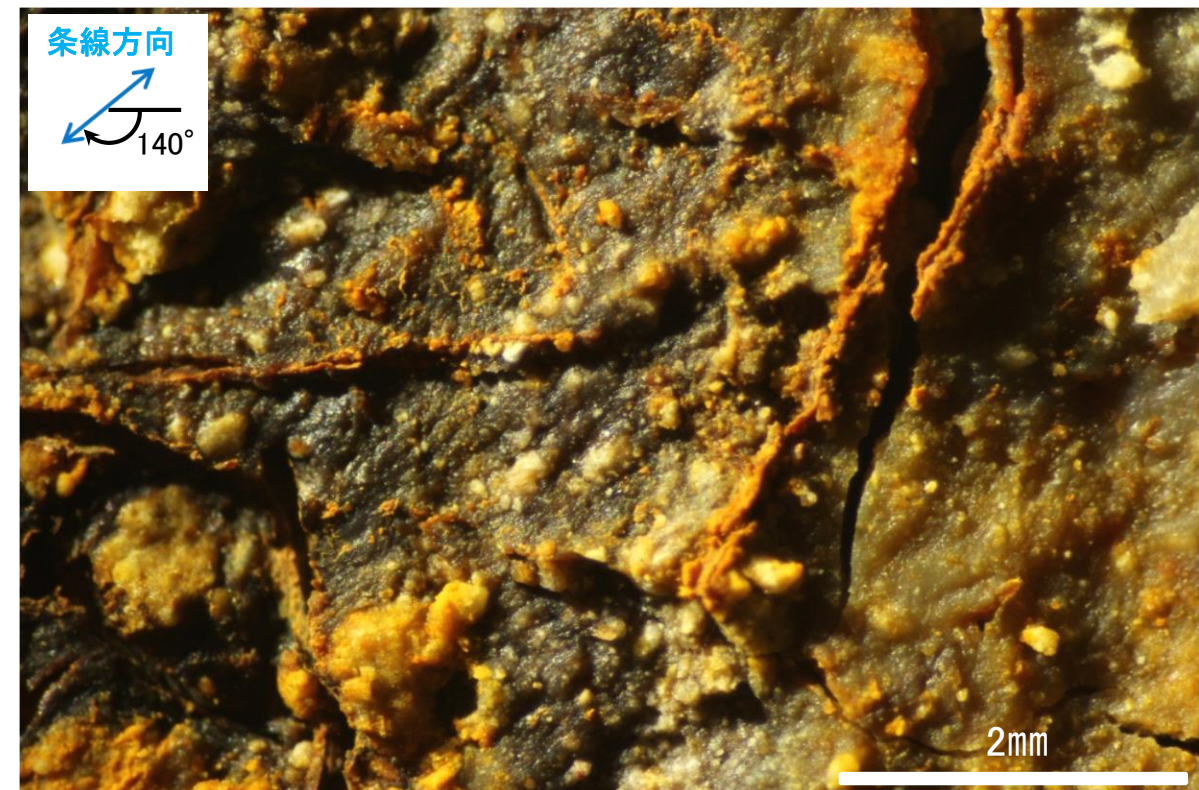
※走向は真北で示す。



観察面拡大写真



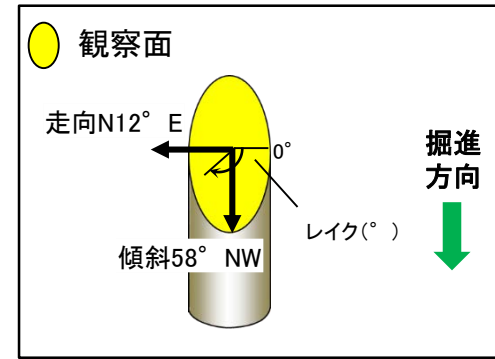
観察面写真



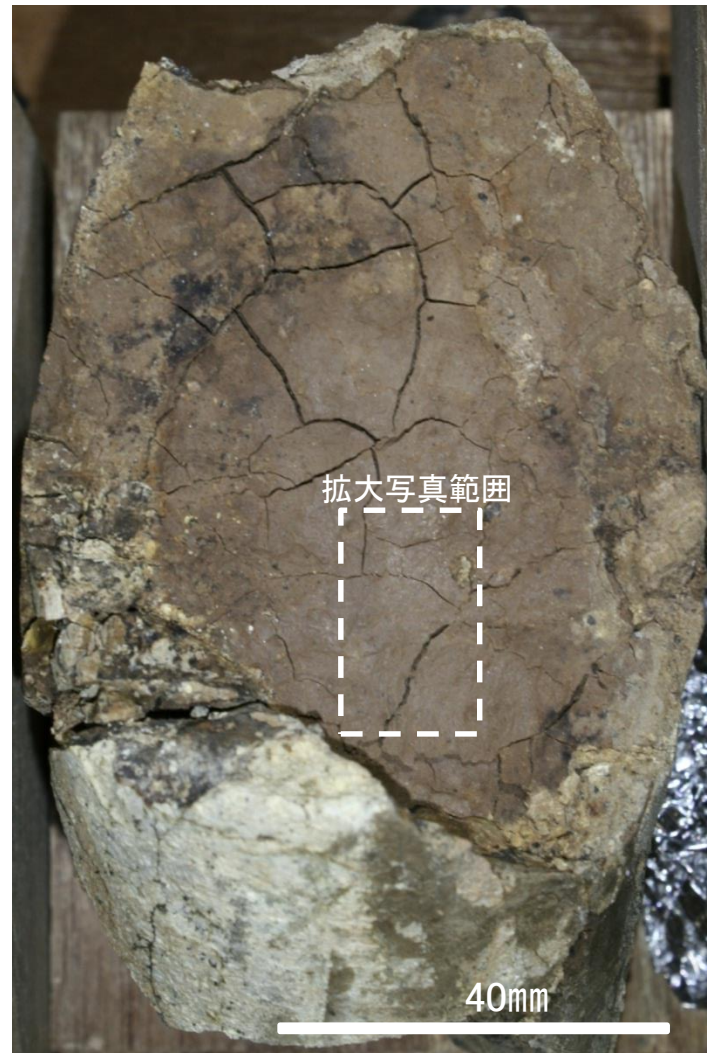
詳細観察写真

・条線のレイクは140° R, 変位センスは不明

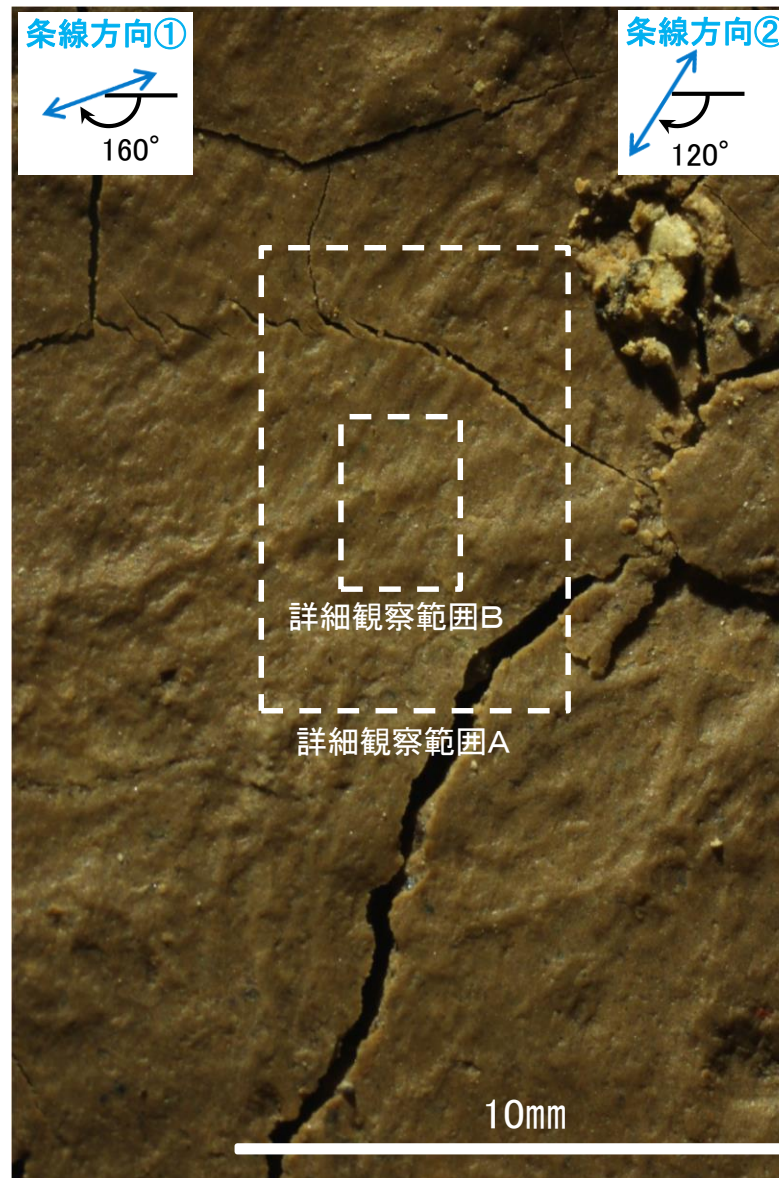
# 条線観察結果 ボーリングL-6' 孔[深度13.82m](下盤側)①



概念図  
※走向は真北で示す。

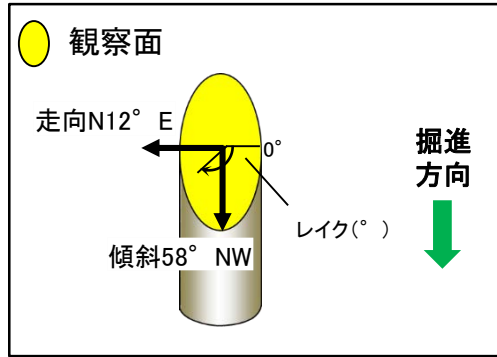


観察面写真



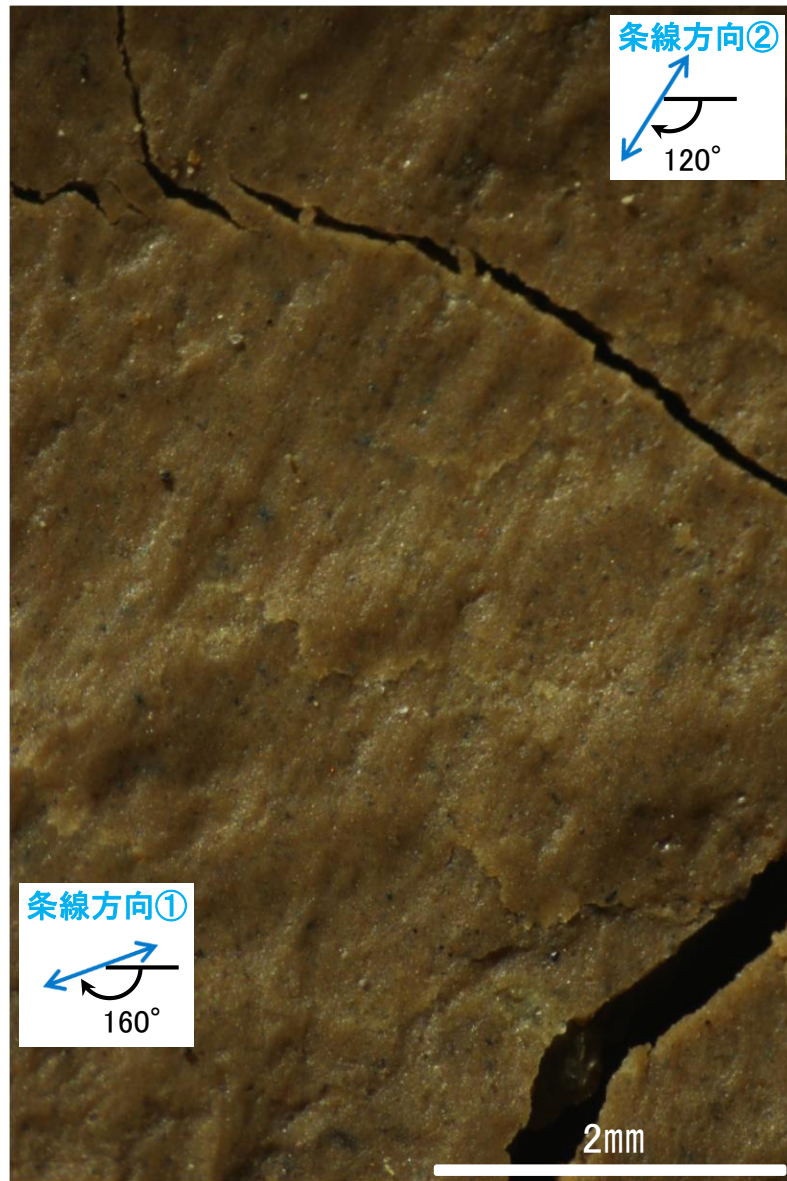
観察面拡大写真

# 条線観察結果 ボーリングL-6' 孔[深度13.82m](下盤側)②

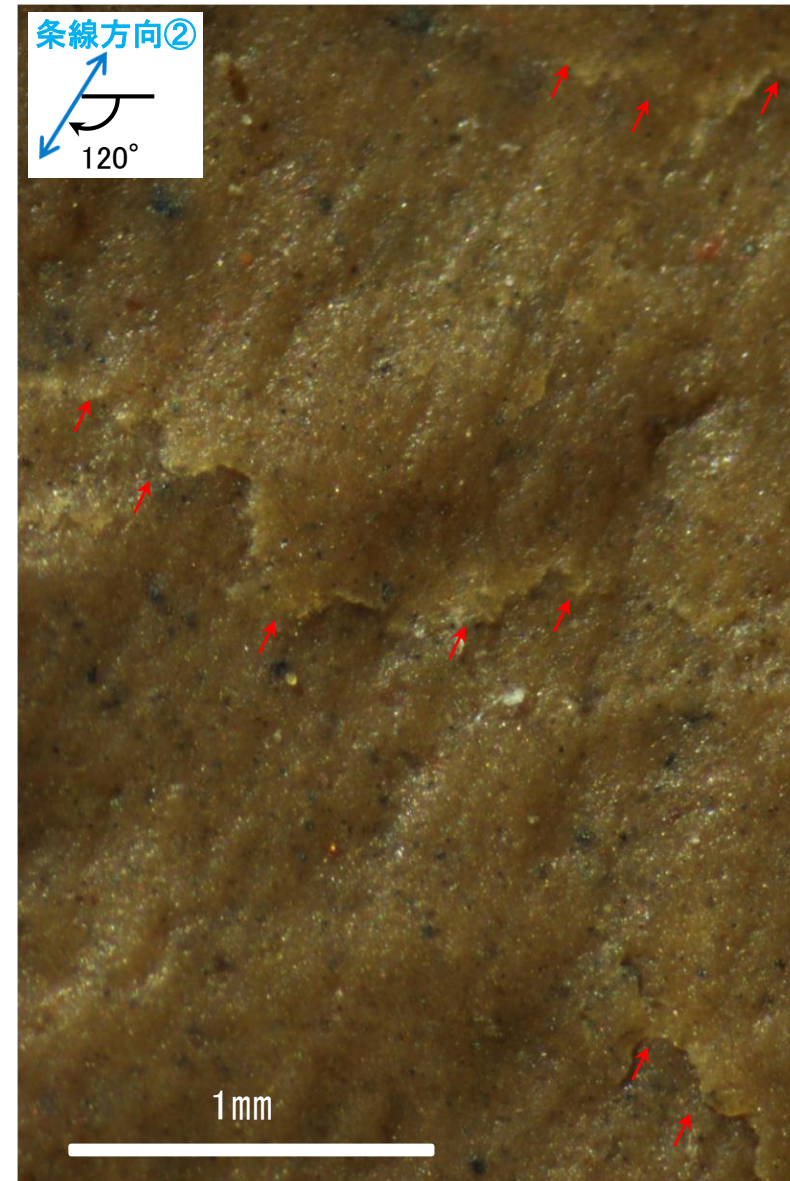


概念図

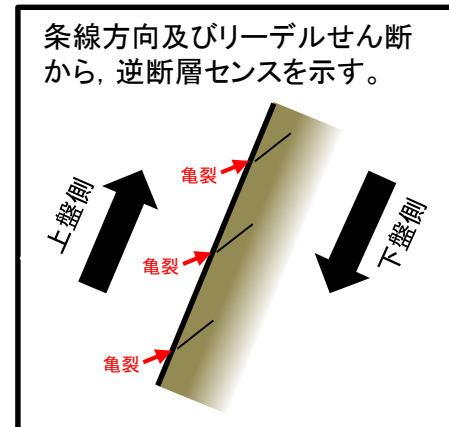
※走向は真北で示す。



詳細観察写真A



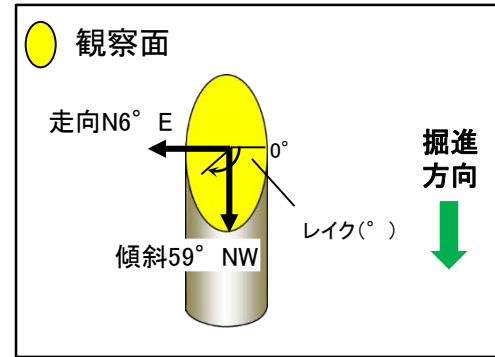
詳細観察写真B



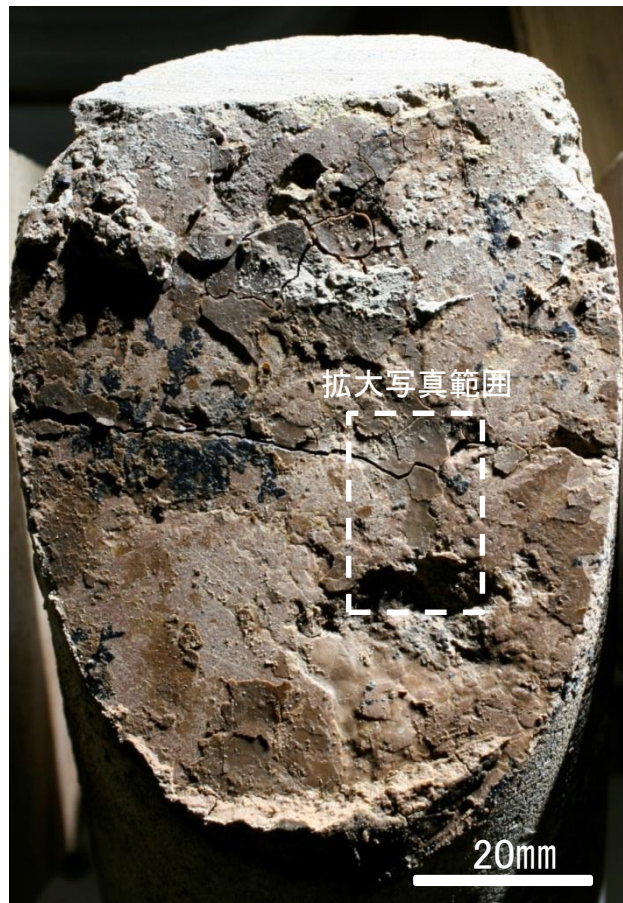
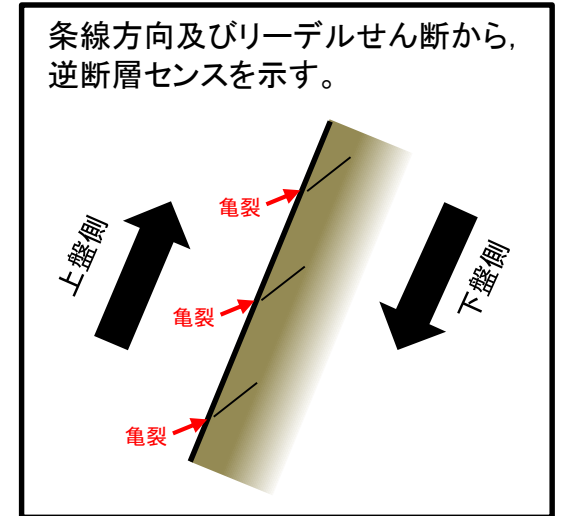
- ・条線①のレイクは160° R, 条線②のレイクは120° R
- ・不明瞭な条線①に重なって、明瞭な条線②が認められることから、条線①の後に条線②が形成されたと考えられる。

- ・条線①のレイクは160° R, 変位センスは不明
- ・条線②のレイクは120° R, 変位センスは左横ずれ逆断層センス

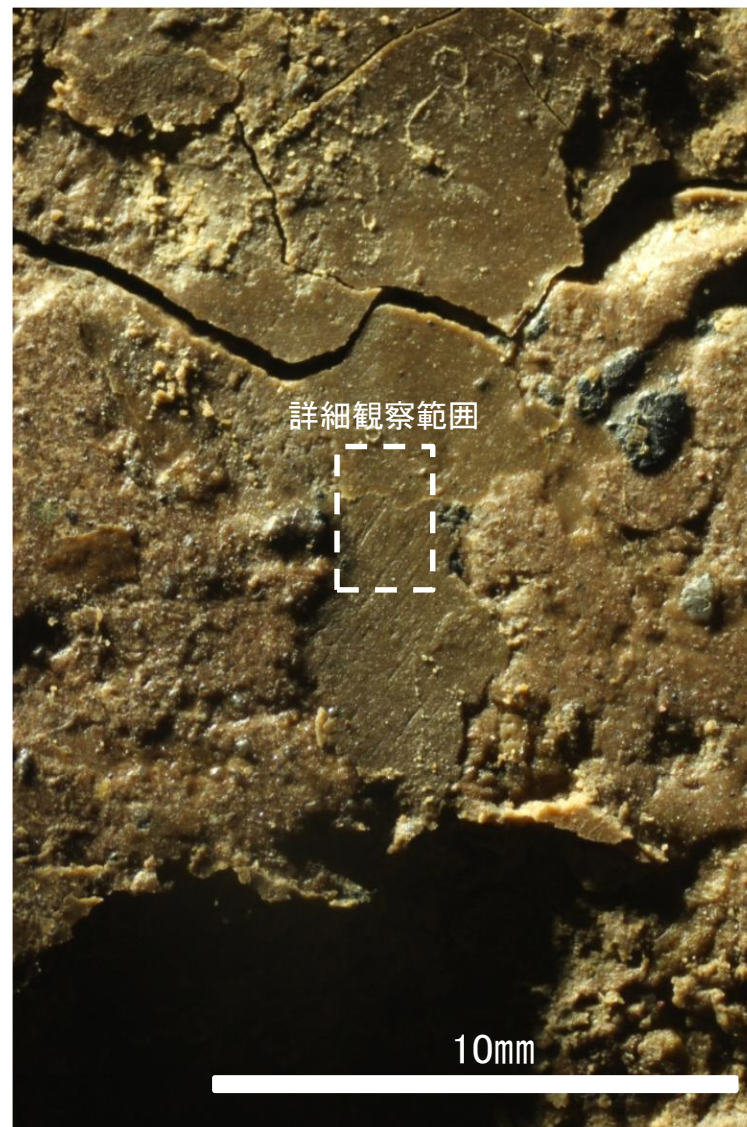
# 条線観察結果 ボーリングL-5.9孔[深度18.00m](下盤側)①



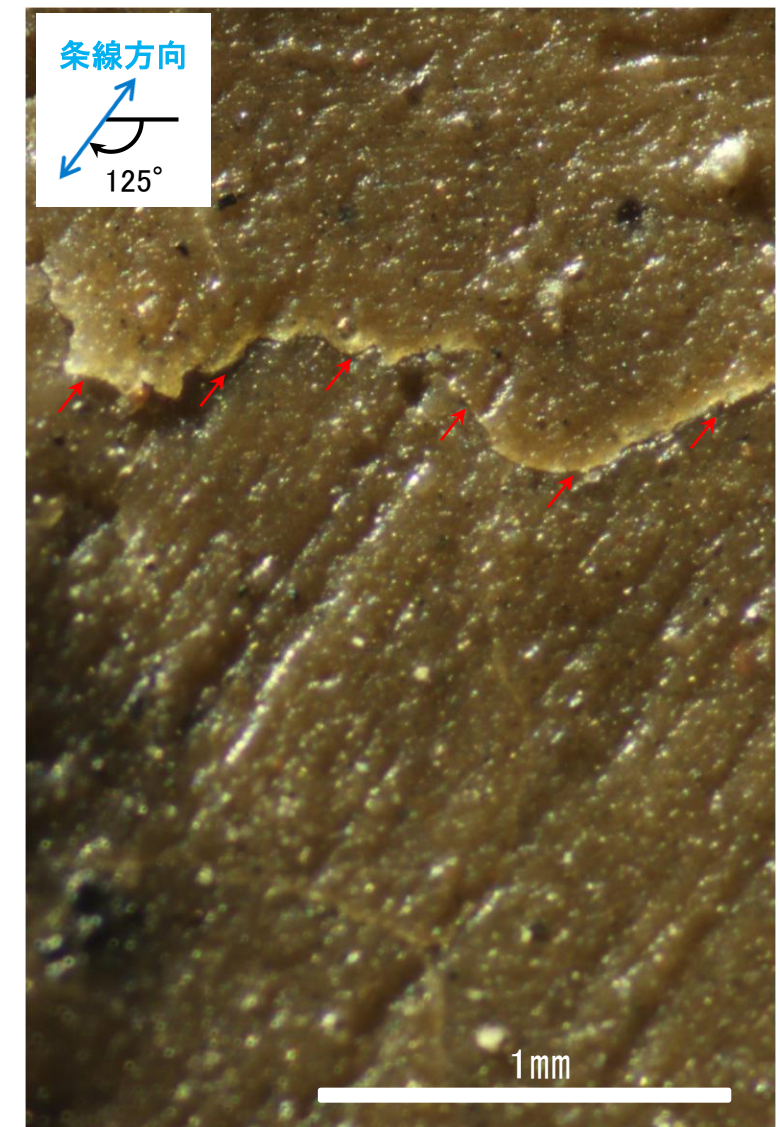
概念図  
 ※走向は真北で示す。



観察面写真



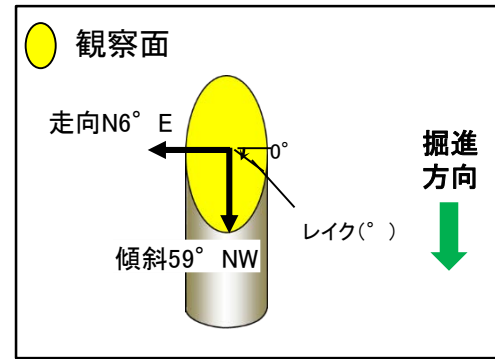
観察面拡大写真



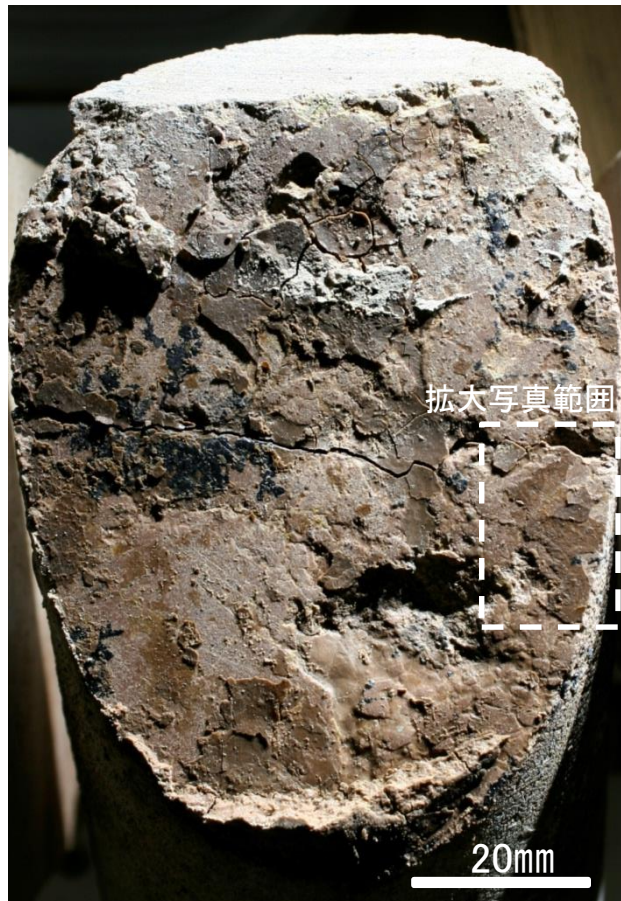
詳細観察写真

・条線のレイクは125° R, 変位センスは左横ずれ逆断層センス

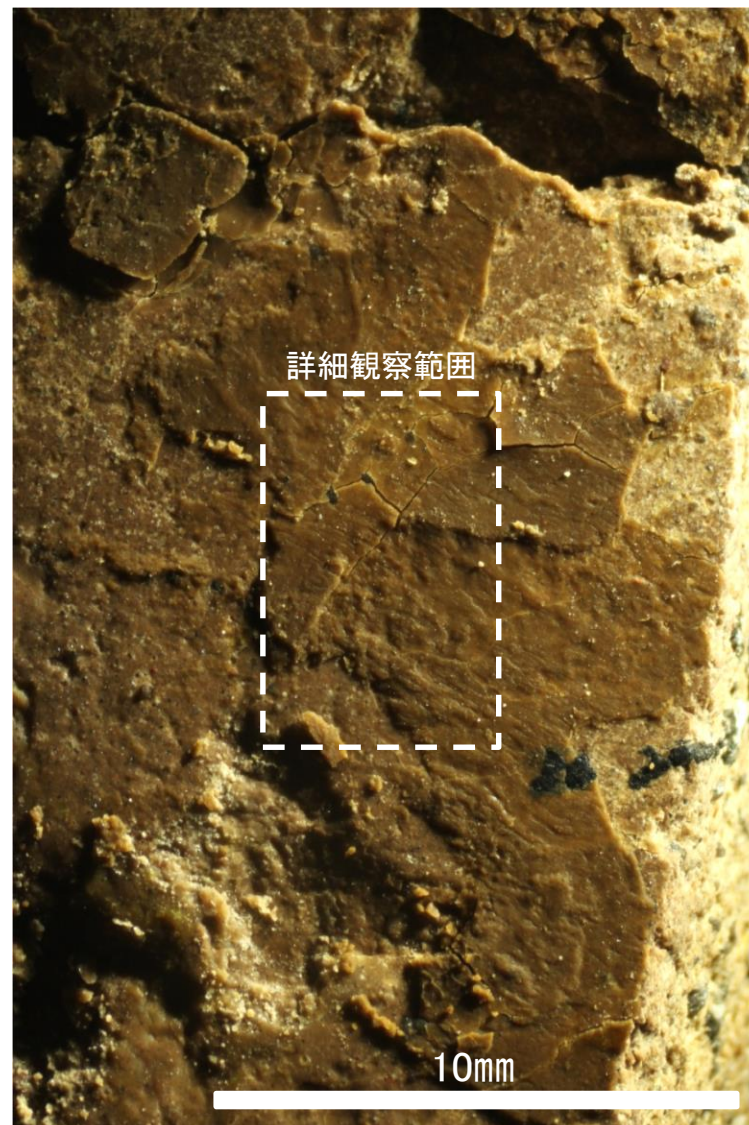
# 条線観察結果 ボーリングL-5.9孔[深度18.00m](下盤側)②



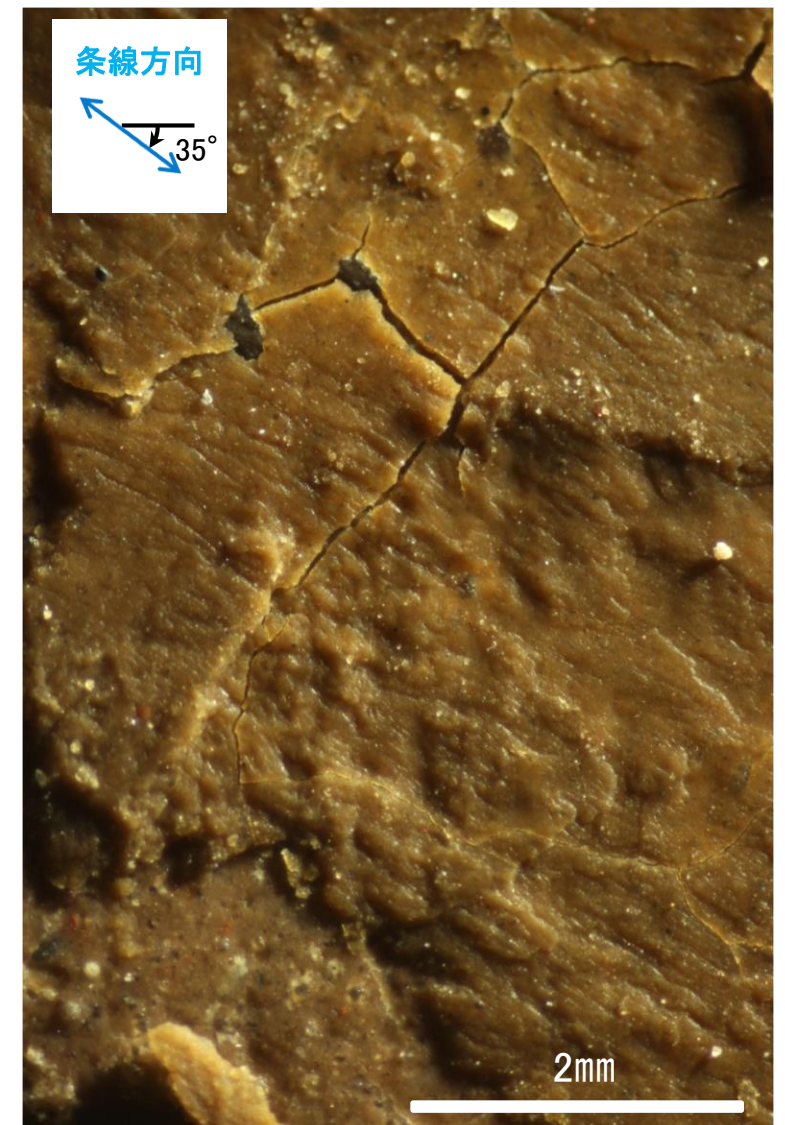
概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真

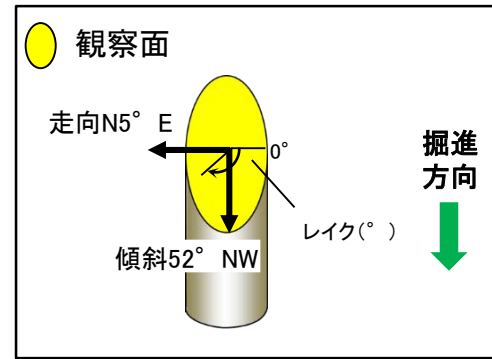


観察面拡大写真



詳細観察写真

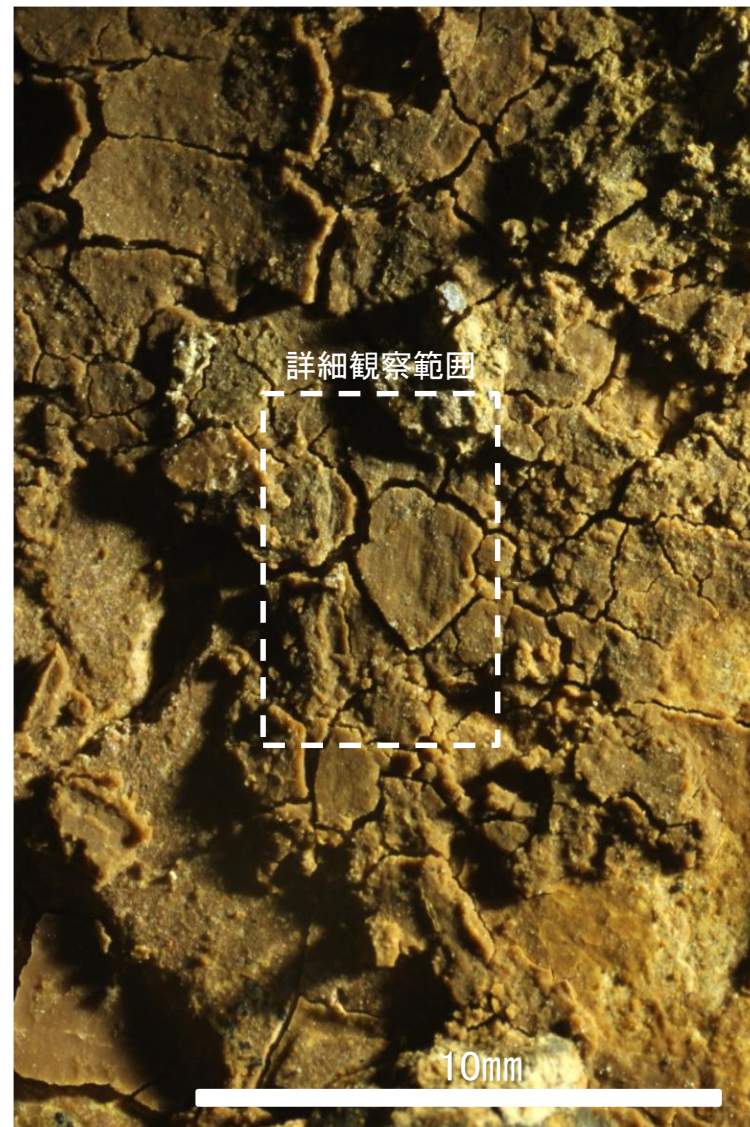
・条線のレイクは35° R, 変位センスは不明



概念図  
 ※走向は真北で示す。



観察面写真



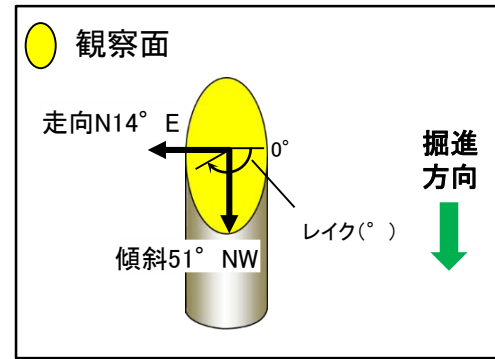
観察面拡大写真



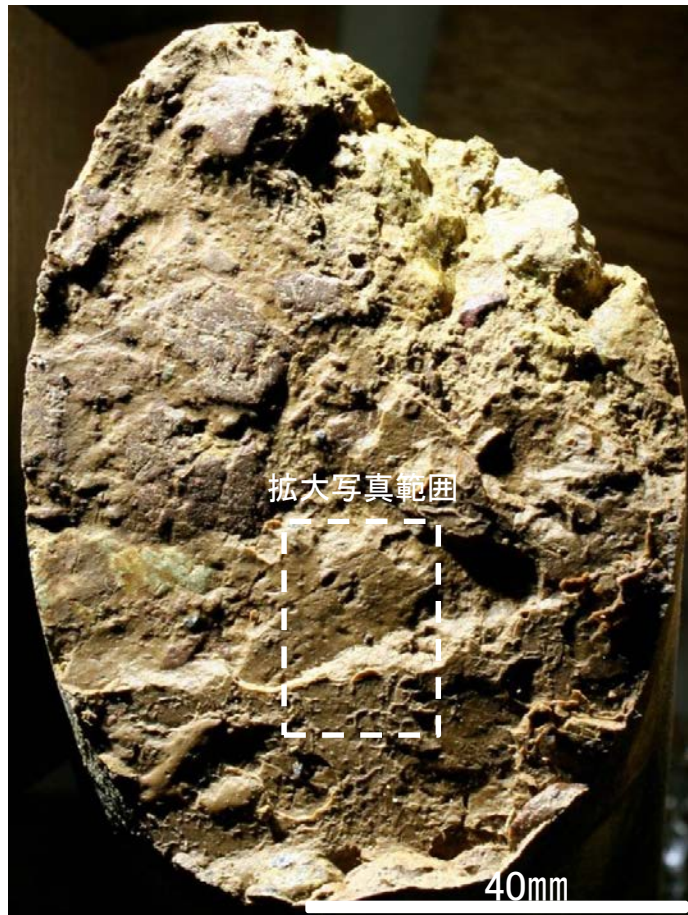
詳細観察写真

・条線のレイクは100° R, 変位センスは不明

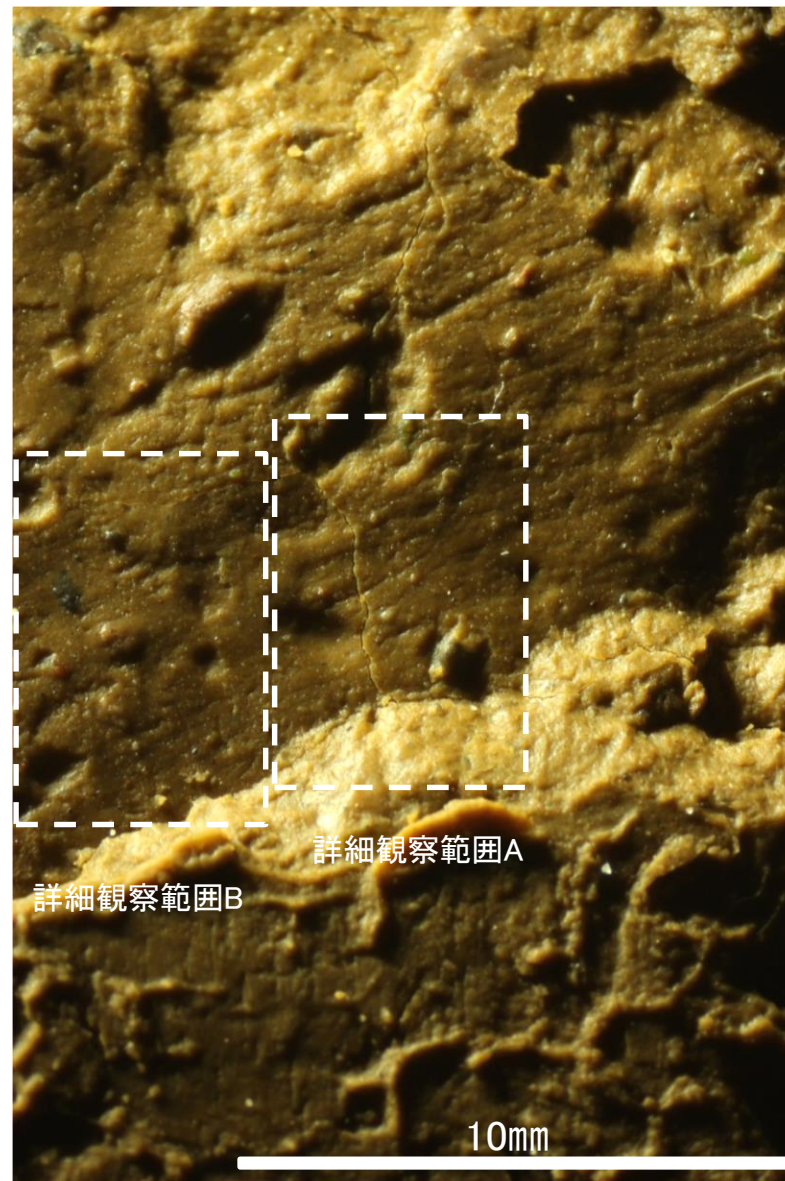




概念図  
※走向は真北で示す。

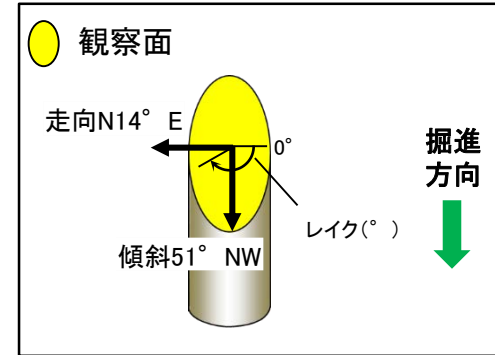


観察面写真

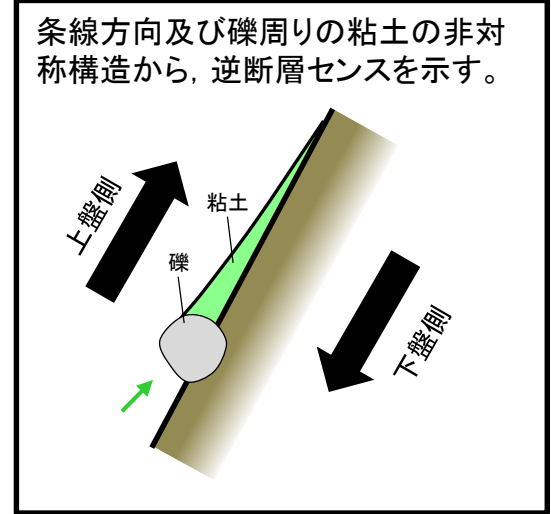


観察面拡大写真

# 条線観察結果 ボーリングF-8.5-1孔[深度8.66m](下盤側)②



概念図  
※走向は真北で示す。



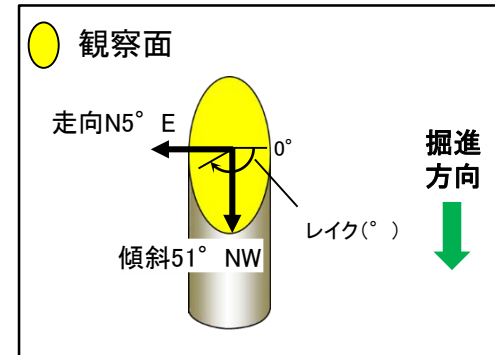
詳細観察写真A



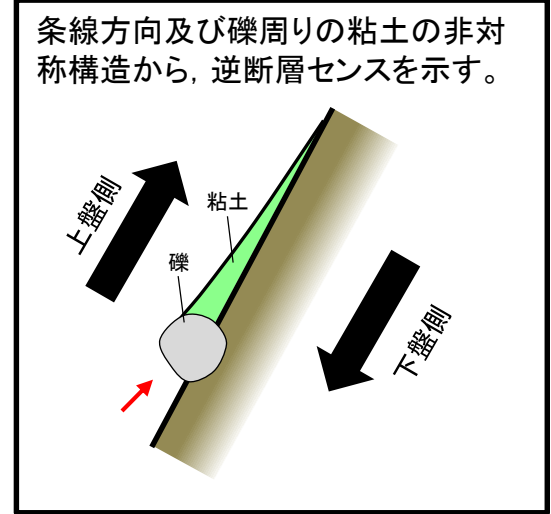
詳細観察写真B

・条線のレイクは150° R, 変位センスは左横ずれ逆断層センス

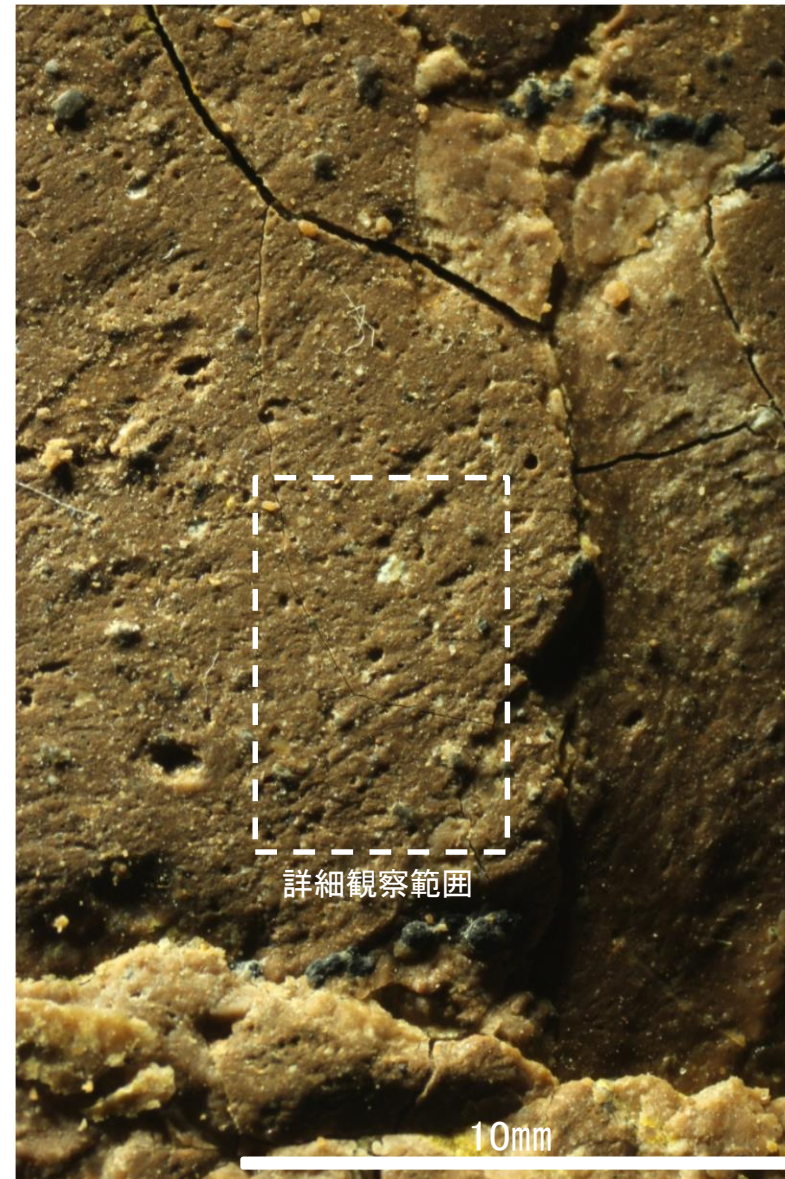
# 条線観察結果 ボーリングE-8.5-1孔[深度8.33m](下盤側)



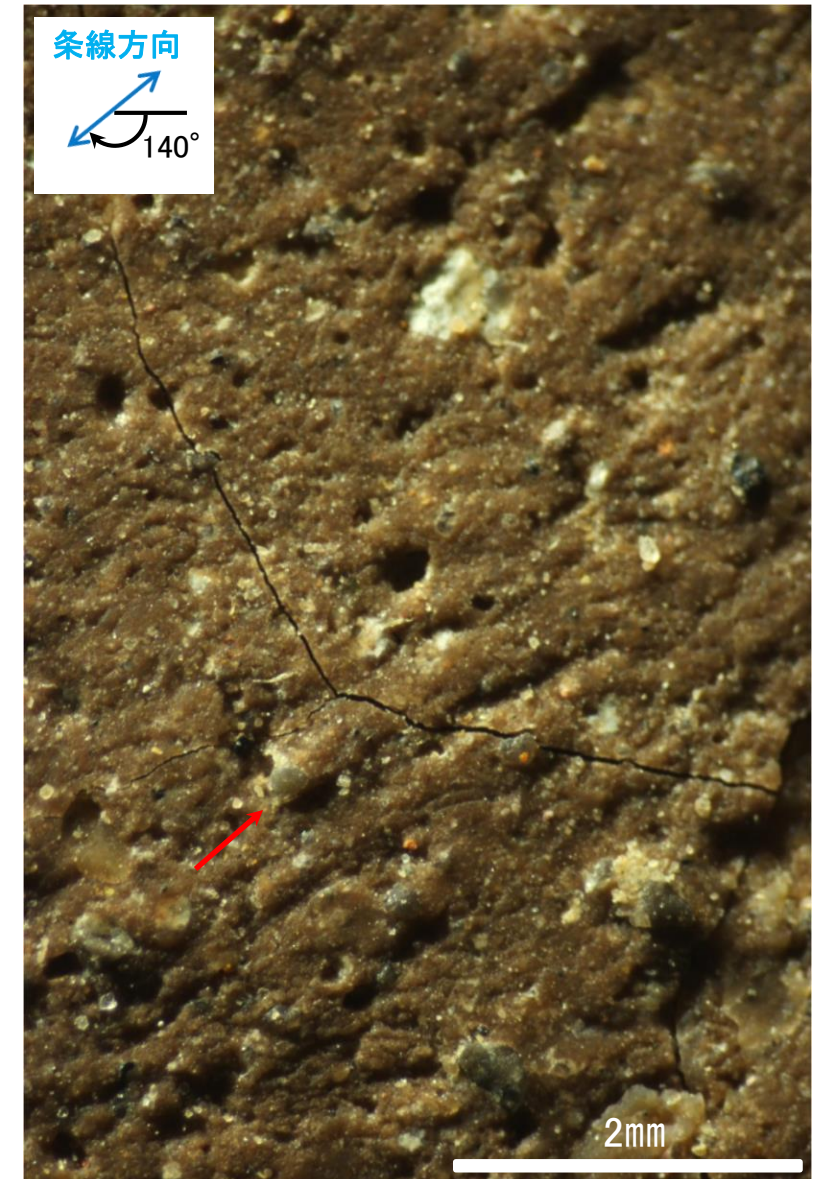
概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真

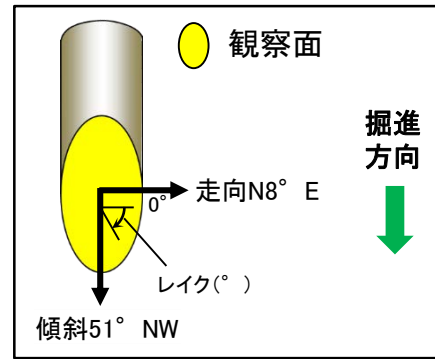


観察面拡大写真



詳細観察写真

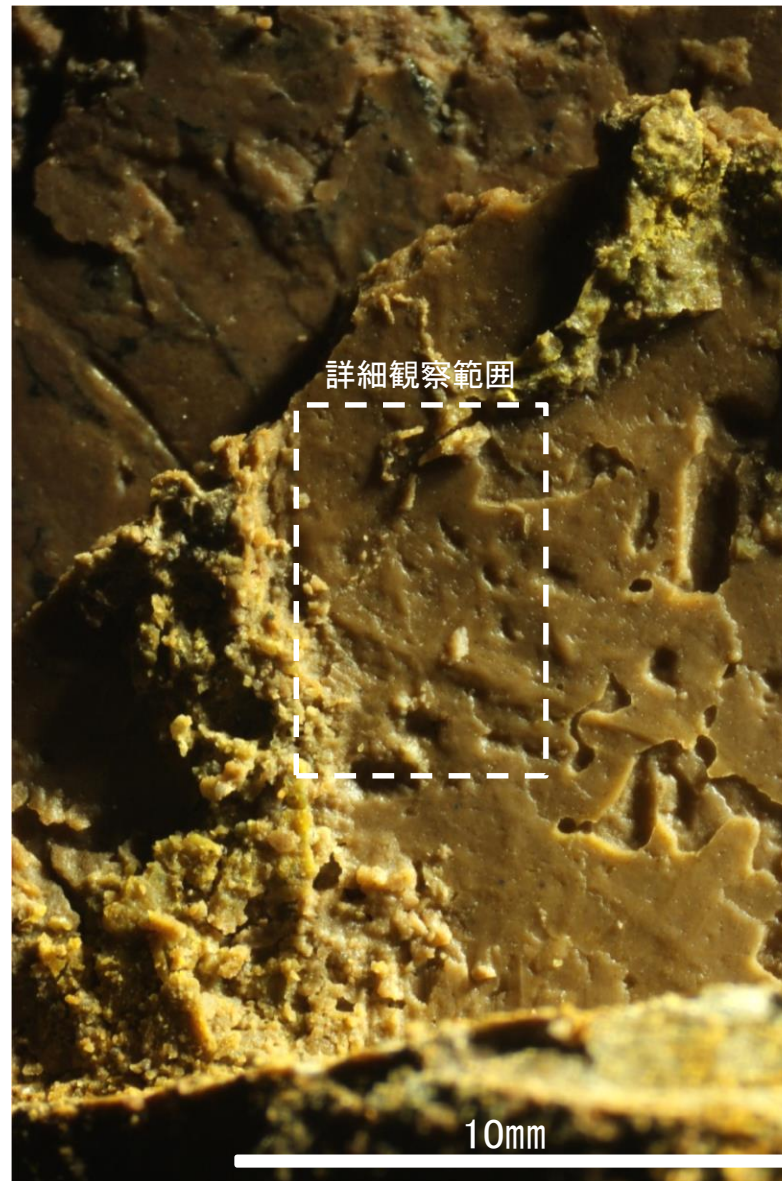
・条線のレイクは140° R, 変位センスは左横ずれ逆断層センス



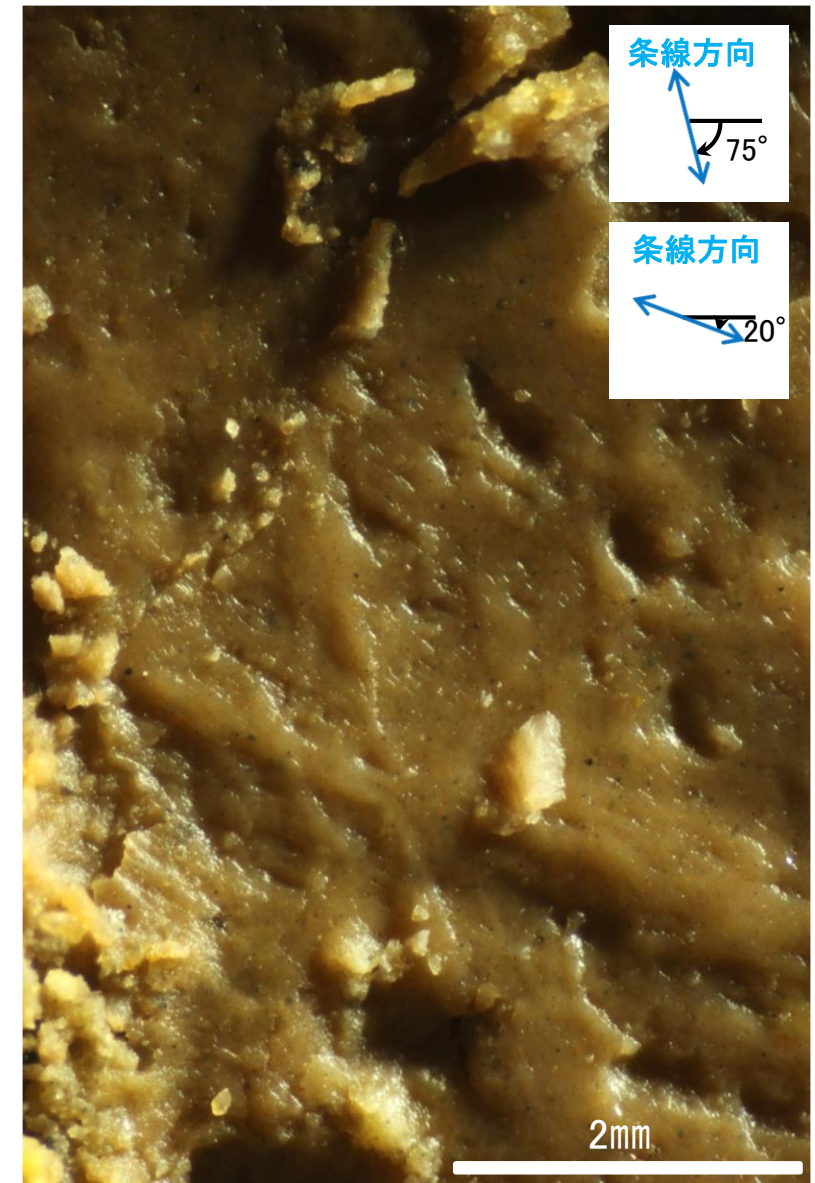
概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真



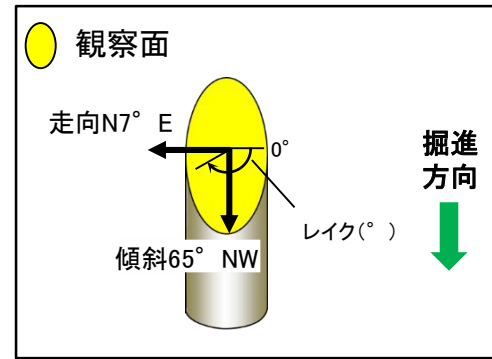
観察面拡大写真



詳細観察写真

・条線のレイクは105° R(下盤側換算), 160° R(下盤側換算), それぞれ変位センスは不明

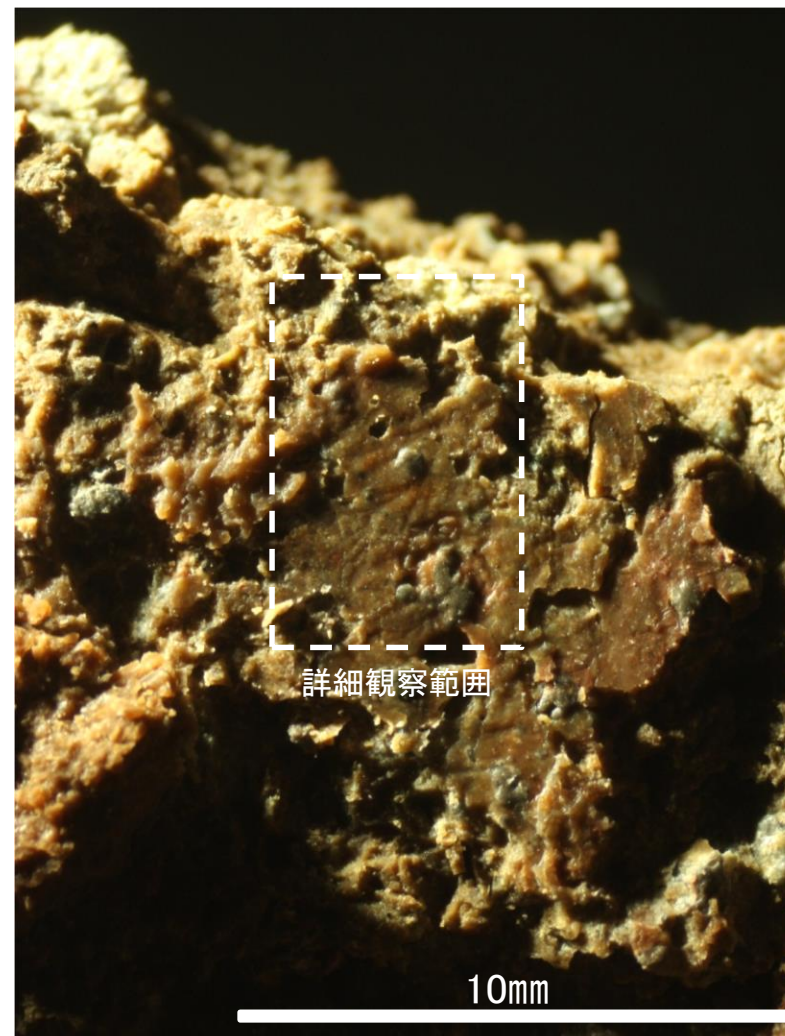
# 条線観察結果 ボーリングE-8.6-1孔[深度8.52m](下盤側)



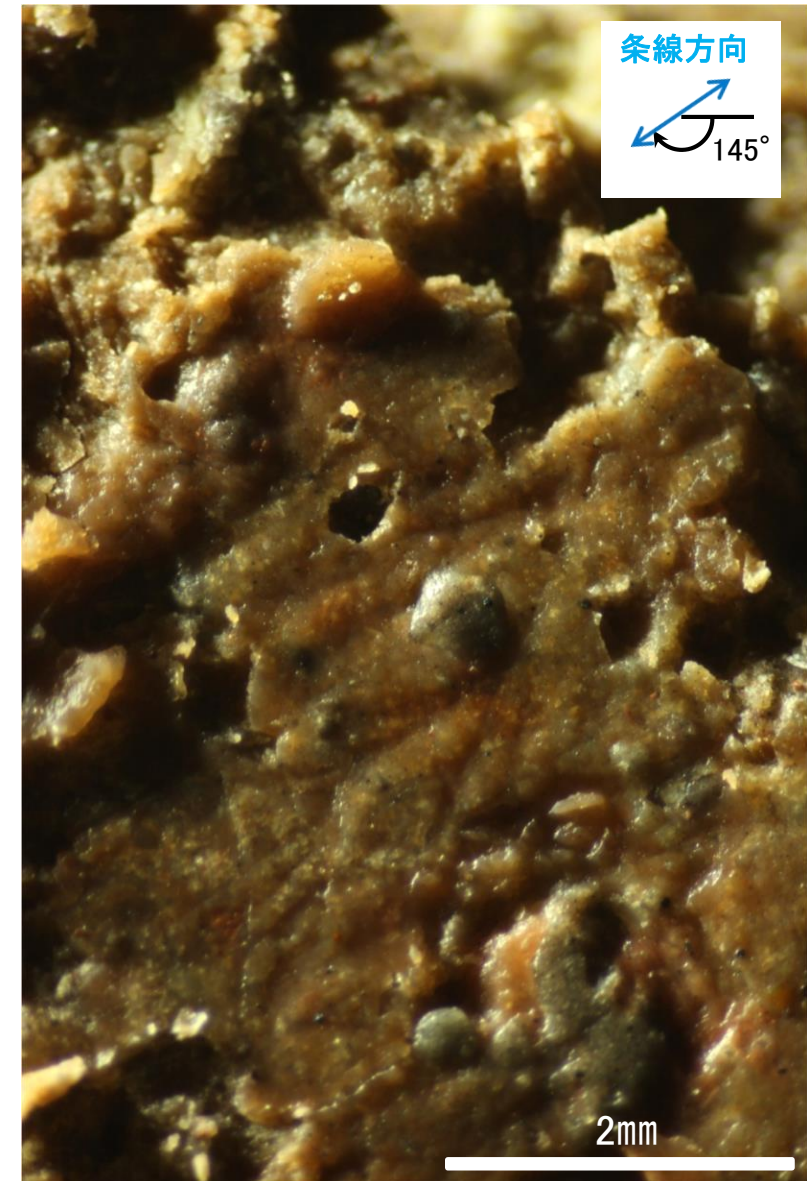
概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真



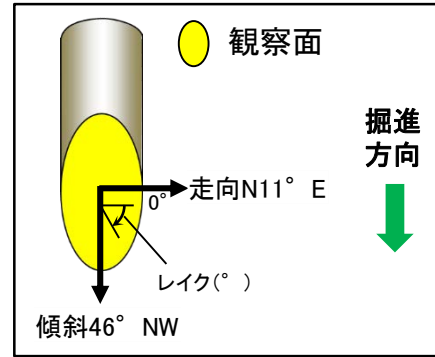
観察面拡大写真



詳細観察写真

・条線のレイクは145° R, 変位センスは不明

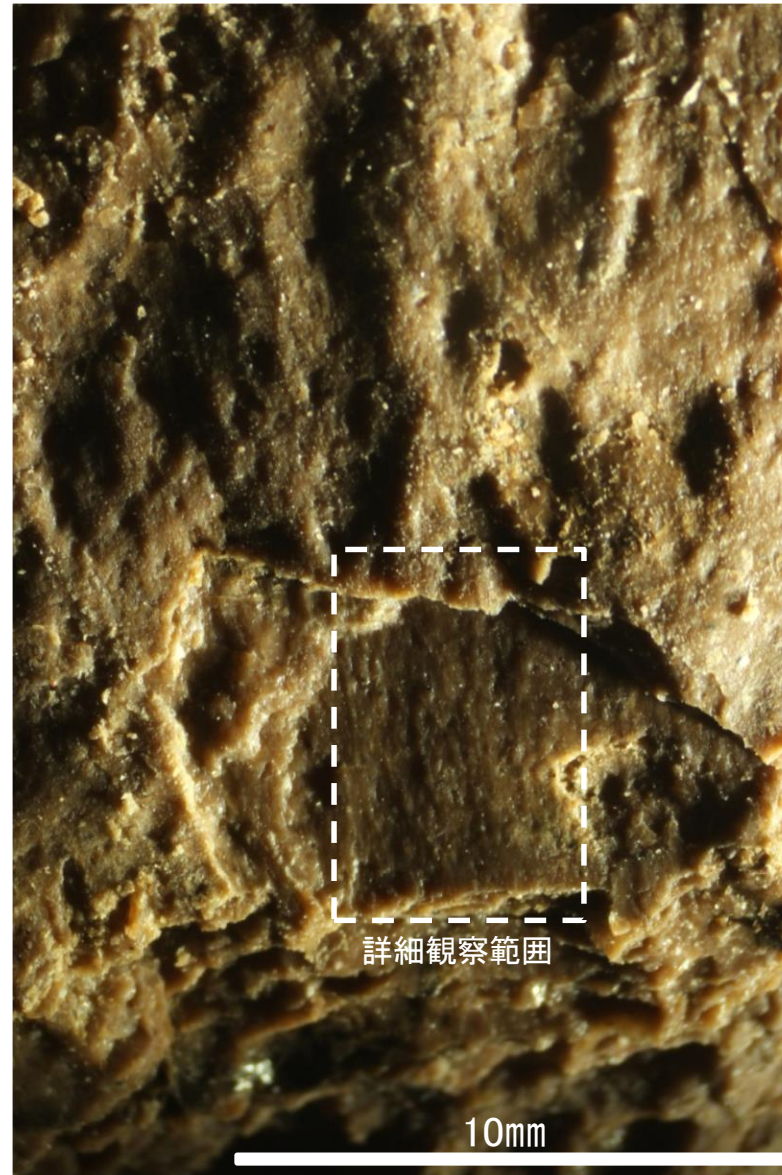
# 条線観察結果 ボーリングE-8.6'孔[深度11.40m](上盤側)



概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真



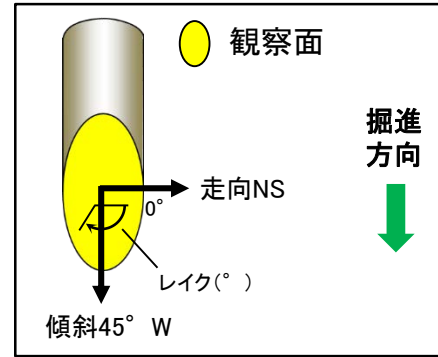
観察面拡大写真



詳細観察写真

・条線のレイクは $100^{\circ}$  R(下盤側換算), 変位センスは不明

# 条線観察結果 ボーリングE-8.6孔[深度11.70m](上盤側)



概念図  
※走向は真北で示す。

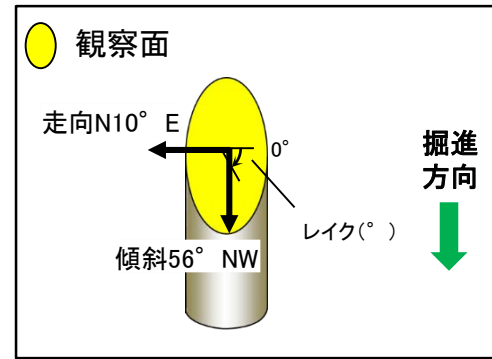


観察面写真

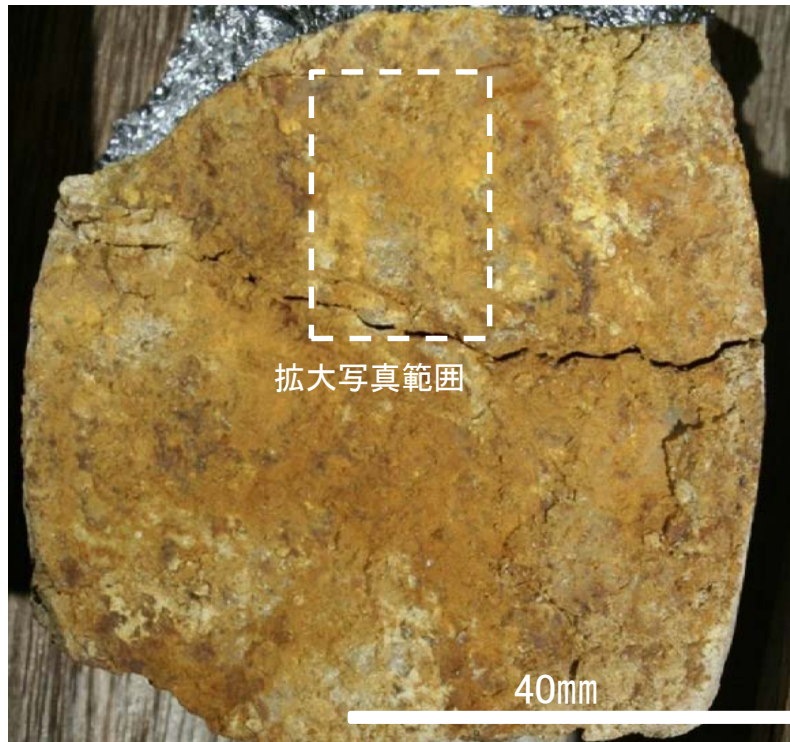


観察面拡大写真

・条線のレイクは50° R(下盤側換算), 変位センスは不明



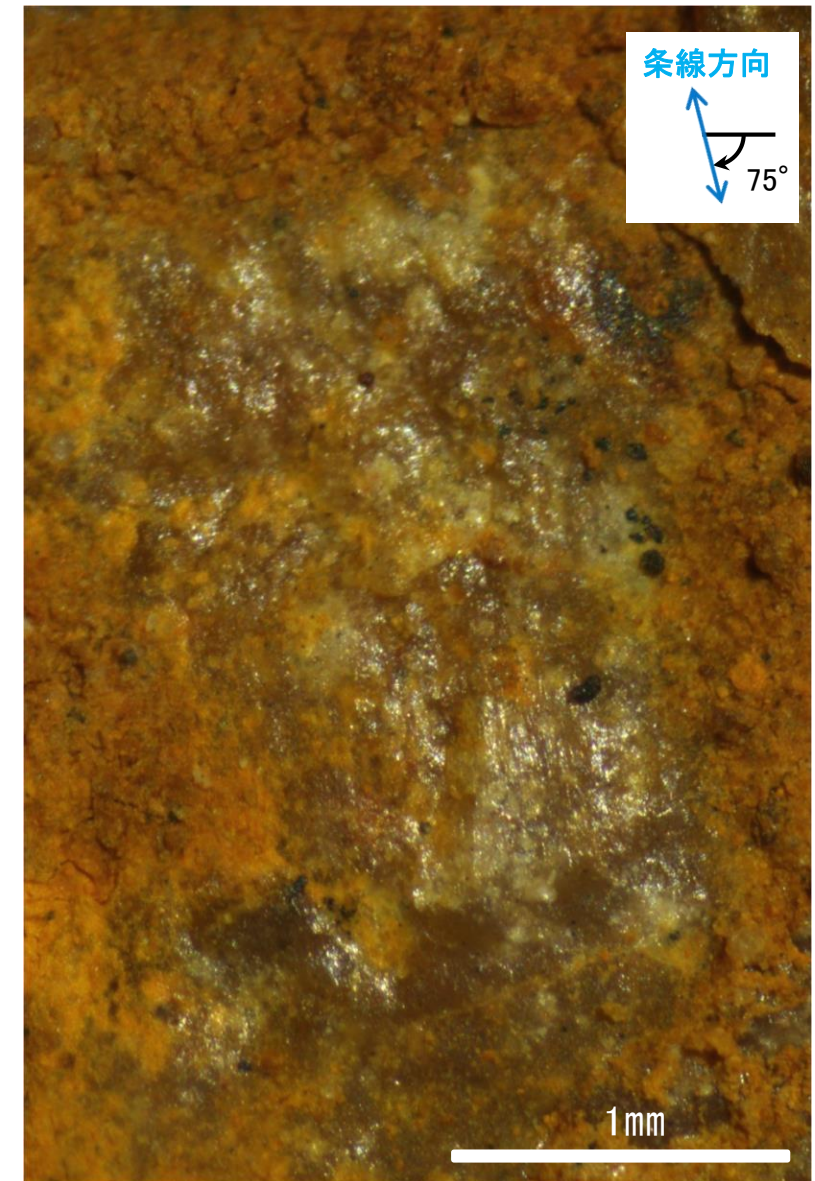
概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真



観察面拡大写真

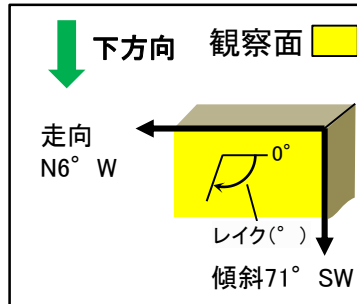


詳細観察写真

・条線のレイクは75° R, 変位センスは不明

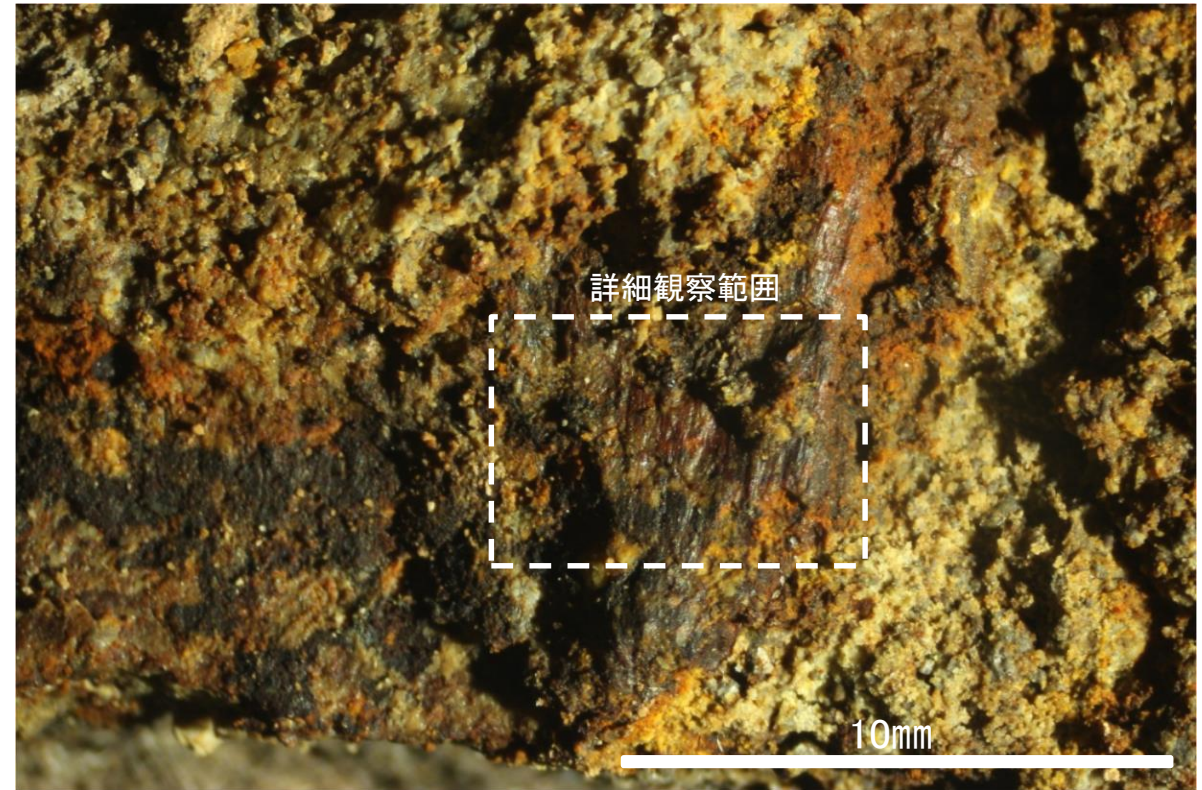


# 条線観察結果 No.1トレンチ-1(下盤側)

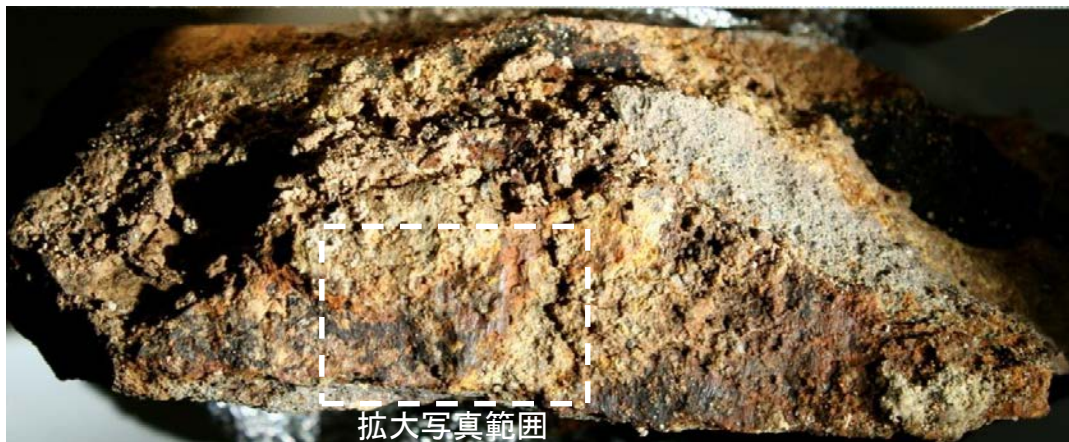


概念図

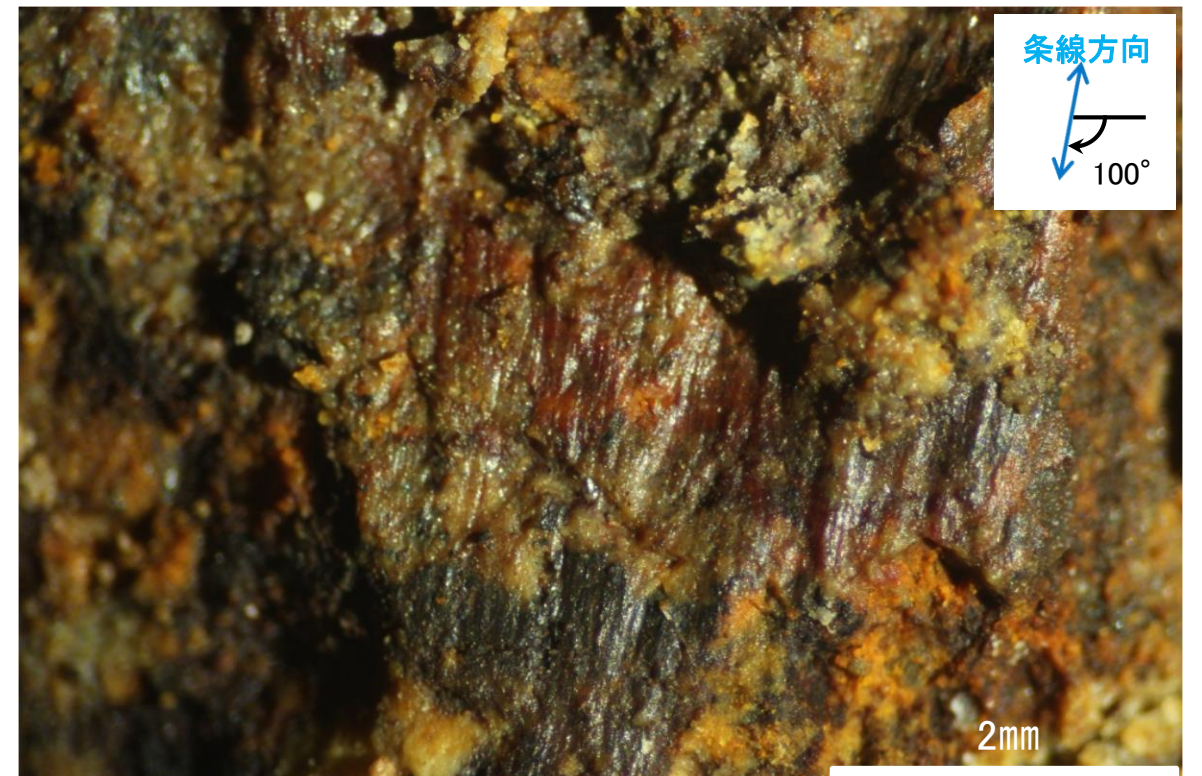
※走向は真北で示す。



観察面拡大写真



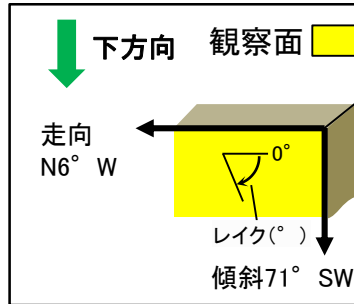
観察面写真



詳細観察写真

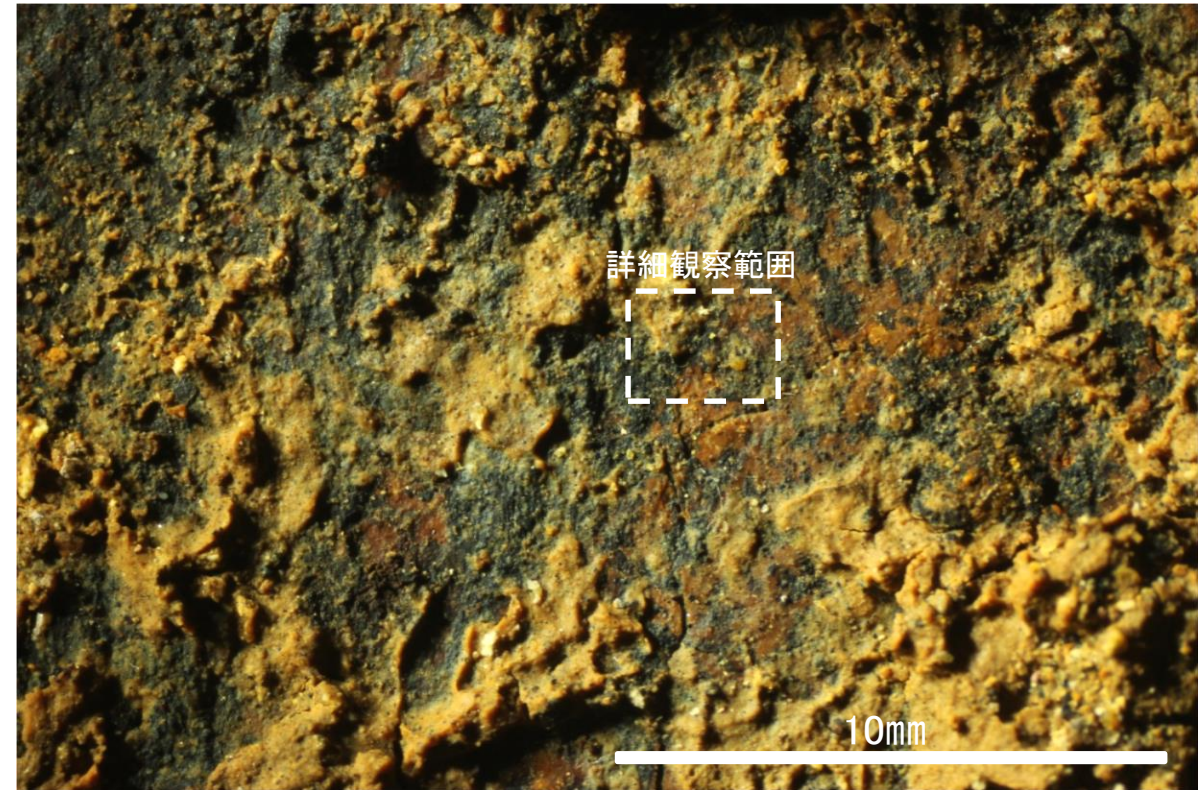
・条線のレイクは100° R, 変位センスは不明

# 条線観察結果 (No.1トレンチ-2) (下盤側) ①



概念図

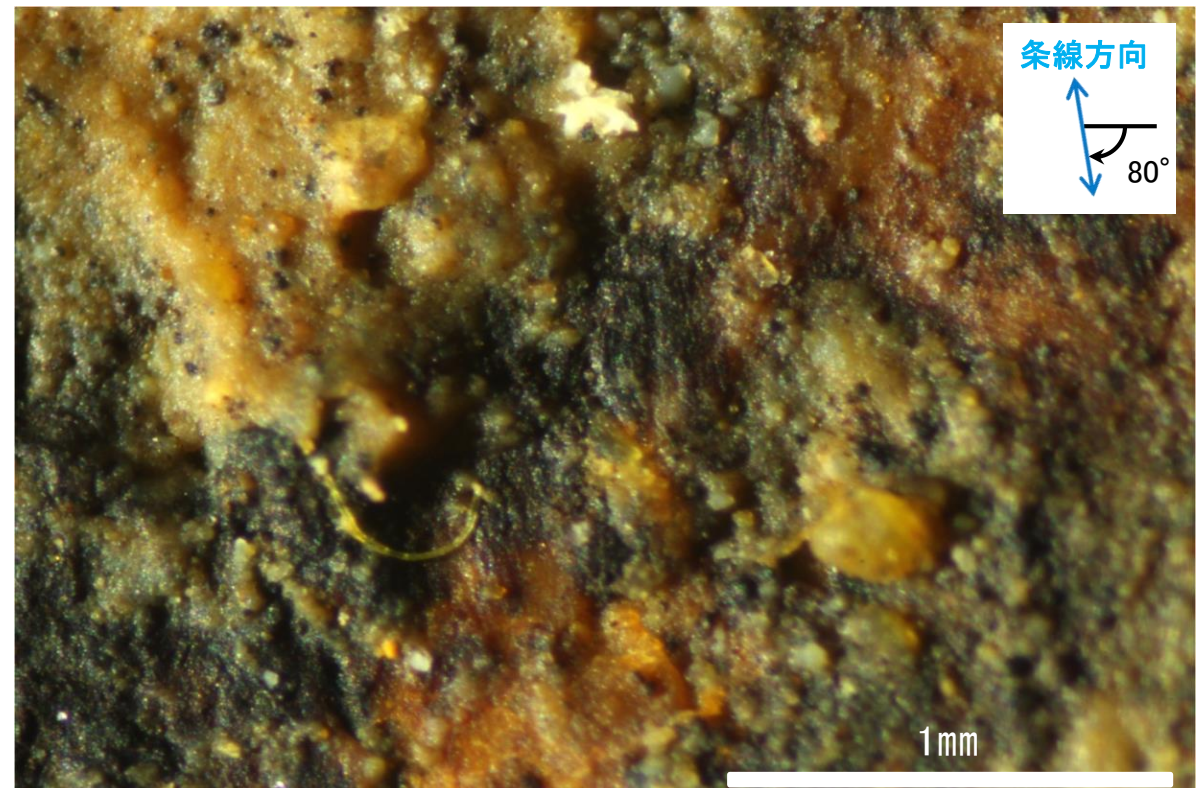
※走向は真北で示す。



観察面拡大写真



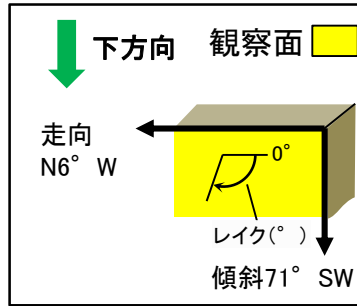
観察面写真



詳細観察写真

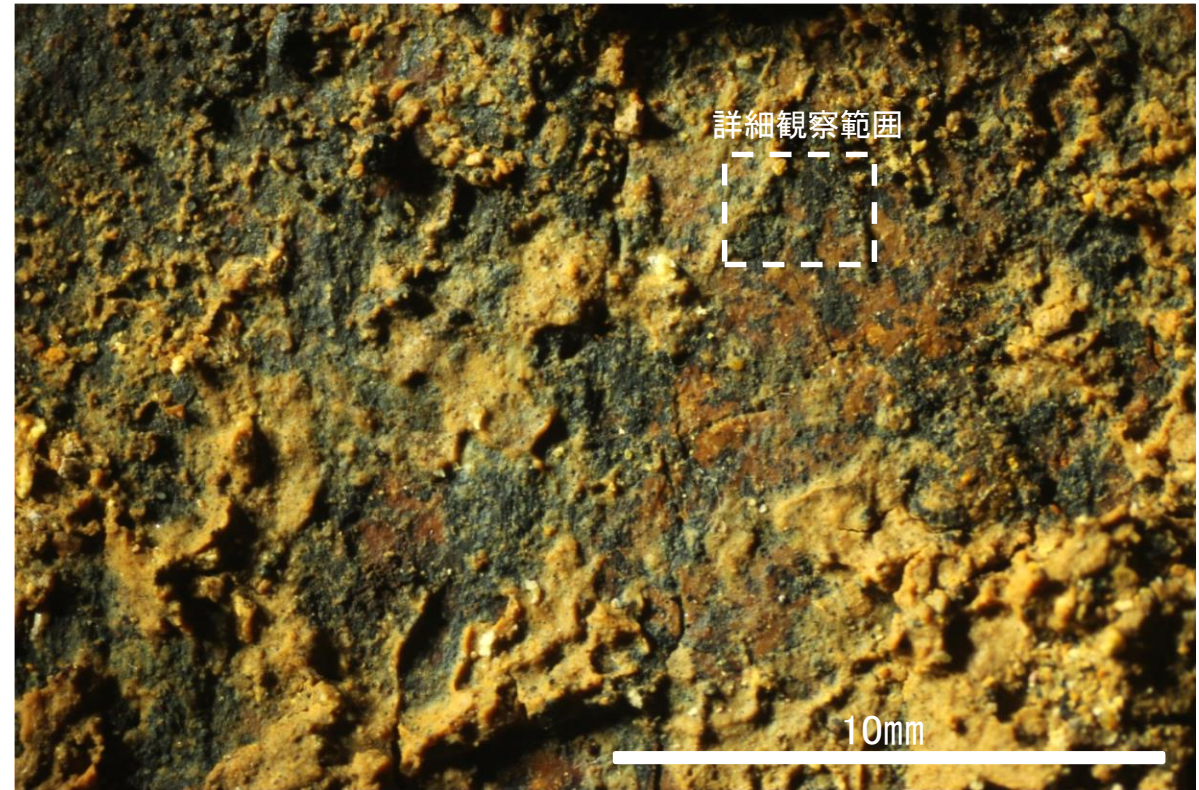
・条線のレイクは80° R, 変位センスは不明

# 条線観察結果 No.1トレンチ-2(下盤側)②



概念図

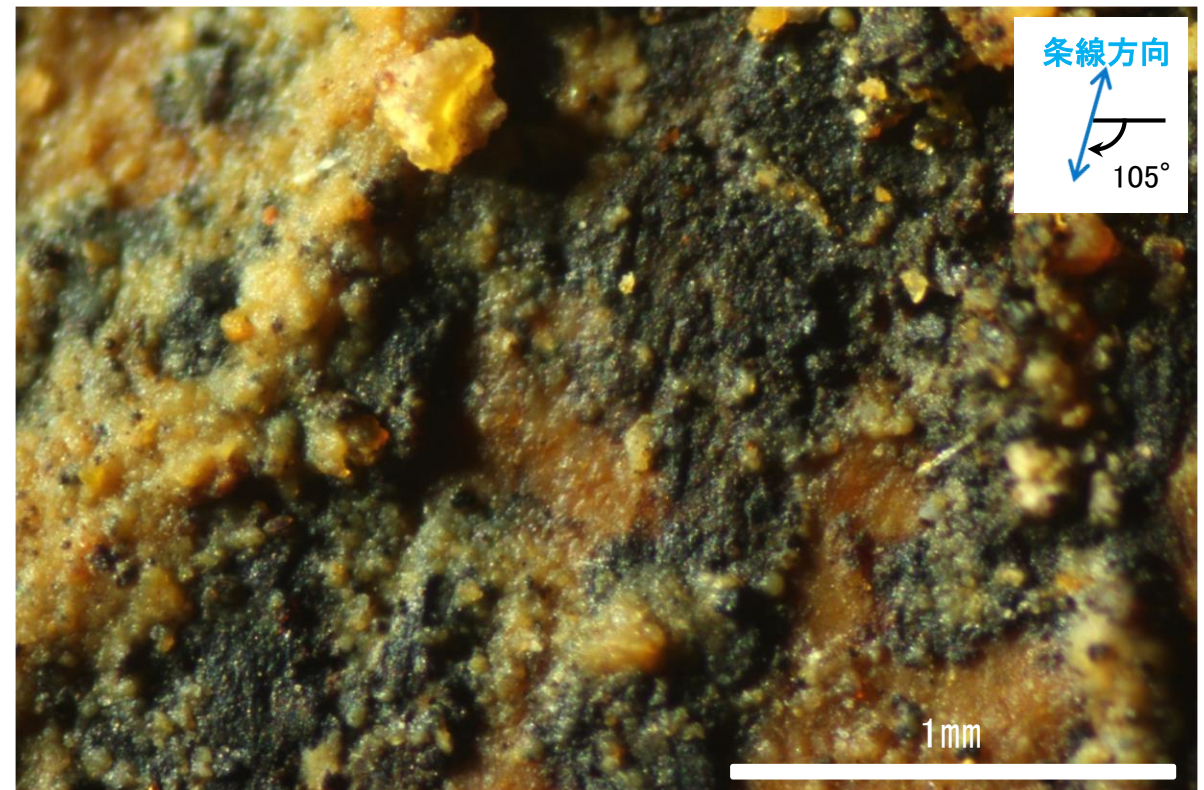
※走向は真北で示す。



観察面拡大写真



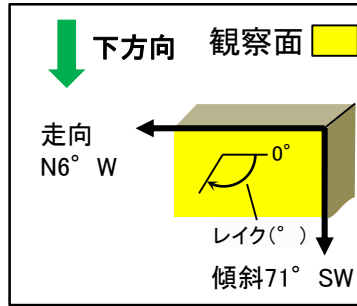
観察面写真



詳細観察写真

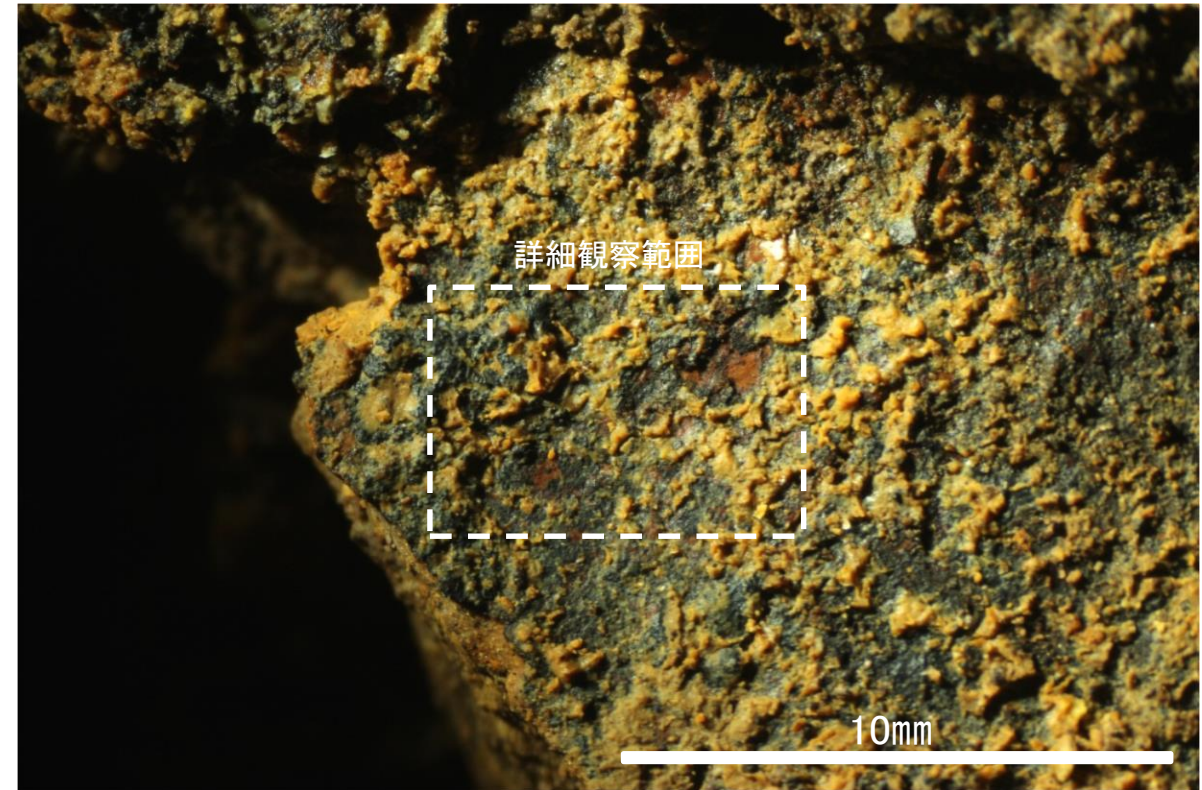
・条線のレイクは105° R, 変位センスは不明

# 条線観察結果 No.1トレンチ-2(下盤側)③



概念図

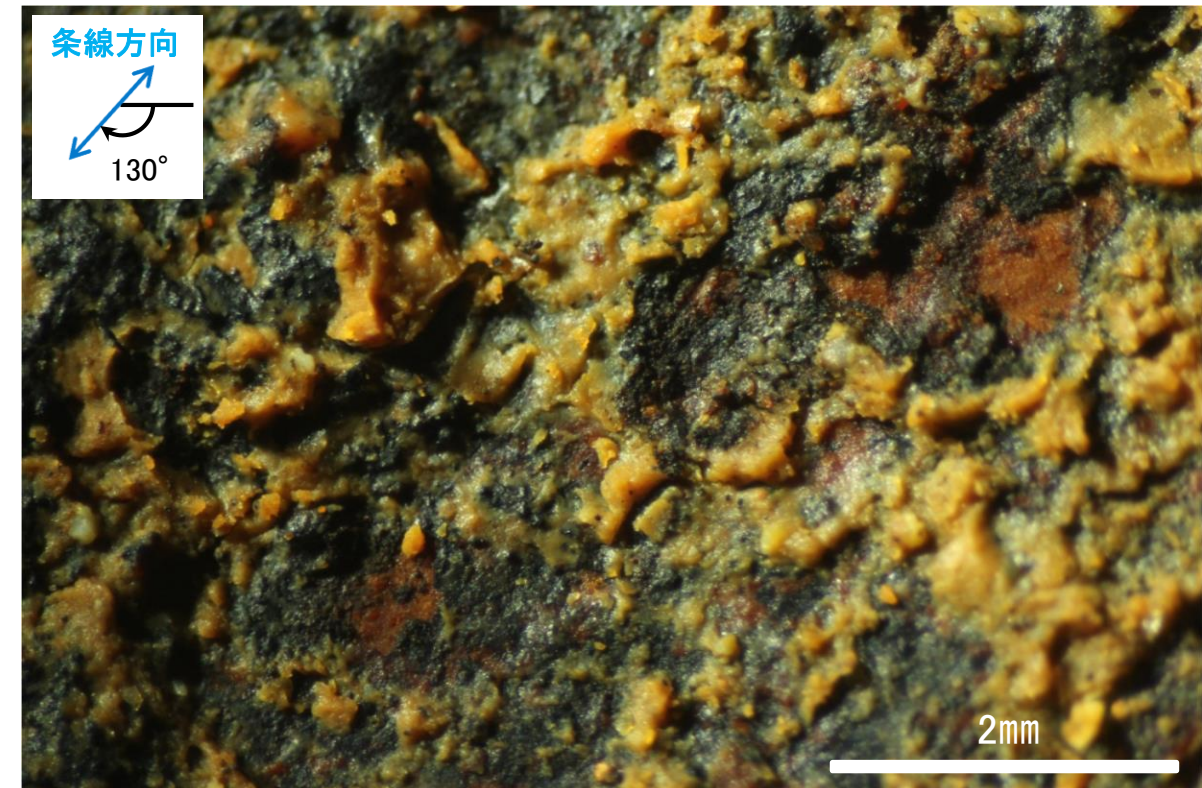
※走向は真北で示す。



観察面拡大写真



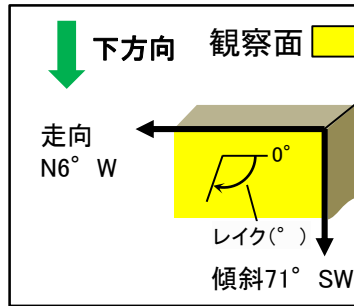
観察面写真



詳細観察写真

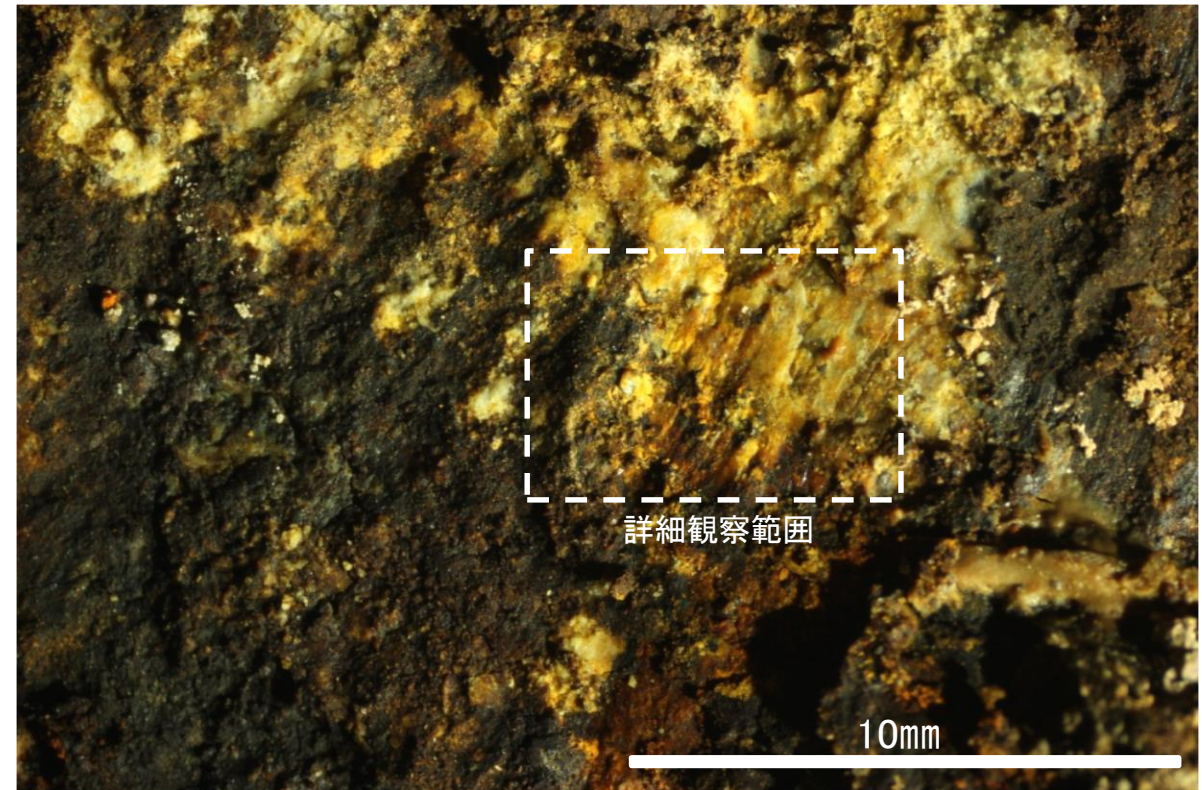
・条線のレイクは130° R, 変位センスは不明

# 条線観察結果 No.1トレンチ(下盤側)

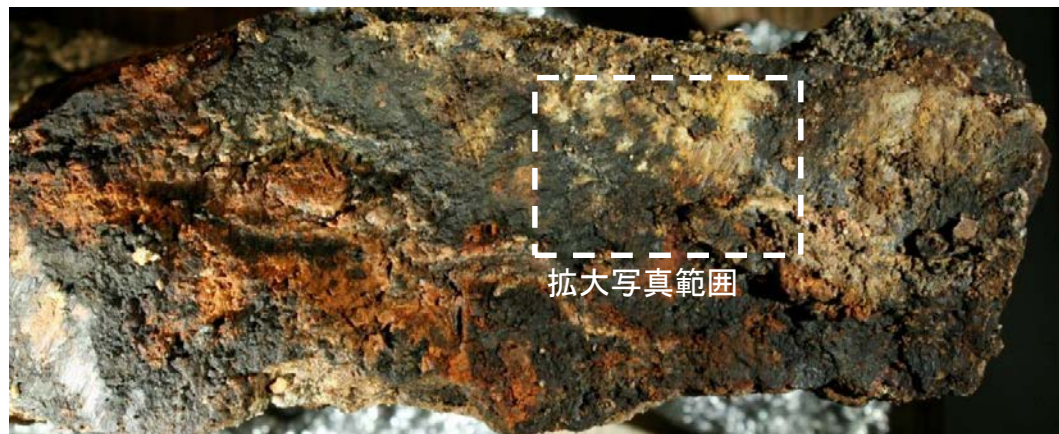


概念図

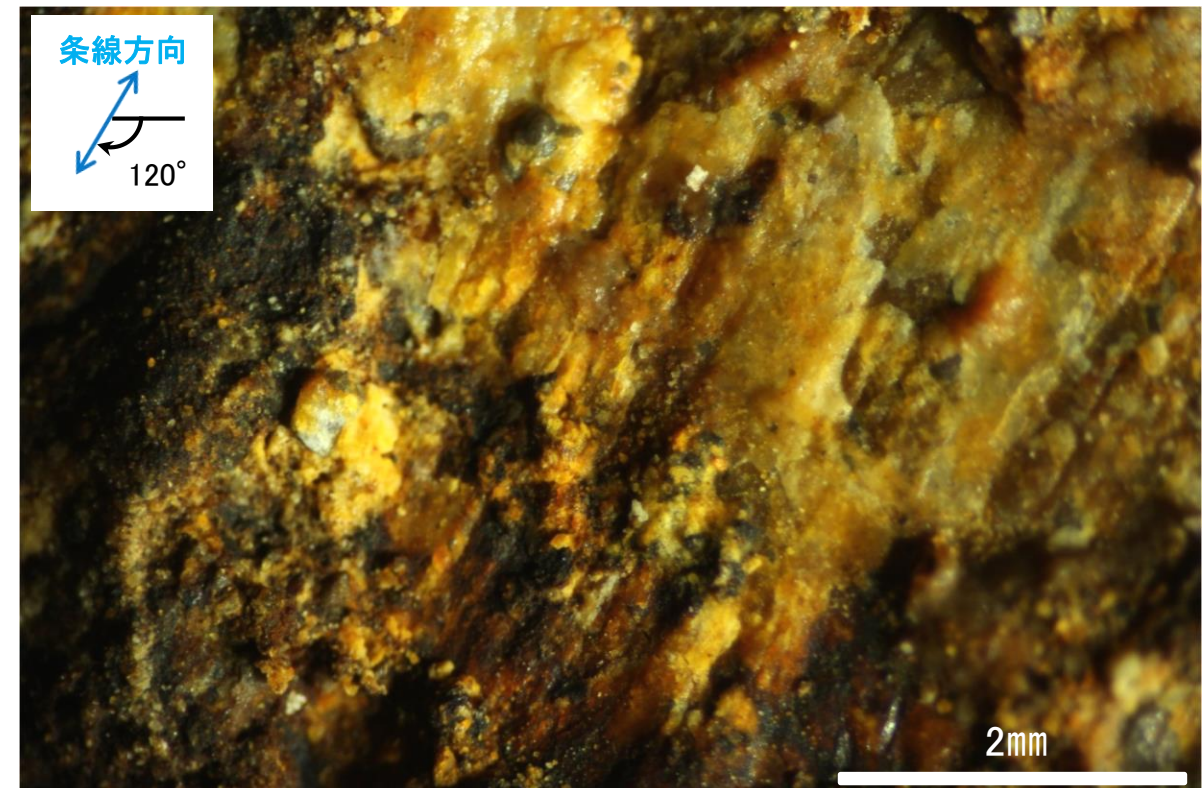
※走向は真北で示す。



観察面拡大写真



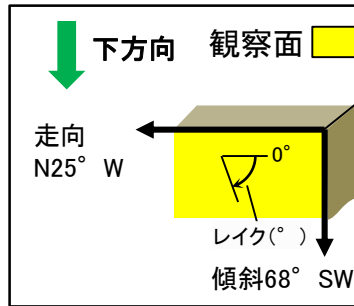
観察面写真



詳細観察写真

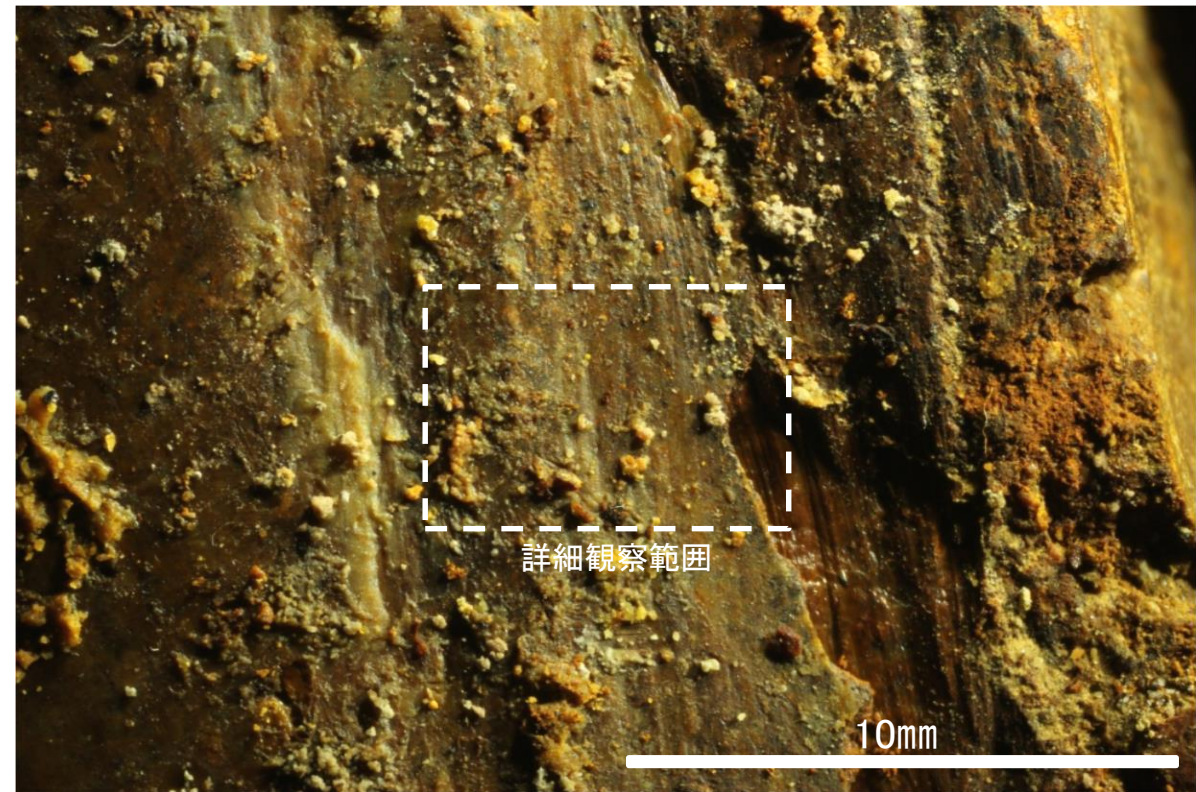
・条線のレイクは120° R, 変位センスは不明

# 条線観察結果 No.2トレンチ(下盤側)①



概念図

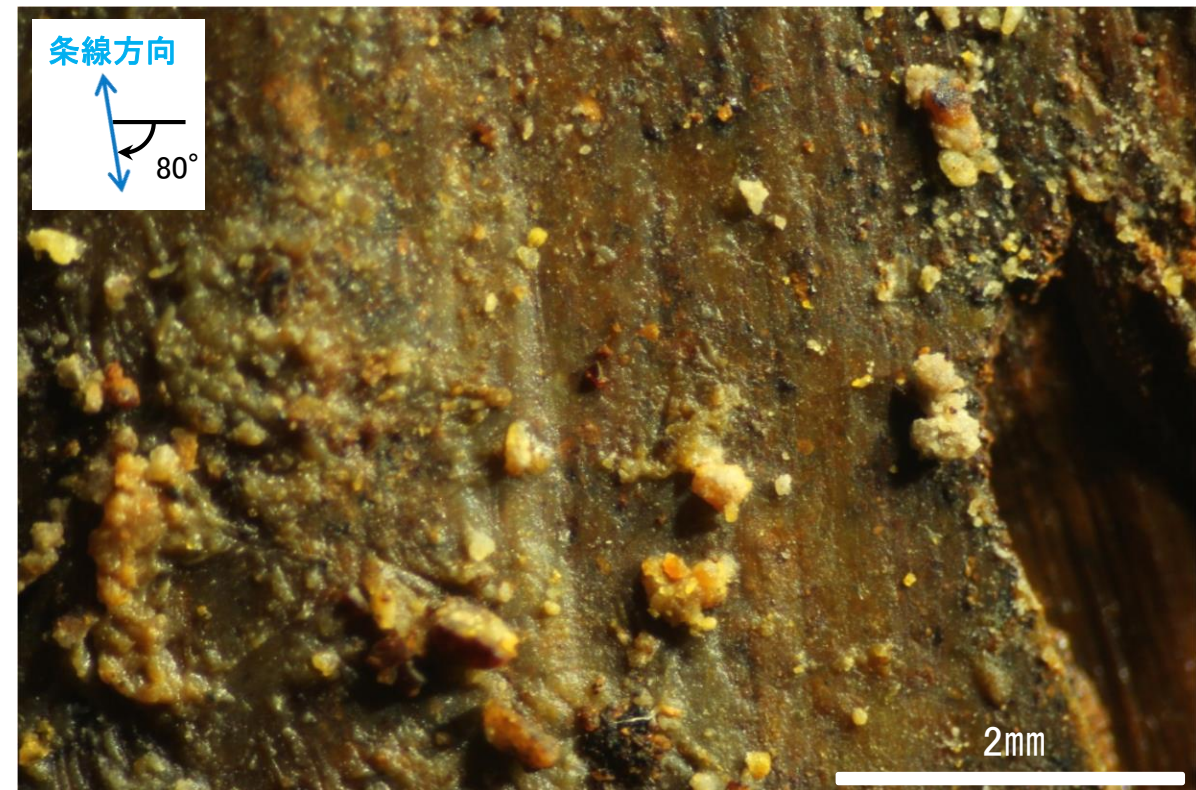
※走向は真北で示す。



観察面拡大写真



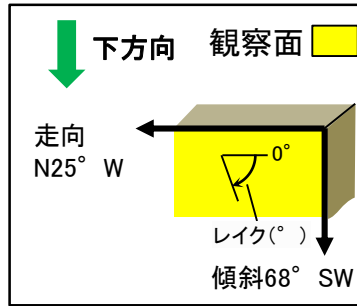
観察面写真



詳細観察写真

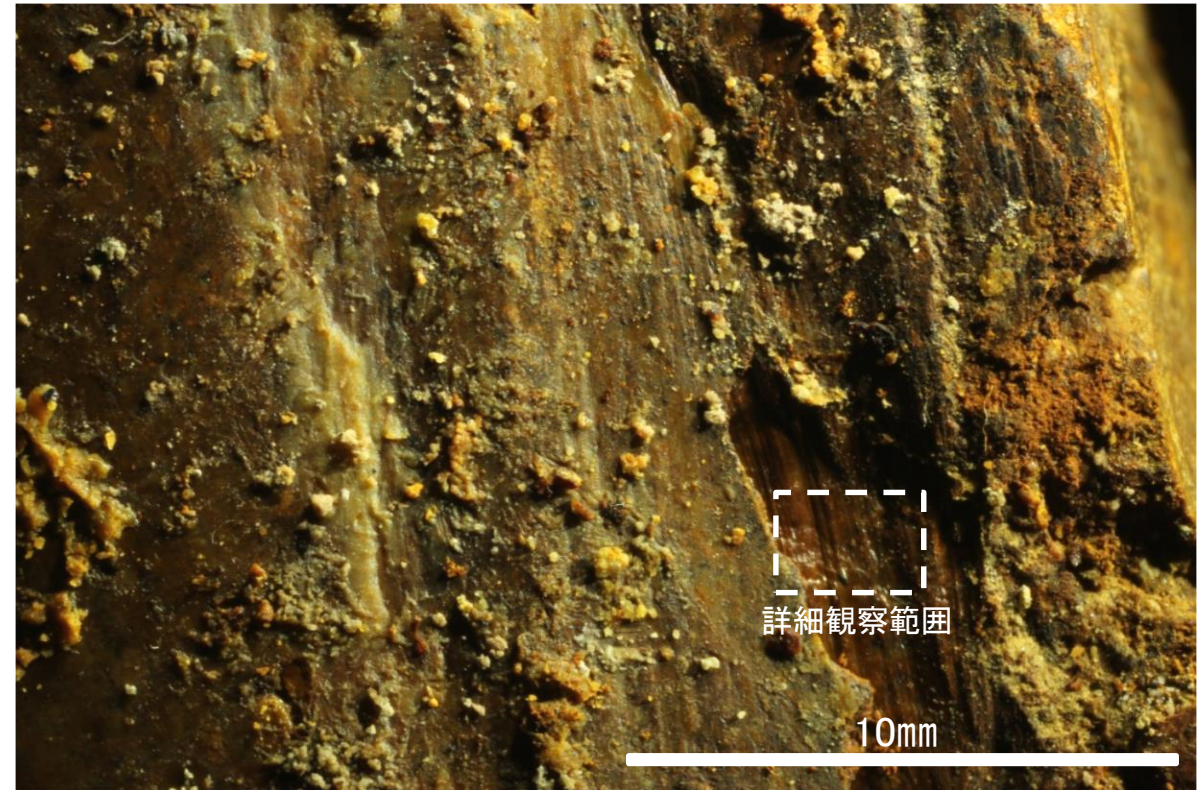
・条線のレイクは80° R, 変位センスは不明

# 条線観察結果 No.2トレンチ(下盤側)②



概念図

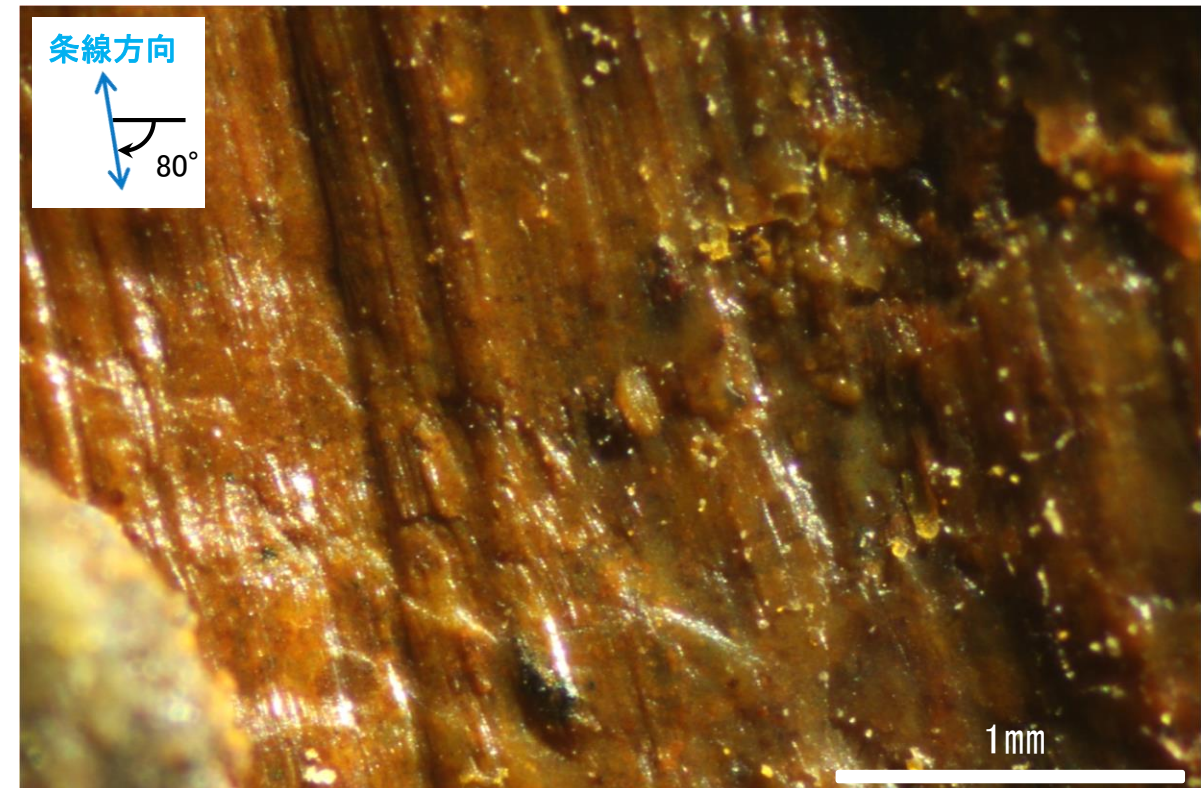
※走向は真北で示す。



観察面拡大写真



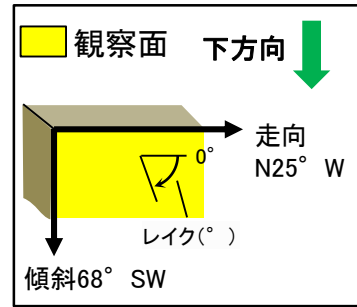
観察面写真



詳細観察写真

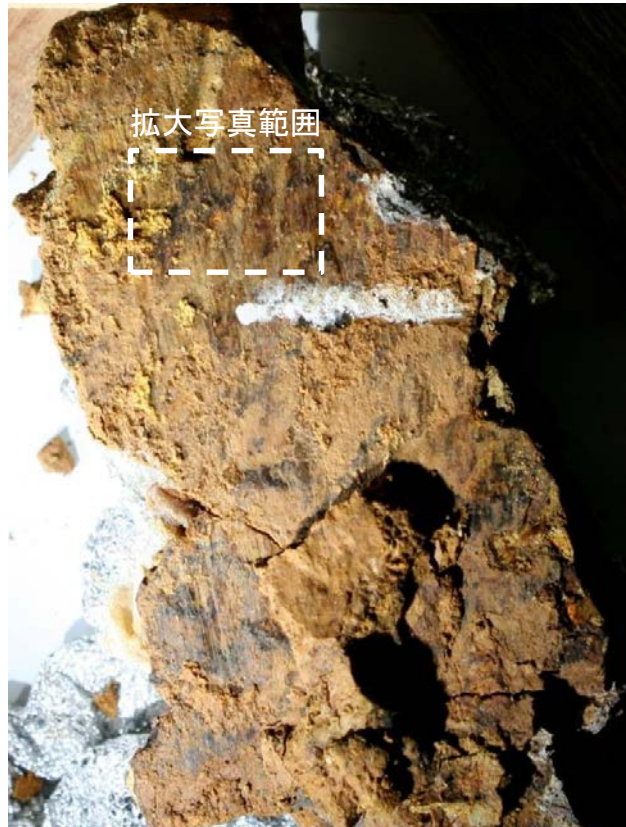
・条線のレイクは80° R, 変位センスは不明

# 条線観察結果 No.2トレンチ-1(上盤側)

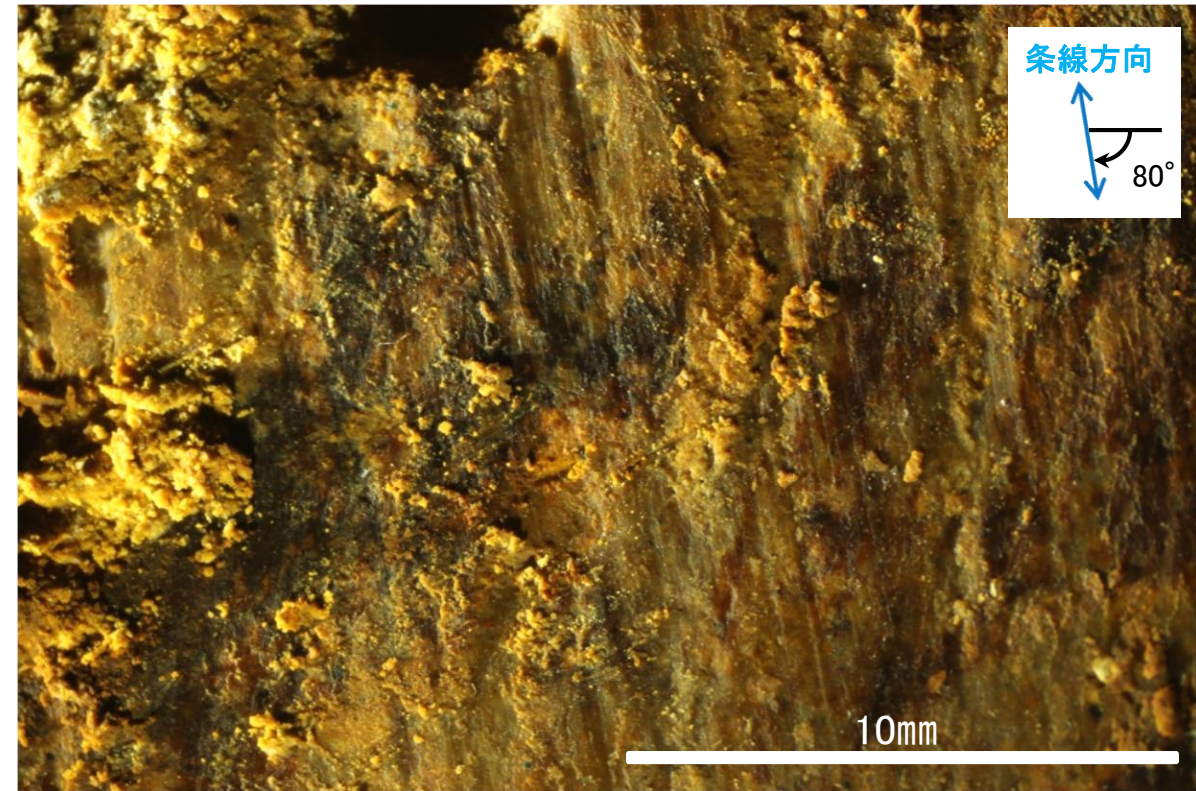


概念図

※走向は真北で示す。



観察面写真

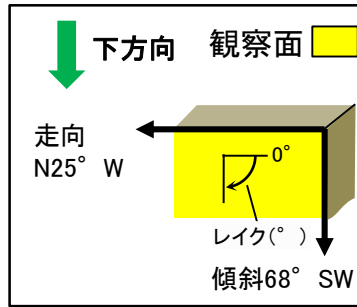


観察面拡大写真

・条線のレイクは100° R(下盤側換算), 変位センスは不明

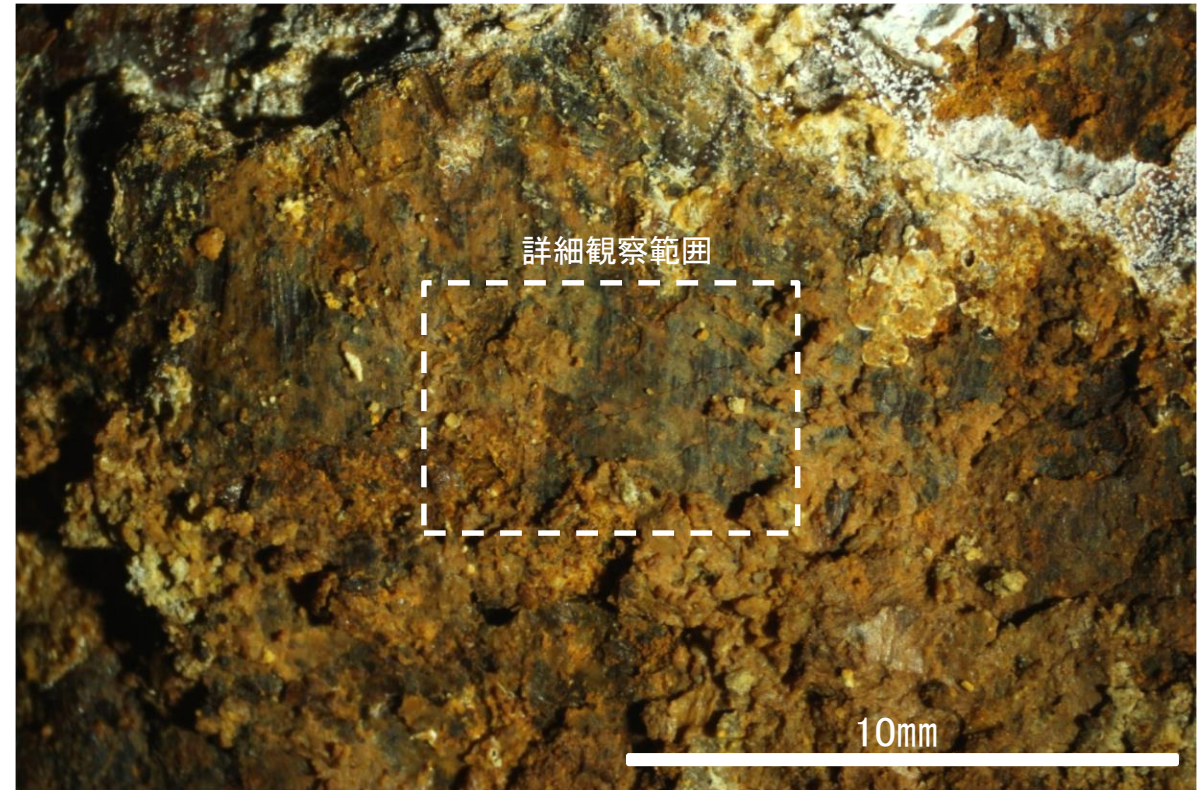


# 条線観察結果 No.2トレンチ-2(下盤側)

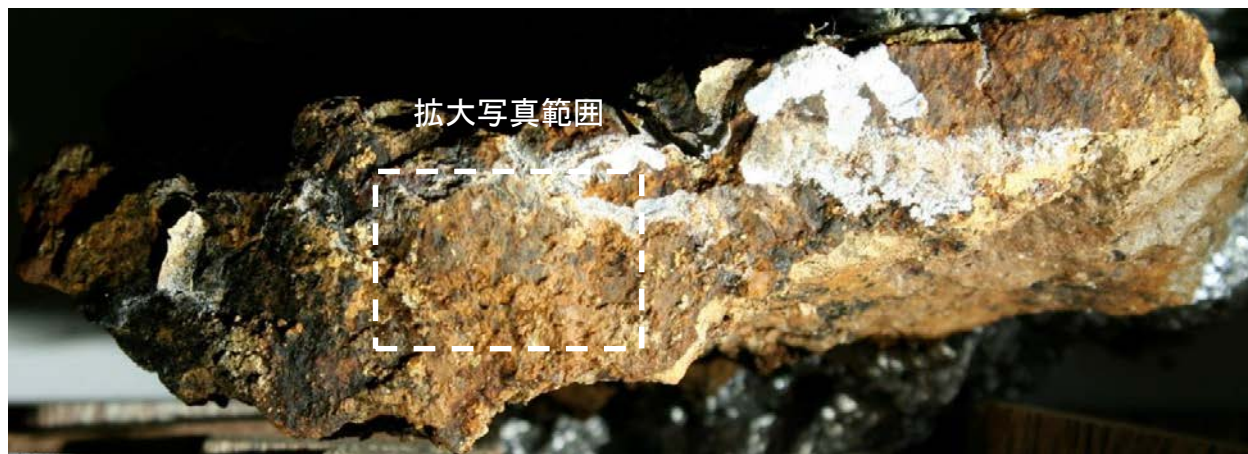


概念図

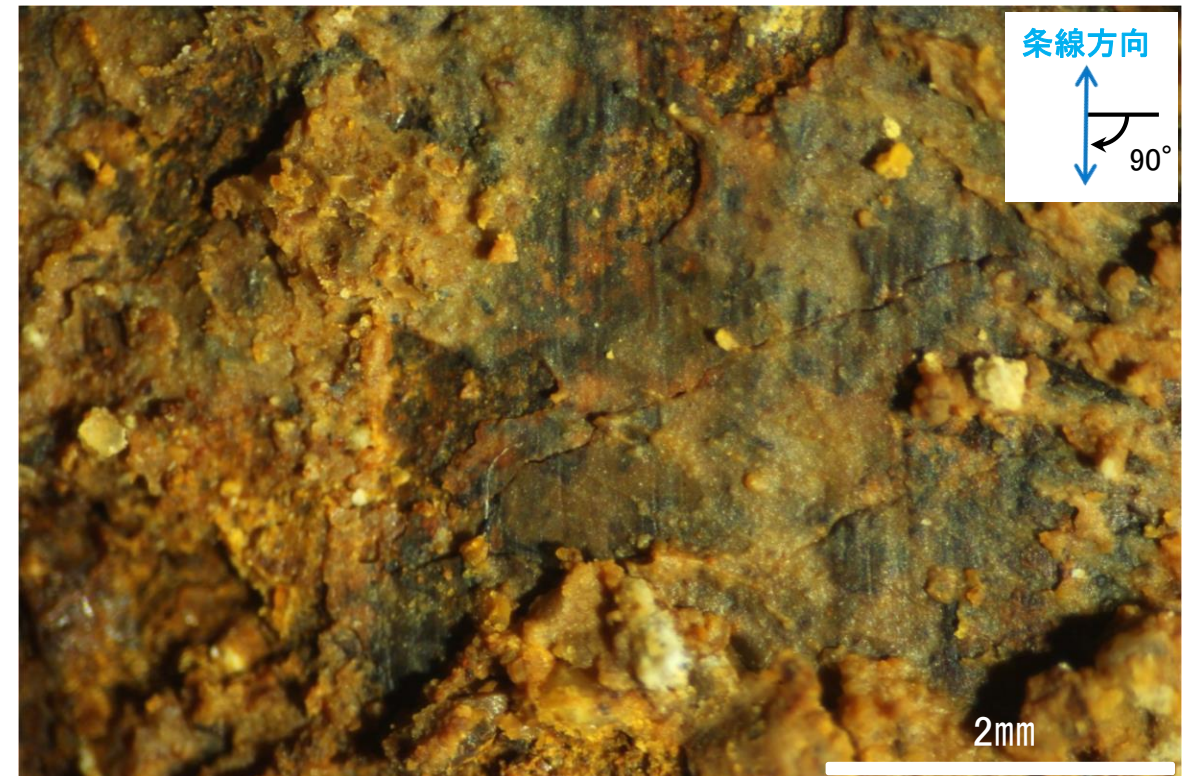
※走向は真北で示す。



観察面拡大写真

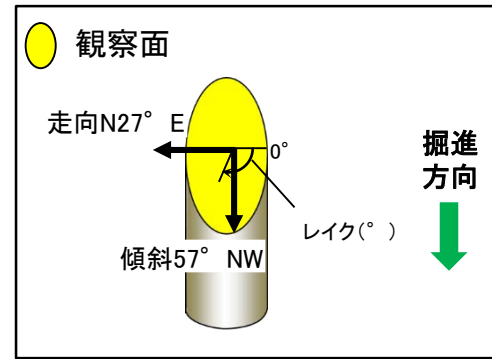


観察面写真

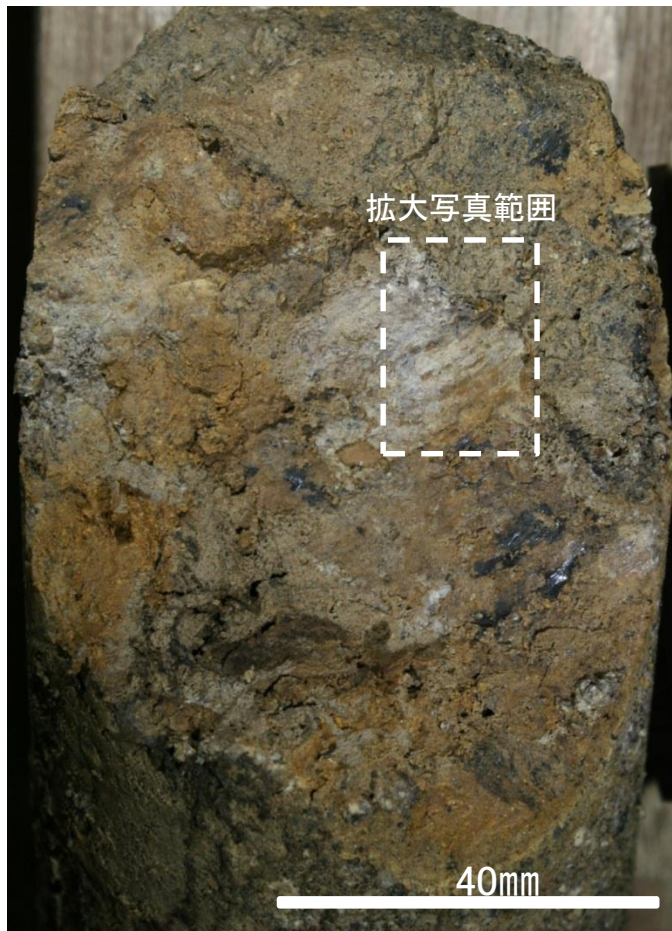


詳細観察写真

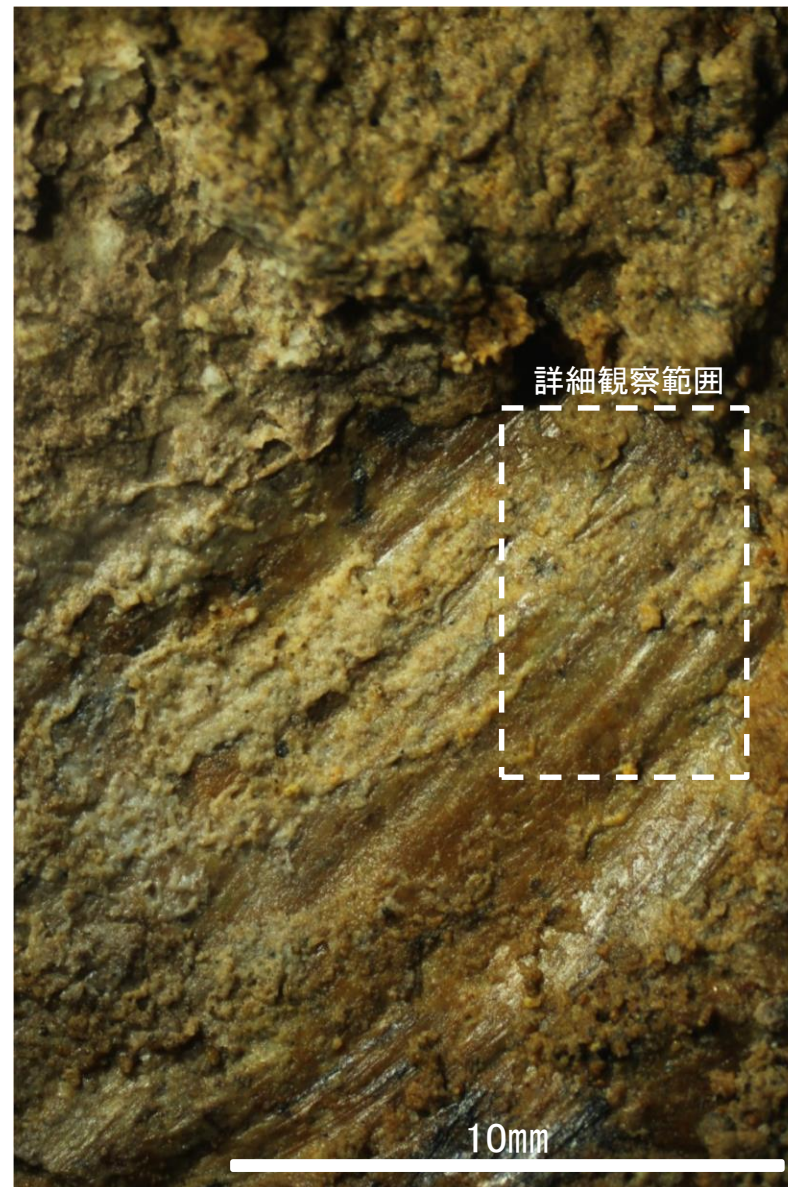
・条線のレイクは90° R, 変位センスは不明



概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真



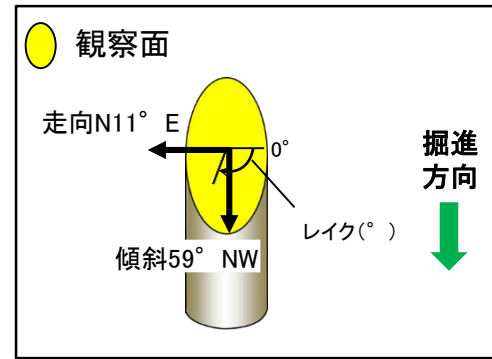
観察面拡大写真



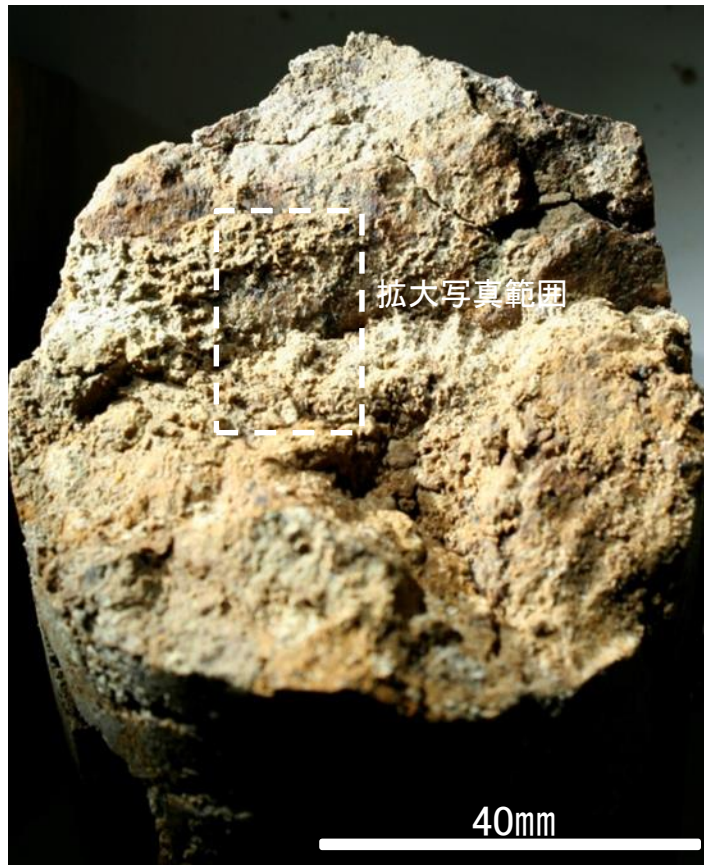
詳細観察写真

・条線のレイクは135° R, 変位センスは不明

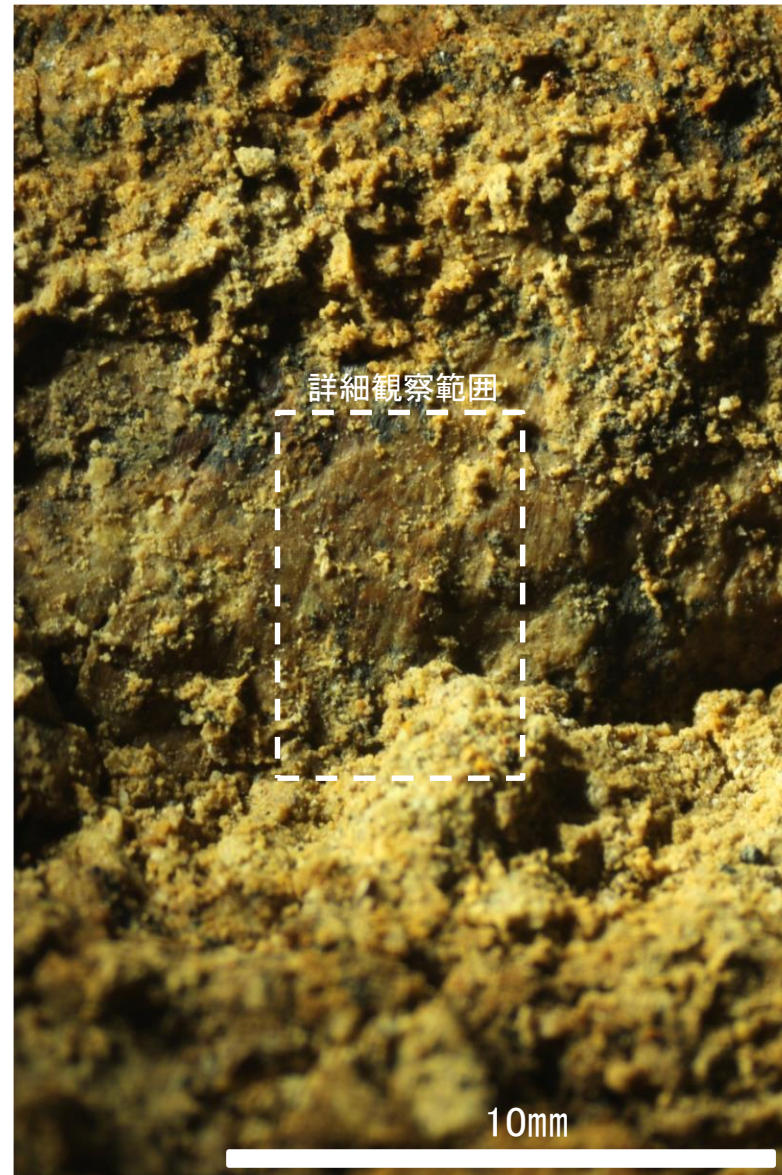
# 条線観察結果 ボーリングC-9.1-1孔[深度10.67m](下盤側)



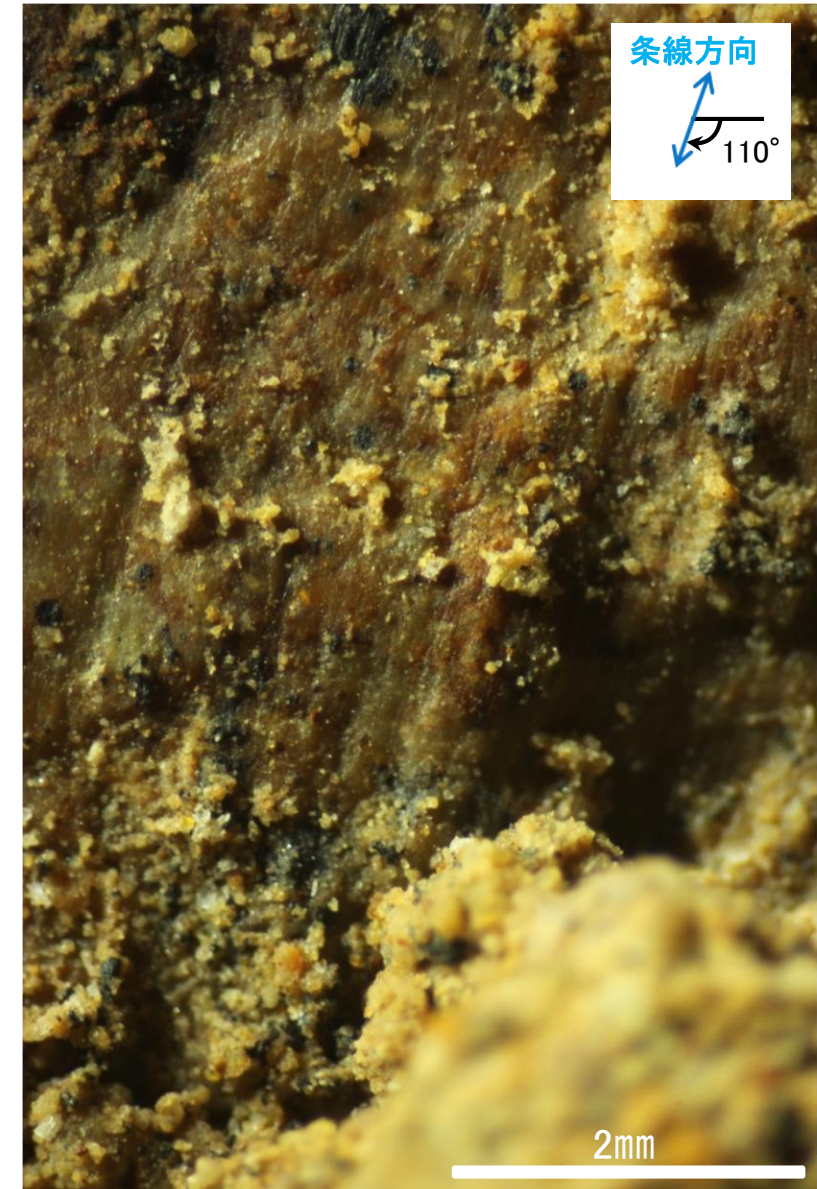
概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真



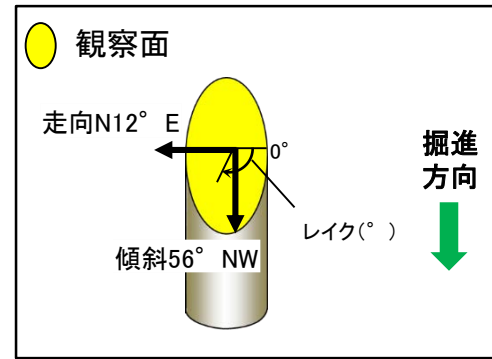
観察面拡大写真



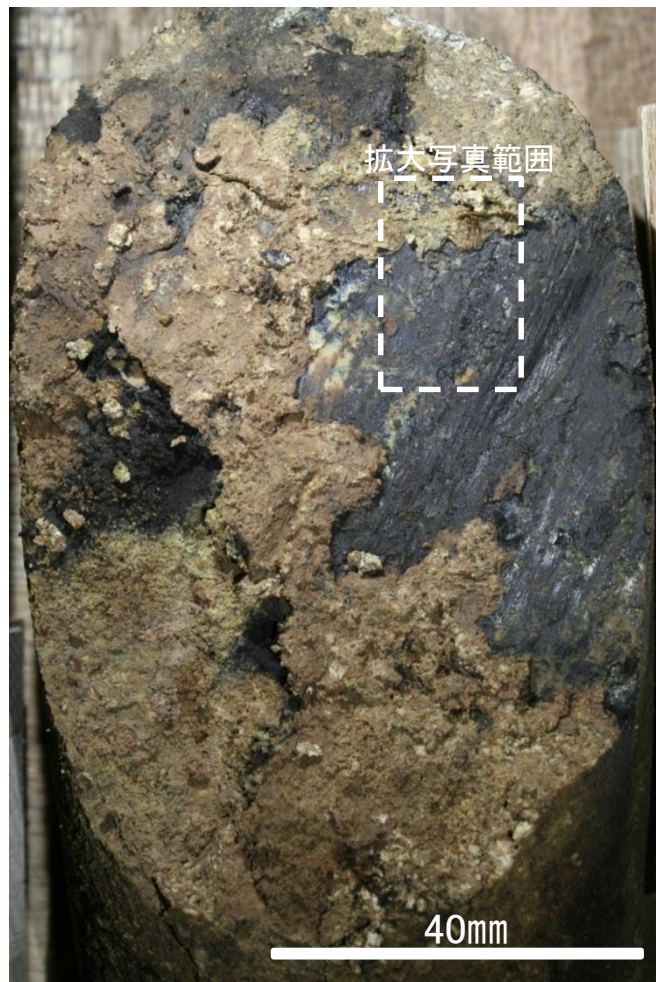
詳細観察写真

・条線のレイクは110° R, 変位センスは不明

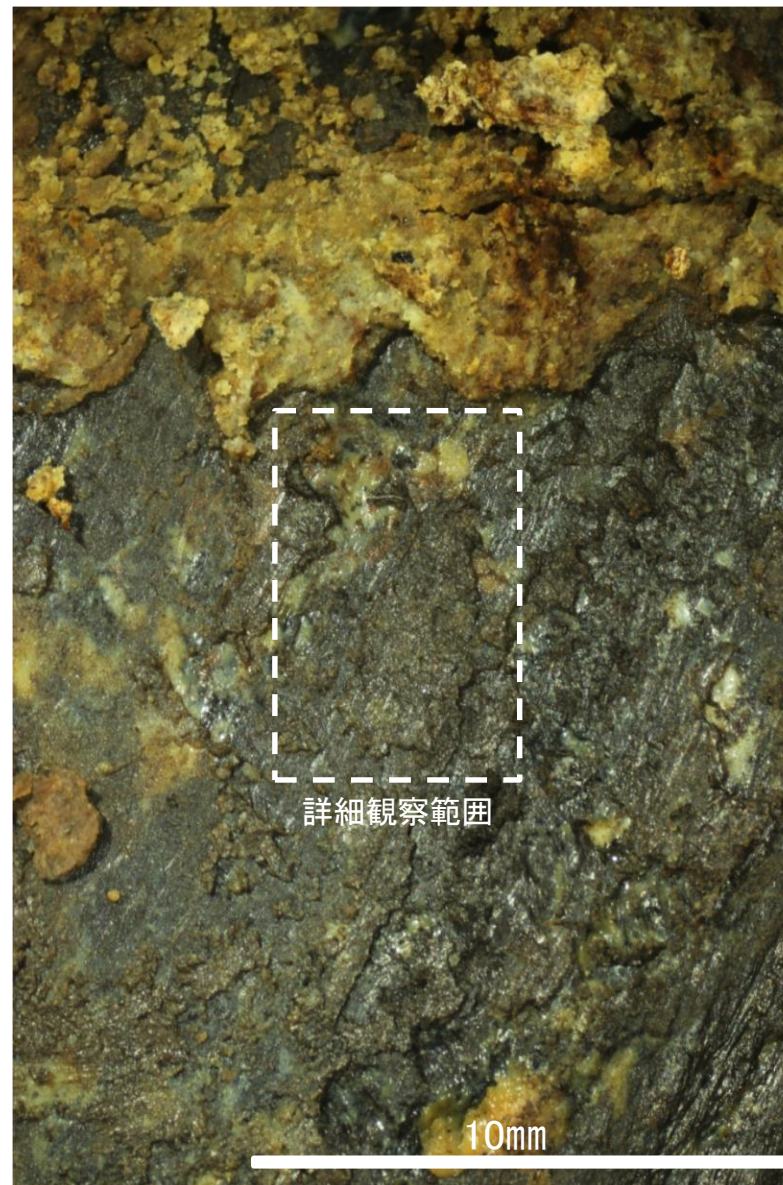
# 条線観察結果 ボーリングC-9.2孔[深度10.56m](下盤側)



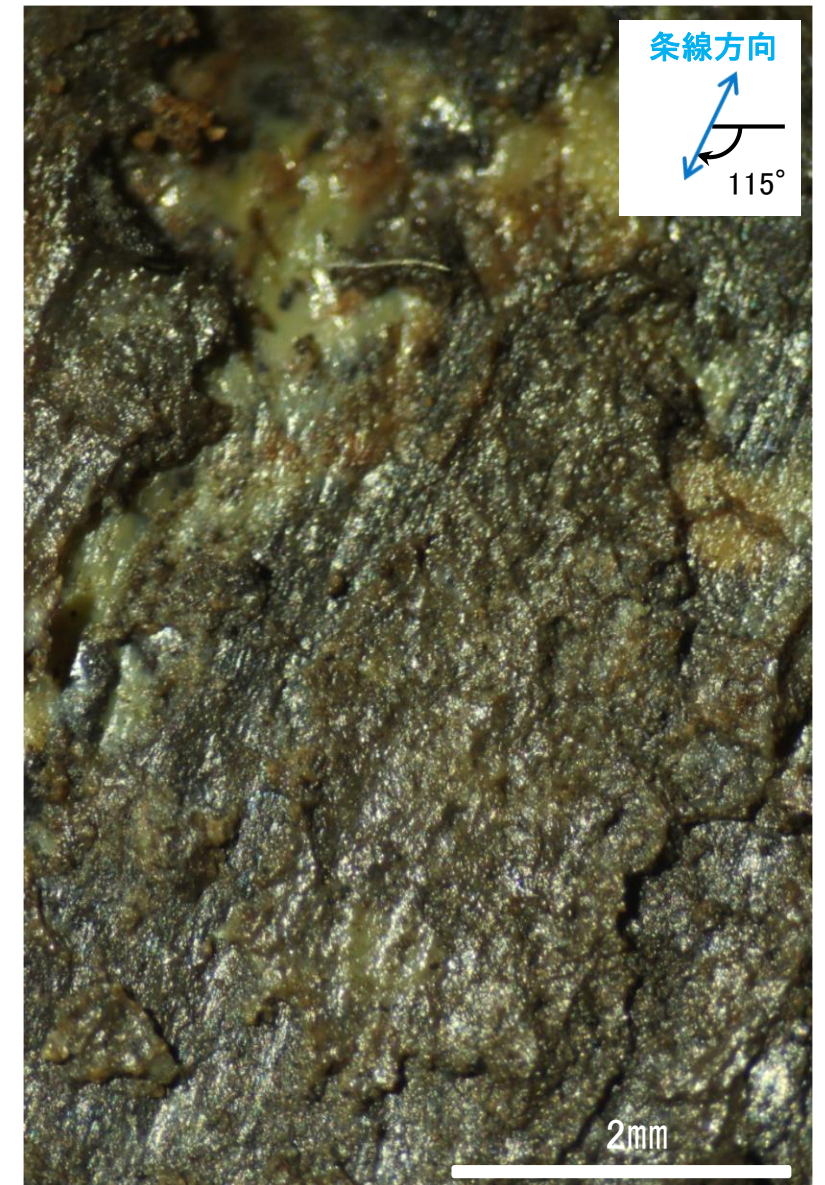
概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真



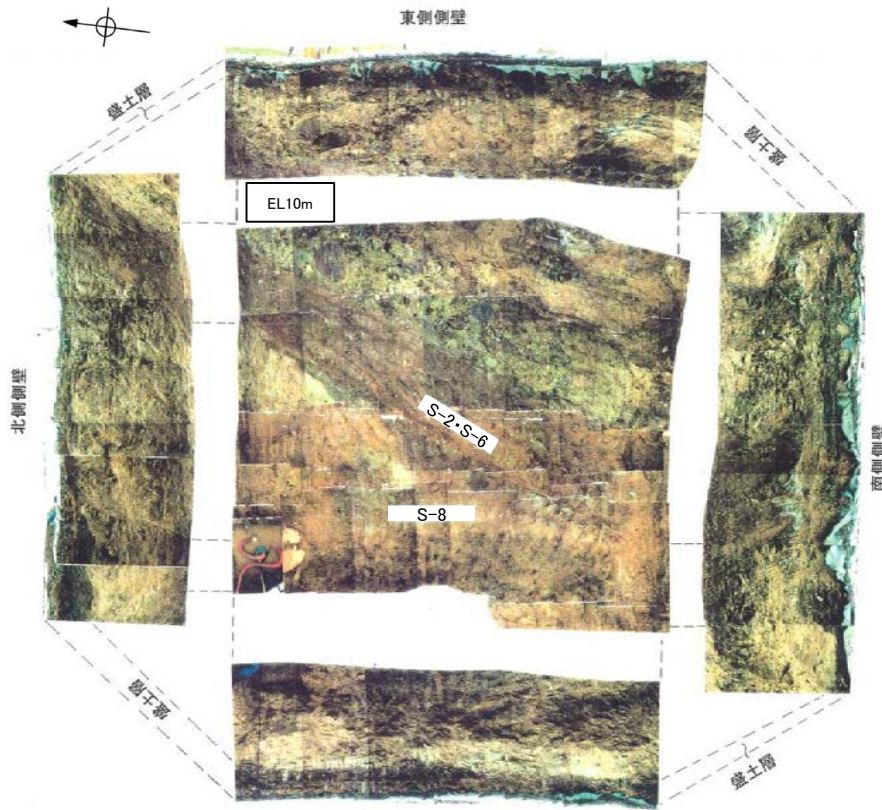
観察面拡大写真



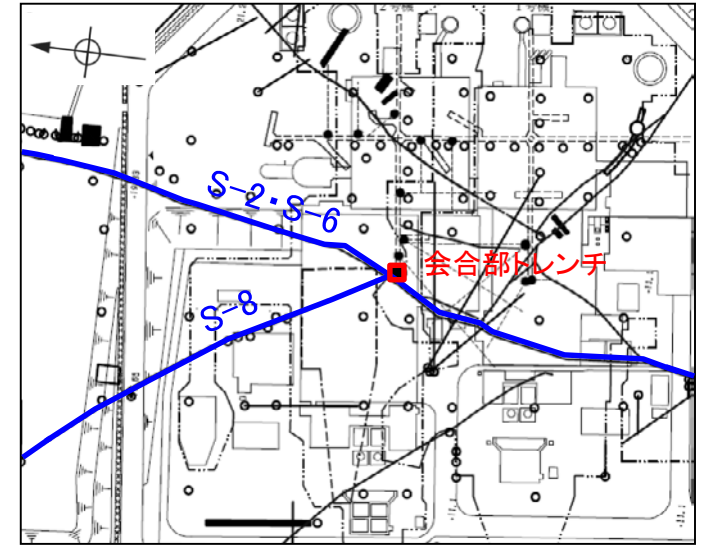
詳細観察写真

・条線のレイクは115° R, 変位センスは不明

# 露頭観察結果 (S-2・S-6とS-8の会合部トレンチ)

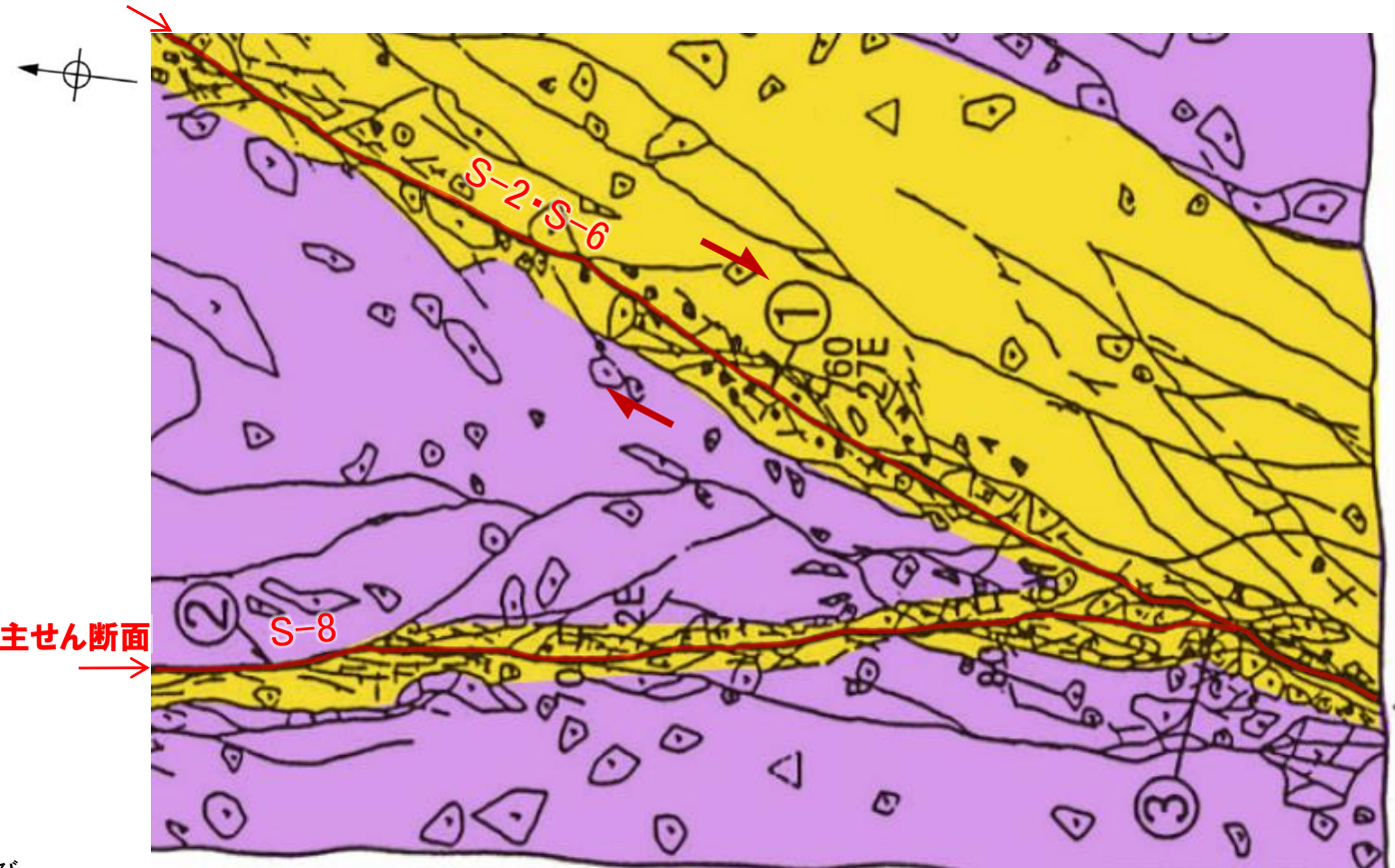


露頭写真 (展開図)  
トレンチ写真 (展開図)



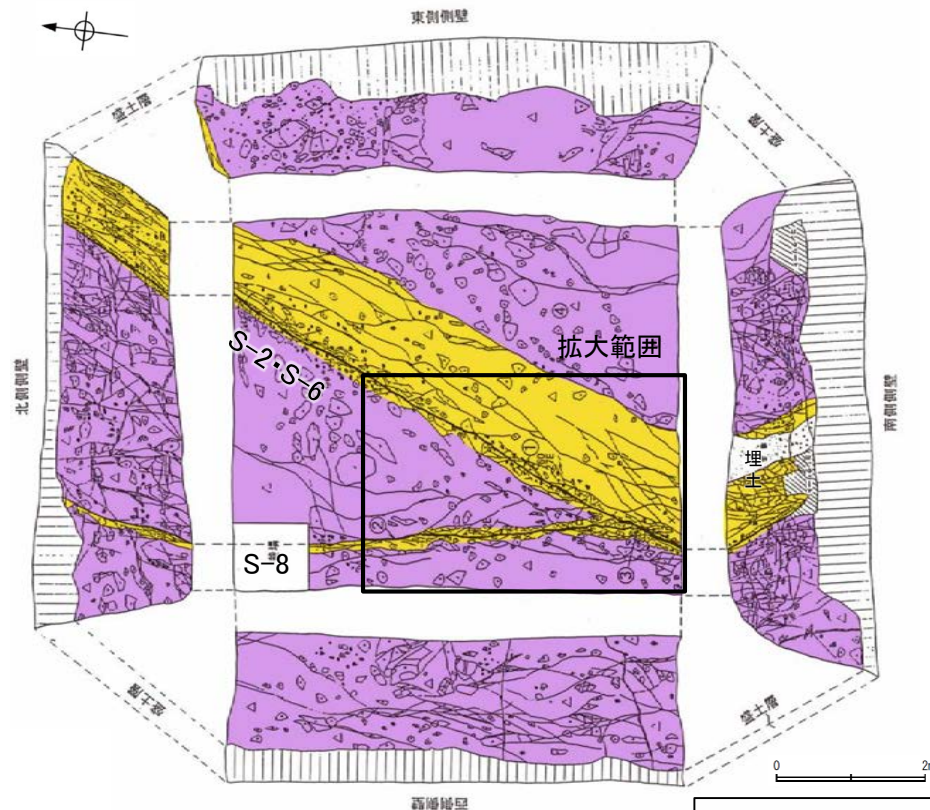
位置図

主せん断面



見かけの変位方向

トレンチスケッチ (展開図) 拡大図  
(原縮尺50分の1)



トレンチスケッチ (展開図)  
S-2・S-6とS-8の会合部の状況

凡例

<span style="background-color: yellow; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 10px; height: 10px;"></span>	破碎部*
<span style="background-color: purple; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 10px; height: 10px;"></span>	凝灰角礫岩
<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; display: inline-block; width: 10px; height: 10px;"></span>	安山岩礫
<span style="border-bottom: 1px solid black; width: 10px; display: inline-block;"></span>	節理
<span style="border-bottom: 1px solid black; width: 10px; display: inline-block;"></span>	シーム※1
<span style="font-size: 0.8em;">60 27E</span>	走向・傾斜

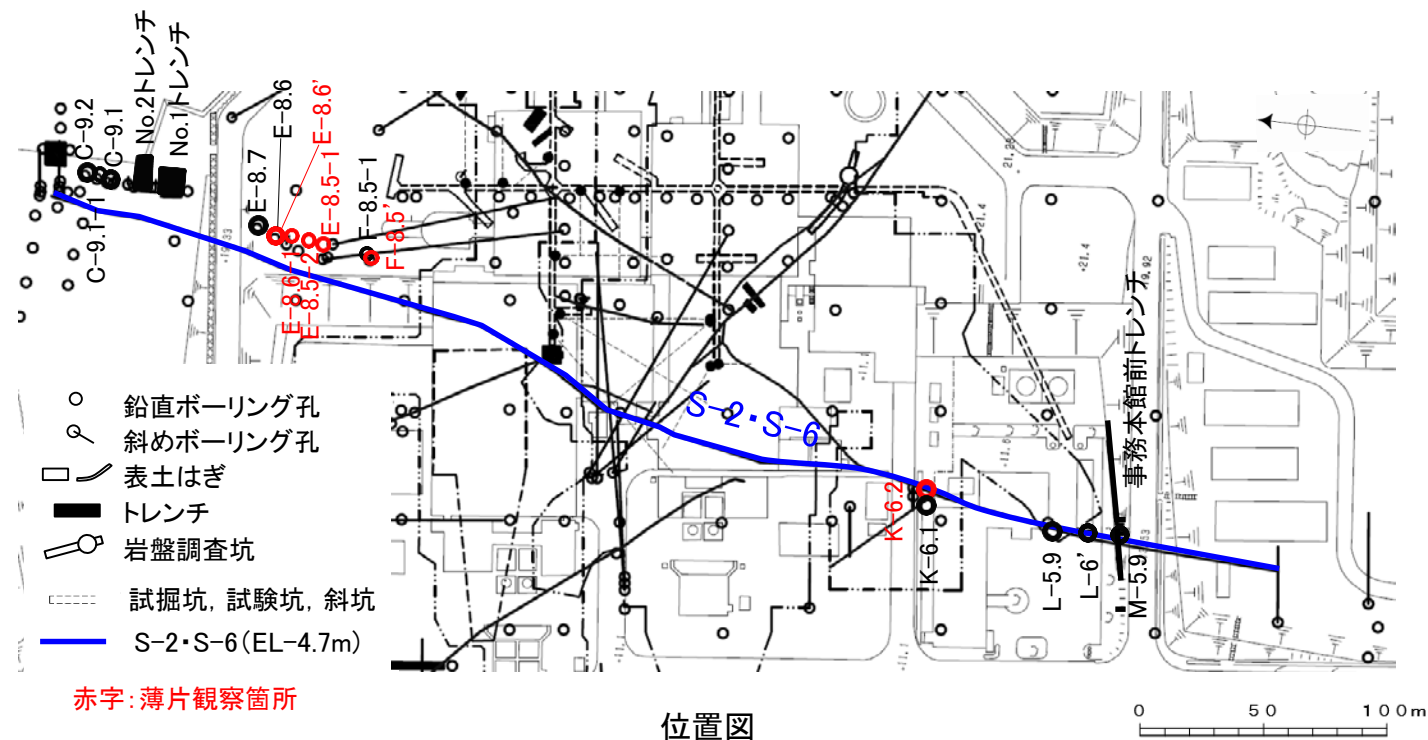
\* 破碎部の幅は写真及びスケッチから推定  
※1 スケッチ時の記載用語。「粘土状破碎部」に対応する。

・S-8の主せん断面は会合部付近で、引きずりの形状を示すことから、見かけ右横ずれセンスの動きが認定できる。  
・この動きの方向は、粘土状破碎部の条線観察で確認された左横ずれ逆断層センスと運動方向が異なることから、固結した破碎部が形成されたときの動きを表していると考えられる。

薄片観察結果(固結した破碎部)	
薄片番号	変位センス
F-8.5'_140R	正断層

薄片観察結果(粘土状破碎部)	
薄片番号	変位センス
K-6.2_100R	逆断層
F-8.5'_140R	逆断層
E-8.5-1_140R	逆断層
E-8.5-2_0R	逆断層
E-8.6-1_145R	逆断層
E-8.6'_100R	逆断層

\* 各薄片試料は、付近の断層の条線観察結果を踏まえたレイクで切断し、作成した。

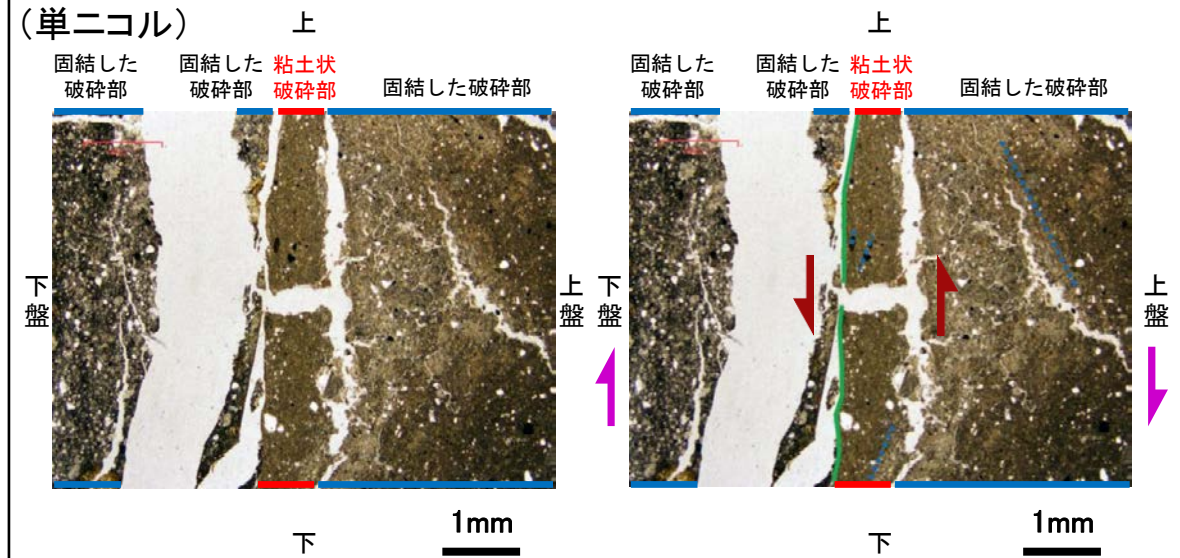
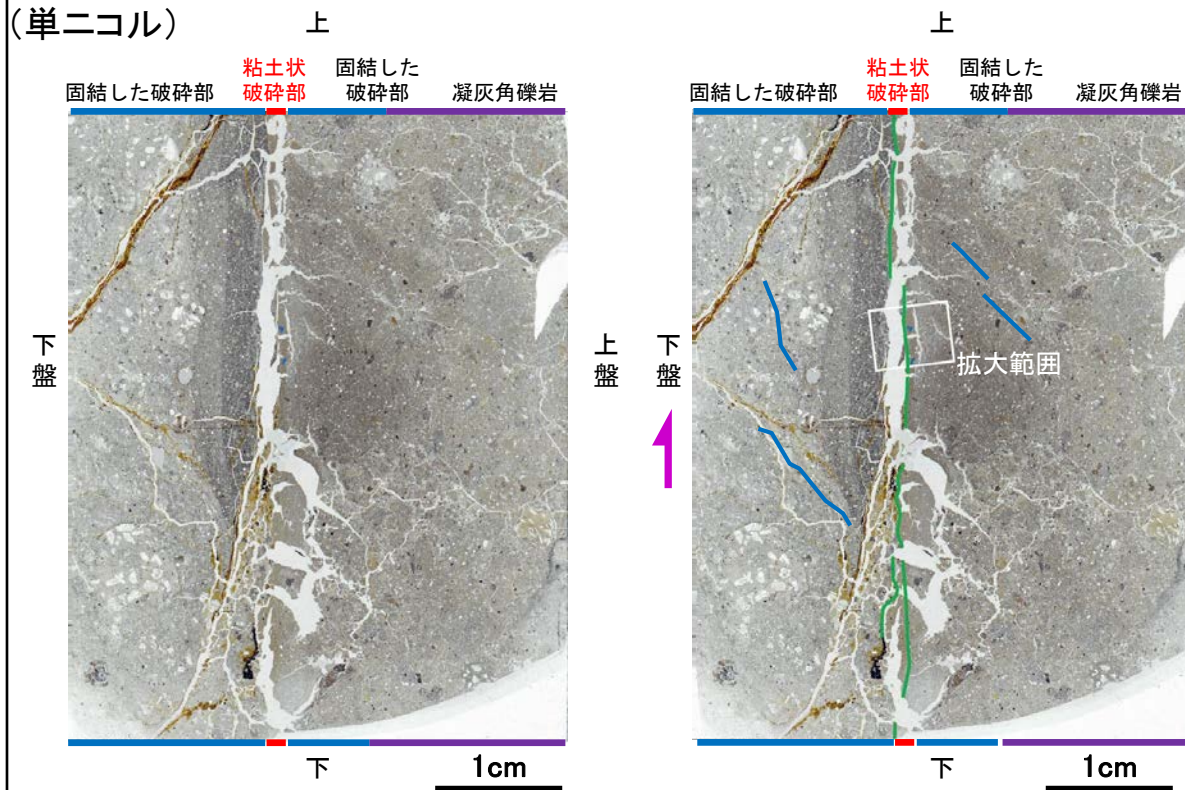


# 薄片観察結果 (F-8.5' 140R)

■ 条線観察結果を踏まえ、140° Rのレイクでボーリングコアを切断して作成した薄片を観察した。

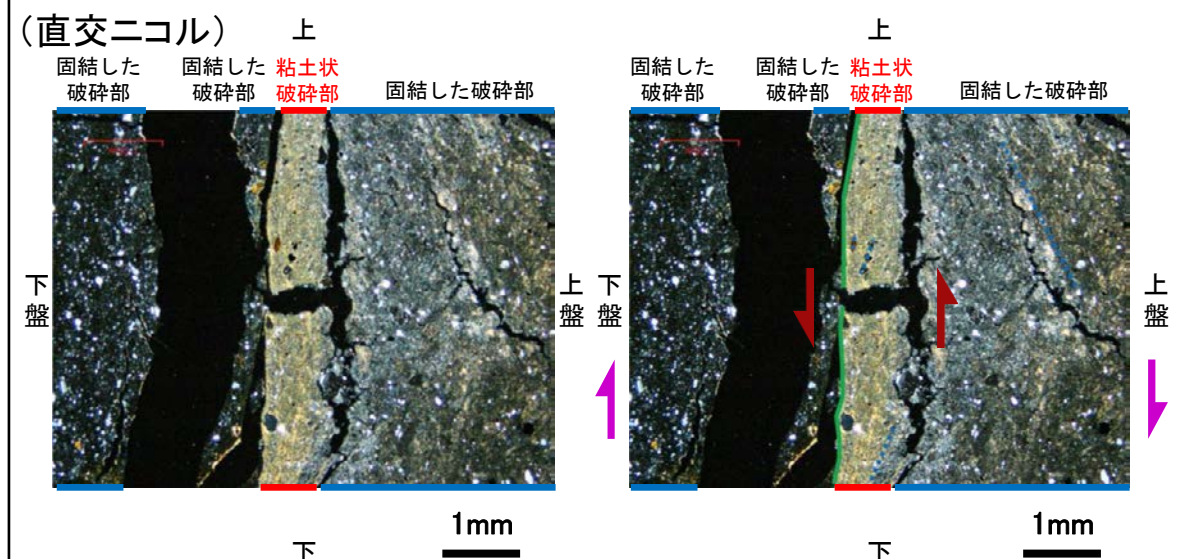
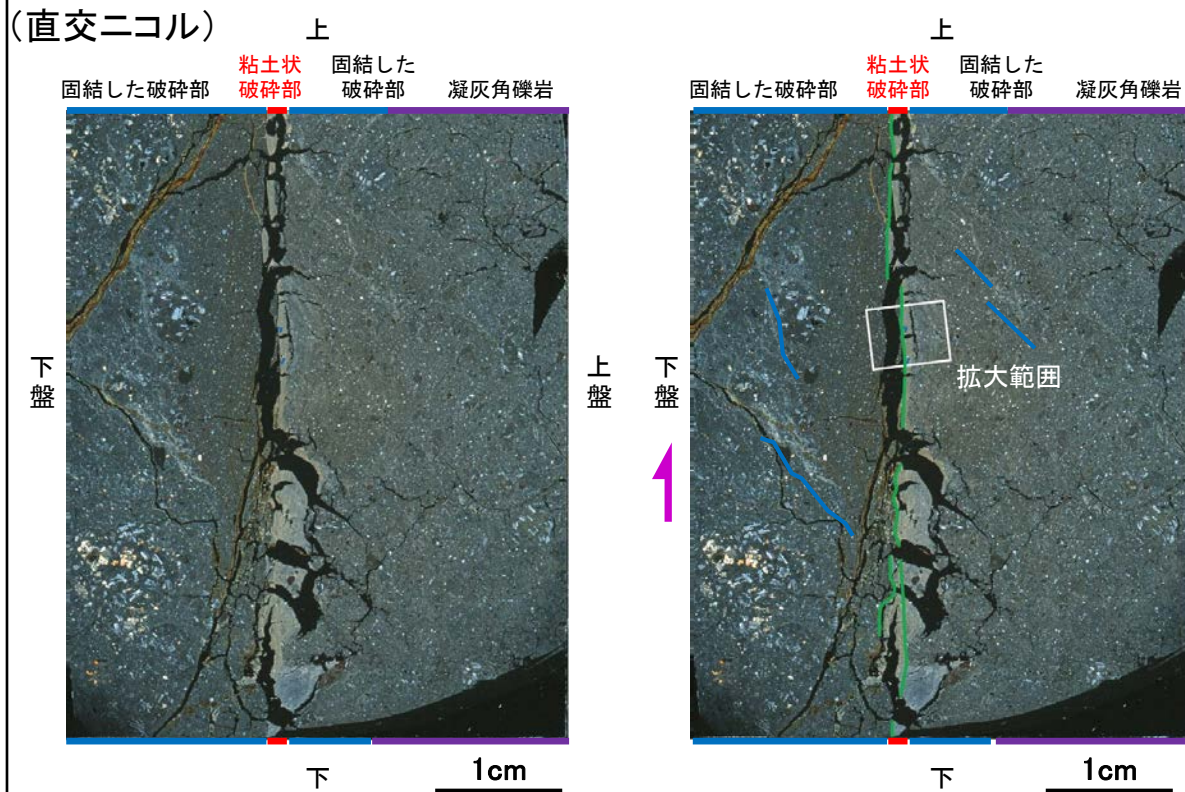
## 顕微鏡観察 (右に構造等を加筆)

## 顕微鏡観察 拡大 (右に構造等を加筆)



- 凡例
- Y面 (最新面)
  - P面 (不明瞭)
  - ← 変位方向 (固結した破碎部)
  - ← 変位方向 (粘土状破碎部)

F-8.5' 孔  
(深度8.50m※)



- ・ 固結した破碎部中の変形構造から、見かけ上盤側下がりの変位が推定され、正断層センスが認定できる。
- ・ 粘土状破碎部中の変形構造から、見かけ上盤側上がりの変位が推定され、逆断層センスが認定できる。

■ 条線観察結果を踏まえ、100° Rのレイクでボーリングコアを切断して作成した薄片を観察した。

		顕微鏡観察 (右に構造等を加筆)		顕微鏡観察 拡大 (右に構造等を加筆)		
K-6.2孔 (深度24.17m)	(単ニコル)					
	(直交ニコル)					
	凡例	<ul style="list-style-type: none"> <li>— 凡例</li> <li>— Y面</li> <li>— P面</li> <li>— R1面</li> <li>— 変位方向</li> </ul>				
	上盤	下盤	上盤	下盤	上盤	下盤

・粘土状破砕部中の変形構造から、見かけ上盤側上がりの変位が推定され、逆断層センスが認定できる。



# 薄片観察結果 (E-8.5-1\_140R)

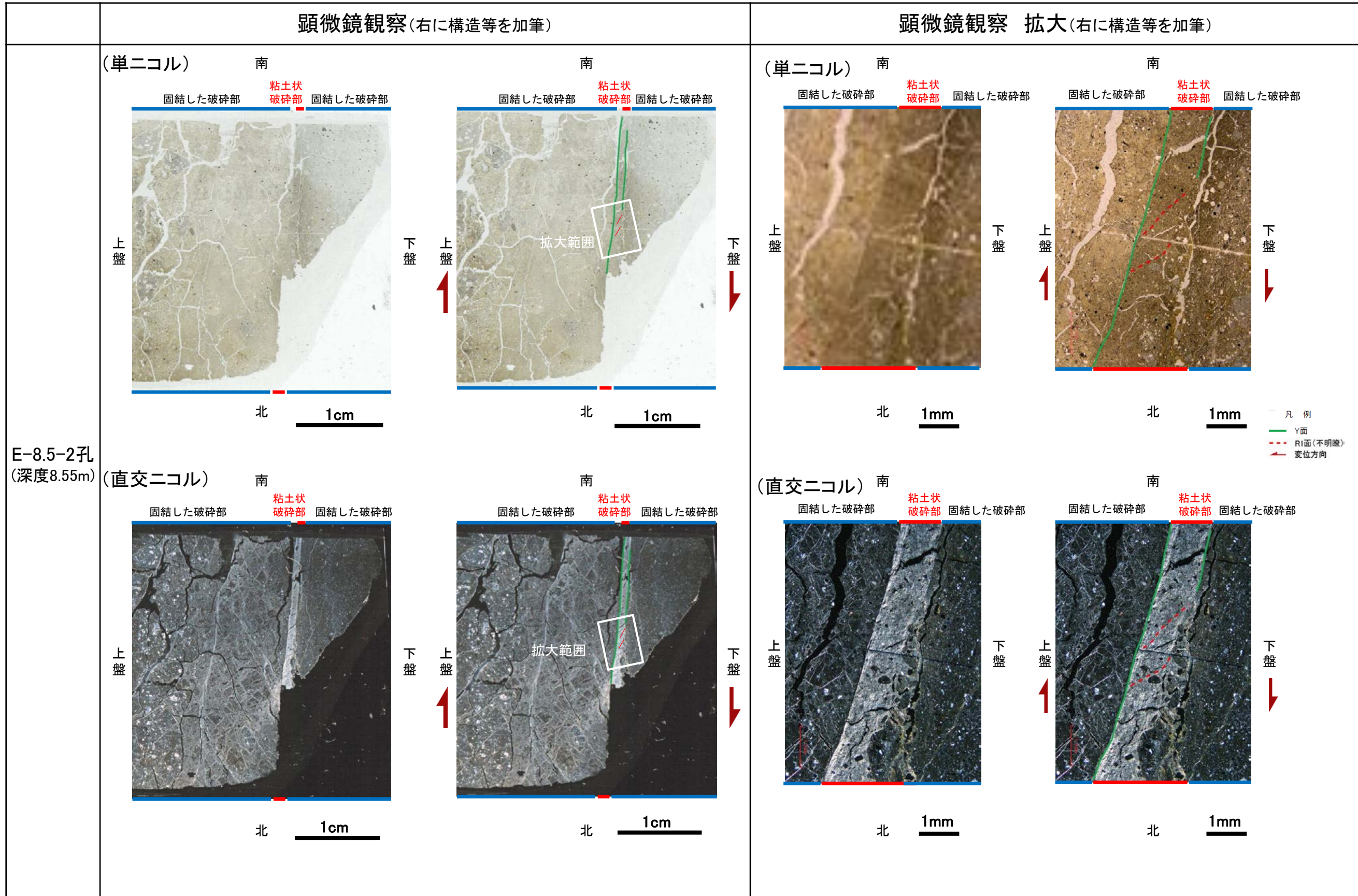
■ 条線観察結果を踏まえ、140° Rのレイクでボーリングコアを切断して作成した薄片を観察した。

		顕微鏡観察 (右に構造等を加筆)		顕微鏡観察 拡大 (右に構造等を加筆)	
E-8.5-1孔 (深度8.71m)	(単ニコル)	<p>上</p> <p>固結した破碎部</p> <p>粘土状破碎部</p> <p>下盤</p> <p>1cm</p>	<p>上</p> <p>固結した破碎部</p> <p>粘土状破碎部</p> <p>拡大範囲</p> <p>上盤</p> <p>下盤</p> <p>1cm</p>	<p>(単ニコル)</p> <p>上</p> <p>固結した破碎部</p> <p>粘土状破碎部</p> <p>下盤</p> <p>上盤</p> <p>下</p> <p>1mm</p>	<p>上</p> <p>固結した破碎部</p> <p>粘土状破碎部</p> <p>下盤</p> <p>上盤</p> <p>下</p> <p>1mm</p> <p>凡例 — Y面 — P面 — R1面 — 変位方向</p>
	(直交ニコル)	<p>下</p> <p>固結した破碎部</p> <p>粘土状破碎部</p> <p>下盤</p> <p>1cm</p>	<p>上</p> <p>固結した破碎部</p> <p>粘土状破碎部</p> <p>拡大範囲</p> <p>上盤</p> <p>下盤</p> <p>1cm</p>	<p>(直交ニコル)</p> <p>上</p> <p>固結した破碎部</p> <p>粘土状破碎部</p> <p>下盤</p> <p>上盤</p> <p>下</p> <p>1mm</p>	<p>上</p> <p>固結した破碎部</p> <p>粘土状破碎部</p> <p>下盤</p> <p>上盤</p> <p>下</p> <p>1mm</p> <p>凡例 — Y面 — P面 — R1面 — 変位方向</p>

・粘土状破碎部中の変形構造から、見かけ上盤側上がりの変位が推定され、逆断層センスが認定できる。

# 薄片観察結果 (E-8.5-2\_0R)

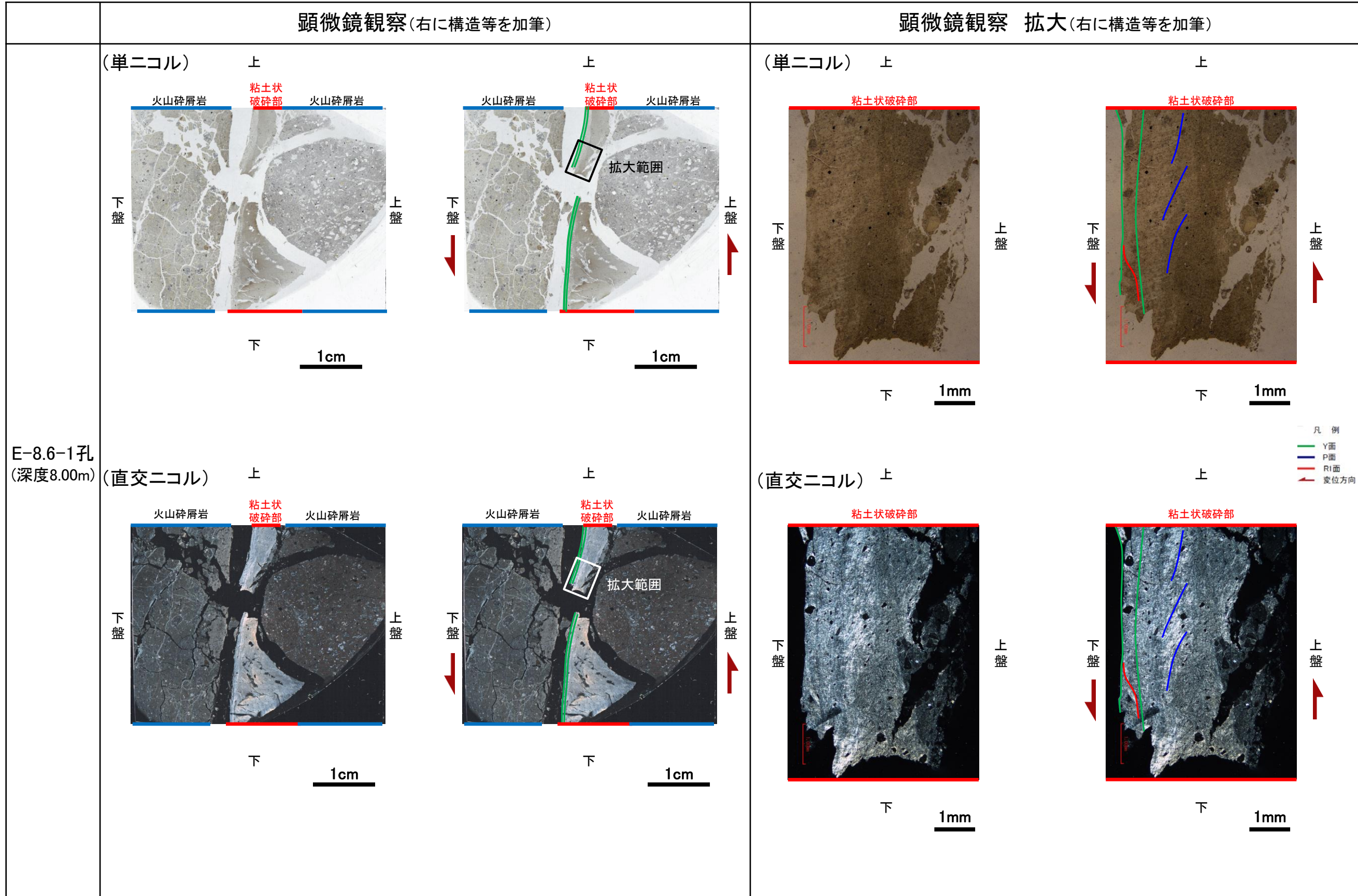
■ 条線観察結果を踏まえ、0° Rのレイクでボーリングコアを切断して作成した薄片を観察した。



・粘土状破碎部中の変形構造から、見かけ上盤側上がりの変位が推定され、逆断層センスが認定できる。

# 薄片観察結果 (E-8.6-1\_145R)

■ 条線観察結果を踏まえ、145° Rのレイクでボーリングコアを切断して作成した薄片を観察した。



・粘土状破碎部中の変形構造から、見かけ上盤側上がりの変位が推定され、逆断層センスが認定できる。

# 薄片観察結果 (E-8.6' \_100R)

■条線観察結果を踏まえ、100° Rのレイクでボーリングコアを切断して作成した薄片を観察した。

	顕微鏡観察 (右に構造等を加筆)		顕微鏡観察 拡大 (右に構造等を加筆)			
E-8.6' 孔 (深度11.60m)	(単ニコル)			(単ニコル)		
	(直交ニコル)			(直交ニコル)		
						<p>凡例</p> <p>— Y面</p> <p>— P面</p> <p>↕ 変位方向</p>

・粘土状破砕部中の変形構造から、見かけ上盤側上がりの変位が推定され、逆断層センスが認定できる。

---

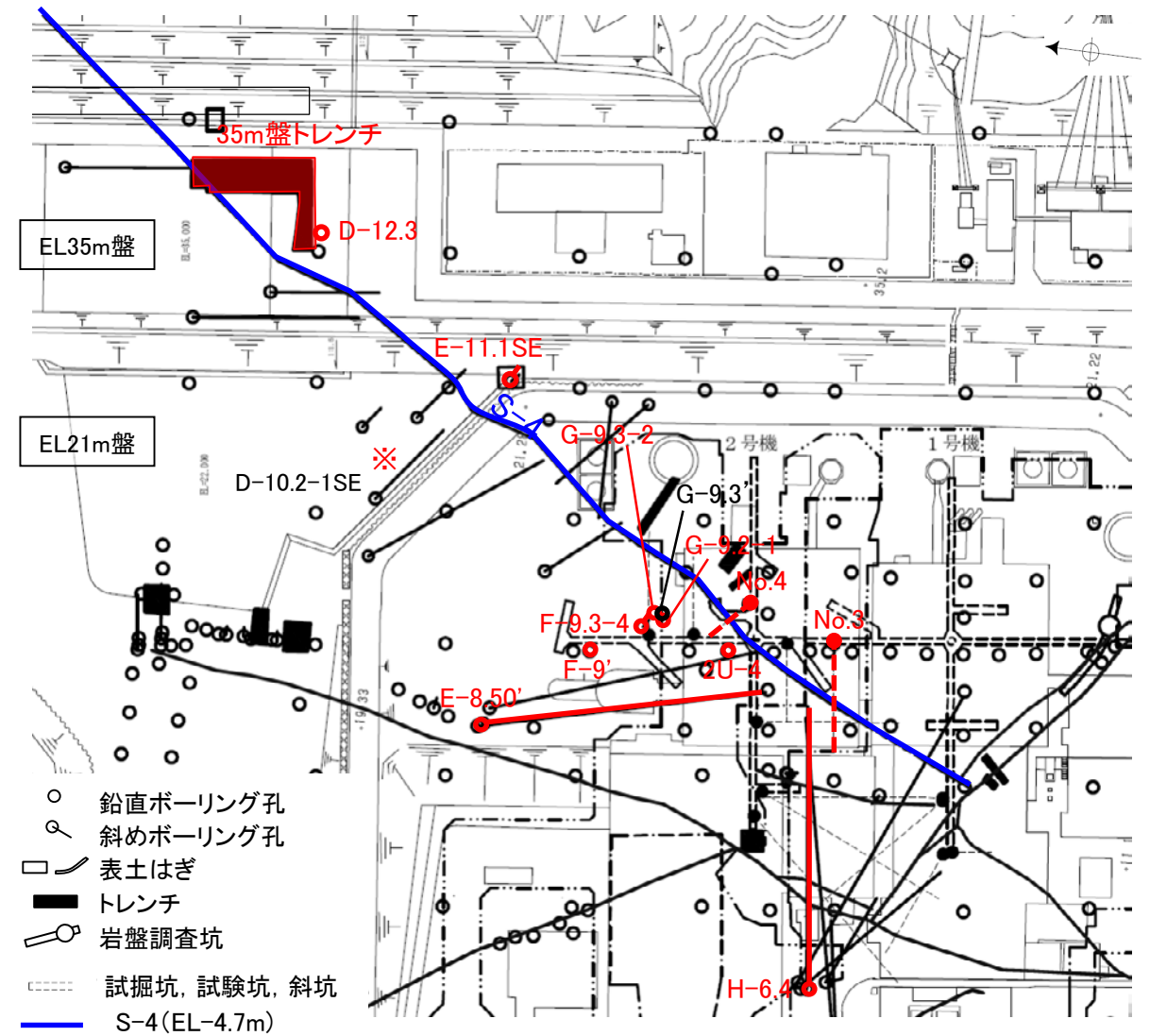
#### (4) S-4の運動方向調査結果

# S-4の条線観察結果

試料名		走向/傾斜 (走向は真北)	条線のレイク※1, 2	変位センス
ボーリングF-9'孔 [深度107.63m]	下盤側	N31° E/62° NW	160° R	左横ずれ逆断層
ボーリング2U-4孔 [深度39.45m]	下盤側	N58° E/72° NW	120° R	左横ずれ逆断層
ボーリングG-9.2-1孔 [深度63.18m]	下盤側	N42° E/52° NW	140° R	(不明)
ボーリングF-9.3-4孔 [深度66.55m]	下盤側	N44° E/63° NW	150° R	(不明)
ボーリングNo.3孔(水平) [深度25.35m]	下盤側	N39° E/38° NW	150° R	(不明)
ボーリングNo.4孔(水平) [深度10.85m]	下盤側	N43° E/69° NW	135° R	(不明)
ボーリングG-9.3-2孔 [深度66.52m]	下盤側	N40° E/52° NW	150° R	(不明)
			40° R	(不明)
ボーリングE-8.50'孔 [深度113.10m]	下盤側	N38° E/54° NW	131° R	(不明)
ボーリングH-6.4孔 [深度94.65m]	上盤側	N39° E/56° NW	88° R	(不明)
35m盤トレンチ(A)底盤	下盤側	N52° E/62° NW	135° R	(不明)
			110° R	(不明)
ボーリング D-12.3 [深度6.00m]	上盤側	N61° E/36° NW	115° R	(不明)
ボーリング E-11.1SE [深度2.35m]	下盤側	N38° E/59° NW	96° R	(不明)
			156° R	(不明)

※1 上盤側で確認したレイクは下盤側に換算して示す。

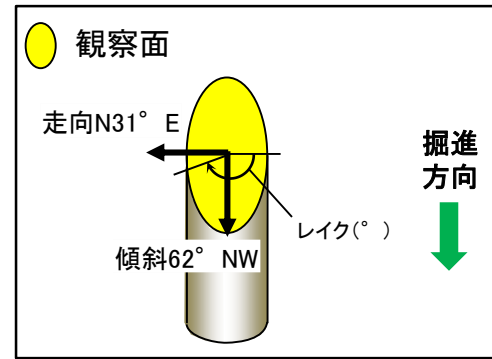
※2 新旧対比ができる条線は最新のレイクのみ示す。



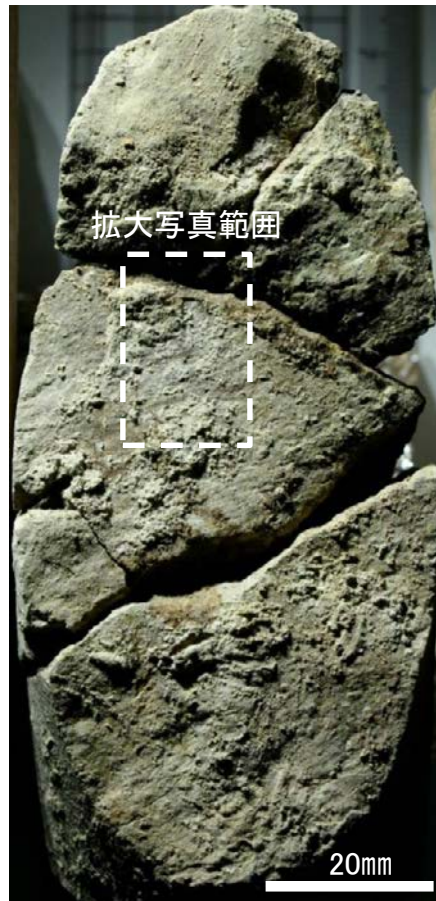
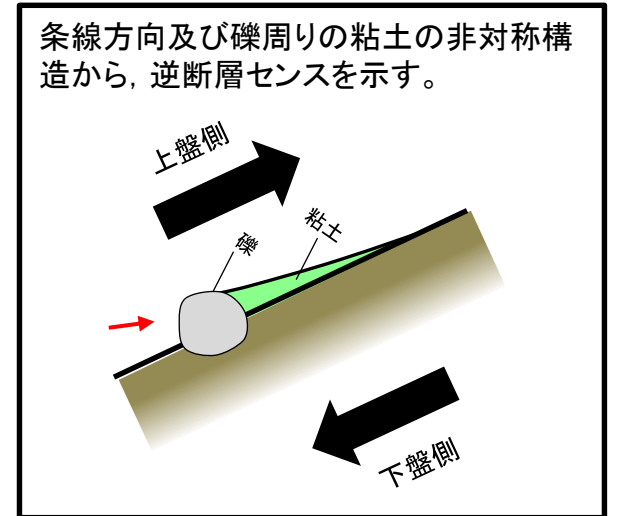
赤字: 条線観察箇所  
※: 第671回審査会合資料において記載があった「D-10.2-1SE」を赤字→黒字に修正

位置図

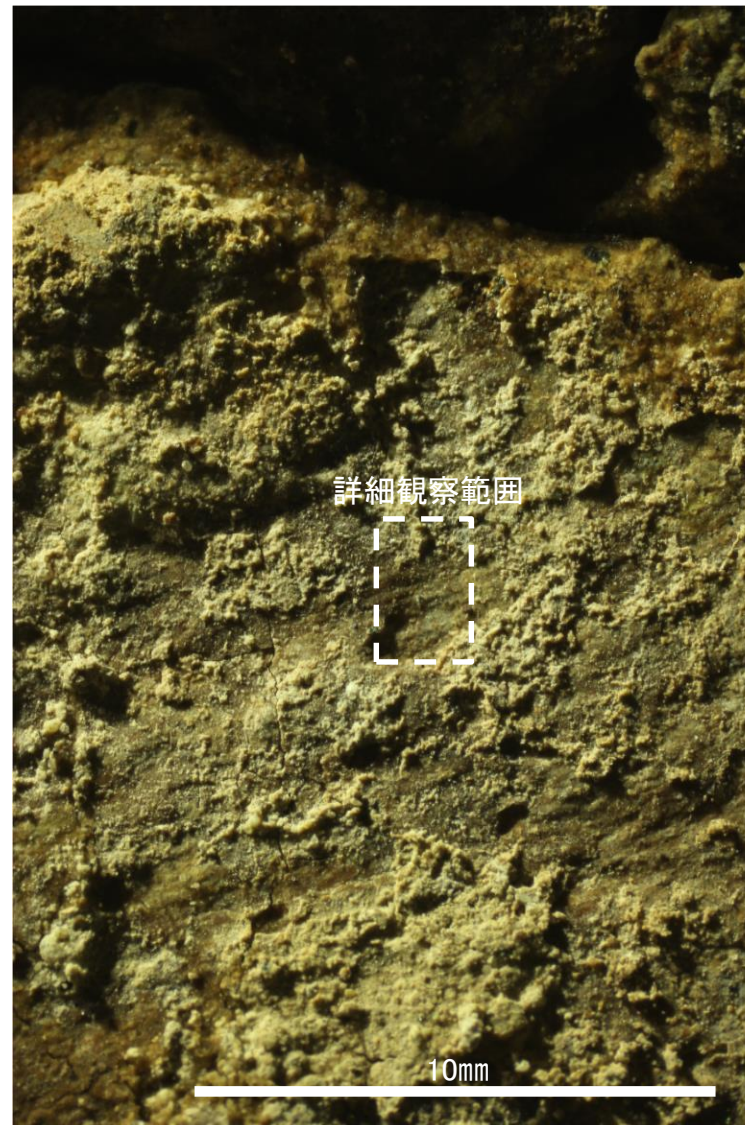
# 条線観察結果 ボーリングF-9' 孔[深度107.63m](下盤側)



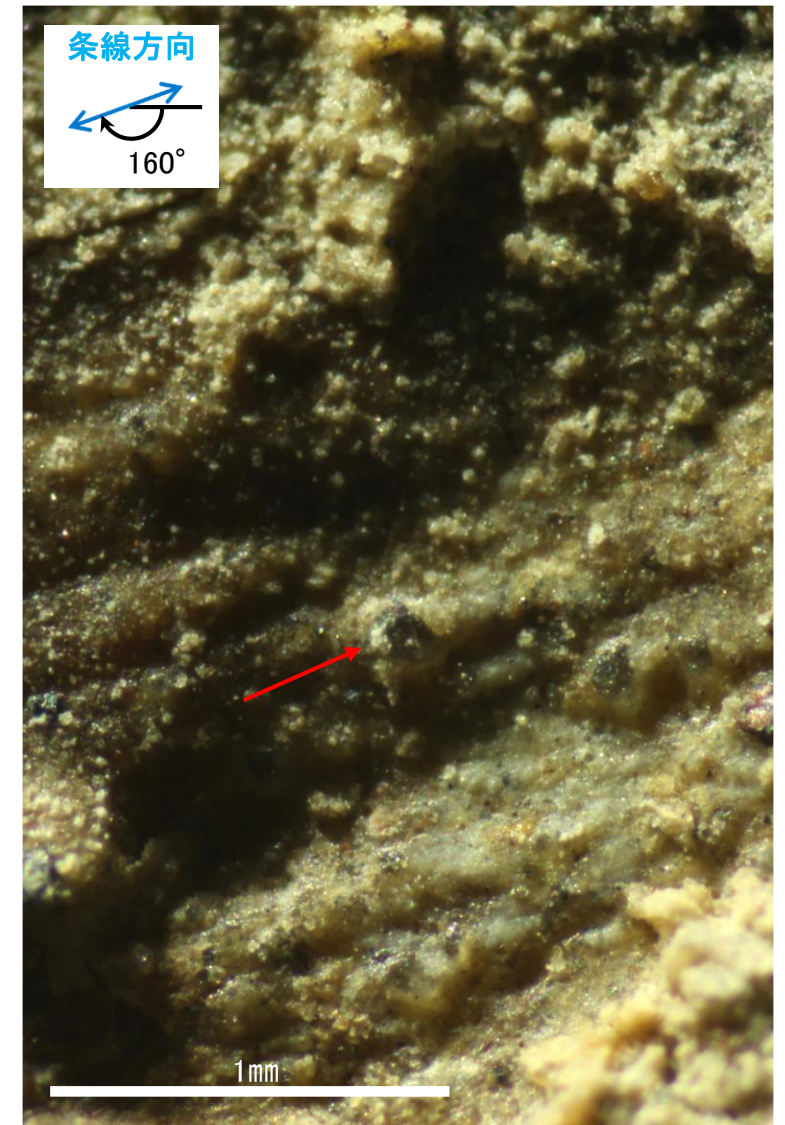
概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真



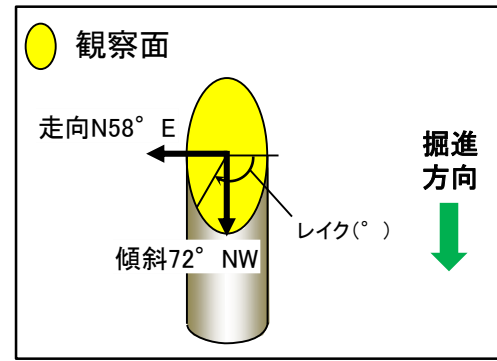
観察面拡大写真



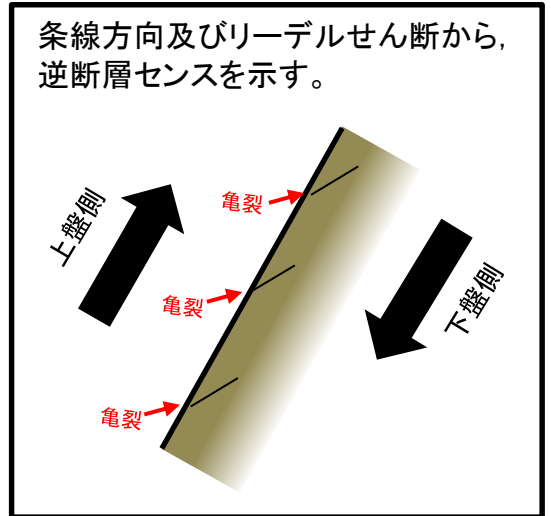
詳細観察写真

・条線のレイクは160° R, 変位センスは左横ずれ逆断層センス

# 条線観察結果 ボーリング2U-4孔[深度39.45m](下盤側)



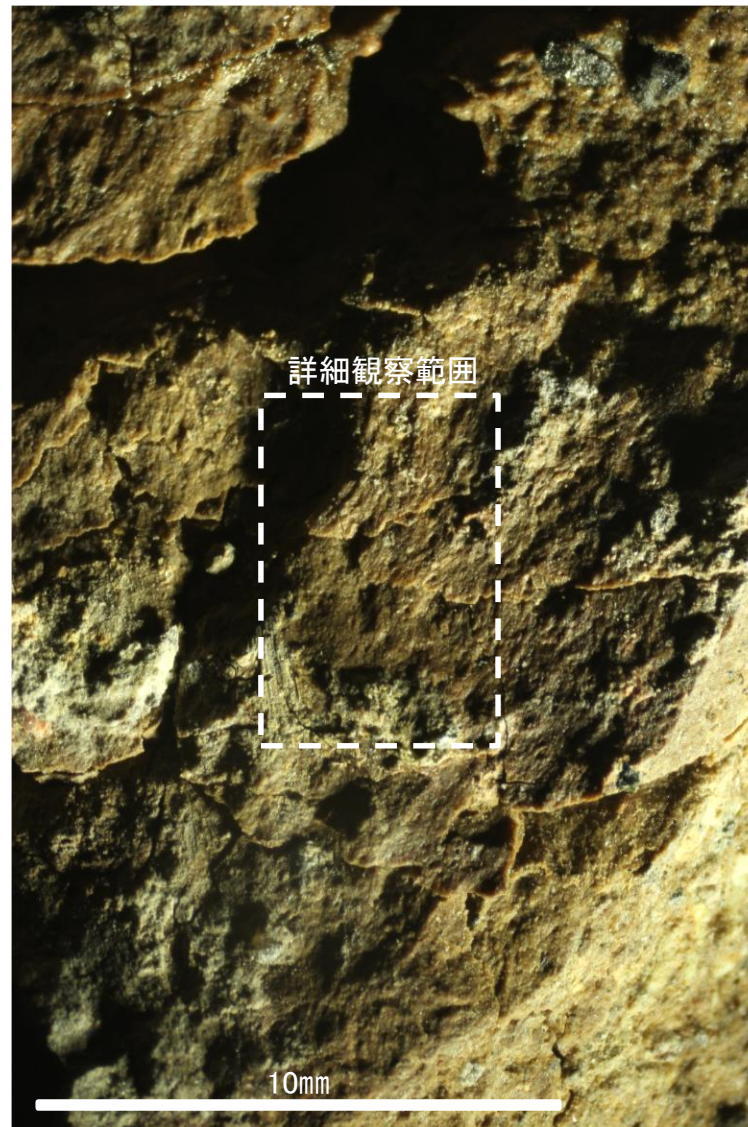
概念図  
※走向は真北で示す。



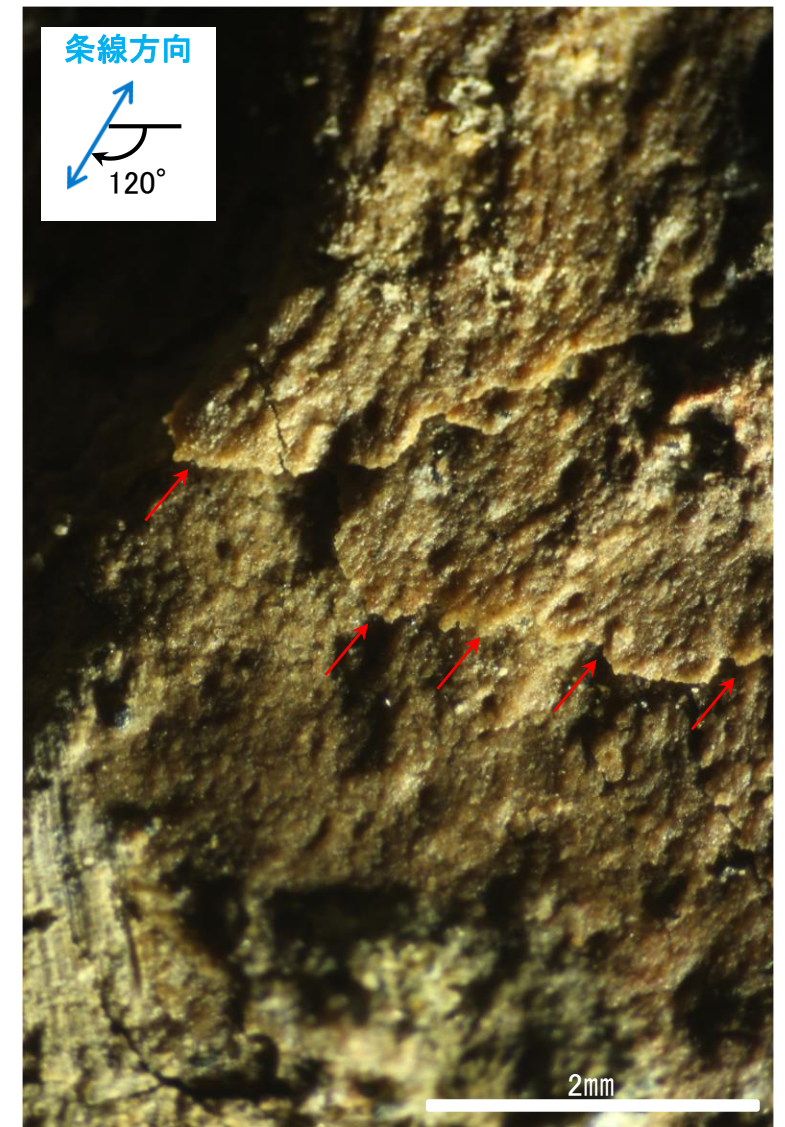
条線方向及びリーデルせん断から、逆断層センスを示す。



観察面写真



観察面拡大写真

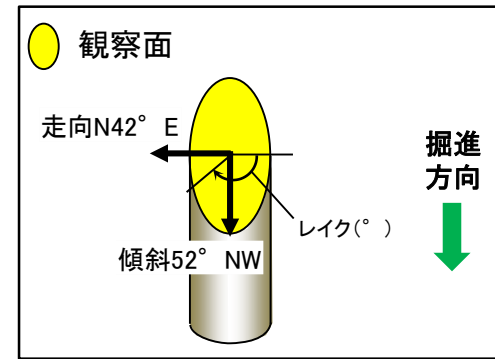


詳細観察写真

・条線のレイクは120° R, 変位センスは左横ずれ逆断層センス



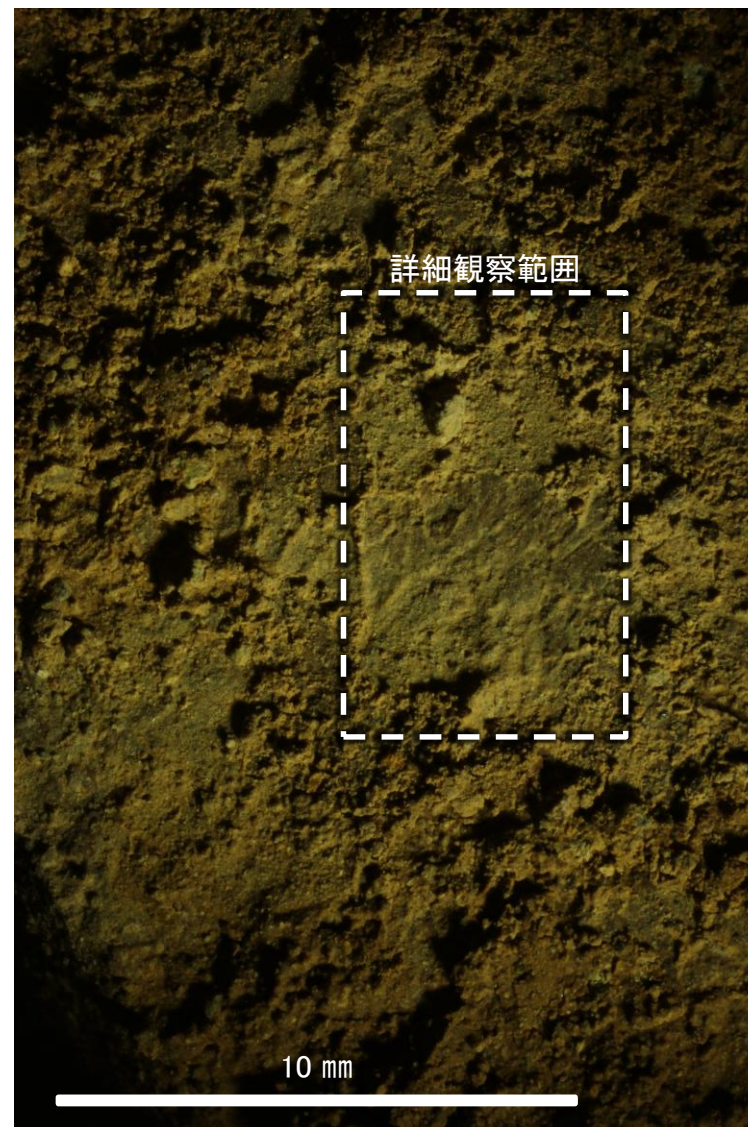
# 条線観察結果 ボーリングG-9.2-1孔[深度63.18m](下盤側)



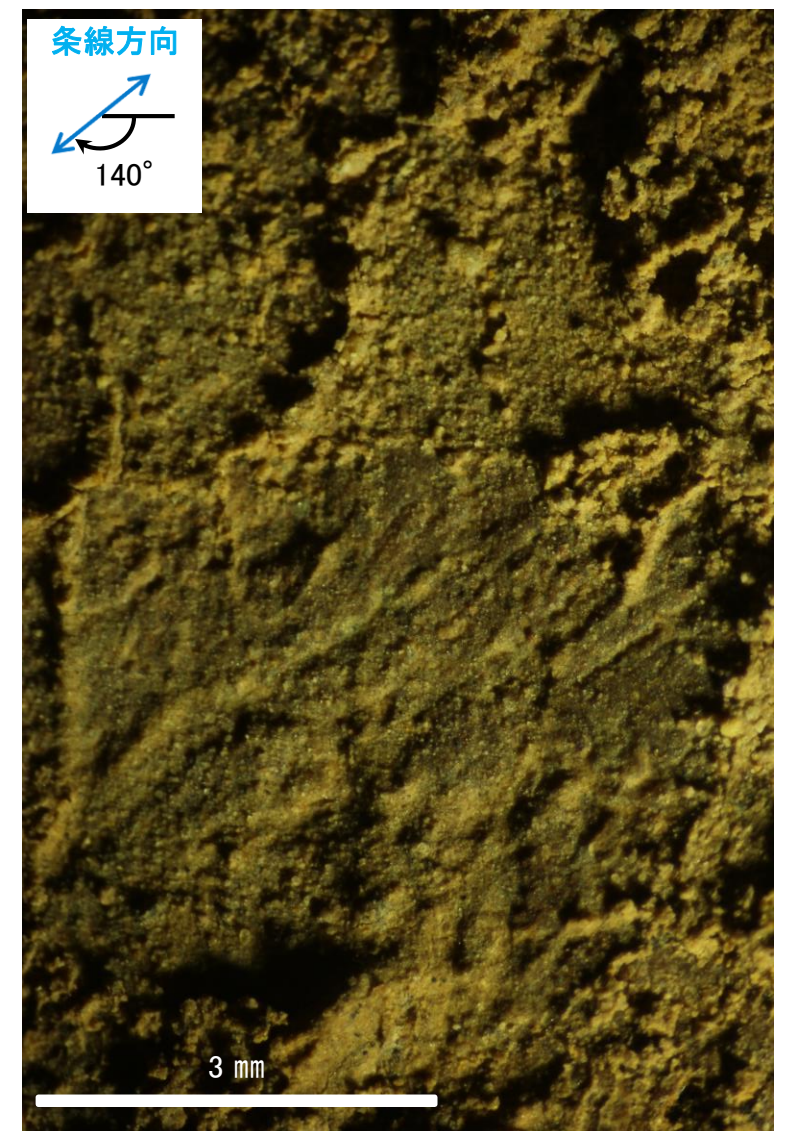
概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真

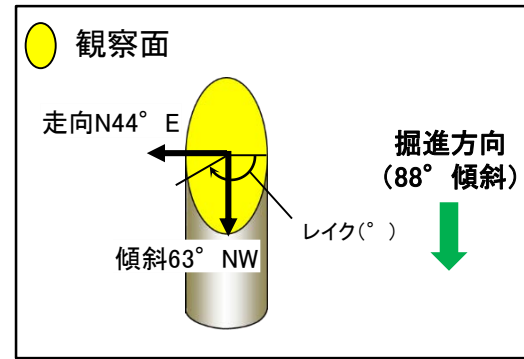


観察面拡大写真



詳細観察写真

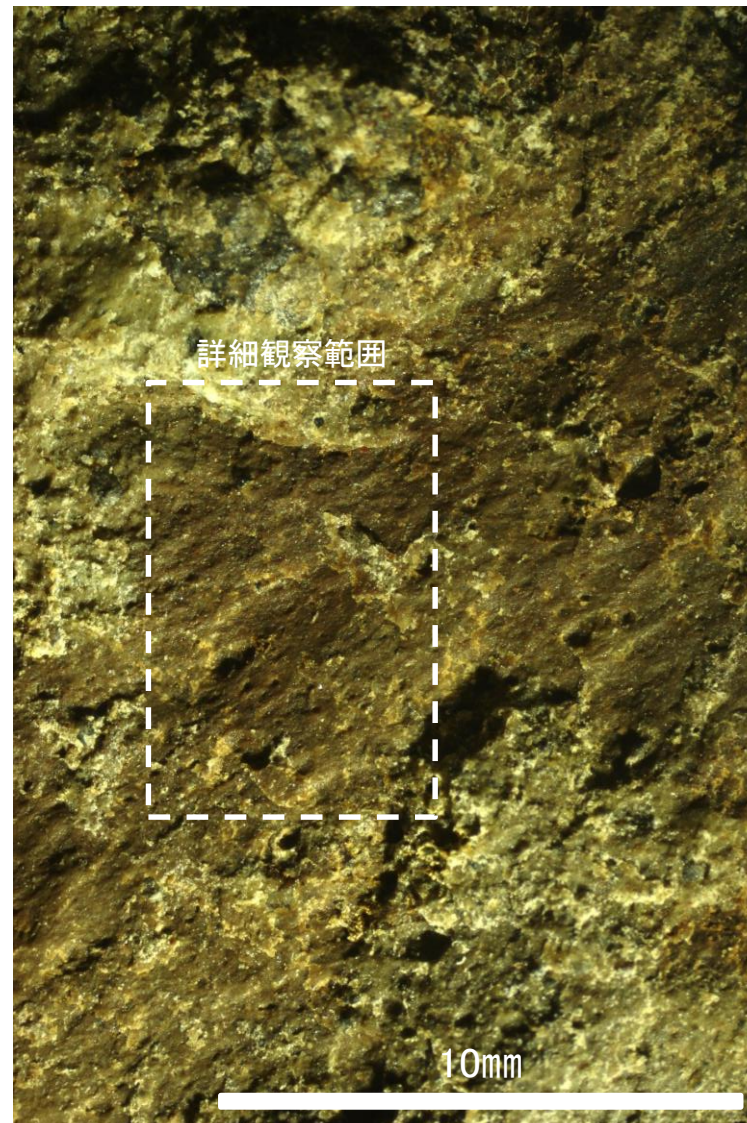
・条線のレイクは140° R, 変位センスは不明



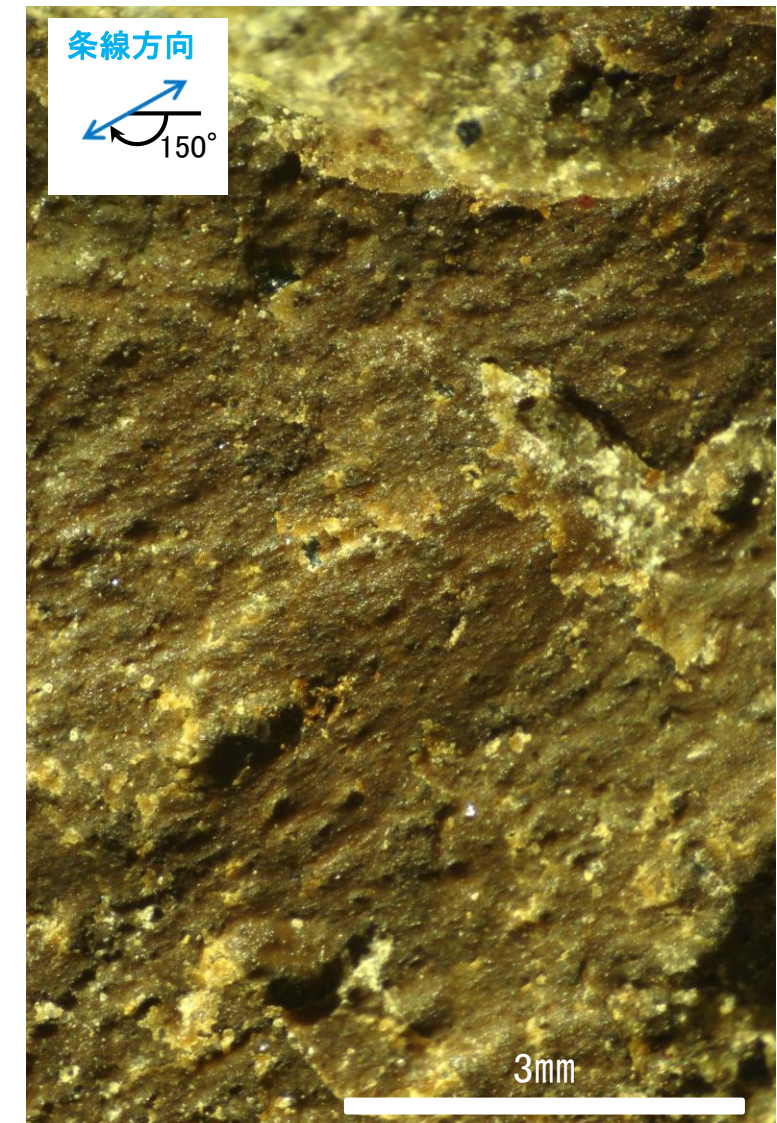
概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真



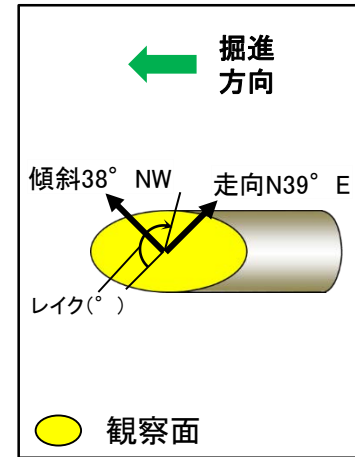
観察面拡大写真



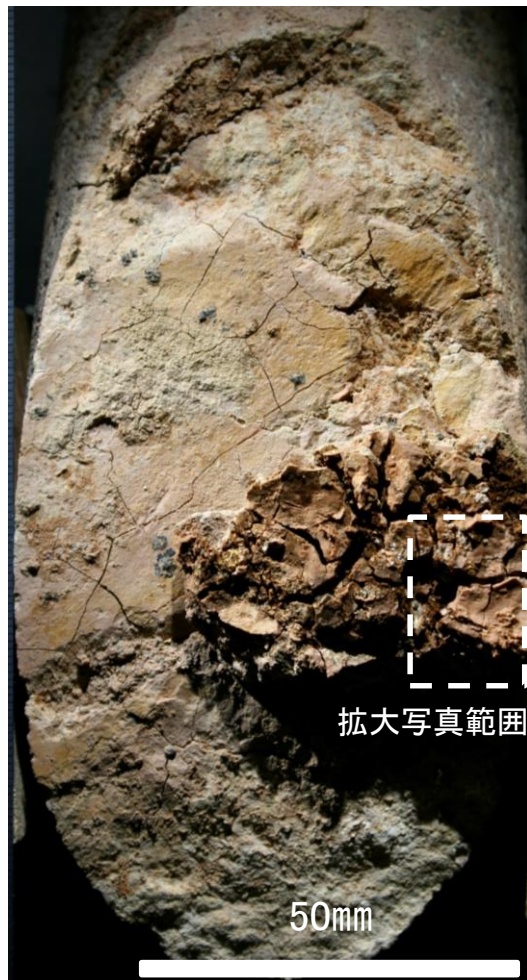
詳細観察写真

・条線のレイクは150° R, 変位センスは不明

# 条線観察結果 ボーリングNo.3孔[深度25.35m](下盤側)



概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真

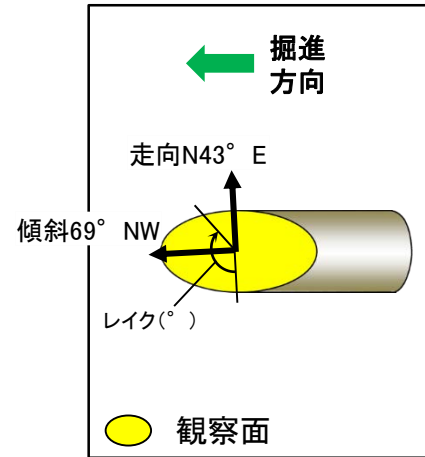


観察面拡大写真



詳細観察写真

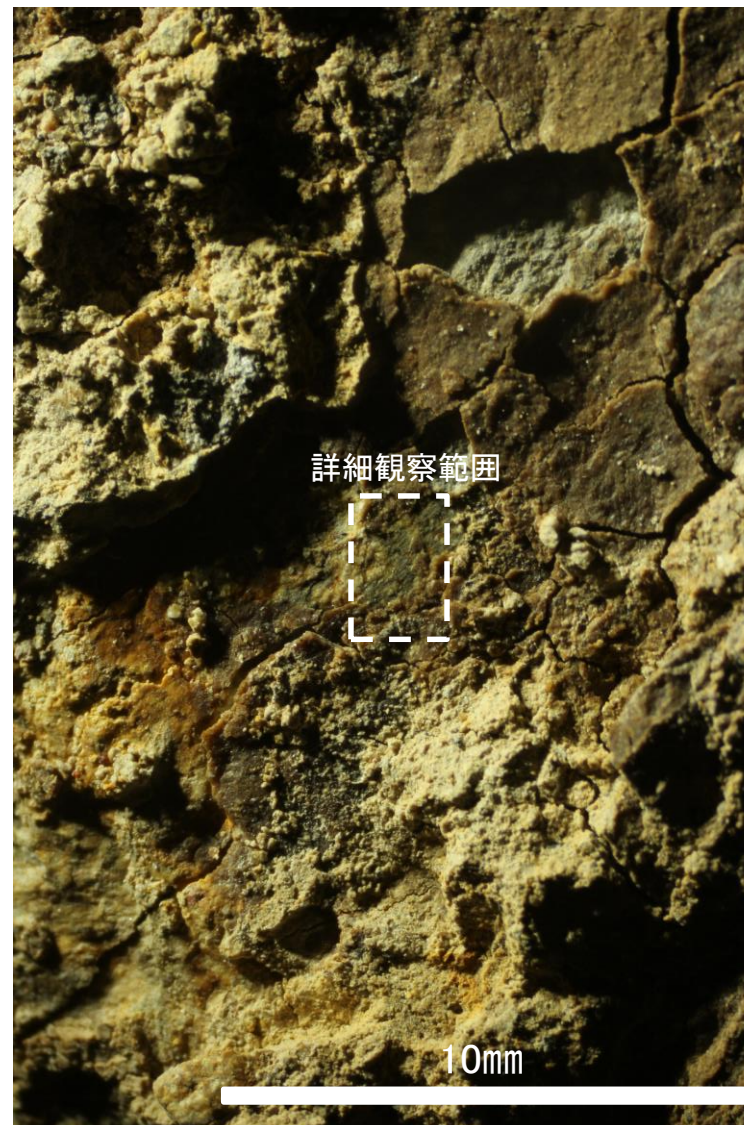
・条線のレイクは150° R, 変位センスは不明



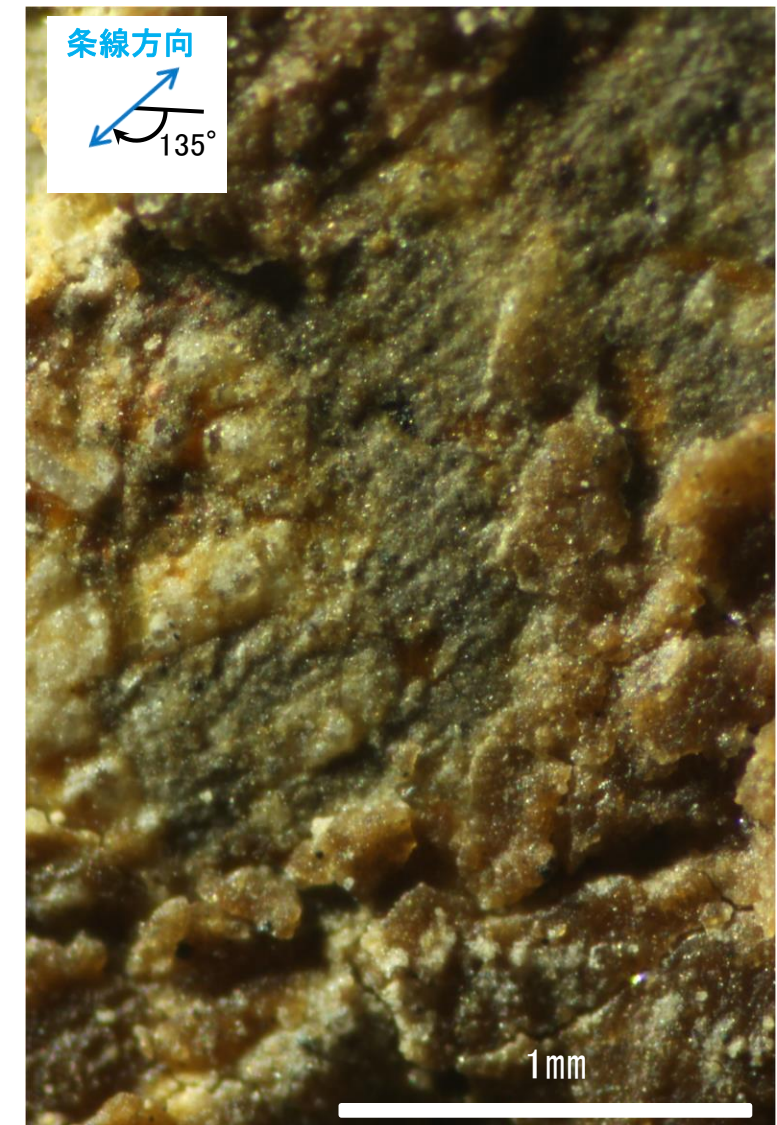
概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真



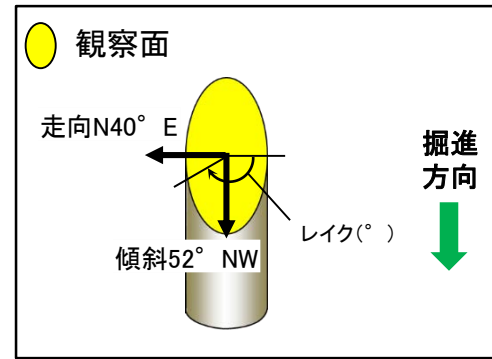
観察面拡大写真



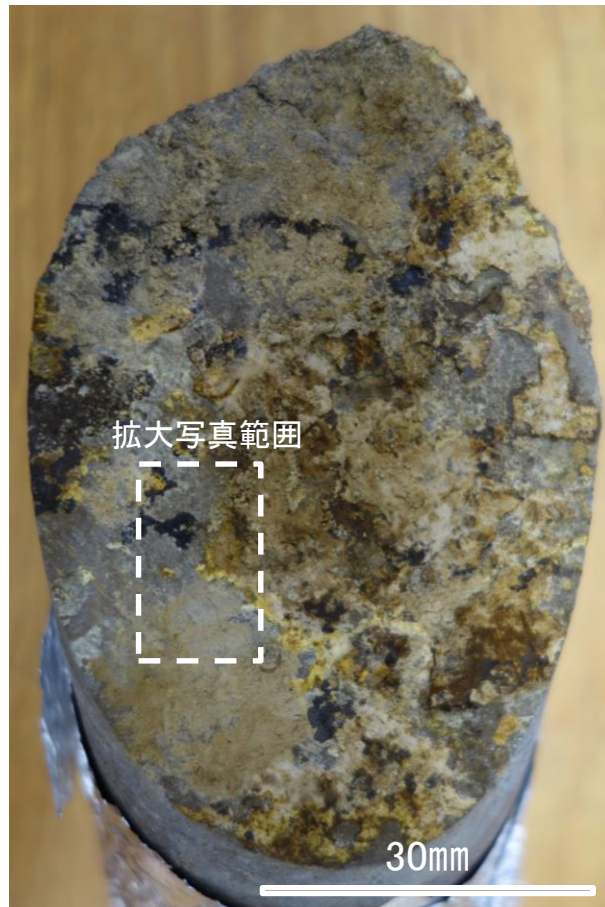
詳細観察写真

・条線のレイクは135° R, 変位センスは不明

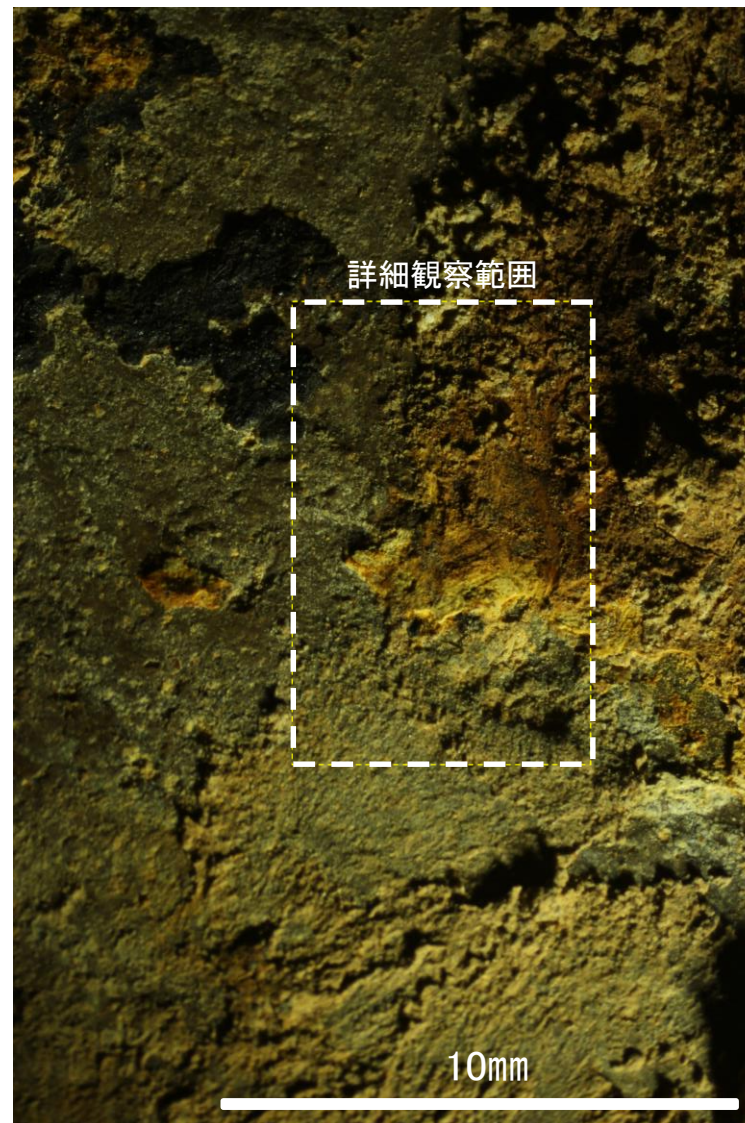
# 条線観察結果 ボーリングG-9.3-2孔[深度66.52m](下盤側)



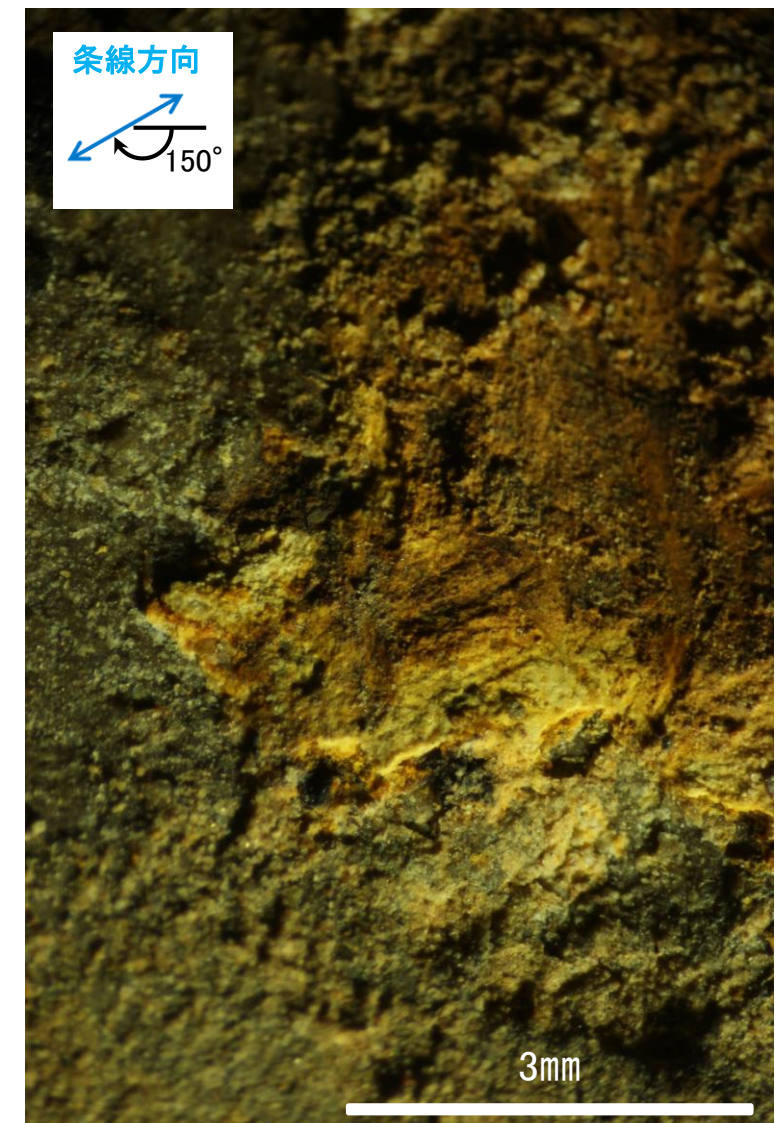
概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真



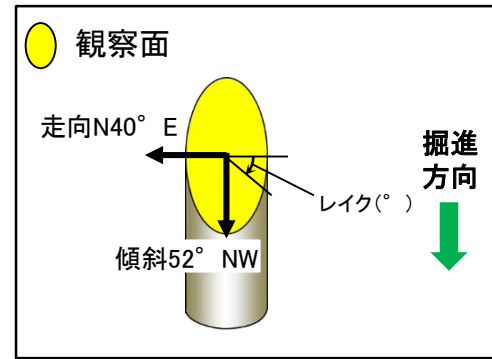
観察面拡大写真



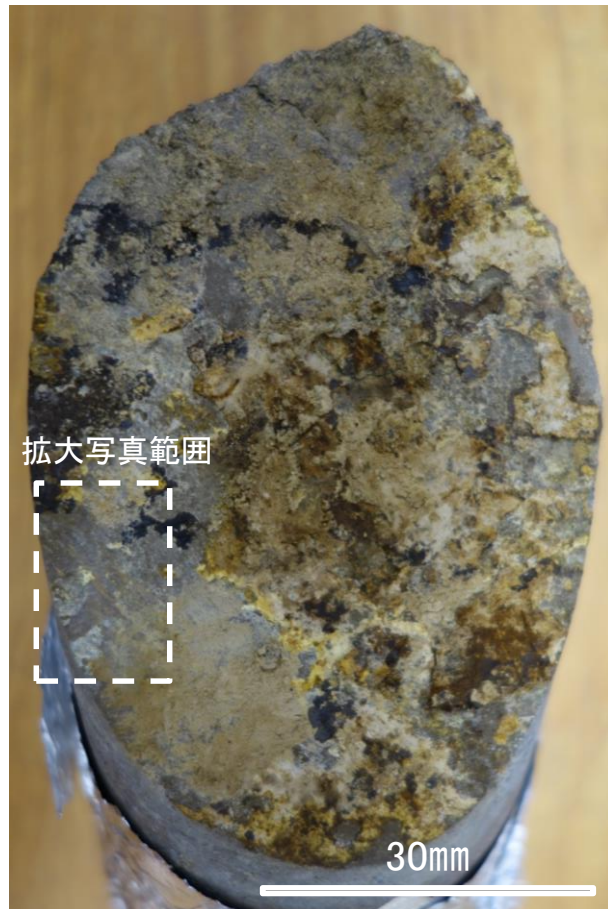
詳細観察写真

・条線のレイクは150° R, 変位センスは不明

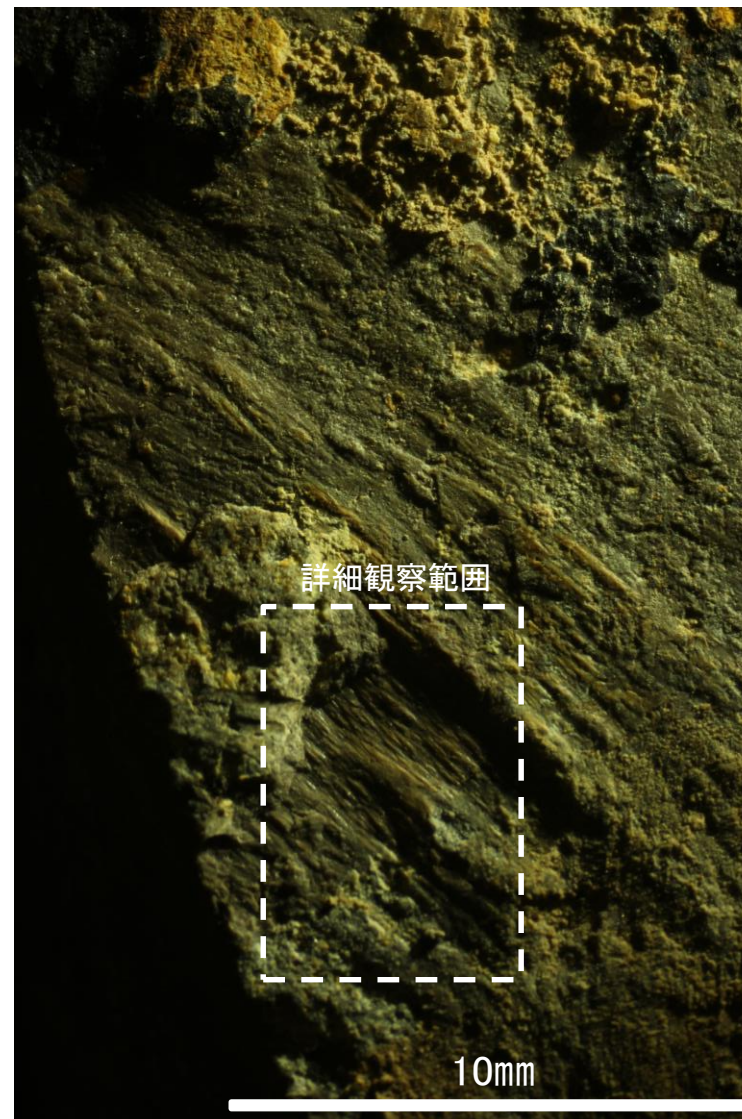
# 条線観察結果 ボーリングG-9.3-2孔[深度66.52m](下盤側)



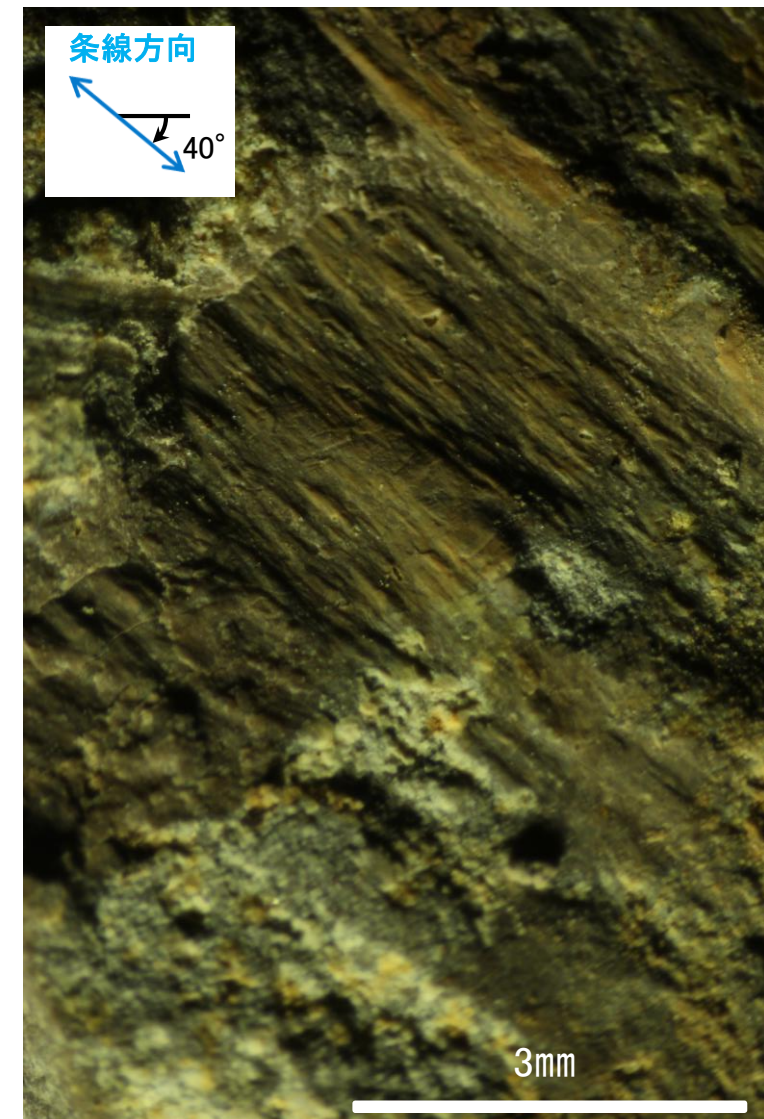
概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真



観察面拡大写真



詳細観察写真

・条線のレイクは40° R, 変位センスは不明